平成21年度 化学物質安全確保・国際規制対策推進等 (すそ切り以下事業者排出量推計手法に関する調査) 報 告 書

平成22年3月 株式会社 環境計画研究所

はじめに

本報告書は、株式会社環境計画研究所が経済産業省からの委託業務として実施した「平成21年度化学物質安全確保・国際規制対策推進等(すそ切り以下事業者排出量推計手法に関する調査)」の成果を取りまとめたものである。

我が国における PRTR 制度は、平成11年7月に公布された「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」に基づいて実施されており、化学物質取扱事業者からの化学物質の排出量・移動量の届出とともに、国による届出外排出量の推計が行われ、これらを集計したものが届出排出量とともに公表されている。

本調査では、届出外排出量のうち、対象業種を営む事業者からの排出量、いわゆる「すそ切り以下事業者」に係る排出量を、排出源別排出量推計方法や平均取扱量等に基づく排出量推計方法により算出した。また、これらの既存の推計方法の問題点やその改善方法等について検討を行い、その成果を報告書として取りまとめた。

本報告書が、我が国における PRTR 制度の円滑な実施や、今後のさらなる発展の一助となれば幸いである。

なお、本調査の実施にあたっては、「すそ切り以下事業者排出量推計手法検討会」(委員長: 亀屋隆志 横浜国立大学大学院環境情報研究院准教授) 委員各位にご指導を賜るとともに、業界団体等の機関からデータ提供等にご協力いただき、それぞれ、ここに厚く御礼を申し上げる次第である。

平成22年3月

株式会社 環境計画研究所

すそ切り以下事業者排出量推計手法検討会 委員名簿 (五十音順、敬称略)

○:委員長

	氏 名	所属	役 職	
	石崎 直温	社団法人日本化学工業協会 環境安全部	部長	
	指宿 堯嗣	社団法人産業環境管理協会	常務理事	
	岩崎 学	成蹊大学 理工学部情報科学科	教授	
	梶原 秀夫	独立行政法人 産業技術総合研究所 安全科学研究部門	合研究所主任研究員	
\circ	亀屋 隆志	横浜国立大学 大学院環境情報研究院	准教授	
	木幡 隆男	独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター リスク管理課	専門官	
	藤田 周治	川崎市 環境局 環境対策部 企画指導課 化学物質対策担当	主査	

目 次

第1章 調査の概要	1
1-1 調査の目的	1
1-2 排出量推計の枠組み	1
1-2-1 届出外排出量の区分	1
1-2-2 すそ切り以下事業者の範囲	2
1-2-3 すそ切り以下事業者の分類	3
1-2-4 すそ切り以下事業者に対応する業種	4
1-2-5 すそ切り以下事業者に対応する対象化学物質	4
1-2-6 すそ切り以下事業者に対応する排出源	4
1-3 排出量推計の方法	6
1-3-1 推計方法の概要	6
1-3-2 検討の方法	8
1-3-3 主な作業項目	8
1-4 その他の項目の検討	9
第2章 排出源別の推計方法	10
2-1 推計対象	10
2-1-1 対象とした排出源	10
2-1-2 推計対象とした対象化学物質	11
2-1-3 排出源別推計方法の概要	12
2-2 各排出源の推計方法	14
2-2-1 塗料	14
2-2-2 接着剤等	24
2-2-3 印刷インキ	36
2-2-4 工業用洗浄剤等	41
2-2-5 燃料(蒸発ガス)	50
2-2-6 ゴム溶剤等	57
2-2-7 化学品原料等	61
2-2-8 剥離剤(リムーバー)	63
2-2-9 滅菌・殺菌・消毒剤	66
2-2-10 表面処理剤	69
2-2-11 試薬	72
2-2-12 コンバーティング溶剤	75

2-2-13 プラスチック発泡剤	76
2-3 総排出量の推計結果	78
2-4 排出源別のすそ切り以下事業者に係る排出量の推計方法	84
2-4-1 基本的な考え方	84
2-4-2 事業者規模 21 人未満の排出の割合	85
2-4-3 年間取扱量 1t 未満の排出の割合	89
2-5 すそ切り以下事業者に係る排出量の推計結果	99
第3章 平均取扱量等に基づく排出量推計方法	108
3-1 推計対象	108
3-1-1 推計対象とする業種	108
3-1-2 推計を行う対象化学物質	108
3-2 推計方法	110
3-2-1 基本的な考え方	110
3-2-2 パラメータの設定方法	111
3-3 推計結果	136
第4章 都道府県別排出量の推計方法	143
4-1 推計対象	143
4-1-1 推計対象とする業種	143
4-1-2 推計を行う対象化学物質	143
4-2 推計方法	146
4-2-1 基本的な考え方	146
4-2-2 推計フロー	146
4-2-3 パラメータの設定方法	147
第5章 推計方法に係る課題の検討	173
5-1 平成 20 年度排出量推計方法の検討	173
5-1-1 主な課題とその対応方針	173
5-1-2 課題別の対応方針の内容	175
5-2 新規対象化学物質の推計可能性の検討	186
5-2-1 既存データの収集及び整理の方針	186
5-2-2 排出源別排出量推計方法の利用可能性	186
5-2-3 新たな排出源の可能性	198

5-2-4 平均取扱量等に基づく排出量推計方法の利用可能性	200
5-2-5 新規対象化学物質の推計可能性に係るまとめ	201
5-3 新たなデータ取得方法の検討	204
5-3-1 これまでの取扱量調査データの概要及び利用方法	204
5-3-2 今後のデータ取得方法の方向性	211
5-3-3 新たなデータ取得の方針(案)	214
5-3-4 推計対象物質の重点化の可能性	218
5-4 新たな推計方法の検討	231
5-4-1 用途に着目した推計方法	231
5-4-2 届出排出量に基づく推計方法	237
第6章 今後の課題	255
6-1 新たなデータ取得の枠組みの設定	255
6-2 確実なデータチェックの仕組みの導入	255
6-3 新たな推計方法の枠組みの設定	256
6-4 推計対象物質の重点化	256
資料編	257
参考資料1 都道府県別排出量の推計結果	258
参考資料2 新たなデータ取得のためのアンケート調査票(案)	270
参考資料3 21 人未満の事業者に対する取扱量調査の概要	276
参考資料4「1t 未満の割合」とその信頼区間の試算結果	279

第1章 調査の概要

1-1 調査の目的

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」 (化学物質排出把握管理促進法)に基づき、事業者から国に届出されない排出量(いわゆる「届出外排出量」)については、国が推計し、事業者からの届出の排出量・移動量と合わせて公表してきた。しかしながら、届出外排出量のうち、届出対象業種に属しながら届出しない事業者(いわゆる「すそ切り以下事業者」)に係る排出量の推計は、推計手法の検討を重ねてきたものの、推計に用いた元データの制約や推計手法に起因した不安定さなど、推計精度をめぐる課題が残されており、今後の検討により改善を図ることが必要である。

本調査では、届出外排出量のうち、すそ切り事業者に係る排出量について、従来の排出源別排出量推計方法及び平均取扱量等に基づく推計手法で平成 20 年度排出量推計を行うと共に、パラメータ設定方法の改善による推計精度の向上の検討等を行うことを目的とした。

1-2 排出量推計の枠組み

1-2-1 届出外排出量の区分

PRTR として公表された届出外排出量は、省令に基づく集計表の区分(以下「省令区分」という。)ごとに集計されると共に、具体的な排出源の区分ごとにも集計されている。PRTR の第8回公表で採用された排出源区分とその省令区分との対応関係を表 1-1 に示す。

表 1-1 排出源区分と省令区分との対応関係(その1)

				対応する省	育令区分	
排出源		対象 業種	非対象 業種	家庭	移動体	
1	1 すそ切り以下事業者		0			
2	農薬		0	0	0	
		家庭用殺虫剤			0	
2	o 文L 中 本II	防疫用殺虫剤		0		
3	殺虫剤	不快害虫用殺虫剤			0	
		シロアリ防除剤		0	0	
4	4 接着剤			0	0	
5	5 塗料			0	0	
6	6 漁網防汚剤			0		
7	尼	エチレンオキシド		0		
1	医薬品	ホルムアルデヒド		0		

表 1-1 排出源区分と省令区分との対応関係(その2)

				対応する省	育令区分	
	排出源		対象 業種	非対象 業種	家庭	移動体
8	洗浄剤•化粧品	界面活性剤		0	0	
0	等	中和剤		0	0	
9	防虫剤•消臭剤				0	
10	汎用エンジン			0		
11	たばこの煙				0	
		ホットスタート				0
12	 自動車	コールドスタート時の増分				0
12		燃料蒸発ガス				0
		サブエンジン式機器				0
		ホットスタート				0
13	二輪車	コールドスタート時の増分				0
		燃料蒸発ガス				0
		建設機械				0
14	特殊自動車	農業機械				0
		産業機械				0
		貨物船•旅客船等				0
15	船舶	漁船				0
		プレジャーボート				0
16	鉄道車両	エンジン				0
10		ブレーキ等の摩耗				0
17	航空機	エンジン				0
17	加全機	補助動力装置				0
18	水道		0	0	\circ	
19	オゾン層破壊物質		0	0	0	0
20	ダイオキシン類		0	0	0	0
21	低含有率物質		0			
22			0		<u></u>	

1-2-2 すそ切り以下事業者の範囲

対象業種を営む事業者からの排出量のうち、届出されないすべての排出量が届出外排出量である。そのうち、オゾン層破壊物質や低含有率物質など、別掲するものを除いた排出量が「すそ切り以下事業者」に係る排出である。対象業種に対応する排出源のうち、別掲される(=「すそ切り以下事業者」に該当しない)ものは表 1-2 に示す6種類の排出源である。

表 1-2 「すそ切り以下事業者」に該当しない対象業種からの届出外排出量

	排出源	届出外排出量の範囲
2	農薬	輸入農産物の倉庫くん蒸で使用される臭化メチルくん蒸剤及 び青酸くん蒸剤
18	水道	浄水場での塩素消毒に伴って発生するトリハロメタン(クロロホルム及びブロモホルム)のうち、「工場」向けに給水されるもの
19	オゾン層破壊物質	建築用断熱材やエアゾール製品等から排出される HCFC-22、HCFC-141b 等の 21 物質(オゾン層保護法の特 定物質)
20	ダイオキシン類	一般廃棄物焼却施設、セメント製造施設等の施設(=対象業種に属する)で生成するダイオキシン類で届出されないもの
21	低含有率物質	石炭火力発電所において石炭の燃焼に伴って排出される水 銀、鉛等の 14 物質
22	下水処理施設	下水処理施設に流入する対象化学物質のうち、処理されずに放流水中に含まれて公共用水域に排出されるもの、大気へ揮発する物質。

注: 本表は PRTR の第8回公表資料に基づいており、今後の知見の蓄積によって見直される可能性がある。

1-2-3 すそ切り以下事業者の分類

すそ切り以下事業者からの排出の概念を図 1-1 に示す。すそ切り以下事業者に該当するものは、対象業種を営む事業者からの排出量のうち、

- (a)事業者規模(常用雇用者数)が21人未満の事業者からの排出量
- (b)年間取扱量 1t(特定第一種指定化学物質は 0.5t)未満の取扱に伴う排出の二つである。上記(a)と(b)には重複があるが、その重複を除く合計がすそ切り以下事業者からの排出量(以下「すそ切り以下排出量」という。)の合計となる。

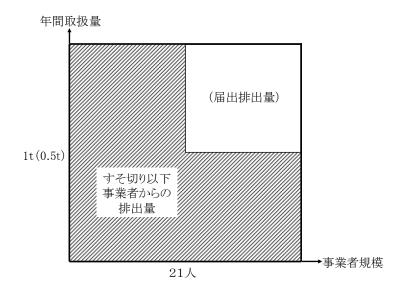


図 1-1 すそ切り以下事業者からの排出の概念図

1-2-4 すそ切り以下事業者に対応する業種

届出対象業種と同じであり、製造業を始めとする 23 業種(製造業を細分化した場合は 45 業種)のすべてがすそ切り以下事業者としての推計対象である。なお、現行の PRTR 制度においては、対象業種と非対象業種を兼業(例:建設業と産業廃棄物処理業を兼業)している事業者は「対象業種を営む事業者」に分類されることとなる。

1-2-5 すそ切り以下事業者に対応する対象化学物質

別途推計するオゾン層破壊物質(HCFC-22等の21物質)とダイオキシン類を除く332の対象化学物質がすそ切り以下事業者としての推計対象である。別途推計する低含有率物質(「ほう素及びその化合物」等の14物質)等もすそ切り以下事業者には該当しないものの、それらの対象化学物質は「低含有率物質」等以外の排出源からの排出もあり得ることから、対象化学物質の種類としてはすそ切り以下事業者の推計対象である。

1-2-6 すそ切り以下事業者に対応する排出源

原則として対象業種に関係するすべての排出源からの排出がすそ切り以下に該当している。排出源の設定方法には数多くの考え方が可能であるが、対象化学物質の排出は、それらの物質の「末端ユーザー」からの排出が大きな割合を占めていると考えられることから、塗料や接着剤等の「最終製品」に着目して排出源を設定するのが妥当と考えられる。

すそ切り以下事業者に関係すると考えられる排出源の例を表 1-3 に示す。対象化学物質の用途は多種多様であり、それらを完全に網羅する排出源区分の設定は困難であるものの、有識者へのヒアリング等に基づいて主要な排出源を選定することにより、すそ切り以下事業者からの排出量の多くが捕捉されると考えられる。

主 1_9 オ2	と知り17 下車業老にほ	侭 オスレ去 うたむ	ス排出源の例(その1)

排出源	推計対象とする排出
	自動車や金属製品等の工業製品の製造段階で塗料が使用されるが、その塗
塗料	料の使用に伴って排出される溶剤(トルエン等)や樹脂原料(製品中に残存し
室材	ているフェノール等)、不凍液(エチレングリコール)など、主としてVOCの排
	出。塗装段階で加える希釈溶剤(シンナー)の排出も含まれる。
	合板や自動車等の工業製品の製造段階で接着剤が使用されるが、その接着
接着剤	剤の使用に伴って排出される溶剤(トルエン等)や樹脂原料(ホルムアルデヒド
	等)など、主としてVOCの排出。
印刷カル	主として印刷業者が使用する印刷インキに含まれるトルエン等の溶剤が、印刷
印刷インキ	工程以降で蒸発するもの。印刷段階で加える希釈溶剤の排出も含まれる。
丁 类 田 冼 凂 刘	金属や機械等の工業製品を洗浄するのに有機塩素系(塩化メチレン等)を始
工業用洗浄剤	めとする工業用洗浄剤が使用されるが、その使用に伴って生じるロス。

表 1-3 すそ切り以下事業者に関係すると考えられる排出源の例(その2)

	する切り以下事業者に関係すると考えられる排出源の例(その2)
排出源	推計対象とする排出
工業用洗浄剤	主として大気への排出。
(続き)	※洗浄槽の中で使うことが想定される洗浄剤に限る。
	繊維工業や製紙工業などの製造業で、ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテ
界面活性剤	ル(C=12~15)等の界面活性剤が分散剤や乳化剤として使用され、その使用
	に伴う排出。使用量の一部が主に水域へ排出される。
 クリーニング溶剤	洗濯業者が衣類等を洗濯機で洗浄するのに使用するクリーニング溶剤(テトラ
ファーンノ俗別	クロロエチレン等)のロス。主として大気への排出。
	精油所や油槽所、ガソリンスタンド等の施設において、石油製品(ガソリン、灯
燃料(蒸発ガス)	油等)の燃料タンクへの受入やタンクローリー等への払い出しに伴って生じるロ
	ス。
\$) \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	自動車タイヤ等のゴム製品の製造段階で使われる溶剤(トルエン等)などのロ
ゴム溶剤等	ス。主として大気への排出。
	塗料製品などを含め、化学工業に属する事業者が化学製品を製造する段階
//. 2\/	で排出するものすべて。当該物質自体を製造する場合と、当該物質を使用し
化学品原料等	 て別の化学製品を製造する場合の両方が含まれる。化学反応を伴わない調
	合や小分けだけの場合も含まれる。
and the sale total	別掲していない溶剤等の使用段階での排出。洗浄用シンナーや反応溶剤も
その他の溶剤等	該当する。主として大気への排出。
	金属の酸洗浄に使用されるふっ化水素やフラックス処理に使われる有機溶剤
表面処理剤	について、その使用に伴って生じるロス。水域と大気の両方への排出が考えら
	れる。
	金属製品等の表面をメッキ加工するのに使われる金属化合物等。使用量の
メッキ薬剤	一部が主に排水に含まれて水域へ排出される。
	自動車エンジンの冷却液の凍結防止に使用される不凍液(エチレングリコー
 不凍液	ル等)について、その交換等に伴って生じるロス。大気と水域への排出が両方
	とも考えられる。
减 菌• 殺 菌• 汹	C 5 7 7 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7
	大気と水域の両方への排出が考えられる。
TT // 1	プラスチック製品(農業用ビニルシート等)等の製造業者が製品に添加する可
	グラステック製品(展業用ビールンード等)等の製造業有が製品に添加する中 塑剤や難燃剤等の製造段階でのロス。一般に揮発などはしにくいが、製造工
 添加剤	
7.7.7.7.4	程で加熱するような場合は、無視できない割合が排出されることがある。 ※製品の使用段階で長期間に亘って少量ずつ排出されるものは、一般に対象業種の事業者
	とは無関係のため、推計対象には該当しない。
字	研究や計量証明等で使用される化学分析用の薬品。使用段階で揮発性の
試薬	高い物質が大気中へ排出される場合がある。
コンバーティング	 染色整理業において各種繊維にコンバーティング加工(コーティング加工等)
溶剤	を施す場合に使用される溶剤。使用後に一部が大気へ排出される。
プラスチック発泡	
 剤	ス処理等が行われておらず、ほぼ全量が大気へ排出される。
	へ処理寺が1] われしくわりり、はは王里が入来、外田される。 す排出源区分や定義は暫定であり、今後の知見の蓄積によって見直しが必要である

注:本表に示す排出源区分や定義は暫定であり、今後の知見の蓄積によって見直しが必要である。

1-3 排出量推計の方法

1-3-1 推計方法の概要

すそ切り以下排出量は、表 1-4 に示す2種類の推計方法を併用して推計する。例えば、「塗料」のように最終製品に着目し、その製品の種類ごとの全国出荷量などが把握できる場合には「排出源別」の推計方法を採用し、排出源別に推計できない用途、対象化学物質については、事業所の平均的な取扱量等に基づく推計方法を用いる。

2 種 類 の 推 計 方 法 は 、 そ れ ぞ れ 図 1 -2 及 び

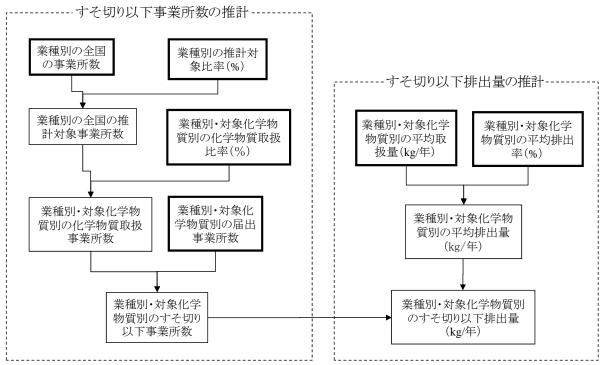


図 1-3 に示す方法をベースに、パラメータの設定方法等の詳細を検討する。それぞれの推計方法の詳細は第2章及び第3章にて示す。

表 1-4 すそ切り以下排出量の推計方法の分類

	推計方法	推計対象
1	排出源別排出量推計方法	「塗料」など全国出荷量等が把握できるもの
2	平均取扱量等に基づく排出量推計方法 (業種別・対象化学物質別排出量推計方法) ※括弧内は昨年度の推計方法における表記	平均的取扱量等が設定できるもの ※上記1を除く

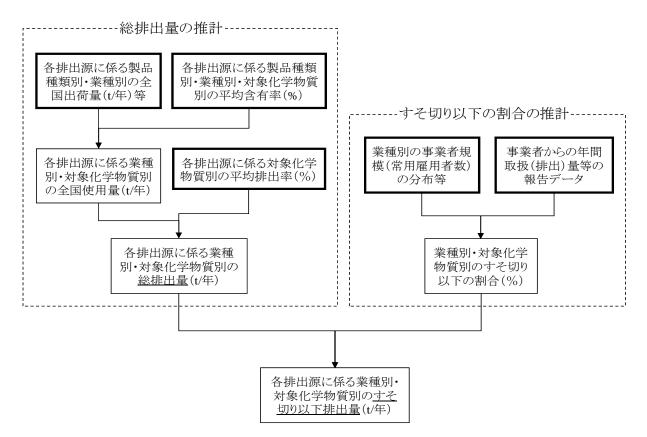


図 1-2 すそ切り以下排出量の推計フロー(排出源別排出量推計方法)

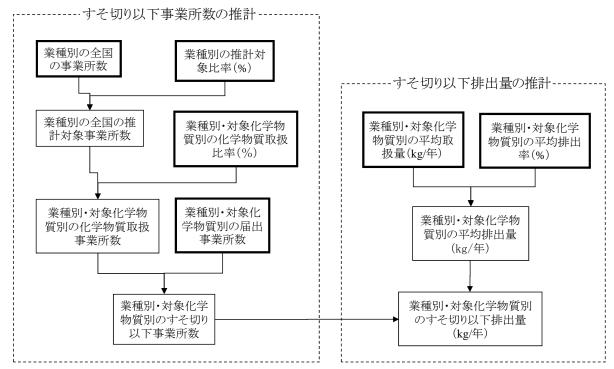


図 1-3 すそ切り以下排出量の推計フロー(平均取扱量等に基づく排出量推計方法)

1-3-2 検討の方法

排出源別の推計方法に関連し、各排出源に関係する業界団体等に協力を求め、全 国出荷量や平均排出率等に関するデータの収集に努める。また、平均取扱量等に基づ く推計方法に係る事項として、使用するパラメータの設定方法、その妥当性の検証等を 行う。

これらの結果を踏まえ、推計ロジックを含む調査全体の進め方について「すそ切り以下事業者排出量推計手法検討会」にて審議を行う。

1-3-3 主な作業項目

図 1-2 等に示す推計方法に従い、すそ切り以下排出量の推計を行うため、主に以下の作業を実施する。

- ① 推計対象とする排出源や対象化学物質の過不足の検討
- ② 既存の推計方法の改善の可能性の検討
- ③ 各排出源に関係する全国出荷量等の調査
- ④ 排出源別の総排出量及びすそ切り以下排出量の推計
- ⑤ 化学物質取扱比率等のパラメータの設定
- ⑥ 取扱量調査における異常データの除外
- ⑦ 平均取扱量等に基づく全国のすそ切り以下排出量の推計
- ⑧ すそ切り以下排出量の都道府県への細分化

1-4 その他の項目の検討

平成20年度排出量の推計の概要については、前項のとおりであるが、平成21年度以降の排出量推計に向けた検討を実施した。その項目の概要は次のとおり。

① 新規対象化学物質の推計可能性の検討

平成20年11月に公布された政令に基づき新規に追加となる対象化学物質について、既存の情報の整理を行うとともに、今後の推計の可能性について検討を行った。

② 新たな推計方法の可能性の検討

新たな推計方法については「平成 20 年度すそ切り以下事業者排出量推計手法に関する調査((社)環境情報科学センター)」において、現在の平均取扱量等に基づく推計方法の代替手法の可能性が検討されてきたところである。この代替手法については、「PRTR 対象化学物質の取扱い等に関する調査(以下「取扱量調査」という。)((独)製品評価技術基盤機構)(以下「NITE」という。))」の継続的な利用が前提とされている。

しかし、平成 20 年度取扱量調査(平成 21 年度取扱量調査)をもって、同調査が終了することが確定されたため、排出量推計については、前提条件となるデータの取得(③に後述)の方法も含めて、あらゆる可能性をゼロベースで検討した。

③ 新たなデータ取得方法の検討

平成 20 年度まで実施されてきた排出量推計や前年度に検討されてきた代替手法は、「取扱量調査(NITE)」の利用が前提となっていた。しかし、前記②の理由により、新たなデータ取得の方向性について検討を行った。

第2章 排出源別の推計方法

2-1 推計対象

2-1-1 対象とした排出源

最終製品に着目した場合、対象とする用途(=最終製品の種類)等の排出源をどのように選定するかが問題となる。対象化学物質ごとの用途等に基づく系統的な情報整理が望ましいものの、ここでは既存の調査結果や専門家へのヒアリングに基づき、主要な排出源として表 2-1 に示すものに限った。これ以外の排出源については、現時点において用途別の数量として信頼できる情報が得られておらず、ここでの推計対象から除外する。

結果として、平成 20 年度排出量の推計対象とする排出源は、平成 19 年度排出量の 推計対象と同様、13 種類となった。

排出源 概要 No. 工業製品の塗装で使われる塗料に含まれる溶剤とその希釈溶 1 塗料 剤(シンナー) 工業製品の接着に使われる接着剤に含まれる溶剤 2 接着剤等 工業製品の印刷に使われる印刷インキに含まれる溶剤やその 3 印刷インキ 希釈溶剤(シンナー) 洗浄槽で使われる工業用洗浄剤やクリーニング溶剤、洗浄剤 4 工業用洗浄剤等 を中心とする界面活性剤 ガソリンスタンドにおける燃料(ガソリン、灯油等)の受入ロスと給 5 燃料(蒸発ガス) 油ロス 6 ゴム溶剤等 ゴム製品の製造段階でゴムの貼り合わせに使われる溶剤等 7 化学品原料等 化学工業における製造品原料や製造品そのもの 8 剥離剤(リムーバー) 塗り替え等のために塗膜等の剥離(はくり)に使われる薬剤 9 滅菌・殺菌・消毒剤 対象物から微生物を除去するために使われる薬剤 10 表面処理剤 金属等の表面を酸洗浄するために使われる薬剤 11 試薬 成分分析等に使われる薬剤 染色整理業において各種繊維にコンバーティング加工(コーテ 12 コンバーティング溶剤 ィング加工等)を施す場合に使用される溶剤。 13 プラスチック発泡剤 ポリウレタンフォームの製造時に発泡剤として使用される薬剤。

表 2-1 すそ切り以下排出量の推計対象とする排出源

注:本表では界面活性剤とクリーニング溶剤を工業用洗浄剤等に統合したため、表 1-3の区分とは異なる。

2-1-2 推計対象とした対象化学物質

各排出源で推計対象とする対象化学物質は、それぞれの業界団体等から得られるデータに基づいて決められる。ここで示す塗料等の 13 種類の排出源に対応する対象化学物質は、主として表 2-2 に示す 17 種類の対象化学物質であるため、これらを推計対象とする。

表 2-2 排出源別排出量推計方法で推計を行う対象化学物質

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		1		J	7	J	U		O	J	10	11		å
物質番号	対象化学物質	塗料	接着剤等	印刷インキ	工業用洗浄剤等	燃料(蒸発ガス)	ゴム溶剤等	化学品原料等	剥離剤(リムーバー)	滅菌·殺菌·消毒剤	表面処理剤	試 薬	コンバーティング溶剤	プラスチック発泡剤
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る)				•			•						
40	エチルベンゼン													
42	エチレンオキシド							lacktriangle		lacktriangle				
63	キシレン						lacktriangle						lacktriangle	
145	塩化メチレン		lacktriangle		lacktriangle		lacktriangle	lacktriangle	lacktriangle			lacktriangle		•
166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N- オキシド				•									
177	スチレン							lacktriangle						
200	テトラクロロエチレン				lacktriangle			lacktriangle						
211	トリクロロエチレン				lacktriangle		lacktriangle	lacktriangle				lacktriangle		
224	1,3,5-トリメチルベンゼン					lacktriangle		lacktriangle					lacktriangle	
227	トルエン		•	lacktriangle		•	lacktriangle	lacktriangle					lacktriangle	
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアン モニウム=クロリド				•									
283	ふっ化水素及びその水溶性塩							lacktriangle			lacktriangle			
299	ベンゼン					lacktriangle		lacksquare						
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキル エーテル(アルキル基の炭素数 が 12 から 15 までのもの及びそ の混合物に限る)				•			•						
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチル フェニルエーテル				•			•						
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフ ェニルエーテル				•			•						

2-1-3 排出源別推計方法の概要

排出源別に推計されるすそ切り以下排出量は、表 2-3 に示す二つのパラメータを使用して以下の式で推計される。

すそ切り以下排出量(kg/年) =総排出量(kg/年)×すそ切り以下の割合(%)

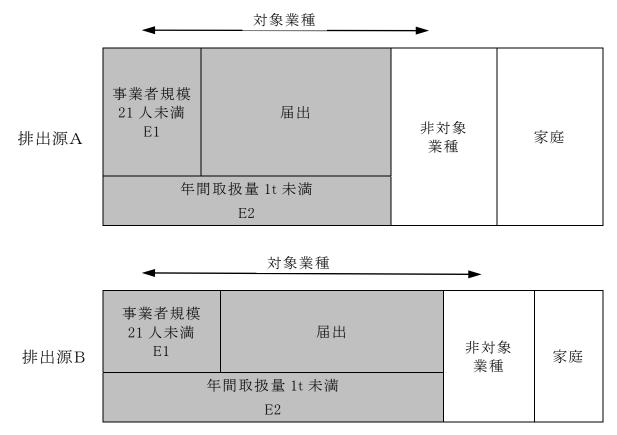
表 2-3 すそ切り以下排出量を推計するためのパラメータ

パラメータ	概要						
総排出量	「塗料」等の排出源ごとの全国における排出量(t/年)のう						
**************************************	ち、対象業種に関係するもの						
	対象業種に係る総排出量のうち、法律に基づく届出対象外						
すそ切り以下の割合	の排出量の割合						
	※「事業者規模 21 人未満」又は「年間取扱量 1t 未満」の割合						

2-2及び2-3では、表 2-1 に示す 13 種類の排出源について、それぞれの総排出量の推計方法及びその結果を示す。但し、「総排出量」とは各排出源に係る対象業種からのすべての排出量のことであり、届出される排出量とすそ切り以下排出量の合計である(図 2-1)。

また、2-4及び2-5では、2-2及び2-3で算出した総排出量より「すそ切り以下排出量」を推計し、その結果を示す。

なお、第2章及び第3章で示す平成20年度排出量推計の手法は、第5章で示す今年度の検討結果を反映させたものである。



注:図中の網掛けの部分が推計対象となる「総排出量」に該当

図 2-1 推計対象となる「総排出量」のイメージ

2-2 各排出源の推計方法

2-2-1 塗料

I 推計対象とする排出

推計対象となるのは、自動車などを製造する事業所における使用段階での排出である。 塗料に含まれる物質にはトルエン、キシレン等の溶剤や顔料、可塑剤などの化学物質が 含まれるが、事業所における排出は主に溶剤であると考えられる。そのうち使用実態が把 握できたエチルベンゼン、キシレン、トルエン、1,3,5-トリメチルベンゼンを推計した。

Ⅱ 推計に利用できるデータ

塗料の推計で使用したデータは表 2-4 のとおりである。

表 2-4 塗料の推計で利用可能なデータの種類(平成 20 年度)

	データの種類	資料名等
1)	需要分野別·塗料種類別全国出荷量 (t/年)	「平成 19 年度塗料からの VOC 排出実態推計のまとめ」社団法人日本塗料工業会(平成 21 年 1 月)
2	塗料品種別出荷量の伸び率	平成 20 年化学工業統計年報(経済産業省)
3	需要分野別・塗料種類別の対象化学物質の標準組成(シンナー組成も含む)(wt%)	「平成 19 年度塗料からの VOC 排出実態推 計のまとめ」社団法人日本塗料工業会
4	需要分野別・塗料種類別のシンナー希釈率(%)	(平成 21 年 1 月)
(5)	塗料メーカーにおける対象化学物質別の全 国使用量(t/年)	社団法人日本塗料工業会 (平成 17 年 12 月)
6	非点源における対象化学物質別の使用量の推計値(1,3,5-トリメチルベンゼン)(t/年)	PRTRの公表資料 (平成 22 年 2 月、経済産業省・環境省)
7	需要分野別の大気への平均排出率(%)	「平成 19 年度塗料からの VOC 排出実態推計のまとめ」社団法人日本塗料工業会 (平成 21 年 1 月)
8	各需要分野に係る出荷量の業種別構成比(%)	平成17年產業連関表(総務省、平成21年3月)

① 需要分野別・塗料種類別全国出荷量

(社)日本塗料工業会が塗料を製造する会社に対し実施した平成19年度の実績結果が利用可能である(表 2-5)。これらの値は全国の塗料出荷量をほぼカバーしていると考えられている。平成19年度の塗料の輸入量は約45千t(財務省・貿易統計による)であるが、本調査の出荷量合計(H19;約1,580千t)の約3%に過ぎないことより、同工業会における調査値を平成19年度の全国出荷量とする。平成20年度排出量の算出にあたり、最新データが入手できないことから、平成19年度出荷量に対して化学工業統計年報(経済産業省)における塗料品種別出荷量の伸び率(H19→H20)を乗じることで年次補正を行い、平成20年度出荷量とみなす。なお、塗料品種別出荷量の伸び率は75%~103%である。

表 2-5 需要分野別・塗料種類別の全国出荷量(平成 20 年度)

							I	H20年度と	出荷量(t/4	年)			
			塗料種類	建築資材	船舶	自動車	自動車 補修	電気機械	機械	金属製品	木工製品	左記以外	合計
ラッ	カー	•		243		153	2,034	642	1,002	1,792	2,473	5,082	13,420
電	え絶)	<u> 縁塗料</u>						38				29	67
			ワニス・エナメル	605	104	2,281	877	483	8,226	16,426	101	5,800	34,903
		アルキド	調合ペイント	61	3,569	1	19	43	353	732		22,938	27,717
		樹脂系	さび止めペイント	505	1,037	541	5	549	7,419	718		19,028	29,801
			さび止ペイント ハイソリッド	387	2,113	7	3	100	1,083	394		24,549	28,635
		アミノアルキ		1,687		22,704	27	6,072	9,985	27,012	54	519	68,059
		アクリル	常温乾燥型	2,322	1,694	5,331	4,689	3,987	992	608	403	26,476	46,502
		樹脂系	焼付乾燥型	2,479		22,614	1	3,994	907	3,814	49	3,850	37,707
	溶		焼付乾燥型(ハイソリッド)	3		8,358		66	10	161		383	8,980
	剤	エポキシ	一般	725	25,868	3,598	157	1,804	3,753	12,317		29,133	77,355
_	么	樹脂系	ハイソリッド	11	40,602	288		219	250	178		14,222	55,772
合	213	ウレタン樹	脂系	6,155	985	17,480	15,292	3,019	9,277	1,697	9,252	53,766	116,924
成		不飽和ポリ	エステル樹脂系	5	176	1,989	1,646	539	566	801	2,720	3,654	12,097
樹		船底塗料	一般	7	23,369			42	19	17		1,302	24,757
脂			ハイソリッド		7,186							723	7,909
系			ビニル樹脂	1,308	159	132		31	75	1,052	2	2,569	5,328
		その他の	塩化ゴム系	48	8,729	28		1	3	9		1,378	10,195
		溶剤系	シリコン・フッ素樹脂	900	84	39	2	39	227	836		8,671	10,945
			その他の塗料	2,424	1,007	7,720	336	1,980	325	13,163	2,158	35,535	64,649
	水	エマルショ	ンペイント	33,318	150	4,944	1,651	27	88	2,904	509		159,979
	※ 系	厚膜型エマ		1,253		22	2	1	10	1		152,348	153,637
	213	水性樹脂系	系塗料	22,086	712	118,269	429	2,265	3,156	19,702	654	25,116	192,390
	無	粉体塗料		927		1,570		12,112	2,728	10,071		2,033	29,442
	溶	トラフィック・										84,346	84,346
	溶 剤	エポキシ樹	エポキシ樹脂系無溶剤		241						22	3,685	3,952
			脂系無溶剤						116			18,858	18,974
	その他の塗料			3,576	16,191	25,384	1,632	326	238	4,398	1,042		163,999
塗料	4合	計		81,038	133,978	243,451	28,802	38,377	50,809	118,803	19,589	773,595	1,488,443

注1:(社)日本塗料工業会の調査(平成19年度実績;平成21年1月)に対し、塗料品種別出荷量(化学工業統計年報,経済産業省)の伸び率(H19→H20)を乗じた値である。

注2:本表は、対象業種の排出量の算定に必要な需要分野のみ抜粋しており、「合計」には「建築現場」「土木」等の需要分野を含まない。

② 需要分野別・塗料種類別の対象化学物質の標準組成

同工業会で主要な製品について調査した結果(平成19年度実績調査)が利用可能である。 需要分野別に塗料中に含まれる溶剤とシンナーにおける化学物質別の標準組成が設定され ている。ただし、PRTRの対象化学物質としては、エチルベンゼン、トルエン、キシレンの3物質 のみ把握されている。標準組成の例として「建築資材」に係るデータを表 2-6 に示す。

表 2-6「建築資材」の塗料種類別標準組成

					⊵料中の 含有率)		/ナー中 含有率	
				40	63	227	40	63	227
			塗料種類	・エ	キ	ト	、エ	キ	۱
				ンチル	シ	ルル	ンチル	シ	ルル
					レ	エ	$ \cdot \rangle / \nu $	レ	エ
				~ ベ	ン	ン	ノベ	ン	ン
_	カー				1%	9%		1%	32%
電気	え絶え	縁塗料							
			ワニス・エナメル	7%	15%	2%	23%	60%	11%
		アルキド樹	調合ペイント						
		脂系	さび止めペイント	5%	10%	2%	24%	46%	8%
			さび止ペイント ハイソリッド	2%	12%	9%		1%	
		アミノアルキ		5%	12%	2%	11%	18%	7%
		アクリル樹	常温乾燥型	2%	9%	16%	8%	20%	31%
		脂系	焼付乾燥型	3%	13%	1%	4%	14%	7%
	溶		焼付乾燥型(ハイソリッド)	1%	7%		4%	21%	12%
	剤	エポキシ	一般	3%	14%	4%	7%	17%	17%
	系	10 474 [7 1]	ハイソリッド	2%	5%		15%	72%	2%
合	//\	ウレタン樹屋		3%	11%	5%	2%	8%	8%
成		不飽和ポリ	エステル樹脂系						
樹		船底塗料	一般	4%	9%	7%	21%	39%	
脂		/10/20 11	ハイソリッド						
系			ビニル樹脂	1%	7%	15%		1%	50%
			塩化ゴム系	13%	20%		21%	47%	
		溶剤系	シリコン・フッ素樹脂	7%	15%	2%	8%	17%	16%
			その他の塗料	1%	5%	3%	10%	24%	24%
	水	エマルション							
	系	厚膜型エマ							
	\\\	水性樹脂系	養料						
	無	粉体塗料							
	溶溶	トラフィック・							
	剤		脂系無溶剤						
	, , ,		脂系無溶剤						
その)他(の塗料			1%		2%	10%	10%

資料:社団法人日本塗料工業会(平成21年1月)

③ 需要分野別・塗料種類別のシンナー希釈率

シンナー希釈率についても塗料種類別に標準値が設定されているため、平成 19 年度実績調査の結果が利用可能である(表 2-7)。ただし、シンナー希釈率とは以下の式で定義される値である。

シンナー希釈率(%) = 使用段階で加えるシンナーの重量(kg) 希釈前の塗料の重量(kg)

①~③により塗料及びシンナーに含まれる対象化学物質(エチルベンゼン、キシレン、トルエン)の量が算出できる。

表 2-7 需要分野別・塗料種類別のシンナー希釈率

				需	要分野	引のシン	ナー希別	沢率(H1	9年度第	E 績調査	()
		塗料	種類	建築 資材	船舶	自動車(新車)	自動車 補修	電気 機械	機械	金属 製品	木工 製品
ラッ	カー	•		18%	1%	79%	40%	41%	62%	61%	62%
電気	え絶)	縁塗料						6%			
			ワニス・エナメル	8%	12%	9%	28%	11%	24%	11%	18%
		アルキド	調合ペイント	7%	5%	15%	4%	8%	16%	12%	
		樹脂系	さび止めペイント	6%	5%	2%	1%	8%	22%	22%	
		18171071	さび止め ペイントハイソリット	10%	5%	1%		7%	14%	10%	
		アミノアル	キド樹脂系	22%		16%	20%	24%	20%	22%	23%
			常温乾燥型	44%	5%	45%	56%	42%	24%	28%	8%
		アクリル	焼付乾燥型	25%		51%	30%	30%	18%	28%	10%
	溶剤系	樹脂系エポキシ	焼付乾燥型	8%		19%		16%	10%	18%	
			(ハイソリッド)								
			一般	9%	8%	22%	13%	24%	20%	13%	
合			ハイソリッド	5%	5%	10%		12%	9%	11%	
成		ウレタン樹		12%	8%	53%	52%	26%	24%	22%	39%
樹		个飽和ボ!	リエステル樹脂系	2%	3%	6%		32%	3%	14%	11%
脂		船底塗料	一般		5%			10%	14%	10%	
系		加及至作	ハイソリッド	1.00/	4%	·		2.40	0.=0/	201	= 00/
		7 0 114 0	ビニル樹脂	10%	11%	17%		34%	35%	6%	50%
		-	塩化ゴム系	8%	5%	15%	0.07	10%	9%	10%	1.00/
		溶剤系	シリコン・フッ素樹脂	8%	3%	20%	9%	13%	13%	10%	16%
		エマルショ	その他の塗料	53%	8%	32%	48%	26%	30%	9%	20%
	水	厚膜型エ									
	系	水性樹脂:									
		粉体塗料	术坐付								
	無	トラフィック	ペかふ								
	溶		・シーント 対脂系無溶剤								
	剤		脂系無溶剤								
70	L り組で	<u>ワレクス 樹</u> D途料	加州市	7%	8%	4%	1%	8%	20%	11%	6%
((기반	ソ学門		1 /0	U /0	1 /0	1 /0	O /0	40/0	11/0	U /0

資料:社団法人日本塗料工業会(平成21年1月)

④ 塗料メーカーにおける対象化学物質別の使用量

(社)日本塗料工業会では塗料メーカーにおける対象化学物質の取扱量の調査(平成 16 年度実績)を行っており、それらを平成 16 年度の原材料使用量とみなすことで、エチルベンゼン等の3物質以外は、このデータによる推計が可能である。

平成20年度排出量の推計では、溶剤としての使用量が多い1,3,5-トリメチルベンゼンのみ推計対象とする。平成20年度の使用量は平成16年度の使用量(4,289t/年)に対し年次補正を行った値とする。使用量の伸び率は化学工業における当該物質の届出排出量の伸び率(平成16年度→平成20年度;78%)と同じと仮定する。なお、この原材料使用量には建築工事業などの非対象業種や家庭(以下「非点源」という。)で使用される量も含まれているため、それを差し引いた値を対象業種における使用量とみなす。

⑤ 非点源における使用量の推計値(1.3.5-トリメチルベンゼン)

1,3,5-トリメチルベンゼンの推計には塗料メーカーの全国使用量を補正したデータ(前述④)を使用する。非点源における使用量の推計例(一部の塗料種類を抜粋)を表 2-8 に示す。 土木工事業及び家庭における使用量も同様に算出し(表 2-9)、それらを全需要分野の全国使用量から差し引くことで、対象業種に限った全国使用量が推計される(表 2-10)。

表 2-8 非点源における使用量推計の例(建築工事業;平成20年度)

塗料種類	全国出荷量 (t/年) (a)	標準組成 (b)	当該物質の 使用量(t/年) =(a)×(b)
ワニスエナメル	3,183	0.9%	28
調合ペイント	16,049	0.1%	22
ウレタン樹脂系	38,462	0.05%	19

注1:出荷量等は(社)日本塗料工業会(平成21年1月)に基づく数値を、化学工業統計年報(経済産業省)の塗料品種別出荷量の伸び率(H19→H20)にて補正。

注2: 本表は一部の塗料種類の例であるため、合計値が表 2-9とは一致しない。

表 2-9 非点源における使用量の推計値(平成 20 年度)

物質 番号	対象化学物質名	使用量 (t/年)	使用される業種等
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	339	建築工事業、土木工事業、家庭

表 2-10 全国使用量の推計結果(平成20年度)

物質		全国使用量(t/年)							
番号	対象化学物質名	全需要分野 (a)	非点源 (b)	対象業種 =(a)-(b)					
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	3,361	339	3,022					

注1:全需要分野合計の全国使用量は(社)日本塗料工業会の調査を年次補正(④参照)した。

注2: 非点源の全国使用量は表 2-9 の再掲。

⑥ 需要分野別の大気への平均排出率

大気への排出率は事業所における排ガス処理等の状況により異なる。(社)日本塗料工業会が需要分野別に設定した数値を引用することとする(表 2-11)。

表 2-11 需要分野別の大気への平均排出率

需要分野	平均排出率
建築資材	91%
船舶	100%
自動車(新車)	74%
自動車補修	94%
電気機械	85%
機械	92%
金属製品	62%
木工製品	94%

注:平均排出率は(社)日本塗料工業会による

⑦ 各需要分野に係る出荷量の業種別構成比

算出した需要分野別の排出量を業種別の排出量に再区分する必要がある。その指標として産業連関表(産出表)の生産者価格を用いた。各需要分野における出荷量の業種別の構成比は「塗料」に係る生産者価格に比例するものとし、排出量もその比率と同様に配分した(表 2-12)。表 2-12より算出した構成比を業種別にまとめた結果は表 2-13である。

表 2-12 では需要分野が複数の業種に亘る場合のみ示していたが、表 2-13 では推計対象とした全ての需要分野について示している。

「その他」の需要分野では、該当する業種の特定が現時点で困難と判断されたため、推計の対象外とした。

なお、自動車、電気機械等のプラスチック部品に使用される塗料の一部は、「自動車(新車)」等の需要分野の出荷量の一部として調査されている。このような塗料は、実際にはプラスチック製品製造業で使用されている場合が多いと考えられるが、塗料の出荷量として再配分することが困難である。したがって、プラスチック製品製造業で使用される量については、自動車(新車)、電気機械等に対応した業種(輸送用機械器具製造業、電気機械器具製造業等)の一部に含めた値として推計することとする。

表 2-12 産業連関表の関連項目と業種別排出量への配分比率

	産業連関表		(社) [本塗料	斗工業会	会の需要	要分野		業種•中分類
	項目	生産者価格 (百万円)	建築資材	電気機械	機械	金属製品	大製品 工品	ц т Г	業種名
1619-09	(製材・合板除く)その他の木製品	9,410					37%	1600	 木材·木製品製造業
1711-01		15,901					63%	1000	717777300000000000000000000000000000000
1711-02	木製建具	4,706	13%				0070	1700	家具·装備品製造業
1711-03	金属製家具•装備品	12,798				21%			
2211-01	プラスチック製品	5,094						2200	プラスチック製品製造業
2523-01	セメント製品	1,753	5%					2500	窯業・土石製品製造業
2623-02	めっき鋼材	4,803				8%		2600	鉄鋼業
2721-01	電線・ケーブル	4,717				8%		2700	非鉄金属製造業
2721-02	光ファイバーケーブル	2,135				3%		2100	列歇亚州农运术
2811-01	建設用金属製品	24,300	70%						
2812-01	建築用金属製品	4,114	12%			00/			
2891-01	ガス・石油機器、暖厨房機器	1,751				3% 2%		2000	△ 屋 制 口 制 \
2899-01	ボルト・ナット、リベット、スプリング 金属製容器、製缶板金製品	1,495						2800	金属製品製造業
2899-02 2899-03	配管工事附属品、粉末·金製品	18,591				30%			
2899-03 2899-09	では、 その他の金属製品	1,451 13,560				22%			
3012-01	運搬機器	1,899			3%	22/0			
3013-01	冷凍機、温湿調整器機	3,327		4%	5/0				
	ポンプ及び圧縮機	1,348		1/0	2%				
3019-02		1,016			2%				
3019-09		7,989			13%				
3021-01	建設•鉱山機械	4,745			8%				
3022-01		2,821			5%				
3023-01	産業用ロボット	2,853			5%			2900	一般機械器具製造業
3024-01	金属工作機械	6,147			10%			2000	AXIXIN III XXXXXX
3024-02	金属加工機械	3,164			5%				
3029-01	農業用機械	2,459			4%				
3029-04 3029-09		4,826			8% 7%				
3029-09	その他の一般機械器具及び部品	4,176 2,449			4%				
3111-09	その他の事務用機械	1,001		1%	470				
3112-02	サービス用機器	9,596		13%					
3211-01	回転電気機械	2,039		3%					
3211-03	開閉制御装置及び配電盤	6,812		9%					
3211-05	内燃機関電装品	3,063		4%					
3211-09	その他の産業用電気機器	2,077		3%					
3221-01	電子応用装置	2,436		3%					
3231-01	電気計測器	2,114		3%					
3241-01	電球類 電気照明器具	2,228		3%					
3241-02	电	2,900 3,175		4% 4%					
	その他の電気機械器具	4,283		6%					
	民生用電気機器(除エアコン)	3,635		5%				3000	電気機械器具製造業
3311-01		2,025		3%					
3311-02	電気音響機器	1,749		2%					
3311-03	ラジオ・テレビ受信機	1,030		1%					
3321-01	有線電気通信機器	3,049		4%					
3321-02	携帯電話機	3,432		5%					
3321-03	無線電気通信機器(除携帯電話機)	2,924		4%					
3331-01	パーソナルコンピュータ	3,341		4%					
3421-03 3421-09		2,387 4,441		3% 6%					
3621-01	鉄道車両	1,240		0%	2%				
3621-01		7,928			13%				
3622-01	航空機	1,495			2%			3100	輸送用機械器具製造業
	航空機修理	1,277			2%				
	その他の輸送機械	1,977			3%				
3719-02	分析機·試験器·計測器	1,245		2%				3200	精密機械器具製造業
	合計		100%	100%	100%	100%	100%		

注:平成17年産業連関表(総務省)に基づく。生産者価格が10億円以上の項目のみ抜粋し、本表では需要分野が複数の業種に亘る場合のみ抜粋している。

表 2-13 需要分野別出荷量の業種別出荷量への配分比率

	1600	1700	2500	2600	2700	2800	2900	3000	3100	3200	7700	
需要分野	************************************	製造業 家具•装備品	品製造業 ニ製造業	鉄 鋼 業	非	金属製品製	具製造業一般機械器	具製造業電気機械器	器具製造業 輸送用機械	具製造業精密機械器	自動車整備	△□ 計
建築資材		13%	5%			81%						100%
船舶									100%			100%
自動車(新車)									100%			100%
自動車補修											100%	100%
電気機械							19%	80%		2%		100%
機械							77%		23%			100%
金属製品		21%		8%	11%	60%						100%
木工製品	37%	63%										100%

注:小数点以下を四捨五入しているため、本表の表記では合計値が100%となっていない場合がある。

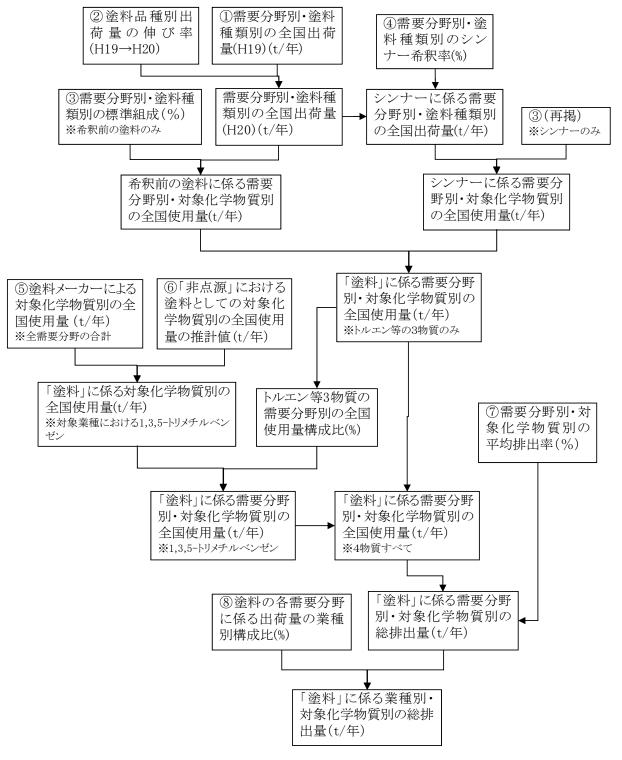
業種別の総排出量の推計値を表 2-14 に示す。なお、表 2-10 にて算出した対象業種合計の原材料使用量は、エチルベンゼン等3物質の使用量の合計に比例するものとして各需要分野に配分した後、排出率等を考慮して業種別の排出量として集計した。

表 2-14 塗料に係る総排出量の推計結果(平成20年度)

			総	排出量(t/年	Ξ)			
業種	業種名	40	63	224	227			
コード	未怪石	エチル ベンゼン	キシレン	1,3,5-トリメチ ルベンゼン	トルエン	合 計		
1600	木材•木製品製造業	44	166	15	305	530		
1700	家具•装備品製造業	655	1,727	104	1,160	3,646		
2500	窯業•土石製品製造業	42	133	8	92	276		
2600	鉄鋼業	176	408	22	149	754		
2700	非鉄金属製造業	251	582	31	212	1,076		
2800	金属製品製造業	2,030	5,294	293	2,639	10,256		
2900	一般機械器具製造業	2,453	6,572	325	2,017	11,367		
3000	電気機械器具製造業	692	1,812	109	1,208	3,822		
3100	輸送用機械器具製造業	9,456	25,062	1,314	10,135	45,967		
3200	精密機械器具製造業	15	38	2	25	80		
7700	自動車整備業	1,197	5,213	304	3,936	10,651		
合 計		17,010	47,008	2,528	21,878	88,424		

Ⅲ 推計フロー

塗料に係る総排出量の推計フローを図 2-2 に示す。図中の①~⑧の番号は表 2-4 に示す同じ番号に対応している。



注:⑤は平成16年度のデータを届出排出量の伸び率(H16→H20)と同じであると仮定して、排出年度のデータに年次補正。

図 2-2 塗料に係る総排出量の推計フロー

2-2-2 接着剤等

I 推計対象とする排出

本項目では接着剤の事業所での使用段階における排出、粘着剤及び粘着テープ類等の製造工程で使用される剥離剤からの対象化学物質の排出量を推計する。一般的に接着剤は溶剤が含有された状態で出荷され、合板の製造工場などの接着剤の使用場所にて主に排出される。一方粘着剤については、粘着テープ類の製造工程で溶剤とともに用いられ、溶剤は粘着テープ類の製造工場にて排出されるため、粘着テープ類としての製品の使用場所での排出はないと考えられている。また、粘着テープ類の製造工程では剥離剤や前処理剤も併せて使用されており排出量データとして薬剤種類別に把握されてはいない。したがって、粘着剤以外の剥離剤や前処理剤に由来する排出量も本項目に含まれるものとする。

平成19年度と同様の表2-15に示す情報源に基づき推計を実施する。

2 % HVM 4 - 1 MMH (14 0)					
排出源の 詳細	データのカバーする範囲	データの入手先	対象化学物質		
	接着剤(ポリエチレンラミネート用を除く)の需要先での使用	日本接着剤工業会	キシレン トルエン		
接着剤	接着剤(ポリエチレンラミネート用)の需要先での使用	日本ポリエチレンラミネート 製品工業会	トルエン		
	接着剤(塩化メチレンに限る)の需要 先での使用	クロロカーボン衛生協会	塩化メチレン		
	粘着テープ類の製造に係る粘着剤・ 剥離剤等(下記を除く)の使用	日本粘着テープ工業会	キシレン トルエン		
粘着剤・ 剥離剤等	粘着テープ類の剥離紙製造に係る剥 離剤の使用	日本製紙連合会	キシレン トルエン		
	ポリエチレンラミネート製品の製造に 係る粘着剤・剥離剤等の使用	日本ポリエチレンラミネート 製品工業会	トルエン		

表 2-15 接着剤等の推計に用いるデータ

[※]粘着テープ類等の製造工程では粘着剤以外にも剥離剤や前処理剤等として溶剤が使用されており排出量を 薬剤種類により区別することは困難である。したがって、粘着剤以外の薬剤も本項目に含まれる。

Ⅱ 推計に利用できるデータ

推計に利用可能なデータは表 2-16 のとおりである。

表 2-16 接着剤等の推計で利用可能なデータの種類(平成 20 年度)

	データの種類	資料名等
1	接着剤における対象化学物質別使用量 (t/年)(ポリエチレンラミネート用を除く)	日本接着剤工業会調べ(平成21年9月)
2	塩化メチレンの接着剤としての使用量 (t/年)	クロロカーボン衛生協会調べ(平成 21 年 5 月)
3	対象外業種における対象化学物質別排 出量(t/年)	第 8 回 PRTR 公表結果(経済産業省·環境省)
4	接着剤の業種別使用量(t/年)	取扱量調査(平成 18 年度及び平成 19 年度実績) (NITE)
(5)	ポリエチレンラミネート製品の製造における VOC 排出量(t/年)	日本ポリエチレンラミネート製品工業会調べ(平成 21 年 10 月)
6	粘着テープ類の製造における対象化学物 質別排出量(t/年)	日本粘着テープ工業会調べ(平成 21 年 10 月)
7	剥離紙製造における VOC 排出量(t/年)	「揮発性有機化合物(VOC)に関する自主行動計画フォローアップ調査結果」(日本製紙連合会) (平成21年9月)
8	粘着テープ類種類別出荷量(m²/年)	日本粘着テープ工業会調べ(平成 21 年 10 月)

① 接着剤等に係る全国排出量

(ア) 接着剤(ポリエチレンラミネート用を除く)

接着剤(ポリエチレンラミネート用を除く)の製造における主な溶剤の使用量が日本接着剤工業会の毎年の調査にて把握可能であり、PRTRの対象化学物質にはトルエン及びキシレンが該当する。調査結果の全国使用量に対する捕捉率は約7割と考えられているため、本推計では補正を行う。これらの溶剤は木材・木製品製造業等の接着剤の需要先にて排出されるが、一般的には需要先の事業所で排ガス処理等を行っていない場合が多いと考えられる(同工業会へのヒアリング調査による)ため、排出量は使用量に等しいと仮定する。さらに、建設業等からの排出量は非点源排出量として推計されているため、これらを差し引いた値を対象業種における総排出量とみなす。

表 2-17 接着剤(ポリエチレンラミネート用を除く)の総排出量の推計結果(平成20年度)

物質	物質名	全国使用量(t/年)		非点源排出量	総排出量
番号		補正前	補正後 (a)	(t/年) (b)	(t/年) =(a)-(b)
63	キシレン	1,905	2,843	105	2,738
227	トルエン	8,190	12,225	994	11,230
	その他(対象外)	24,402	36,421	<u>—</u>	_
合 計		34,497	51,488	_	_

注1:全国使用量(補正前)は日本接着剤工業会の接着剤製造事業所における排出量公表値及び排出率 (=1.05%)に基づく推計値。補正後の数値は調査のカバー率(67%)にて算出した数値。

注2: 非点源排出量は平成20年度排出量(公表資料)に基づく。

注3:日本接着剤工業会の調査と非点源排出量の推計対象物質の範囲は異なるため、その他(対象外)及び合計値の一部は「一」と表記した。

(イ) 接着剤(ポリエチレンラミネート用)及びポリエチレンラミネート製品の製造に係る粘着剤・ 剥離剤等

ラミネート用接着剤については、日本接着剤工業会の調査結果からは除外されており、日本ポリエチレンラミネート製品工業会の調査にて全国排出量が把握されている。また、ポリエチレンラミネート製品の製造に係る粘着剤・剥離剤等の排出量も同様である。これらの全量がポリエチレンラミネート製品を製造する工場(対象業種)での排出とみなす。接着剤と剥離剤等の内訳は、「揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ(環境省,H20)」によると、排出量に対し接着剤が約75%、粘着剤・剥離剤等が約20%である。また、日本ポリエチレンラミネート製品工業会の調査結果はVOC合計の数値で公表されているが、上記報告書によると内訳は酢酸エチル(約70%)、トルエン(約15%)であり、その他はメチルエチルケトン、イソプロパノール等である。本推計では、この情報に基づきトルエンのみ推計対象とする。

表 2-18 接着剤(ポリエチレンラミネート用)等における総排出量(トルエン)の推計結果 (平成 20 年度)

推計内容等		排出量 (t/年)	
1	工業会における VOC 排出量公表値	8,821	
2	調査捕捉率(約35.3%)による①の補正値	24,989	
3	うち、接着剤等に係る排出量(②の 95%)	23,739	
4	うち、トルエンの総排出量(③の 15%)	3,561	

注1:表中②の調査捕捉率は日本ポリエチレンラミネート工業会による。

注 2:表中③の 95%とは排出量に対して、接着剤(75%)及び粘着剤・剥離剤等(20%)の需要分野が占める割合。

(ウ)接着剤(塩化メチレンに限る)

前述、(ア)で用いたデータでは塩化メチレンの使用量が把握されていないが、クロロカーボン衛生協会の調査では接着剤の用途としての量が把握されているため、このデータに基づき、塩化メチレンの排出量を追加する。

なお、塩化メチレンが使用される接着剤種類や需要分野を特定する情報は得られておらず、非点源排出量においても推計されていないため、クロロカーボン衛生協会のデータの全量を対象業種にて使用したものと仮定する。また、他の接着剤の溶剤と同様に、全量が需要先で大気へ排出するものとみなす。

塩化メチレン(物質番号 145)の総排出量(平成 20 年度):3,217t/年

(エ) 粘着テープ類の製造における粘着剤・剥離剤等

粘着テープ類の製造における粘着剤・剥離剤等の排出については、日本粘着テープ工業会の排出量の調査結果が利用可能である。粘着剤等は一般的に粘着テープ類の製造工程において溶剤で希釈して用いる。日本粘着テープ工業会のデータには粘着剤の希釈に用いる溶剤に限らず剥離剤や前処理剤に使用する溶剤も含まれているが、排出量としての区分が困難であるため本調査でもそれらを含めて推計を行う。

同工業会の調査結果は次の通りであり、全国における調査捕捉率で補正を行った。排出量の全てを対象業種における排出量とみなす。

表 2-19 粘着剤等に係る総排出量の推計結果(粘着テープ類)(平成20年度)

物質	物質名	全国排出	物質別	
番号	柳貝石	補正前	補正後	構成比
63	キシレン	68	128	0.7%
227	トルエン	5,930	11,126	63%
	その他(対象外)	3,473	6,516	37%
	合 計	9,471	17,769	100%

注:補正後の数値は補正前の公表値を全国の同業種における捕捉率(53.3%)で補正した。

(オ) 剥離紙製造における剥離剤

前述、(エ)の日本粘着テープ工業会のデータでは捕捉されていないものとして、剥離紙製造における剥離剤による排出量が把握されている。日本製紙連合会の「揮発性有機化合物 (VOC)に関する自主行動計画フォローアップ調査結果」における排出量の約8割が剥離紙製造に係る剥離剤の使用に伴う排出である(「揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ,環境省,H21」による)。

同連合会の調査結果は VOC 合計排出量であり物質別の数値は公表されていない。そのため、物質別の内訳は前述、(エ)の日本粘着テープ工業会の物質別構成比と同一と仮定した。なお、日本製紙連合会の調査結果は同業種における全国排出量をほぼ全て網羅していると考えられているため調査結果の補正は行わない。

表 2-20 剥離剤(剥離紙製造)に係る総排出量の推計結果(平成 20 年度)

物質	物質名	全国の総排出量(t/年)		
番号	物貝石	公表値	うち剥離剤	
63	キシレン	24	19	
227	トルエン	2,104	1,684	
	その他(対象外)	1,232	986	
合 計		3,361	2,689	

注 1: 「公表値」は「揮発性有機化合物(VOC)に関する自主行動計画フォローアップ調査結果」日本製紙連合会(平成 20 年度実績)に基づく。

注2:剥離剤は公表値の8割と仮定した。

注3:物質別の内訳は表 2-19 の物質別構成比と仮定した。

(カ) 前述(ア)~(オ)のまとめ

前述、(ア)~(オ)で推計した対象化学物質別の総排出量の推計結果は表 2-21 の通りである。

表 2-21 接着剤等に係る総排出量の推計結果(平成20年度)

物質 番号	物質名	総排出量 (t/年)
63	キシレン	2,885
145	塩化メチレン	3,217
227	トルエン	27,600
	合 計	33,702

② 総排出量の業種への配分

前述①で推計した総排出量を業種別排出量に配分する。その考え方の概要は次の通りである。

表 2-22 接着剤等に係る業種配分の考え方

排出源 の詳細	推計範囲	業種配分の考え方
	接着剤(ポリエチレンラミネート用を除く)	「取扱量調査;H18・H19実績(NITE)」の「接着剤」 「粘着剤」の用途における排出量の業種別構成 比と同じとみなす
接着剤	接着剤(ポリエチレンラミネート用)	ポリエチレンラミネート製品の製造に係る事業所 のため「プラスチック製品製造業」とみなす
	接着剤(塩化メチレンに限る)	「接着剤(ポリエチレンラミネート用を除く)」と同様
粘着剤・ 剥離剤等	粘着テープ類の製造に係る粘 着剤・剥離剤等	粘着テープ種類の基材に応じて業種を仮定。排 出量は粘着テープ種類別の出荷量に比例するも のと仮定
	剥離紙製造に係る剥離剤	「剥離紙」の製造工程に係るため「パルプ・紙・紙加工品製造業」とみなす
	ポリエチレンラミネート製品の製造に係る粘着剤・剥離剤等	「接着剤(ポリエチレンラミネート用)」と同様に「プラスチック製品製造業」とみなす

(ア)「接着剤(ポリエチレンラミネート用を除く)」等の配分の方法

接着剤(ポリエチレンラミネート用を除く)は、様々な需要分野(業種)に亘ることが考えられるため、「取扱量調査;H18・H19 実績(NITE)」の「接着剤」「粘着剤」の用途における排出量の業種別の構成比に従うものとした(表 2-23)。塩化メチレンについても特に情報がないことから、同様の配分方法とする。なお、表 2-23 の「取扱量調査;H18・H19 実績(NITE)」の集計は配分の対象物質となる「塩化メチレン」「キシレン」「トルエン」の 3 物質に限ったものである。

表 2-23 接着剤・粘着剤の業種別排出量及びその構成比

業種		3 物質の合計(取扱量調査)					
コード	業種名	データ 件数	取扱量 (kg/年)	排出量 (kg/年)	排出量 構成比		
1400	繊維工業	7	41,135	21,007	1%		
1600	木材·木製品製造業	22	244,395	164,312	11%		
1700	家具·装備品製造業	19	128,664	97,528	6%		
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	55	86,003	63,852	4%		
1900	出版·印刷·同関連産業	27	71,294	24,535	2%		
2000	化学工業	4	73,049	5,480	0.4%		
2100	石油製品·石炭製品製造業	7	668	634	0.04%		
2200	プラスチック製品製造業	37	869,192	257,676	17%		
2300	ゴム製品製造業	51	714,986	554,624	36%		
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	15	19,825	12,702	1%		
2500	窯業·土石製品製造業	17	118,219	105,679	7%		
2600	鉄鋼業	1	680	646	0.04%		
2700	非鉄金属製造業	5	9,712	6,495	0.4%		
2800	金属製品製造業	14	99,640	93,056	6%		
2900	一般機械器具製造業	17	17,040	1,347	0.1%		
3000	電気機械器具製造業	71	66,327	49,966	3%		
3100	輸送用機械器具製造業	50	88,793	59,573	4%		
3200	精密機械器具製造業	10	6,015	3,282	0.2%		
3400	その他の製造業	21	21,094	9,434	1%		
3900	鉄道業	6	1,113	190	0.01%		
4400	倉庫業	1	2,508	1,505	0.1%		
7700	自動車整備業	5	234	122	0.01%		
7810	機械修理業	1	1	0.00001	0.000%		
	合 計	463	2,680,584	1,533,643	100%		

注1;取扱量調査;H18・H19 実績(NITE)の「接着剤」「粘着剤」の用途における集計結果に基づく。 注2;キシレン、塩化メチレン、トルエンの3物質に限った集計結果である。

表 2-24 接着剤(ポリエチレンラミネート用を除く)における業種別総排出量 (平成 20 年度)

	(十)及 20	ı	年)		
		63	145	227	
	業種	キ	メ塩	٢	合 計
		シレ	チレ	ルエ	
		ン	ン化	ン	
1400	繊維工業	38	44	154	235
1600	木材·木製品製造業	293	345	1,203	1,841
1700	家具·装備品製造業	174	205	714	1,093
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	114	134	468	715
1900	出版·印刷·同関連産業	44	51	180	275
2000	化学工業	10	11	40	61
2100	石油製品•石炭製品製造業	1	1	5	7
2200	プラスチック製品製造業	460	540	1,887	2,887
2300	ゴム製品製造業	990	1,163	4,061	6,215
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	23	27	93	142
2500	窯業·土石製品製造業	189	222	774	1,184
2600	鉄鋼業	1	1	5	7
2700	非鉄金属製造業	12	14	48	73
2800	金属製品製造業	166	195	681	1,043
2900	一般機械器具製造業	2	3	10	15
3000	電気機械器具製造業	89	105	366	560
3100	輸送用機械器具製造業	106	125	436	668
3200	精密機械器具製造業	6	7	24	37
3400	その他の製造業	17	20	69	106
3900	鉄道業	0.3	0.4	1	2
4400	倉庫業	3	3	11	17
7700	自動車整備業	0.2	0.3	1	1
7810	機械修理業	0	0	0	0
	合計 (2011-71) (224-1824) 1824 (401-71) (224-1824)	2,738	3,217	11,230	17,185

注1:接着剤(ポリエチレンラミネート用を除く)及び塩化メチレンの総排出量を表 2-23の構成比に従い配分した結果。

注2:機械修理業の排出量は 1kg/年未満であるため、「ゼロ」と表記した。

(イ) 粘着テープ類の製造に係る粘着剤・剥離剤等

粘着テープ類については、テープ種類により溶剤の使用状況が異なるということが把握されているものの、排出量における寄与率等が定性的には把握されていない。したがって、本推計では排出量はテープ種類別の出荷量に比例するものと仮定した。

表 2-25 粘着テープ類の出荷量及び業種との対応(平成20年度)

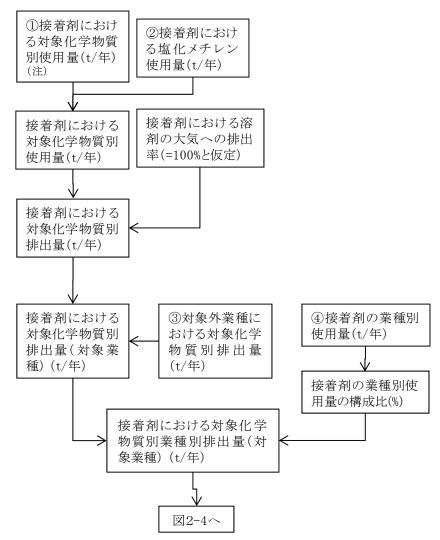
テープ種類	主な基材	出荷量 (千 m2)	構成 比	対応する業種
紙粘着テープ	紙	437,036	40%	パルプ・紙・紙加工品製造業
布粘着テープ	布•不織布	141,015	13%	繊維工業
フィルム粘着テープ	プラスチックフィルム	410,441	38%	プラスチック製品製造業
特殊粘着テープ	不織布	63,990	6%	繊維工業
粘着シート類	紙・布・プラスチック フィルム	33,913	3%	上記3業種 ※同じ割合と仮定
合 計		1,086,395	100%	

表 2-26 粘着テープ類における排出量構成比及び排出量(平成 20 年度)

			排出量(t/年)				
	業種	排出量の 構成比	63	227	Λ ∌I.		
		1冊7以上 "	キシレン	トルエン	合 計		
1400	繊維工業	20%	25	2,215	2,241		
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	41%	53	4,591	4,644		
2200	プラスチック製品製造業	39%	50	4,319	4,369		
合 計		100%	128	11,126	11,253		

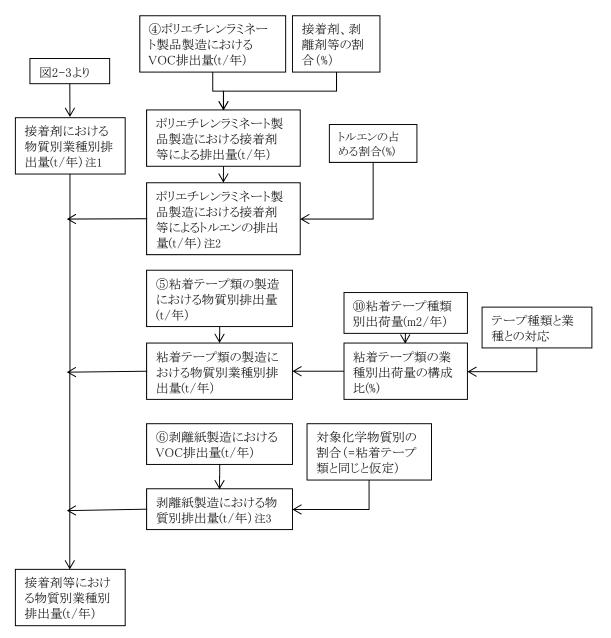
Ⅲ 推計フロー

接着剤等に係る総排出量の推計フローを示す。なお、図中の番号は表 2-16 に対応している。



注:トルエン、キシレンが対象であり、ポリエチレンラミネート用を除く。

図 2-3 接着剤等に係る総排出量の推計フロー(その1)



注 1:ポリエチレンラミネート用を除く。

注 2:全量を「プラスチック製品製造業」からの排出とみなす。

注3:全量を「パルプ・紙・紙加工品製造業」からの排出とみなす。

図 2-4 接着剤等に係る総排出量の推計フロー(その2)

IV 総排出量の推計結果

接着剤等に係る平成20年度の総排出量の推計結果を示す。

表 2-27 接着剤等における排出量の試算結果(総排出量;平成20年度)

		総排出量(t/年)						
		63	145	227				
	業 種	キ	塩	7	合			
	术 恒	シ	化メ	ル	計			
		u	化メチレン	工	μΙ			
		ン	シ	ン				
1400	繊維工業	63	44	2,369	2,476			
1600	木材·木製品製造業	293	345	1,203	1,841			
1700	家具·装備品製造業	174	205	714	1,093			
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	186	134	6,743	7,062			
1900	出版・印刷・同関連産業	44	51	180	275			
2000	化学工業	10	11	40	61			
2100	石油製品•石炭製品製造業	1	1	5	7			
2200	プラスチック製品製造業	510	540	9,767	10,817			
2300	ゴム製品製造業	990	1,163	4,061	6,215			
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	23	27	93	142			
2500	窯業•土石製品製造業	189	222	774	1,184			
2600	鉄鋼業	1	1	5	7			
2700	非鉄金属製造業	12	14	48	73			
2800	金属製品製造業	166	195	681	1,043			
2900	一般機械器具製造業	2	3	10	15			
3000	電気機械器具製造業	89	105	366	560			
3100	輸送用機械器具製造業	106	125	436	668			
3200	精密機械器具製造業	6	7	24	37			
3400	その他の製造業	17	20	69	106			
3900	鉄道業	0.3	0.4	1	2			
4400	倉庫業	3	3	11	17			
7700	自動車整備業	0.2	0.3	1	1			
7810	7810 機械修理業		0	0	0			
	合 計	2,885	3,217	27,600	33,702			

注:機械修理業の排出量は 1kg/年未満であるため、「ゼロ」と表記した。

2-2-3 印刷インキ

I 推計対象とする排出

印刷業などが使用する印刷インキとその希釈溶剤からの排出を推計対象とする。印刷インキに含まれる対象化学物質のうち使用実態が把握できる溶剤(エチルベンゼン、キシレン、トルエン)について推計した。

Ⅱ 推計に利用できるデータ

推計に利用できるデータは表 2-28 のとおりである。

表 2-28 印刷インキの推計で利用可能なデータの種類(平成 20 年度)

	データの種類	資料名等		
1	印刷インキ種類別の全国出荷量(t/年)	平成 20 年化学工業統計年報(経済産業省)		
2	同業他社向け(印刷インキ用)出荷量の割合	平成 17 年産業連関表		
2)	(%)	千成 17 千座未座		
3	需要分野別の出荷量構成比(%)	(松務有、平成 21 平 3 月)		
4	印刷インキ種類と需要分野の対応	印刷インキ工業会(平成 18 年 11 月)		
(5)	対象化学物質別の全国使用量(t/年)	印刷インキ工業会(平成21年10月)		
6	印刷インキ種類別の VOC 使用量及び排出	日本印刷安娄浦入入(亚成 21 年 10 月)		
0	量(t/年)	日本印刷産業連合会(平成21年10月)		

① 印刷インキ種類別の全国出荷量

対象化学物質の全国使用量(上記⑤)は需要分野別や印刷インキ種類別の内訳が不明であるため、上記①~④のデータを組み合わせて内訳を推計する必要がある。

その推計に使うデータの一つが化学工業統計年報による出荷量データであり(表 2-29)、 印刷インキ種類別の内訳が示されている。これには同業他者(印刷インキ用)向けの数量も含まれているため、ユーザーに消費される正味の出荷量として補正が必要である(②にて後述)。

表 2-29 印刷インキ種類別の全国出荷量

印別かみ新	全国出荷量(t/年)			
印刷インキ種類	重複あり	重複なし		
平版	178,466	171,327		
樹脂凸版	24,224	23,255		
金属印刷	15,635	15,010		
グラビア	158,325	151,992		
その他一般インキ	51,616	49,551		
新聞	63,323	60,790		
合 計	491,589	471,925		

注1:「重複あり」は平成20年化学工業統計年報(経済産業省)による。

注2:「重複なし」とは、化学工業統計年報の値より一律に4%除外した値(②参照)。

② 同業他社向け(印刷インキ用)の全国出荷量の割合

化学工業統計の全国出荷量には、ユーザーに消費される最終製品以外に、同業他社向けに「印刷インキ用」として出荷される量も含まれているため、重複を除く必要がある。その割合を算出するために産業連関表を使用した。産業連関表(産出表)の「印刷インキ」に係る生産者価格では、国内需要300,121百万円のうち12,192百万円が「印刷インキ用」として使用されている。これより、印刷インキ種類にかかわらず4%(=12,192/300,121)の量が重複分であるとした。

なお、塗料等の出荷量に係る統計では同様の重複は排除されている。

③ 需要分野別の全国出荷量構成比

表 2-29 と併せて印刷インキ種類別・需要分野(業種)別の全国出荷量を算出するために、業種別構成比を産業連関表(産出表)より算出した。表 2-31 の需要分野に対応する産業連関表の項目とその生産者価格等を表 2-30 に示す。全国出荷量は生産者価格に比例すると仮定した。

表 2-30 産業連関表(産出表)の「印刷インキ」に係る生産者価格の構成比と業種との対応

文 1 00								
項目		生産者価格 (百万円)	構成 比	業種 コード	業種名			
1611-02	合板	1,569	0.5%	1600	木材·木製品製造業			
1821-01	段ボール箱	24,791	9%	1800	パルプ・紙・紙加工品製			
1821-09	その他の紙製容器	4,729	2%	1600	造業			
1911-01	印刷·製版·製本	190,573	66%					
7351-02	新聞	37,448	13%	1900	出版·印刷·同関連産業			
7351-03	出版	1,479	0.5%					
2211-01	プラスチック製品	6,685	2%	2200	プラスチック製品製造業			
2899-02	金属製容器及び製 缶板金製品	2,107	0.7%	2800	金属製品製造業			
2899-09	その他の金属製品	4,163	1%					
	上記以外	14,385	5%	3400	その他の製造業			
国内需要合計		287,929	100%					

注1:平成17年産業連関表(総務省)による。

注2:国内需要合計からは「印刷インキ」の項目を除いている。

④ 印刷インキ種類と需要分野の対応

印刷インキ種類と需要分野との対応関係は表 2-31 のとおりである。表 2-29~表 2-31 により化学工業統計年報より推定される印刷インキの単価を考慮して需要分野別・印刷インキ種類別の全国出荷量の推計を行った。その結果を表 2-32 に示す。

トルエン、キシレン、エチルベンゼンの対象化学物質はグラビアインキでのみ原材料や希 釈溶剤として使用されることから、トルエン等の使用量は表 2-32 の「グラビア」に係る需要分 野に全国出荷量の割合に応じて配分した。

表 2-31 印刷インキ種類と需要分野との対応

	需要分野									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
印刷インキ種類	・製 本制・製版	出版	新聞	段ボール	紙製容器の他の	プラスチック	製缶板金製品金属製容器及び	金属製品の他の	合板	その他
平版	0	0			0	0				0
樹脂凸版	0	0		0	0	0				0
金属印刷							0	0		0
グラビア	0	0			0	0			0	0
その他一般インキ	0				0	0	0	0	0	0
新聞			0							

出典:印刷インキ工業会(平成18年11月)

表 2-32 需要分野別・印刷インキ種類別の全国出荷量の推計結果(平成20年度;t/年)

`	需要分野										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
印刷インキ種類	印刷・製版・製本	出版	新聞	段ボール箱	その他の紙製容器	プラスチック製品	製缶板金製品金属製容器及び	その他の金属製品	合板	その他	合計
平版	152,533	1,356			3,785	5,351				8,303	171,327
樹脂凸版	0.09	0		23,255	0.002	0.003				0.005	23,255
金属印刷							2,727	5,389		6,894	15,010
グラビア	133,487	1,186			3,312	4,683			2,057	7,266	151,992
その他一般インキ	41,506				1,030	1,456	894	1,766	640	2,259	49,551
新聞			60,790								60,790
合 計	327,527	2,542	60,790	23,255	8,127	11,489	3,621	7,155	2,697	24,723	471,925

注1:本表は表 2-29~表 2-31 により推計した値である。

注 2:「0t/年」は 1kg/年未満の値を示す。

⑤ 対象化学物質別の全国使用量

印刷インキに使用される原材料使用量(平成19年度及び20年度)として、印刷インキ工業会による調査結果が利用可能である。同工業会によると、全国に占める会員企業の捕捉率は、生産量で98%(出荷額95%)と推計されており、また近年の輸入量は国内出荷量の1%にも満たないことから、同工業会による調査結果を全国使用量とみなすことは妥当と考えられる。

表 2-33 印刷インキの溶剤として使用された化学物質とその全国使用量

物質		全国使用	量(t/年)
番号	対象化学物質名等	平成 19 年度	平成 20 年度
40	エチルベンゼン	355	293
63	キシレン	611	512
227	トルエン	33,361	30,010
43	エチレングリコール	398	348
	酢酸エチル	29,048	28,025
	イソプロピルアルコール	21,541	19,948
対	メチルエチルケトン	20,572	19,121
象	酢酸ノルマルプロピル	6,249	6,994
外	メタノール	2,857	2,671
	プロピレングリコールモノメチルエーテル	1,603	1,650
	その他の揮発性有機化合物	11,461	10,621
	습 計	128,056	120,193

注1:印刷インキ工業会の調査による(希釈溶剤の数量を含む)。

注2:エチレングリコールはPRTRの対象化学物質であるが、本調査の推計対象とはしない。

⑥ 印刷インキ種類別の VOC 使用量及び排出量

金属印刷、新聞以外のデータについては、日本印刷産業連合会で調査したデータを用いて平均排出率を設定した。同連合会では印刷に係る VOC の使用量と排出量を調査及び推計により算出しており、本調査では、これらの比率を平均排出率とみなした。なお、平板、グラビアについては平成 20 年度時点のデータであり、樹脂凸版、その他一般インキについては平成 16 年時点でのデータである。

表 2-34 VOCの使用量等より推計した印刷インキ種類別の平均排出率(平成20年度)

印刷インキ種類	使用量 (t/年)	排出量 (t/年)	平均 排出率
平版	54,400	5,900	11%
樹脂凸版	4,281	0	0%
金属印刷	_	_	49%
グラビア	127,100	46,600	37%
その他一般インキ	500	457	91%
新聞	_	_	49%

注1:データの出典は下記のとおり。

- ・「平板」→日本印刷産業連合会の調査(平成21年10月)の「オフセット」のデータ
- ・「樹脂凸版」→日本印刷産業連合会の調査(平成 16 年 11 月)の「凸版枚葉」及び「凸版輪転」のデータ
- ・「グラビア」→日本印刷産業連合会の調査(平成21年10月)の「グラビア」のデータ
- ・「その他一般インキ」→日本印刷産業連合会の調査(平成16年11月)の「スクリーンインキ」のデータ

注2:「金属印刷」、「新聞」の平均排出率は「揮発性有機化合物排出に関する調査報告書(社団法人環境情報科学センター、平成15年3月)」による。

業種別の総排出量の推計結果を表 2-35 に示す。

表 2-35 印刷インキに係る総排出量の推計結果(平成20年度)

		総排出量(t/年)						
業種	業 種 名	40	63	227				
コード	未催力	エチル キシレン トルエン	合 計					
1600	木材•木製品製造業	1	2	140	144			
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	2	4	242	249			
1900	出版·印刷·同関連産業	96	168	9,866	10,131			
2200	プラスチック製品製造業	3	6	342	352			
3400	その他の製造業	4	7	411	422			
	合 計	107	188	11,003	11,298			

Ⅲ 推計フロー

印刷インキに係る総排出量の推計フローを図 2-5 に示す。

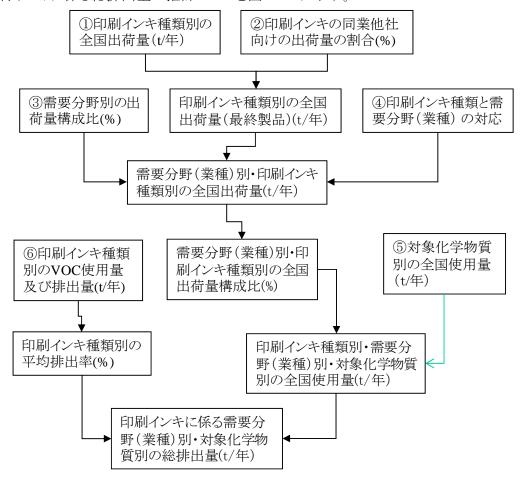


図 2-5 印刷インキに係る総排出量の推計フロー

2-2-4 工業用洗浄剤等

I 推計対象とする排出

金属部品を中心とする製造品は、しばしば洗浄槽を使って脱脂洗浄される。そのような工業 用洗浄剤には、塩素系炭化水素類や界面活性剤等が使われており、前者は主として洗浄槽からの蒸発によって大気へ排出され、後者は主として使用後の廃液として公共用水域等へ排出される。界面活性剤には洗浄剤以外の用途(例:繊維処理剤)もあるため、ここでは対象業種におけるすべての用途を「工業用洗浄剤等」と分類して推計対象とした。また、一般にクリーニング溶剤と呼ばれるものも、ここでは同様に「工業用洗浄剤等」に含めて推計することとした。

「工業用洗浄剤等」として推計対象とするのは、関係する業界団体から全国出荷量等のデータが得られた以下の対象化学物質とする。

分類	物質 番号	対象化学物質名	略称
华 丰秀	145	塩化メチレン	
塩素系 炭化水素類	200	テトラクロロエチレン	
灰化小糸板	211	トリクロロエチレン	
	24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の 炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混合物に限る)	LAS
	166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド	АО
界面活性剤	251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム=クロリド	DAC
が が 単位 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る)	AE
	308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル	OPE
	309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル	NPE

表 2-36 工業用洗浄剤等として推計する対象化学物質

Ⅱ 推計に利用できるデータ

界面活性剤の総排出量の推計に利用可能なデータを表 2-37 に示す。

表 2-37 工業用洗浄剤等の推計で利用可能なデータの種類(平成 20 年度)

	データの種類	資料名等
1	塩素系炭化水素類の用途別国内 需要量(t/年)	クロロカーボン衛生協会
2	塩素系炭化水素類の対象化学物 質別・業種別需要量(t/年)	工業用洗浄剤等の市場についての調査結果 (平成 20 年 11 月、経済産業省)
3	界面活性剤に係る需要分野別の 全国販売量(t/年)	日本石鹸洗剤工業会、日本界面活性剤工業会 (平成 21 年 9 月)
4	界面活性剤に係る業種別の生産 者価格(百万円/年)	平成 17 年産業連関表(総務省)
5	工業用洗浄剤等に係る対象化学 物質別の平均排出率(%)	取扱量調査;H18·H19 実績(NITE)

① 塩素系炭化水素類の用途別国内需要量

クロロカーボン衛生協会では、塩素系溶剤の製造業者である会員企業の出荷量データや経済産業省の生産統計等のデータに基づき、物質ごとの輸出入量や在庫量等も考慮して用途別の国内需要量を推計している。PRTRの対象化学物質として、工業用洗浄剤に関係するのは表 2-38 に示す 3 物質である。推計対象とする用途は、今回は脱脂洗浄とドライクリーニングの二つに限ることとした。

表 2-38 塩素系炭化水素類の用途別国内需要量(平成20年度)

物質		国内需要量(t/年)						
番号	対象化学物質名	脱脂洗浄	ドライクリー ニング	その他	合計			
145	塩化メチレン	19,308	-	40,722	60,030			
200	テトラクロロエチレン	1,994	2,843	20,283	25,120			
211	トリクロロエチレン	14,168	_	32,510	46,678			

資料:クロロカーボン衛生協会(平成21年)

注1:経済産業省生産統計や会員企業データに基づき、輸出入や在庫量等を考慮した推定値を示す。

注2:用途の「その他」には「製造原料」、「試薬」等が含まれる。

注3:用途の「その他」は排出実態が明確でないため、推計対象から除外した。

② 塩素系炭化水素類の対象化学物質別・業種別出荷量

表 2-38 に示す用途のうち、ドライクリーニングはすべて洗濯業に対応しているが、脱脂洗浄は様々な分野に対応する用途であり、分野別の内訳を把握する必要がある。その分野別の内訳に関しては、「工業用洗浄剤等の市場についての調査」(平成 20 年 11 月、経済産業省)の調査結果に基づいて設定した(表 2-39)。これは塩素系炭化水素の製造業者に対し、業種別の出荷量を調査したものであり、塩化メチレン等の 3 物質については全国の出荷量を網羅したものである。対象化学物質別・業種別の構成比に従い、全国使用量を業種に配分するものとする。ただし、「その他の業種」については、業種の特定が困難であるため、構成比の算出では除外する。

表 2-39 塩素系炭化水素類の分野別販売量(平成19年度実績の結果)

		業種	別出荷量(t	/年)		構成比	
業種	業種名	145	200	211	145	200	211
コード	未怪石	塩化メチ	テトラクロロ	トリクロロ	塩化メチ	テトラクロ	トリクロロ
		レン	エチレン	エチレン	レン	ロエチレン	エチレン
2600	鉄鋼業	9	497	1,387	0.05%	21.0%	8.8%
2700	非鉄金属製造業	1,917	191	996	9.7%	8.1%	6.3%
2800	金属製品製造業	10,491	548	3,308	53.3%	23.2%	21.0%
2900	一般機械器具製造業	1,978	282	2,075	10.0%	11.9%	13.2%
3000	電気機械器具製造業	3,330	373	3,308	16.9%	15.8%	21.0%
3100	輸送用機械器具製造 業	59	280	2,466	0.3%	11.9%	15.6%
3200	精密機械器具製造業	1,917	191	2,229	9.7%	8.1%	14.1%
	その他の業種	1,917	191	2,229	_	_	_
	合 計	21,618	2,553	17,998	100.0%	100.0%	100.0%

資料:「工業用洗浄剤等の市場についての調査」(平成20年11月、経済産業省)

注:構成比については、「その他の業種」を除く2600~3200の業種における構成比とする。

以上の結果を使い、工業用洗浄剤(塩素系炭化水素類)に係る業種別の全国使用量を推計した結果を表 2-40 に示す。塩化メチレン等の3物質で対象業種における全国使用量は、合計で約42千tと推計され、金属製品製造業や電気機械器具製造業における使用量が比較的多くなっている。

表 2-40 塩素系炭化水素類に係る業種別の全国使用量推計結果(平成20年度)

		全国使用量(t/年)						
業種	業種名	145	200	211				
コード	未 性和	塩化	テトラクロロ	トリクロロ	合 計			
		メチレン	エチレン	エチレン				
2600	鉄鋼業	10	537	1,583	2,130			
2700	非鉄金属製造業	2,104	206	1,137	3,447			
2800	金属製品製造業	11,512	592	3,776	15,880			
2900	一般機械器具製造業	2,170	305	2,368	4,844			
3000	電気機械器具製造業	3,654	403	3,776	7,833			
3100	輸送用機械器具製造業	65	303	2,815	3,182			
3200	精密機械器具製造業	2,104	206	2,544	4,854			
7210	洗濯業	10	537	1,583	2,130			
	合 計	21,618	2,553	17,998	42,169			

③ 界面活性剤に係る需要分野別の全国販売量

界面活性剤として使用される6物質は、日本石鹸洗剤工業会と日本界面活性剤工業会の会員企業等に対する調査結果により、対象化学物質別・需要分野別の全国販売量として把握することができる(表 2-41)。このデータは両工業会の会員企業(59 社)及び会員外(6 社)の界面活性剤製造会社を対象とするもの(回答率 100%)で、輸出入も考慮した数量であり、国内販売量を概ね正確に表したものと考えられる。

	表 2-41 外国佔性角に保る需要分野別の主国販売里(平成 20 年度)									
分野	電電八 昭	全国販売量(t/年)								
コード	需要分野	LAS	AO	DAC	AE	OPE	NPE			
1	食品工業	13	3	1	420		5			
2	繊維工業	87	4	17	1,625	5	308			
3	紙・パルプ工業	58	1	3	214	2	18			
4	ゴム・プラスチック工業	1,649	2	2	1,826	166	538			
5	皮革工業				4	2	197			
6	機械•金属工業	15	3	2	698	72	1,076			
7	情報関連産業	3			11	4	421			
8	クリーニング工業	119	1	60	495		58			
9	その他	58,802	4,211	304	105,593	615	2,321			
	合 計	60,746	4,225	389	110,886	866	4,942			

表 2-41 界面活性剤に係る需要分野別の全国販売量(平成20年度)

資料:日本石鹸洗剤工業会・日本界面活性剤工業会

注1:対象化学物質名は以下のように略称した。

- LAS:直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る)
- · AO:N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド
- DAC:ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム=クロリド
- ・ AE:ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る)
- · OPE:ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル
- ・ NPE:ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル

注2:需要分野の「その他」には家庭用や業務用等が含まれるが、対象業種には該当しないため推計対象外。

④ 界面活性剤に係る業種別の生産者価格

表 2-41 に示す全国販売量は需要分野ごとの数量であるため、需要分野と業種との対応 関係に基づき、業種別の販売量に換算する必要がある。需要分野と業種との対応関係は、 界面活性剤の各需要分野の定義(表 2-42)に基づいて設定することが可能である。両者の 対応関係を整理した結果を表 2-43 に示す。大半の業種が一つの需要分野に対応している が、電気機械器具製造業だけは「機械・金属工業」と「情報関連産業」の二つに対応している ため、業種分類を便宜上「電気機械器具製造業」と「情報通信・電子機器製造業」の二つに 分けて設定した(最終的には両者を統合)。

また、一つの需要分野が複数の業種に対応する場合は、平成 17 年産業連関表(総務省)の「産出表」に示された界面活性剤の需要分野別の生産者価格(表 2-44)に比例して業種別の販売量を推計した。

以上のデータを使って推計した工業用洗浄剤等(界面活性剤)に係る全国使用量を表 2-45 に示す。6物質の合計で約10千tであり、繊維工業、ゴム製品製造業等が多くなっている。

表 2-42 界面活性剤に係る需要分野の定義

	需要分野	定 義
1	食品工業	食品加工設備の洗浄剤として使用されるもの
2	繊維工業	繊維の洗浄、紡績油剤など繊維の製造工程で使用されるもの
3	紙・パルプ工業	ピッチコントロール剤、消泡剤など紙パルプの製造工程で使用されるもの
4	ゴム・プラスチック工業	合成ゴム、プラスチックの乳化重合の際の乳化剤などゴム・プラス チック製造工程で使用されるもの
5	皮革工業	皮革の加工前に水系の処理剤(染料等)が接触しやすくする為の 脱脂剤、水浸剤、浸透剤、また加工後仕上がった皮革の耐久性を 出す為の加脂剤、艶消し剤、撥水剤等に使用されるもの
6	機械·金属工業	製品表面の洗浄剤、部品保存中のさび止め剤など機械・金属製品の製造工程中で使用されるもの
7	情報関連産業	写真フイルムの増感剤、プリント基板の洗浄剤等フロン代替洗浄剤、磁気記録媒体の磁性粉分散剤、インクジェット記録紙用助剤等として使用されるもの
8	クリーニング工業	衣料用洗剤など洗濯業等で使用されるもの
9	その他	(省略)

注:対象業種に関係しない業種は「その他」とし、その定義は省略した。

表 2-43 界面活性剤に係る需要分野と業種との対応関係

業種コード	業 種 名	食品工業	繊維工業	紙・パルプ	チック工業	皮革工業	機械·金属	情 産報 業関 連	グ工業
1200	食料品製造業	\circ							
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	0							
1400	繊維工業		0						
1500	衣服・その他の繊維製品製造業		0						
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業			0					
2000	化学工業				0				
2200	プラスチック製品製造業				0				
2300	ゴム製品製造業				0				
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業					0			
2600	鉄鋼業						0		
2700	非鉄金属製造業						0		
2800	金属製品製造業						0		
2900	一般機械器具製造業						0		
3000	電気機械器具製造業						0		
3001	情報通信•電子機器製造業							0	
3100	輸送用機械器具製造業						0		
3200	精密機械器具製造業						0		
7210	洗濯業								0
7430	写真業							0	

表 2-44 界面活性剤に係る業種別の生産者価格

業種 コード	業種名	生産者価格 (百万円/年)
1200	食料品製造業	18,460
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	1,409
1400	繊維工業	19,348
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	312
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	7,412
2000	化学工業	6 , 654
2200	プラスチック製品製造業	9,665
2300	ゴム製品製造業	10,969
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	59
2600	鉄鋼業	8,805
2700	非鉄金属製造業	311
2800	金属製品製造業	502
2900	一般機械器具製造業	5,018
3000	電気機械器具製造業	6,942
3001	情報通信•電子機器製造業	5,808
3100	輸送用機械器具製造業	1,757
3200	精密機械器具製造業	319
7210	洗濯業	14,421
7430	写真業	422
VE Jol I	合計	118,593

資料:平成 17 年産業連関表(総務省) 注:産出表に示された需要分野ごとの値を対応する業種別に集計した。

表 2-45 界面活性剤に係る業種別の全国使用量推計結果(平成20年度)

業種				全国位	使用量	(t/年)		
来性 コード	業 種 名	LAS (24)	AO (166)	DAC (251)	AE (307)	OPE (308)	NPE (309)	合 計
1200	食料品製造業	12	3	1	390		5	411
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	0.9	0.2	0.07	30		0.4	31
1400	繊維工業	86	4	17	1,599	5	303	2,014
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	1	0.06	0.3	26	0.08	5	32
L	パルプ・紙・紙加工品製造業	58	1	3	214	2	18	296
2000	化学工業	402	0.5	0.5	445	40	131	1,020
2200	プラスチック製品製造業	584	0.7	0.7	647	59	191	1,482
2300	ゴム製品製造業	663	0.8	0.8	734	67	216	1,681
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業				4	2	197	203
2600	鉄鋼業	6	1	0.7	260	27	401	695
2700	非鉄金属製造業	0.2	0.04	0.03	9	0.9	14	25
2800	金属製品製造業	0.3	0.06	0.04	15	2	23	40
2900	一般機械器具製造業	3	0.6	0.4	148	15	228	396
3000	電気機械器具製造業	7	0.9	0.6	215	25	708	957
3100	輸送用機械器具製造業	1	0.2	0.1	52	5	80	139
3200	精密機械器具製造業	0.2	0.04	0.03	9	1	15	25
7210	洗濯業	119	1	60	495		58	733
7430	写真業	0.2			0.7	0.3	29	30
	合 計	1,944	14	85	5,293	251	2,621	10,208

⑤ 工業用洗浄剤等に係る対象化学物質別の平均排出率

塩素系炭化水素類(3物質)と界面活性剤(6物質)について、それぞれ業種別の全国使用量に対し、対象化学物質別の平均排出率を乗じて総排出量が推計される。対象化学物質別の平均排出率は「取扱量調査;H18・H19 実績(NITE)」の報告データを用いて設定することとした。

平均排出率を算出した結果を表 2-46 に示す。ここでは業種による差は考慮せず、対象化 学物質の種類ごとに一律の値を採用することとした。ここでの平均排出率は、大気、公共用水 域等のすべての媒体の合計として示すものだが、下水道へ移動する割合は含まれていない。

表 2-46 工業用洗浄剤等に係る平均排出率の算出結果(平成 20 年度)

物質番号	対象化学物質名	利用可能データ数	年間取扱量 (kg/年) (a)	年間排出量 (kg/年) (b)	平均排出率 =(b)/(a)
24	LAS	76	50,446	14,516	28.8%
145	塩化メチレン	413	4,555,198	2,195,120	48.2%
166	AO	12	4,322	232	5.4%
200	テトラクロロエチレン	42	410,194	226,489	55.2%
211	トリクロロエチレン	211	1,821,907	974,180	53.5%
251	DAC	_	_	-	9.4%
307	AE	162	1,487,785	140,585	9.4%
308	OPE	42	350,097	5,784	1.7%
309	NPE	168	125,016	25,578	20.5%

- 注1:本表に示す年間取扱量と年間排出量は取扱量調査;H18・H19 実績(NITE)に基づく。
- 注2: 取扱量調査; H18・H19 実績(NITE)の用途で「工業用洗浄剤」「表面処理剤」のデータに限定した。
- 注3:物質番号 251 番は平均排出率のデータが 10 件に満たないため、需要分野の類似している 307 番と同じ排出率と仮定した。

業種別の総排出量の推計結果を表 2-47 に示す。

表 2-47 工業用洗浄剤等に係る総排出量の推計結果(塩素系炭化水素類)(平成20年度)

		総排出量(t/年)					
業種	業種名	145	200	211			
コード	术 /里石	塩化メチレン	テトラクロロ	トリクロロエ	合計		
		塩コロハノレン	エチレン	チレン			
2600	鉄鋼業	4	232	666	902		
2700	非鉄金属製造業	905	89	478	1,473		
2800	金属製品製造業	4,955	255	1,589	6,799		
2900	一般機械器具製造業	934	131	997	2,062		
3000	電気機械器具製造業	1,573	174	1,589	3,336		
3100	輸送用機械器具製造業	28	131	1,185	1,343		
3200	精密機械器具製造業	905	89	1,071	2,065		
7210	洗濯業	_	1,570	_	1,570		
	合 計	9,304	2,671	7,576	19,551		

表 2-47 工業用洗浄剤等に係る総排出量の推計結果(界面活性剤)(平成20年度)

総排出量(t/s						i)		
		24	166	251	307	308	309	
業種コード	業 種 名	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が 10 から14までのもの及びその混合物に限る)	N,N-ジメチルドデシルアミ ン=N-オキシド	ビス(水素化牛脂)ジメチル アンモニウム=クロリド	ポリ(オキシエチレン)=アルキ ルエーテル(アルキル基の炭 素数が 12 から 15 までのもの 及びその混合物に限る)	ポリ(オキシエチレン)=オク チルフェニルエーテル	ポリ(オキシエチレン)=ノニ ルフェニルエーテル	合計
1200	食料品製造業	3	0.1	0.09	37		1	42
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	0.3	0.01	0.007	3		0.07	3
1400	繊維工業	25	0.2	2	151	0.08	62	240
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	0.4	0.003	0.03	2	0.001	1	4
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	17	0.05	0.3	20	0.03	4	41
2000	化学工業	116	0.03	0.05	42	0.67	27	185
2200	プラスチック製品製造業	168	0.04	0.07	61	1	39	269
2300	ゴム製品製造業	191	0.04	0.08	69	1	44	306
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業				0.4	0.03	40	41
2600	鉄鋼業	2	0.06	0.07	25	0.4	82	109
2700	非鉄金属製造業	0.06	0.002	0.002	0.9	0.02	3	4
2800	金属製品製造業	0.09	0.003	0.004	1	0.03	5	6
2900	一般機械器具製造業	0.9	0.03	0.04	14	0.3	47	62
3000	電気機械器具製造業	2	0.05	0.06	20	0.4	145	168
3100	輸送用機械器具製造業	0.3	0.01	0.01	5	0.09	16	22
3200	精密機械器具製造業	0.06	0.002	0.003	0.9	0.02	3	4
7210	洗濯業	34	0.05	6	47		12	99
7430	写真業	0.06			0.07	0.004	6	6
	合 計	559	0.8	8	500	4	536	1,609

Ⅲ 推計フロー

工業用洗浄剤等に係る総排出量の推計フローを図 2-6 に示す。全国使用量は塩素系炭化水素類と界面活性剤に分けてそれぞれ推計し、それぞれに平均排出率を乗じて総排出量が推計される。なお、図中の①~⑤の番号は表 2-37 に示す①~⑤の番号に対応している。

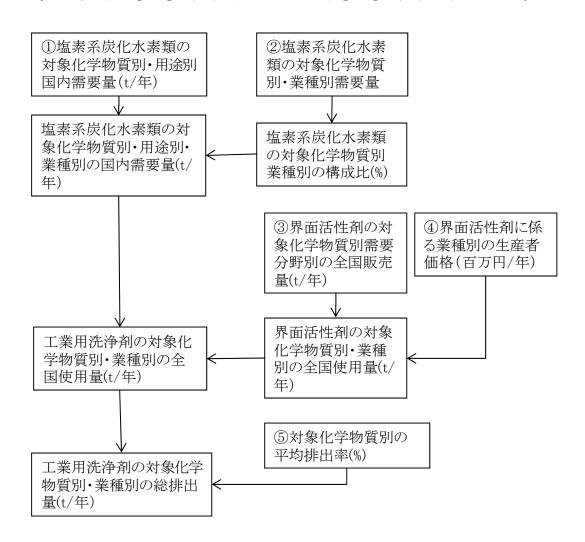


図 2-6 工業用洗浄剤等に係る総排出量の推計フロー

2-2-5 燃料(蒸発ガス)

I 推計対象とする排出

ガソリン等の石油製品の流通過程において、燃料を別のタンクへ移し替える場合などに蒸発した燃料の一部が大気へ排出される。この排出は、流通の各過程で発生するが、ここでは「すそ切り以下事業者」としての寄与が最も大きいと考えられるガソリンスタンド(給油所)における受入ロスと給油ロスだけを対象とすることとする(表 2-48)。

また、石油製品(燃料種)に含まれる対象化学物質として、ここではプレミアムガソリン、レギュラーガソリン及び灯油に含まれるエチルベンゼン(物質番号:40)、キシレン(63)、1,3,5-トリメチルベンゼン(224)、トルエン(227)、ベンゼン(299)の5物質を対象とする。

	20 1 10 /m/1 (/m/20/1 / Co (1 m/1 / 4 / 3 / C)
排出区分	排出の概要
受入ロス	タンクローリーから給油所の地下タンクに燃料を移し替える際、給油所の地
	下タンク内の液面の上昇に伴って、地下タンク内で気体状で充満していた
	蒸気が通気管から押し出され、大気へ排出される。
給油ロス	給油所のタンクから自動車等に給油する際、自動車等のタンク内の液面の
	上昇に伴って同タンク内に気体状で充満していた蒸気が燃料の注入口か
	ら押し出され、大気へ排出される。

表 2-48 燃料(蒸発ガス)として推計対象とする排出

Ⅱ 推計に利用できるデータ

燃料(蒸発ガス)の総排出量の推計に利用可能なデータを表 2-49 に示す。

表 2-49 燃料(蒸発ガス)の推計で利用可能なデータの種類(平成 20 年度)

	データの種類	資料名等
1	燃料種別・対象化学物質別・取扱 方法別の排出係数 (mg/kl) ※蒸気回収なしの条件で、届出対象となる 物質のみ	PRTR 制度と給油所(平成 14 年 3 月、石油連盟・全国石油商業組合連合会)及びPRTR排出量等算出マニュアル「給油所における排出係数等(改訂版)」(平成 16 年度、経済産業省・環境省)
2	燃料種別・対象化学物質別の平均 含有率(%)	(上記①と同じ)
3	燃料種別・取扱方法別の蒸気回収 効率(%)	(上記①と同じ)
4	燃料種別·都道府県別販売数量 (kl/年)	石油連盟資料(平成20年度販売数量)
5	全国における取扱方法別の蒸気回収実施率(%)	「有害大気汚染物質の自主管理報告」(石油連盟) (平成 14 年度報告)
6	燃料の蒸発に係る条例による規制 の有無	各都道府県公表資料(条例等の内容)

① 燃料種別・対象化学物質別・取扱方法別の排出係数

燃料(蒸発ガス)に係る排出係数は、給油所における荷卸(受入)と給油に分けて、それぞれ蒸気回収装置がない条件での値が利用可能である(表 2-50)。これは燃料小売業における届出のための算出マニュアルとして作成された資料であるため、含有率 1%以上など届出要件に合致した対象化学物質の値だけが記載されている。

② 燃料種別・対象化学物質別の平均含有率

届出対象にならない対象化学物質であっても、燃料中の平均含有率が把握できる場合には受入ロス等に係る排出係数を推計することが可能である。具体的には、対象化学物質の種類ごとに、燃料種ごとの平均含有率に比例すると仮定して、排出係数の把握できている燃料種の排出係数を補正した値として設定することとした。

表 2-50 燃料(蒸発ガス)に係る燃料種別・対象化学物質別・取扱方法別の排出係数

	物質		排出係数	排出係数(mg/kl)		
燃料種	700 頁 番号	対象化学物質名	荷卸	給油		
	田力		(受入ロス)	(給油ロス)		
	40	エチルベンゼン	638	804		
	63	キシレン	2,458	3,095		
プレミアムガソリン	224	1,3,5-トリメチルベンゼン	121	152		
	227	トルエン	27,612	34,771		
	299	ベンゼン	2,205	2,777		
	40	エチルベンゼン	479	603		
レギュラーガソリン	63	キシレン	1,855	2,336		
レイユノーカフリン	227	トルエン	10,992	13,842		
	299	ベンゼン	2,505	3,154		
灯油	63	キシレン	0.90	0.90		

資料: PRTR 制度と給油所(平成 14年3月、石油連盟・全国石油商業組合連合会)

注1:PRTR の届出対象となる対象化学物質のみを示す。

注2:蒸気回収なしの条件での排出係数を示す。

表 2-51 燃料(蒸発ガス)として推計対象にする燃料種及び対象化学物質

		平均含有率			
物質	対象化学物質名	1	2	3	
番号	プレミアム ガソリン	レギュラー ガソリン	灯油		
40	エチルベンゼン	1.7%	1.3%	0.3%	
63	キシレン	7.3%	5.5%	1.1%	
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	1.1%	0.9%	0.6%	
227	トルエン	23.0%	9.3%	0.2%	
299	ベンゼン	0.53%	0.62%	0.0%	

資料: PRTR 制度と給油所(平成 14 年 3 月、石油連盟・全国石油商業組合連合会)

注1:平均含有率の欄で網掛けで示したものは、含有率が小さく PRTR の届出対象にならないことを示す。

注2:網掛けをした対象化学物質は、それぞれ以下の排出係数をベースに補正することとした。

- ・ レギュラーガソリンの 1,3,5-トリメチルベンゼン →プレミアムガソリンの同物質
- ・ 灯油のエチルベンゼン等の4物質 → レギュラーガソリンのエチルベンゼン等の4物質

③ 燃料種別・取扱方法別の蒸気回収効率

給油所によっては、蒸気回収装置(ベーパーリターン)を設置することで燃料の蒸発を防止しており、その場合は大気へ排出される割合が小さくなるものと考えられる。同装置の設置によって排出係数が減少する割合を、ここでは蒸気回収効率と定義した。その値は前記の算出マニュアルに基づき、表 2-52 に示す値とした。

以上のデータを使って推計した燃料種別・対象化学物質別・蒸気回収有無別・取扱方法 別の排出係数を表 2-53 に示す。

表 2-52 蒸気回収装置を設置している場合の蒸気回収効率

		蒸気回収効率		
燃料種		大料種 荷卸		
		(受入ロス)	(給油ロス)	
1	プレミアムガソリン	85%	85%	
2	レギュラーガソリン	85%	85%	
3	灯油	85%	0%	

資料: PRTR 制度と給油所(平成 14年3月、石油連盟・全国石油商業組合連合会)

表 2-53 燃料(蒸発ガス)に係る燃料種別・対象化学物質別・蒸気回収有無別・取扱方法別の排出係数

	#FE			排出係数	(mg/kl)	
燃料種	物質 番号		蒸気回収なし		蒸気回収あり	
	ш //		荷卸	給油	荷卸	給油
	40	エチルベンゼン	638	804	96	121
プレミアム	63	キシレン	2,458	3,095	369	464
ガソリン	224	1,3,5-トリメチルベンゼン	121	152	18	23
74792	227	トルエン	27,612	34,771	4,142	5,216
	299	ベンゼン	2,205	2,777	331	417
	40	エチルベンゼン	479	603	72	90
レギーラー	63	キシレン	1,855	2,336	278	350
レギュラー ガソリン	224	1,3,5-トリメチルベンゼン	102	128	15	19
74792	227	トルエン	10,992	13,842	1,649	2,076
	299	ベンゼン	2,505	3,154	376	473
	40	エチルベンゼン	0.24	0.24	0.04	0.24
	63	キシレン	0.90	0.90	0.14	0.90
灯油	224	1,3,5-トリメチルベンゼン	0.15	0.15	0.02	0.15
	227	トルエン	0.46	0.46	0.07	0.46
	299	ベンゼン	0.10	0.10	0.01	0.10

④ 燃料種別·都道府県別販売数量

蒸気回収装置の設置を考慮した推計を行う場合、その実施率に著しい地域差があると考えられることから、燃料の販売数量も都道府県別の値を使うこととした。都道府県別の販売数量は石油連盟の資料に基づいて把握することができる(表 2-54)。ただし、ガソリンに占めるプレミアムとレギュラーの割合は都道府県別の値が把握できないため、全国平均の概算値(前者が2割)を採用した。

表 2-54 燃料種別・都道府県別の販売数量(その1)

			平成 20 年度販	売数量(kl/年)	
都道府県	都道府県名		1	2	3
コード	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ガソリン	プレミアム ガソリン	レギュラー ガソリン	灯油
1	北海道	2,361,301	472,260	1,889,041	2,904,296
2	青森県	578,811	115,762	463,049	609,526
3	岩手県	598,758	119,752	479,006	410,512
4	宮城県	1,241,680	248,336	993,344	667,828
5	秋田県	491,537	98,307	393,230	487,896
6	山形県	517,255	103,451	413,804	371,151
7	福島県	939,250	187,850	751,400	465,551
8	茨城県	1,707,568	341,514	1,366,054	499,652
9	栃木県	1,147,617	229,523	918,094	365,358
10	群馬県	1,193,235	238,647	954,588	393,176
11	埼玉県	2,672,545	534,509	2,138,036	500,886
12	千葉県	2,427,511	485,502	1,942,009	501,203
13	東京都	6,927,028	1,385,406	5,541,622	3,223,940
14	神奈川県	2,916,525	583,305	2,333,220	953,296
15	新潟県	1,257,693	251,539	1,006,154	645,355
16	富山県	523,809	104,762	419,047	268,951
17	石川県	658,614	131,723	526,891	338,965
18	福井県	391,244	78,249	312,995	164,004
19	山梨県	431,015	86,203	344,812	150,814
20	長野県	1,121,903	224,381	897,522	675,836
21	岐阜県	992,649	198,530	794,119	247,997
22	静岡県	1,722,729	344,546	1,378,183	409,380
23	愛知県	3,917,795	783,559	3,134,236	818,155
24	三重県	1,551,408	310,282	1,241,126	398,492
25	滋賀県	684,355	136,871	547,484	184,176
26	京都府	771,747	154,349	617,398	134,117
27	大阪府	3,682,243	736,449	2,945,794	856,633
28	兵庫県	2,045,535	409,107	1,636,428	485,537
29	奈良県	465,078	93,016	372,062	73,746
30	和歌山県	332,615	66,523	266,092	87,207
31	鳥取県	273,124	54,625	218,499	86,427
32	島根県	327,082	65,416	261,666	120,970
33	岡山県	971,456	194,291	777,165	281,871
34	広島県	1,369,590	273,918	1,095,672	343,560

表 2-54 燃料種別・都道府県別の販売数量(その2)

			平成 20 年度販	売数量(kl/年)	
都道府県	都道府県名		1	2	3
コード	10000000000000000000000000000000000000	ガソリン	プレミアム ガソリン	レギュラー ガソリン	灯油
35	山口県	733,542	146,708	586,834	262,976
36	徳島県	341,859	68,372	273,487	95,518
37	香川県	572,844	114,569	458,275	170,888
38	愛媛県	546,631	109,326	437,305	174,643
39	高知県	284,377	56,875	227,502	61,083
40	福岡県	2,381,665	476,333	1,905,332	648,970
41	佐賀県	352,859	70,572	282,287	63,517
42	長崎県	563,798	112,760	451,038	136,016
43	熊本県	674,620	134,924	539,696	145,285
44	大分県	571,469	114,294	457,175	147,893
45	宮崎県	489,331	97,866	391,465	100,090
46	鹿児島県	865,690	173,138	692,552	167,263
47	沖縄県	623,976	124,795	499,181	64,904
合	計	58,214,966	11,642,993	46,571,973	21,365,510

注1:ガソリン等の販売数量は石油連盟資料に基づく。

注2:ガソリン中のプレミアムとレギュラーの割合は全国一律に1:4と仮定した。

注3: 給油所を経由せずに販売される燃料もあるが、ここではすべて給油所で販売されたものと仮定した。

⑤ 全国における取扱方法別の蒸気回収実施率

蒸気回収装置の設置は、燃料の蒸発について条例で規制している都道府県を中心に実施されていると考えられるが、その都道府県別の正確な実施率は把握されていない。したがって、ここでは全国平均の実施率として、石油連盟資料に基づき荷卸時に38%とし、給油時はゼロと仮定した。

⑥ 燃料の蒸発に係る条例による規制の有無

荷卸時の蒸気回収を実施しているのは、条例で規制している都府県の給油所に限ると仮定することとする。規制があるのは埼玉県等の8都府県であることから、それらの都府県における実施率が90%と推計される(それで全国平均が約38%となる)。

したがって、ここでは表 2-55 に示す蒸気回収実施率の値を採用することとする。

表 2-55 給油所における蒸気回収設置率の推計値

都道府県	蒸気回収実施率		
40担桁景	荷卸	給油	
埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、三重県、 大阪府、大分県	90%	0%	
その他の道府県	0%	0%	

注1:蒸気回収の実施率は、石油連盟の「有害大気汚染物質の自主管理計画」に基づき、全国平均を38%(給油時はゼロ)と仮定した。

業種別の総排出量の推計結果を表 2-56 に示す。

表 2-56 燃料(蒸発ガス)に係る総排出量の推計結果(平成20年度)

物質		総排出量(t/年)		
番号	対象化学物質名	5930	合 計	
留り		燃料小売業		
40	エチルベンゼン	58	58	
63	キシレン	223	223	
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	12	12	
227	トルエン	1,613	1,613	
299	ベンゼン	275	275	
	合 計	2,180	2,180	

注2:荷卸時の蒸気回収は、条例で貯蔵タンクに係る排出規制を実施している8都府県だけで実施されていると 仮定した。

Ⅲ 推計フロー

燃料(蒸発ガス)に係る総排出量の推計フローを図 2-7 に示す。

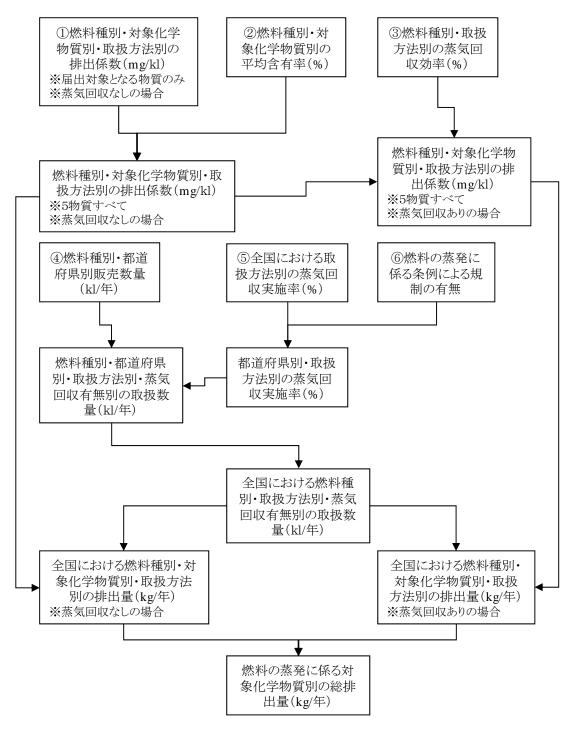


図 2-7 燃料(蒸発ガス)に係る総排出量の推計フロー

2-2-6 ゴム溶剤等

I 推計対象とする排出

自動車タイヤ、履物等のゴム製品の製造段階で、ゴムの張り合わせや部品の洗浄等のために有機溶剤が使用され、揮発したものが大気へ排出される。これらは一般に「接着剤」や「工業用洗浄剤等」に分類されるものとは異なり、ゴム溶剤等と呼ばれているものであり、ここでは一括して「ゴム溶剤等」として推計対象とすることとした。

推計する対象化学物質は、業界団体の調査結果に基づき、キシレン(物質番号:63)、塩化メチレン(145)、テトラクロロエチレン(200)、トリクロロエチレン(211)、トルエン(227)の5物質とする。

Ⅱ 推計に利用できるデータ

ゴム溶剤等の総排出量の推計に利用可能なデータを表 2-57 に示す。

データの種類 資料名等 ゴム製品の製造で使用される有 「ゴム工業における有機溶剤の使用実態調査結果」 (1)機溶剤の業種別・対象化学物質 (昭和60年8月、日本ゴム工業会) 別の使用量(kg/年) アンケート調査の捕捉率(%) (上記①と同じ) ゴム製品製造業における業種小 工業統計表(昭和58年、平成19年、通商産業省・ 分類別の製造品出荷額等(百万 (3) 経済産業省) 円/年)の伸び率 ゴム溶剤等に係る対象化学物質 (4) 取扱量調查;H18·H19 実績(NITE) 別の平均排出率(%)

表 2-57 ゴム溶剤等の推計で利用可能なデータの種類(平成 20 年度)

① 有機溶剤の業種別・対象化学物質別の使用量

日本ゴム工業会が会員企業に対してアンケート形式で実施した調査結果(昭和 58 年度実績)に基づき、ゴム製品の製造における有機溶剤の使用量が「タイヤ・チューブ」等の業種別に把握することができる。回答された対象化学物質ごとの使用量を業種ごとに集計した結果を表 2-58 に示す。

なお、今回は昭和58 年度の実績を推計に使うこととするが、同工業会では新規に調査を 実施する可能性を検討しており、データが更新された場合には、PRTR の排出量推計でも更 新されたデータに差し替えることとする。

表 2-58 ゴム製品の製造における有機溶剤の使用量集計値

		回答された昭和 58 年度の使用量の集計値(kg/年)								
物質	対象化学物質名	1 2		3	4	5				
番号	对家门子彻貝石	タイヤ・	14キャ の	工業用品	その他の	化成品	合計			
		チューブ	チューブ はきもの		ゴム製品	その他				
63	キシレン	1,031	146,999	223,370	10,192	49,744	431,336			
145	塩化メチレン	810	96,140	7,187	89,250	497,926	691,313			
200	テトラクロロエチレン	164	38,360	310,999	0	36	349,559			
211	トリクロロエチレン	300	2,620	429,601	4,418	5,236	442,175			
227	トルエン	257,550	1,596,597	4,088,585	5,523,388	887,280	12,353,400			
	合 計	259,855	1,880,716	5,059,742	5,627,248	1,440,222	14,267,783			

② アンケート調査の捕捉率

前記のアンケート調査は日本ゴム工業会の会員企業に対するものであり、その捕捉率は約90%(ゴム製品生産数量ベース)とされていることから、表 2-58 に示された使用量をアンケート調査の捕捉率(90%)で割った値を全国における有機溶剤使用量とみなすこととした。

なお、日本ゴム工業会の会員外の企業でゴム製品を製造している企業も存在するが、同工業会によると会員企業による業界全体の捕捉率は9割以上(新ゴム消費量ベース)と考えられるとのことから、会員外の企業による寄与はここでは考慮しないこととした。

③ 業種小分類別の製造品出荷額等

表 2-58 に示した有機溶剤使用量(及びその捕捉率で補正した値)は昭和 58 年度実績と古いため、平成 20 年度における全国使用量を推計するため、工業統計表に示された業種小分類ごとの製造品出荷額等で年次補正することとした。業種小分類別の製造品出荷額等を表 2-59 に示す。また、それを使って年次補正した有機溶剤の全国使用量を表 2-60 に示す。平成 20 年度における有機溶剤の使用量は、トルエンを中心として約 11 千 t と推計された。

表 2-59 ゴム製品製造業における業種小分類別の製造品出荷額等

業種	We see to	製造品出荷額等(百万円)		対基準年	
コード	業種名	昭和 58 年 (a)	平成 19 年 (b)	比率 =(b)/(a)	
2000	ゴム製品製造業	2,756,202	3,534,593	128.2%	
2010	タイヤ・チューブ製造業	1,023,133	1,283,366	125.4%	
2020	ゴム製・プラスチック製履物・同附属 品製造業	407,788	104,988	25.7%	
2030	ゴムベルト・ゴムホース・工業用ゴム 製品製造業	1,076,839	1,862,098	172.9%	
2090	その他のゴム製品製造業	248,441	284,141	114.4%	

資料:工業統計表(昭和58年、平成19年、通商産業省・経済産業省)

注1:従業者4人以上の事業所における製造品出荷額等の集計値

注2:昭和58年の小分類別の値は増減率等を考慮した推計値

表 2-60 ゴム製品の製造における有機溶剤の全国使用量推計結果(平成20年度)

物		全国使用量の推計値(kg/年)							
質番	対象化学物質名	1	2	3	4	5			
番号	// // // //	タイヤ・ チューブ	はきもの	工業用品	その他の ゴム製品	化成品 その他	合計		
63	キシレン	1,437	42,051	429,175	12,952	70,880	556,495		
145	塩化メチレン	1,129	27,502	13,809	113,416	709,497	865,353		
200	テトラクロロエチレン	229	10,973	597,542	_	51	608,795		
211	トリクロロエチレン	418	749	825,419	5,614	7,461	839,662		
227	トルエン	358,953	456,728	7,855,653	7,018,963	1,264,290	16,954,587		
	合 計		538,004	9,721,598	7,150,945	2,052,179	19,824,892		

注:業種ごとに製造品出荷額等の増減を考慮して、それぞれ以下の比率(対基準年比率)を乗じて平成20年度の値を推計した。

- タイヤ・チューブ:125.4%
- ・ はきもの:25.7%
- · 工業用品:172.9%
- ・ その他のゴム製品:114.4%
- ・ 化成品その他:128.2%

④ 対象化学物質別の平均排出率

前記の日本ゴム工業会によるアンケート調査では、「タイヤ・チューブ」等の業種ごとの有機 溶剤排出量も調査されており、排出量の合計は PRTR 対象化学物質以外の物質を含めて約 30,000t (年間取扱量の 86.3%)という結果であった。

ここでは、この値を平均排出率として採用せず、ゴム製品の製造における排出抑制対策の進展を考慮して、取扱量調査;H18・H19 実績(NITE)に基づき平均排出率を設定することとした。これらの報告データから、ゴム溶剤等に関係するデータを抽出し、その対象化学物質ごとの集計値が「ゴム溶剤等」に係る取扱及び排出であると仮定し、両者の比率として平均排出率を設定した(表 2-61)。

以上の結果を使って推計した総排出量を表 2-62 に示す。

表 2-61 ゴム溶剤等に係る対象化学物質別の平均排出率の算定結果

物質番号	対象化学物質名	年間取扱量 (kg/年) (a)	年間排出量 (kg/年) (b)	平均排出率 =(b)/(a)
63	キシレン	580,271	466,949	80.5%
145	塩化メチレン	194,664	109,238	56.1%
200	テトラクロロエチレン	32,545	20,404	62.7%
211	トリクロロエチレン	86,423	64,599	74.7%
227	トルエン	3,286,720	2,697,774	82.1%
	合 計	4,180,623	3,358,964	80.3%

資料:取扱量調査;H18・H19 実績(NITE)におけるゴム製品製造業の集計値(「燃料」等の明らかにゴム溶剤とは異なる用途は除く)。

表 2-62 ゴム溶剤等に係る総排出量の推計結果(平成20年度)

物質		総排出量(t/年)				
初貝 番号	対象化学物質名	2300	合 計			
番 方		ゴム製品製造業	<u>`</u> □'			
63	キシレン	431	431			
145	塩化メチレン	522	522			
	テトラクロロエチレン	129	129			
	トリクロロエチレン	178	178			
227	トルエン	10,022	10,022			
	合 計	11,281	11,281			

Ⅲ 推計フロー

ゴム溶剤等に係る総排出量の推計フローを図 2-8 に示す。

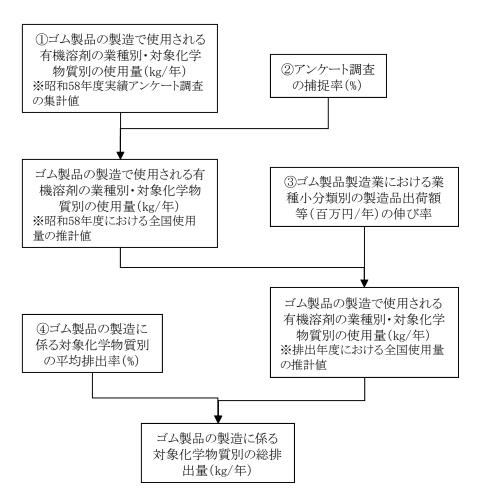


図 2-8 ゴム溶剤等に係る総排出量の推計フロー

2-2-7 化学品原料等

I 推計対象とする排出

PRTR の対象化学物質の多くは化学品の製造業者によって合成されるものであり、別の化学物質との混合等を経て多くの業種で使用されることとなる。このような化学製品の製造では、対象化学物質自体を合成する場合や、それを合成原料として使用する場合、添加剤として化学薬品に加える場合、反応溶剤として使用する場合など、様々な場合があるが、いずれの場合でも製造工程の中で漏洩等が発生し、対象化学物質が大気等へ排出する場合がある。

対象化学物質の取扱量に対する排出量の割合は一般に微量であるが、取扱量そのものが他の多くの業種に比べて桁違いに大きいため、化学製品の製造段階での排出量は無視できない寄与となっている。ここでは合成や混合等の差を考慮せず、化学製品の製造段階での排出を一括して「化学品原料等」として推計対象とする。

Ⅱ 推計に利用できるデータ

化学品原料等の総排出量の推計に利用可能なデータを表 2-63 に示す。

表 2-63 化学品原料等の推計で利用可能なデータの種類(平成 20 年度)

データの種類	資料名等
化学工業における対象化学物質別の	(社)日本化学工業協会におけるレスポンシブ
総排出量(平成 20 年度実績)(kg/年)	ル・ケアの PRTR

以上の結果を使って推計した総排出量を表 2-64 に示す。

表 2-64 化学品原料等に係る総排出量の推計結果(平成 20 年度)

		総排出量	₫(t/年)
物質	対象化学物質名	2000	۸ ج۱
番号		化学工業	合計
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル		
24	基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混合物に限る)	4	4
40	エチルベンゼン	174	174
42	エチレンオキシド	28	28
63	キシレン	467	467
145	塩化メチレン	1,015	1,015
166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド	0	0
177	スチレン	417	417
200	テトラクロロエチレン	24	24
211	トリクロロエチレン	46	46
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	10	10
227	トルエン	2,477	2,477
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム=クロリド	0	0
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	192	192
299	ベンゼン	282	282
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の 炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る)	14	14
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル	0.1	0.1
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル	1	1
	合 計	5,149	5,149

Ⅲ 推計フロー

公表された排出量等を総排出量とみなすため、推計フローは省略する。

2-2-8 剥離剤(リムーバー)

I 推計対象とする排出

ペイント剥離剤等として使用される塩化メチレン(物質番号:145)を推計対象とする。例えば、 船舶、航空機、自動車、木製品のように塗料が使われた資材で、補修等のために塗膜を剥離 するなど広い需要分野で使われており、一般には開放状態で使用されると考えられる。

Ⅱ 推計に利用できるデータ

剥離剤(リムーバー)推計で使用するデータは表 2-65 のとおりである。

表 2-65 剥離剤(リムーバー)の推計で利用可能なデータの種類(平成20年度)

	データの種類	資料名等
1	塩化メチレンの剥離剤としての国内需要量 (t/年)	クロロカーボン衛生協会
2	大気への排出率	使用される形態に基づき 100%と仮定する
3	「塗料」の需要分野別全国出荷量(t/年)	(社)日本塗料工業会(平成21年1月)
4	「塗料」の各需要分野出荷量の業種別構成比(%)	「塗料」における推計値

① 塩化メチレンの国内需要量

クロロカーボン衛生協会では、塩素系溶剤の製造業者である会員企業の出荷量データや 経済産業省の生産統計等のデータに基づき、物質ごとの輸出入量や在庫量等も考慮して用 途別の国内需要量を推計している。剥離剤(リムーバー)の国内需要量は表 2-66 のとおりで あり、この需要量を年内の国内使用量と同じとみなす。

表 2-66 塩化メチレンの剥離剤(リムーバー)としての国内需要量

年度	平成 18 年度	平成19年度	平成20年度
需要量(t/年)	1,312	1,054	1,201

資料:クロロカーボン衛生協会

注:経済産業省生産統計や会員企業データに基づき、輸出入や在庫量等を考慮した推定値を示す。

② 大気への全国の総排出量

開放系での使用が見込まれるため、大気への排出率を 100%と仮定する。したがって、平成 20 年度の全国の総排出量は 1,201t/年とする。

③ 業種別の総排出量

ペイント剥離剤の業種別の使用量等の適当な既存データが入手できない。そこで、「塗料」の業種別出荷量を推計し、剥離剤も同様の業種で出荷量に比例して使用されると仮定する。 塗料の需要分野別出荷量(表 2-67)及び、需要分野別出荷量の業種別構成比(表 2-68: 「塗料」の項目にて別途推計)より、塗料の業種別出荷量の構成比を算出する。表 2-67 に示す塗料の需要分野別全国出荷量を表 2-68 の業種に配分し、業種別の出荷量を再集計、構成比を算出した。その結果及び総排出量を配分した結果を表 2-69 に併せて示す。

表 2-67 「塗料」の需要分野別全国出荷量

需要分野	出荷量(t/年)
建築資材	81,038
船舶	133,978
自動車(新車)	243,451
自動車補修	28,802
電気機械	38,377
機械	50,809
金属製品	118,803
木工製品	19,589

資料:(社)日本塗料工業協会(平成21年1月)のデータに基づき年次補正。「2-2-1 塗料」の再掲。

表 2-68 「塗料」の需要分野別出荷量の業種別構成比

	1600	1700	2500	2600	2700	2800	2900	3000	3100	3200	7700	
需 要 分 野	木材·木製品	製造業	製品製造業	鉄鋼業	製造業	製造業	製造業一般機械器具	電気機械器具	器具製造業 輸送用機械	精密機械器具	自動車整備業	合 計
建築資材		13%	5%			81%						100%
船舶									100%			100%
自動車(新車)									100%			100%
自動車補修											100%	100%
電気機械							19%	80%		2%		100%
機械							77%		23%			100%
金属製品		21%		8%	11%	60%						100%
木工製品	37%	63%										100%

注: 「2-2-1 塗料」の項目より再掲

表 2-69 剥離剤(リムーバー)に係る総排出量の推計結果(平成20年度)

	業種	業種別 構成比	総排出量 (t/年)
1600	木材·木製品製造業	1.0%	12
1700	家具•装備品製造業	6.7%	81
2500	窯業•土石製品製造業	0.6%	7
2600	鉄鋼業	1.3%	16
2700	非鉄金属製造業	1.9%	22
2800	金属製品製造業	19.2%	231
2900	一般機械器具製造業	6.5%	78
3000	電気機械器具製造業	4.3%	51
3100	輸送用機械器具製造業	54.5%	654
3200	精密機械器具製造業	0.1%	1
7700	自動車整備業	4.0%	48
	合 計	100.0%	1,201

注1:業種別構成比は表 2-67 及び表 2-68 より算出した。

注2:本表に示す総排出量はすべて塩化メチレン(物質番号:145)に係るもの。

Ⅲ 推計フロー

剥離剤(リムーバー)に係る総排出量の推計フローを図 2-9 に示す。図中の①~④の番号は表 2-65 に示す同じ番号に対応している。

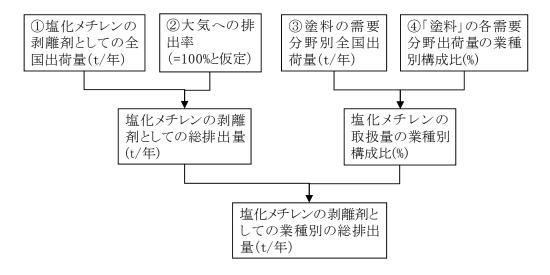


図 2-9 剥離剤(リムーバー)に係る総排出量の推計フロー

2-2-9 滅菌・殺菌・消毒剤

I 推計対象とする排出

対象物から微生物を除去するために使われるエチレンオキシド(物質番号:42)を対象とする。 対象業種では医療用機械器具製造業(精密機械器具製造業の一部)等での使用がある。密閉 された滅菌装置等に対象物を入れ、殺菌ガス(炭酸ガスで希釈したエチレンオキシド)により殺 菌・消毒等を行う。使用後に排ガス処理が行われる場合にはほぼ全量が消失するが、排ガス処 理が行われない場合には、全量が大気への排出となる。

Ⅱ 推計に利用できるデータ

滅菌・殺菌・消毒剤の推計に利用可能なデータは表 2-70 のとおりである。

表 2-70 滅菌・殺菌・消毒剤の推計で利用可能なデータの種類(平成 20 年度)

	データの種類	資料名等
1	殺菌ガスの全国出荷量(t/年)	ガスメディーキーナ 2009(㈱ガスレビュー)
2	非対象業種におけるエチレンオキシドの 使用量	第8回PRTR公表資料(経済産業省・環境省)
3	大気への排出率	取扱量調查;H18·H19 実績(NITE)
4	総排出量の業種別構成比	(上記③と同じ)

① 対象業種における殺菌ガスの全国出荷量

殺菌ガスとしてユーザーが使用する製品は、エチレンオキシドを炭酸ガスで希釈した高圧ガス製品(エチレンオキシドの含有率は平均 20%)であり、製造業等の対象業種では一般に30kg 入りの大型ボンベが使用される。業界誌によると、殺菌ガスの平成 20 年度の出荷量推計値は 4,704t/年であるため、エチレンオキシドとしての出荷量は 941t/年(=4,704t/年×20%)である。出荷量は同年度における全体の使用量とみなし、その使用量から別途推計されている非対象業種(医療業、滅菌代行業)の使用量を除いた量が、対象業種の使用量であると仮定する。

② 非対象業種におけるエチレンオキシドの使用量

平成 20 年度の非対象業種の使用量(エチレンオキシド換算)は、約 192t/年であるため、対象業種の使用量は約 749t/年となる。

③ 大気への総排出量

取扱量調査;H18・H19 実績(NITE)の平成 18 年度及び平成 19 年度実績によると、エチレンオキシドを滅菌・消毒の用途で使用した事業所(データ数 57 件)の平均排出率は約 24%であり、大気への排出率はこれと同じとみなす。したがって、全国における大気への排出量は約 180t/年となる。

④ 総排出量の業種別構成比

業種別の総排出量は、表 2-70 のデータを用いて算出する。エチレンオキシドを滅菌・消毒の用途で使用した事業所のデータを抽出し、そのエチレンオキシド取扱量の業種別の構成比によって全国の総排出量を業種に配分する。表 2-71 に取扱量の業種別構成比及び総排出量の推計値を示す。

表 2-71 滅菌・殺菌・消毒剤に係る総排出量の推計値(平成20年度)

	業種	既存調査の結果			総排出量
業種 コード	業種名	回答事 業所数	取扱量 (kg/年)	構成比	(kg/年)
1200	食料品製造業	2	59	0.1%	121
1400	繊維工業	3	4,242	4.8%	8,694
2000	化学工業	11	16,005	18.1%	32,803
2200	2200 プラスチック製品製造業		5,904	6.7%	12,101
2300	ゴム製品製造業	1	940	1.1%	1,927
3200	精密機械器具製造業	18	45,788	51.8%	93,845
3400	その他の製造業	1	7,140	8.1%	14,634
3600	ガス業	1	520	0.6%	1,066
7210	洗濯業	4	2,334	2.6%	4,784
8630	計量証明業(一般計量証明業を除く)	1	121	0.1%	248
9140	高等教育機関	9	5,044	5.7%	10,338
9210 自然科学研究所		4	252	0.3%	516
	슴 計	57	88,349	100%	181,076

資料:取扱量調查;H18·H19 実績(NITE)

注1:エチレンオキシドを滅菌・消毒の用途で使用した事業所のデータを抽出し、構成比を算出。

注2:本表に示す総排出量はすべてエチレンオキシド(物質番号:42)に係るもの。

Ⅲ 推計フロー

滅菌・殺菌・消毒剤に係る総排出量の推計フローを図 2-10 に示す。なお、図中の番号は表 2-70 に対応している。

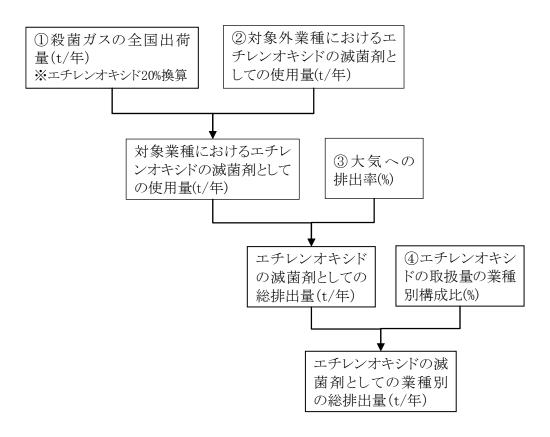


図 2-10 滅菌・殺菌・消毒剤に係る総排出量の推計フロー

2-2-10 表面処理剤

I 推計対象とする排出

金属の表面を酸洗浄するのに使われる「ふっ化水素及びその水溶性塩」(物質番号:283)を 推計対象とする。金属製品製造業等の対象業種にて使用され、使用後に一部が公共用水域 等へ排出される。

Ⅱ 推計に利用できるデータ

表面処理剤の推計に利用できるデータは表 2-72 のとおりである。

表 2-72 表面処理剤の推計で利用可能なデータの種類(平成 20 年度)

	データの種類	資料名等		
1	表面処理剤としての「ふっ化水素及び	平成 21 年度版無機薬品の実績と見通し		
	その水溶性塩」の出荷量(t/年)	(日本無機薬品協会)		
2	公共用水域への排出率(%)	取扱量調査;H18·H19 実績(NITE)		
3	総排出量の業種別の構成比(%)	(上記②と同じ)		

① 表面処理剤としての全国出荷量

「無機薬品の実績と見通し(日本無機薬品協会)」によると、平成 20 年度に金属表面処理 用として出荷された「ふっ化水素及びその水溶性塩」の量は表 2-73 のとおりである。

表 2-73 「ふっ化水素及びその水溶性塩」の全国出荷量

個別物質名	全国出荷量(t/年)			
	化合物	元素換算		
ふっ化水素酸(HF)	16,252	15,439		
ふっ化水素アンモニウム(NH4HF)	128	85		
合 計	16,380	15,525		

資料: 平成 21 年度版無機薬品の実績と見通し(日本無機薬品協会)

注:元素への換算係数は下記のとおり。

ふっ化水素酸:0.950、ふっ化水素アンモニウム:0.667

② 公共用水域への総排出量

取扱量調査;H18・H19 実績(NITE) によると、「ふっ化水素及びその水溶性塩」を表面処理剤、工業用洗浄剤の用途で使用した事業所(データ数 314 件)の平均排出率は約 3.5%であるため、公共用水域への排出率はこの値と同じとみなす。したがって、公共用水域への全国の総排出量は約 546t/年となる。

③ 業種別の総排出量

取扱量調査;H18・H19 実績(NITE)に基づき、「ふっ化水素及びその水溶性塩」を表面処理剤、工業用洗浄剤として使用している事業所のデータを抽出し、当該物質の業種別取扱量の構成比を算出する。表面処理剤に係る業種別の総排出量は、この値に比例して配分する。表 2-74 に業種別の取扱量の構成比及び総排出量の推計値を示す。

表 2-74 表面処理剤に係る総排出量の推計結果

	 業 種				
業種 コード	業種名	回答事 取扱量 業所数 (kg/年)		構成比	総排出量 (kg/年)
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	4	5	0.00006%	0.3
1400	繊維工業	1	25	0.0003%	2
1900	出版·印刷·同関連産業	1	30	0.0004%	2
2000	化学工業	7	35,857	0.4%	2,315
2200	プラスチック製品製造業(別掲を除く)	1	1,431	0.02%	92
2500	窯業•土石製品製造業	14	56,499	0.7%	3,647
2600	鉄鋼業	17	1,521,322	18.0%	98,203
2700	非鉄金属製造業	17	78,618	0.9%	5,075
2800	金属製品製造業	57	174,261	2.1%	11,249
2900	一般機械器具製造業	25	12,648	0.1%	816
3000	電気機械器具製造業	107	6,398,456	75.6%	413,029
3100	輸送用機械器具製造業	18	14,644	0.2%	945
3200	精密機械器具製造業	11	2,488	0.03%	161
3400	その他の製造業	18	165,386	2.0%	10,676
7210	洗濯業	1	42	0.0005%	3
8630	計量証明業	1	6	0.00007%	0.4
9140	高等教育機関	7	909	0.01%	59
9210	自然科学研究所	7	670	0.008%	43
	合 計	314	8,463,297	100.0%	546,317

資料:取扱量調查;H18·H19 実績(NITE)

注1:「ふっ化水素及びその水溶性塩」を表面処理剤、工業用洗浄剤として使用している事業所のデータより、構成比を算出。

注2: 本表に示す総排出量はすべて「ふっ化水素及びその水溶性塩」(物質番号: 283)に係るもの。

Ⅲ 推計フロー

表面処理剤に係る総排出量の推計フローを図 2-11 に示す。

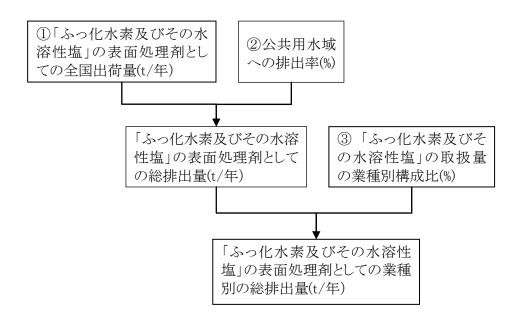


図 2-11 表面処理剤に係る総排出量の推計フロー

2-2-11 試薬

I 推計対象とする排出

化学分析等の試薬のうち、全国の需要量が把握できる塩化メチレン(物質番号:145)とトリクロロエチレン(物質番号:211)を推計対象とする。使用段階で一部が大気等へ排出される。

Ⅱ 推計に利用できるデータ

試薬の総排出量の推計に利用可能なデータを表 2-75 に示す。

表 2-75 試薬の推計で利用可能なデータの種類(平成20年度)

	データの種類	資料名等
1	塩素系炭化水素類の試薬としての国内需要量(t/年)	クロロカーボン衛生協会
2	大気への排出率(%)	取扱量調査;H18·H19 実績(NITE)
3	総排出量の業種別の構成比(%)	(上記②と同じ)

① 塩素系炭化水素類の試薬としての国内需要量

クロロカーボン衛生協会では、塩素系溶剤の製造業者である会員企業の出荷量データや 経済産業省の生産統計等のデータに基づき、物質ごとの輸出入量や在庫量等も考慮して用 途別の国内需要量を推計している。PRTR の対象化学物質のうち試薬として調査されている のは表 2-76 に示す2物質である。

表 2-76 試薬として推計する対象化学物質(平成20年度)

物質番号	対象化学物質	国内需要量 (t/年)
145	塩化メチレン	1,019
211	トリクロロエチレン	356
	合 計	1,375

資料:クロロカーボン衛生協会

注:経済産業省生産統計や会員企業データに基づき、輸出入や在庫量等を考慮した推定値を示す。

② 大気への総排出量

取扱量調査;H18・H19 実績(NITE)によると、試薬の用途で塩化メチレン又はトリクロロエチレンを使用した事業所(2 物質合計のデータ数 254 件)の平均排出率は約 3.1%であるため、大気への排出率はこの値と同じとみなす。したがって、全国における大気への総排出量(2物質の合計)は約 42t/年となる。

③ 業種別の総排出量

取扱量調査;H18・H19 実績(NITE)に基づき、塩化メチレン及びトリクロロエチレンを試薬として使用している事業所のデータを抽出し、2物質の業種別取扱量の構成比を算出する。業種別の総排出量は、この値に比例するものと仮定して配分する。表 2-77 に業種別の取扱量の構成比及び総排出量の推計値を示す。

表 2-77 試薬に係る総排出量の推計結果(平成20年度)

	取 扱 量 調 査	集計	値		総排出量	k(kg/年)
業種コード	業種名	回答事 業所数	取扱量 (kg/年)	構成比	塩化 メチレン	トリクロロエチレン
1900	出版·印刷·同関連産業	1	104	0.03%	11	3.7
2000	化学工業	30	249,064	81.9%	25,504	8,910
2200	プラスチック製品製造業	2	712	0.23%	73	25
2500	窯業•土石製品製造業	1	4	0.001%	0.4	0.1
2600	鉄鋼業	1	2	0.001%	0.2	0.1
2700	非鉄金属製造業	1	11	0.004%	1	0.4
2800	非鉄金属製造業	2	1,048	0.345%	107	37
2900	一般機械器具製造業	2	4,115	1.4%	421	147
3000	電気機械器具製造業	1	2	0.001%	0.2	0.1
3100	輸送用機械器具製造業	3	420	0.138%	43	15
3200	精密機械器具製造業	1	8	0.003%	1	0.3
3400	その他の製造業	3	208	0.07%	21	7
8620	商品検査業	18	1,827	0.6%	187	65
8630	計量証明業	75	22,464	7.4%	2,300	804
9140	高等教育機関	44	17,143	5.6%	1,755	613
9210	自然科学研究所	69	7,068	2.3%	724	253
	合 計	254	304,199	100.0%	31,150	10,882

資料: 取扱量調査: H18·H19 実績(NITE)

注:塩化メチレン及びトリクロロエチレンを試薬として使用している事業所のデータより、構成比を算出した。

Ⅲ 推計フロー

試薬に係る総排出量の推計フローを図 2-12 に示す。なお、図中の番号は表 2-75 に示す番号に対応している。

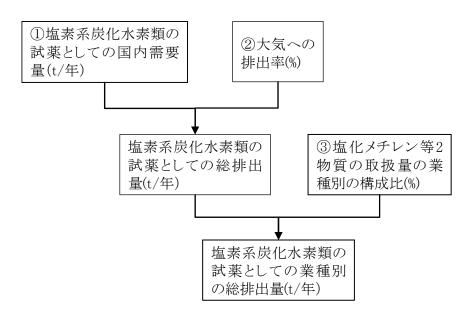


図 2-12 試薬に係る総排出量の推計フロー

2-2-12 コンバーティング溶剤

I 推計対象とする排出

各種繊維にコンバーティング加工(コーティング加工等)を施す場合にはトルエン等の溶剤が使用される。本項目では主にこの溶剤について推計を行う。なお、コンバーティング加工工程と同じように染色整理業で使用される捺染加工等で使用される薬剤も一部推計対象として含まれる。

Ⅱ 推計に利用できるデータ

コンバーティング溶剤の総排出量の推計に利用可能なデータは表 2-78 の通りである。

表 2-78 コンバーティング溶剤の推計で利用可能なデータの種類(平成 20 年度)

データの種類	資料名等		
① 染色整理業における物質別排出量 (t/年)	染色整理業における VOC 排出削減に 関する自主行動計画報告書((社)日本		
② (社)日本染色協会の調査における カバー率(%)	製りの日土11期計画報告書((社)日本 染色協会)		

① 物質別の全国排出量

(社)日本染色協会の資料によると、物質別の排出量は表 2-79 の通りである。平成 20 年度実績値は得られなかったことから、推計には平成 19 年度実績値を使用した。なお、同協会の調査で回答があった企業は製品の生産数量において同業者の 69%であることから、その値で補正した排出量を全国排出量とみなす。

表 2-79 コンバーティング溶剤等に係る排出量(平成20年度)

物質 番号	物質名	全国排出	物質別			
		補正前	補正後	構成比		
63	キシレン	82	119	1%		
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	26	38	0.4%		
227	トルエン	1,944	2,826	31%		
	その他(対象外)	4,302	6,253	68%		
合 計		6,354	9,235	100%		

注 1: 調査のカバー率(69%)にて補正を行った。

注 2: 本表に示した排出量は平成 19 年度実績値である。

② 業種別の総排出量

染色整理業の事業所における排出であるため、全量を「繊維工業」からの排出とみなす。

2-2-13 プラスチック発泡剤

I 推計対象とする排出

本項目では軟質ポリウレタンフォームの発泡剤として用いられる塩化メチレン(物質番号 145)を推計の対象とする。「ジクロロメタンのリスク評価報告書」(産業技術総合研究所、平成 17 年)によると、軟質ポリウレタンフォームの製品中には塩化メチレンは残存しないと考えられており、軟質ポリウレタンフォームを製造する事業所で使用量のほぼ全量が揮発すると考えられている。

Ⅱ 推計に利用できるデータ

発泡剤の総排出量の推計に利用可能なデータは表 2-80 の通りである。

表 2-80 プラスチック発泡剤の推計で利用可能なデータの種類(平成20年度)

	データの種類	資料名等
	発泡剤としての塩化メチレン	クロロカーボン衛生協会調べ
(1)	の使用量(t/年)	(平成 20 年度実績)
2	大気への排出率(%)	既存文献より大気への排出が 100%と仮定

① 塩化メチレンの全国使用量

クロロカーボン衛生協会の調査によると発泡剤として使用された塩化メチレンは平成 20 年度実績で1,626t/年である。

② 大気への総排出量

軟質ポリウレタンフォームの製造工程で使用された塩化メチレンはほぼ全量が製造事業所で揮発していると考えられており(「ジクロロメタンのリスク評価報告書」(産業技術総合研究所、平成 17 年)による。)、また、軟質ポリウレタンフォームの製造工程で発生する化学物質は濃度が希薄で広い空間に排出される場合が多いことから、ほとんどの事業所では排ガス処理等を行わず使用量=大気への排出量であることが既存の調査で把握されている(「平成 19 年度化学物質排出量等管理マニュアル」(株 KRI,平成 20 年))。

したがって、本推計では使用量の全量(1,626t/年 平成 20 年度実績)を大気への排出と みなす。

③ 業種別の総排出量

軟質ポリウレタンフォームの製造事業所であるため、排出量の全量をプラスチック製品製造業からの排出とみなすこととする(1,626t/年 平成20年度実績)。

Ⅲ 推計フロー

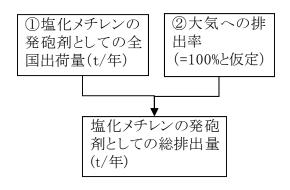


図 2-13 プラスチック発泡剤に係る総排出量の推計フロー

2-3 総排出量の推計結果

以上の方法に従って推計された排出源別の平成 20 年度における総排出量(届出を含む排出量)の推計結果を表 2-81 及び表 2-82 に示す。13 種類の排出源の合計で 180 千トンであり、排出源では塗料(88 千トン)が最大、業種では輸送用機械器具製造業(49 千トン)が最大、対象化学物質ではトルエン(77 千トン)が最大であった。

表 2-81 排出源別に推計した総排出量の推計結果(平成20年度)(排出源別;その1)

				総排	出 量 (t/	(年)		
物質番号	対象化学物質名	<u>塗</u> 料	接着剤等	インキ刷	洗浄剤等	発ガス)	ゴム溶剤	原化料等品
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る)				559			4
40	エチルベンゼン	17,010		107		58		174
42	エチレンオキシド							28
63	キシレン	47,008	2,885	188		223	431	467
145	塩化メチレン		3,217		9,304		522	1,015
166	N,N-ジメチルドデシルアミン =N-オキシド				1			
177	スチレン							417
200	テトラクロロエチレン				2,671		129	24
211	トリクロロエチレン				7,576		178	46
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	2,528				12		10
227	トルエン	21,878	27,600	11,003		1,613	10,022	2,477
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルア ンモニウム=クロリド				8			
283	ふっ化水素及びその水溶性 塩							192
299	ベンゼン					275		282
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキ ルエーテル(アルキル基の炭 素数が12から15までのもの及 びその混合物に限る)				500			14
308	ポリ(オキシエチレン) =オク チルフェニルエーテル				4			0.1
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニル フェニルエーテル				536			1
	合 計	88,424	33,702	11,298	21,160	2,180	11,281	5,149

注:本表では排出量の単位が"t/年"であることに留意(表 2-82も同様)。

表 2-81 排出源別に推計した総排出量の推計結果(平成20年度)(排出源別;その2)

				総排と	出量	(t/年)		
物質番号	対象化学物質名	(リムーバー) 剥離剤	滅菌·殺菌·	処 表面	試 薬	ゴンバーティン	プラスチック	合計
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る)							563
40	エチルベンゼン							17,349
42	エチレンオキシド		184					211
63	キシレン					119		51,320
145	塩化メチレン	1,201			31		1,626	16,915
166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド							0.8
177	スチレン							417
200	テトラクロロエチレン							2,823
211	トリクロロエチレン				11			7,811
224	1,3,5-トリメチルベンゼン					38		2,587
227	トルエン					2,826		77,419
251	ビス(水素化牛脂)ジメチル アンモニウム=クロリド							8
283	ふっ化水素及びその水溶 性塩			546				738
299	ベンゼン							557
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の 炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る)							514
308	ポリ(オキシエチレン)=オク チルフェニルエーテル							4
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニ ルフェニルエーテル							537
	合 計	1,201	184	546	42	2,983	1,626	179,775

表 2-82 排出源別に推計した総排出量の推計結果(平成20年度)(業種別;その1)

					総排	出量	(t/年)			
		1200	1300	1400	1500	1600	1700	1800	1900	2000
物質番号	対象化学物質名	食料品製造業	飼料製造業飲料・たばこ・	繊維工業	繊維製品製造業衣服・その他の	木材・木製品 製造業	製造業家具・装備品	工品製造業 パルプ・紙・紙加	関連産業出版・印刷・同	化学工業
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14 までのもの及びその混合物に限る)	3	0.3	25	0.4			17		120
40	エチルベンゼン					45	655	2	96	174
42	エチレンオキシド	0.1		9						61
63	キシレン			182		462	1,901	190	212	476
145	塩化メチレン			44		357	285	134	51	1,052
166	N,N-ジメチルドデシルア ミン=N-オキシド	0.1	0.01	0.2	0.003			0.05		0.03
177	スチレン									417
200	テトラクロロエチレン									24
211	トリクロロエチレン								0.004	55
224	1,3,5-トリメチルベンゼン			38		15	104			10
227	トルエン			5,195		1,649	1,874	6,985	10,046	2,517
251	ビス(水素化牛脂)ジメチ ルアンモニウム=クロリド	0.09	0.007	2	0.03			0.3		0.05
283	ふっ化水素及びその水溶 性塩		0	0.002					0.002	194
299	ベンゼン									282
307	ポリ(オキシエチレン)=ア ルキルエーテル(アルキル 基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合 物に限る)	37	3	151	2			20		56
308	ポリ(オキシエチレン)=オ クチルフェニルエーテル			0.08	0.001			0.03		0.8
309	ポリ(オキシエチレン)=ノ ニルフェニルエーテル	1	0.07	62	1			4		28
	合 計	42	3	5,707	4	2,528	4,819	7,352	10,406	5,465

表 2-82 排出源別に推計した総排出量の推計結果(平成20年度)(業種別;その2)

	衣 2-02 护山你加气柜	, , , , , , ,		総		<u> </u>		, - ,	
		2100	2200	2300	2400	2500	2600	2700	2800
物質番号	対象化学物質名	製品製造業 石油製品・石炭	製品製造業プラスチック	ゴム製品製造業	品・毛皮製造業 はめし革・同製	製造業 製造業	鉄 鋼 業	非鉄金属製造業	金属製品製造業
24	直鎖アルキルベンゼンス ルホン酸及びその塩(アル キル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混 合物に限る)		168	191			2	0.06	0.09
40	エチルベンゼン		3			42	176	251	2,030
42	エチレンオキシド		12	2					
63	キシレン	1	515	1,421	23	322	409	594	5,460
145	塩化メチレン	1	2,167	1,685	27	228	21	941	5,381
166	N,N-ジメチルドデシルア ミン=N-オキシド		0.04	0.04			0.06	0.002	0.003
177	スチレン								
200	テトラクロロエチレン			129			232	89	255
211	トリクロロエチレン		0.03	178		0	666	478	1,589
224	1,3,5-トリメチルベンゼン					8	22	31	293
227	トルエン	5	10,109	14,083	93	866	153	260	3,320
251	ビス(水素化牛脂)ジメチル アンモニウム=クロリド		0.07	0.08			0.07	0.002	0.004
283	ふっ化水素及びその水溶 性塩		0.09			4	98	5	11
299	ベンゼン								
307	ポリ(オキシエチレン)=ア ルキルエーテル(アルキル 基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合 物に限る)		61	69	0.4		25	0.9	1
308	ポリ(オキシエチレン)=オ クチルフェニルエーテル		1	1	0.03		0.4	0.02	0.03
309	ポリ(オキシエチレン)=ノ ニルフェニルエーテル		39	44	40		82	3	5
	合 計	7	13,076	17,804	183	1,471	1,886	2,652	18,346

表 2-82 排出源別に推計した総排出量の推計結果(平成20年度)(業種別;その3)

					総技	1 出 量	t (t/年	.)			
		2900	3000	3100	3200	3400	3600	3900	4400	5930	7210
物質番号	対象化学物質名	一般 機 械 器 具	電気機械器具	製造業機械器具	精密機 械器具	その他の製造業	ガス業	鉄道業	倉庫業	燃料小売業	洗濯業
	直鎖アルキルベンゼン										
24	スルホン酸及びその塩 (アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及 びその混合物に限る)	0.9	2	0.3	0.06						34
40	エチルベンゼン	2,453	692	9,456	15	4				58	
42	エチレンオキシド				95	15	1				5
63	キシレン	6,574	1,902	25,169	44	24		0.3	3	223	
145	塩化メチレン	1,015	1,729	807	913	20		0.4	3		
166	N,N-ジメチルドデシル アミン=N-オキシド	0.03	0.05	0.01	0.002						0.05
177	スチレン										
200	テトラクロロエチレン	131	174	131	89						1,570
211	トリクロロエチレン	997	1,589	1,185	1,071	0.007					
224	1,3,5-トリメチルベンゼ ン	325	109	1,314	2					12	
227	トルエン	2,027	1,574	10,571	49	480		1	11	1,613	
251	ビス(水素化牛脂)ジメチ ルアンモニウム=クロリド	0.04	0.06	0.01	0.003						6
283	ふっ化水素及びその水 溶性塩	0.8	413	0.9	0.2	11					0.003
299	ベンゼン									275	
307	ポリ(オキシエチレン)= アルキルエーテル(アル キル基の炭素数が12か ら 15 までのもの及びそ の混合物に限る)	14	20	5	0.9						47
308	ポリ(オキシエチレン)=オ クチルフェニルエーテル	0.3	0.4	0.09	0.02						
309	ポリ(オキシエチレン)= ノニルフェニルエーテル	47	145	16	3						12
	合 計	13,586	8,350	48,654	2,283	554	1	2	17	2,180	1,673

表 2-82 排出源別に推計した総排出量の推計結果(平成20年度)(業種別;その4)

				総	沙排 出	量 (t/	年)		
		7430	7700	7810	8620	8630	9140	9210	
物質番号	対象化学物質名	写真業	自動車整備業	機械修理業	商品検査業	計量証明業	高等教育機関	自然科学研究所	合計
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る)	0.06							563
40	エチルベンゼン		1,197						17,349
42	エチレンオキシド					0.3	10	0.5	211
63	キシレン		5,213	0					51,320
145	塩化メチレン		49	0	0.2	2	2	0.7	16,915
166	N,N-ジメチルドデシルアミン =N-オキシド								0.8
177	スチレン								417
200	テトラクロロエチレン								2,823
211	トリクロロエチレン				0.07	0.8	0.6	0.3	7,811
224	1,3,5-トリメチルベンゼン		304						2,587
227	トルエン		3,937	0					77,419
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルア ンモニウム=クロリド								8
283	ふっ化水素及びその水溶性 塩					0	0.06	0.04	738
299	ベンゼン								557
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキ ルエーテル(アルキル基の炭 素数が 12 から 15 までのもの 及びその混合物に限る)	0.07							514
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチ ルフェニルエーテル	0.004							4
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニル フェニルエーテル	6							537
	合 計 中の排出量 0t/年は 0.5kg/年未満さ	6	10,700	0	0.3	3	13	2	179,775

2-4 排出源別のすそ切り以下事業者に係る排出量の推計方法

2-4-1 基本的な考え方

ある排出源(業種・対象化学物質)について、総排出量(="A")に対する事業者規模 21 人未満の寄与率が"p"(21 人以上が"1-p")と推計され、かつ、総排出量に対する年間取扱量 1t(特定第一種指定化学物質は 0.5t;以下同様)未満の寄与率が"q"(1t 以上が"1-q")と推計された場合、すそ切り以下事業者に係る排出量は、以下の"E1"と"E2"の合計として推計される。

 $E1=A \times p \times (1-q)$ $E2=A \times q$

これらの推計の考え方を図 2-14 に示す。

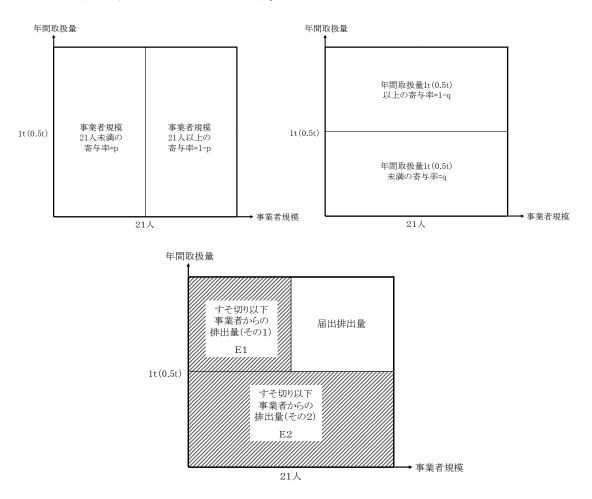


図 2-14 事業者規模等の寄与率に基づくすそ切り以下の排出量推計の概念図

上記の"p"と"q"は業種や対象化学物質の種類ごとに異なった値になるが、これらは次のように推計される。

(参考)

総排出量がマクロ的に把握できない排出源では、事業者からの届出排出量(="B")が把握できれば、すそ切り以下事業者に係る排出量は以下の"E1"と"E2"の合計として推計される。

 $E1=B\times p/(1-p)$

 $E2=B\times q/\{(1-p)\times (1-q)\}$

現時点において、総排出量のマクロ的な推計が困難と考えられる排出源として、具体的には 以下のような例が挙げられる。

- ・ 試薬(塩化メチレンとトリクロロエチレンを除く)
- 滅菌・殺菌・消毒剤(エチレンオキシドを除く)
- ・ 洗浄用溶剤(シンナー)
- メッキ薬剤・電極
- 電池•電子材料
- プラスチック添加剤
- 紙・パルプ薬品
- 繊維処理剤
- 副生成

このような排出源を含めて排出量を推計する可能性については、引き続き情報収集に努め、検討することとする。

2-4-2 事業者規模 21 人未満の排出の割合

事業所・企業統計調査(総務省)によると、企業の常用雇用者数は業種ごとに"10~19 人"等の幅で示されているが、これらの規模ランクごとの平均の常用雇用者数を仮定することにより、それらの規模ラングごとの全国の延べ常用雇用者数が推計される(注)。対象化学物質の排出量が常用雇用者数に比例するならば、この規模ランクごとの延べ常用雇用者数として21人未満の排出の割合を設定することができる。

注: 平成 18 年事業所・企業統計調査では、製造業、電気業、ガス業、倉庫業、自動車整備業等の中分類では規模ランクごとの延べ常用雇用者数が直接把握可能(その他の業種は企業数等から推定)

しかしながら、製造業の多くは製造施設を使って事業活動を営んでおり、必ずしも常用雇用者数に比例して対象化学物質が排出されるものではない。製造業における「事業活動の規模」を表す指標としては、工業統計表(経済産業省)に示された「製造品出荷額等」が実態をより反映していると考えられるが、企業の規模別の製造品出荷額等は把握できないことから、表 2-83 の関係を仮定して、企業規模別の「常用雇用者1人当たり出荷額」によって企業規模別の製造品出荷額等の合計を推計することとする。表 2-83 に示す関係は単純化した仮定であるが、企業と事業所の常用雇用者規模の関係は、表 2-84 に示すデータから概ね妥当なものと判断される。

以上の考えに基づいて推計した「企業の常用雇用者規模別の一人当たり製造品出荷額等」の推計結果の例を図 2-15 に示す。ただし、この製造品出荷額等を併用した推計は製造業に限り、その他の業種については常用雇用者数の割合に比例するものと仮定する。

表 2-83 仮定した事業所規模と企業規模の関係

事業所規模	企業規模
4~9 人	0~4 人
4~9 人	5~9 人
10~19 人	10~19 人
20~29 人	20~29 人
30~49 人	30~49 人
50~99 人	50~99 人
100~199 人	100~299 人
200~299 人	300~999 人
300~499 人	1,000~1,999 人
500~999 人	2,000~4,999 人
1,000 人以上	5,000 人以上

注:「1人当たり出荷額」が本表の規模ごとに同じと仮定するものであり、 事業所と企業の規模が常に対応することを意味するものではない。

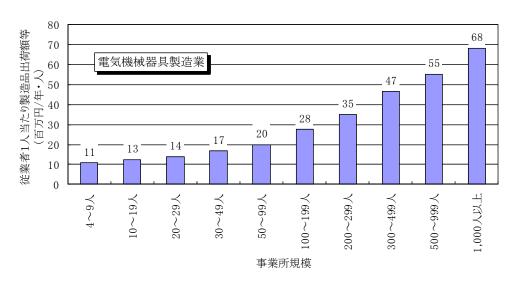
表 2-84 製造業における企業の常用雇用者数別・事業所数別の企業数

企業の常用雇用 者数	単一事業所 企業			複数	数事業所企	業			合計
	1事業所	2事業所	3事業所	4事業所	5事業所	6~10 事業所	11~30 事業所	31事業 所以上	
0~4人	120,835	907	62	10	1	1		1	121,817
5~9人	60,048	2,808	311	55	10	5	1		63,238
10~19人	41,478	4,836	938	163	43	27	4		47,489
20~29人	15,486	3,294	997	310	99	48	9		20,243
30~49人	11,308	3,801	1,591	591	211	196	16	1	17,715
50~99人	6,497	3,235	2,006	996	492	654	91	4	13,975
100~299人	2,616	1,589	1,444	1,105	672	1,402	536	33	9,397
300~999人	395	206	241	247	211	699	692	145	2,836
1,000~1,999人	19	15	18	25	29	112	168	111	497
2,000~4,999人	4		2	7	2	30	102	128	275
5,000人以上		1		1	1	6	45	78	132
合 計	258,686	20,692	7,610	3,510	1,771	3,180	1,664	501	297,614

資料: 平成 13 年事業所 · 企業統計調查結果報告(総務省)

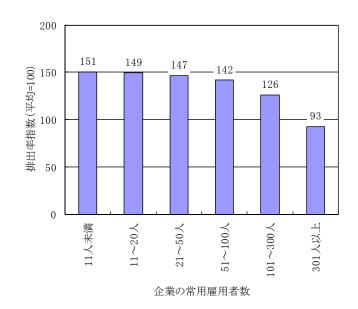
以上によって、企業の常用雇用者 21 人未満の割合が「事業活動の規模」として推計されたが、 これは必ずしも環境中への排出量に比例するものではなく、企業規模による排出抑制対策の実施 率等の差が反映されることで、さらに推計精度が向上すると考えられる。

この割合を正確に把握することは困難だが、ここでは「取扱量調査;H18・H19 実績(NITE)」の報告データに基づき、業種や対象化学物質の違いを無視して、企業規模別の平均排出率(取扱量と排出量の集計結果の比率)を指数化して表すこととした。その結果を図 2-16に示す。一般に、企業の常用雇用者数が大きくなるほど排出率指数が小さくなるため、事業活動の規模に比べると環境への排出量は少ない傾向があると考えられる。



資料: 平成 19 年工業統計表(経済産業省)

図 2-15 事業所の常用雇用者数別の1人当たり製造品出荷額等の例



資料:取扱量調查;H18·H19 実績(NITE)

注1:化学工業は排出率指数を一律に100としたため、本図では省略した。注2:用途が「燃焼・還元等による副生成」と回答されたデータは除外した。

図 2-16 企業の常用雇用者数別の排出率指数(化学工業以外)

以上の三つのパラメータ(常用雇用者数、製造品出荷額等、排出率指数)を使って、業種ごとに「事業者規模 21 人未満における排出の割合」を推計する方法の例を表 2-85 に示す。推計のベースとなる事業所・企業統計は常用雇用者のランクが「20~29 人」等とされているが、この「20~29 人」のランクに属する企業の 1/10 は「事業者規模 21 人未満」に属すると仮定して(注)計算を行った。

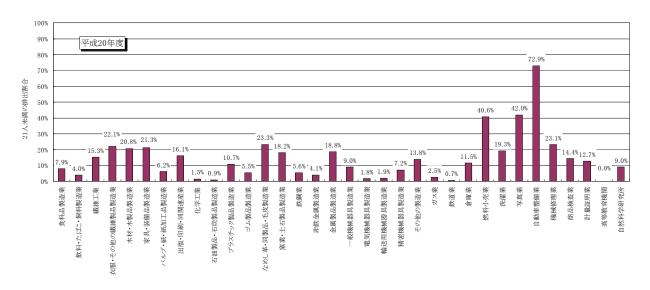
注:計算上、「事業者規模 21 人未満」の企業数が整数にならない場合が多いが、最終的に排出量ベースの割合 を推計するための中間的な値であるため、四捨五入等による整数化は行っていない。

表 2-85 事業者規模 21 人未満における排出の割合の推計結果(洗濯業等の例)

業種	企業の常用雇 用者数の代表 値(人) (a)	企業数 (b)	延べ常用雇用者 数の推計値(人) (c)=(a)×(b)	従業者1人当たり製造品出荷額等(百万円/人) (d)	製造品出荷額等 の推計値 (百万円/年) (e)=(c)×(d)	排出率指数 (平均=100) (f)	=(c)×(f)/100 $\mathbb{Z} l \sharp$ =(e)×(f)/100	常用雇用者規模別 構成比 (排出量ベース)	常用雇用者21人 未満の割合 (排出量ベース)
7210 洗濯業		8,334	233,387		0		298,399	100.0%	19.3%
0~ 4人	2	3,380	6,760	0.0	0	151	10,178	3.4%	
5 ~ 9	7	1,461	10,227	0.0	0		15,398	5.2%	
10 ~ 19	15	1,338	20,070	0.0	0		29,990	10.1%	
$20 \sim 29$	25	630	15,750	0.0	0		23,157	7.8%	
$\frac{20 \times 29}{30 \sim 49}$	40	657		0.0	0		38,572	12.9%	
$\frac{30 \sim 49}{50 \sim 99}$	75	510	26,280 38,250	0.0	0		54,246	12.9%	
$100 \sim 299$	200	287	57,400	0.0	0	110	72.328	24.2%	
$300 \sim 999$	650	61	39,650	0.0	0		36,871	12.4%	
$1,000 \sim 1,999$	1,500	8		0.0	0		11,153	3.7%	
$2.000 \sim 4.999$	3,500	2		0.0	0		6,506	2.2%	
5.000 人以上	6,500	0		0.0	0		0,000		
7430 写真業	0,000	5.135	48,664	0.0	0		63.028	100.0%	42.0%
0~ 4人	2	3,798	7,596	0.0	0	151	11,437	18.1%	101070
5~ 9	7	754	5,278	0.0	0	151	7,947	12.6%	
10 ∼ 19	15	303	4,545	0.0	0	149	6,791	10.8%	
$20 \sim 29$	25	94	2,350	0.0	0	147	3,455	5.5%	
$30 \sim 49$	40	78	3,120	0.0	0	147	4.579	7.3%	
50 ~ 99	75	55	4,125	0.0			5,850	9.3%	
100 ∼ 299	200	43	8,600	0.0	0		10,837	17.2%	
300 ∼ 999	650			0.0	0		4,231	6.7%	
$1,000 \sim 1,999$	1,500	1	1,500	0.0	0		1,394	2.2%	
$2.000 \sim 4.999$	3,500	2	1.000	0.0	0		6,506	10.3%	
5,000人以上	6,500	0		0.0	0		0	0.070	
7700 自動車整備業		23,418	131,858		0		192,429		72.9%
0 ~ 4人		14,762	29,225	0.0	0	151	44,003	22.9%	
$5 \sim 9$		5,859	37,590	0.0	0	151	56,597	29.4%	
10 ~ 19		1,972	25,754	0.0	0	149	38,484	20.0%	
20 ~ 29		405	9,543	0.0	0	147	14,031	7.3%	
30 ∼ 49		235	8,725	0.0	0	147	12,806	6.7%	
50 ~ 99		121	8,144	0.0	0	142	11,550	6.0%	
$100 \sim 299$		57	9.040	0.0	0	126	11.391	5.9%	
300 ∼ 999		7	3,837	0.0	0		3,568	1.9%	
$1,000 \sim 1,999$			-	0.0	0		0		
$2,000 \sim 4,999$			-	0.0	0		0		
5,000人以上			-	0.0	0	- 00	0	0.070	
7810 機械修理業		7,101	162,903		0		192,887	100.0%	23.1%
0~ 4人	2	4,062	8,124	0.0	0	151	12,232	6.3%	
5 ~ 9	7	1,392	9,744	0.0		151	14,671	7.6%	
10 ~ 19	15	751	11,265	0.0	0	149	16,833	8.7%	
20 ~ 29	25	269	6,725	0.0	0	147	9,888	5.1%	
30 ∼ 49	40	238	9,520	0.0	0	147	13,973	7.2%	
50 ∼ 99	75	167	12,525	0.0	0	142	17,763	9.2%	
100 ∼ 299	200	150	30,000	0.0	0		37,802	19.6%	
300 ∼ 999	650	60	39,000	0.0	0	93	36,266	18.8%	
$1.000 \sim 1.999$	1.500	6		0.0	0		8,365	68.4%	
$2,000 \sim 4,999$	3,500	4		0.0	0		13,012	88.7%	
5,000人以上	6,500	2	13,000	0.0	0	93	12,083	71.8%	

資料1:平成 18 年事業所・企業統計調査結果報告(総務省)

資料2:平成19年工業統計表(経済産業省) 資料3:取扱量調查;H18·H19実績(NITE) 前述によって推計された業種別の「事業者規模 21 人未満の事業者による排出の割合」 を図 2-17 に示す。製造業では 10%前後の割合となっており、21 人未満の割合は総じて高 くないが、非製造業では 21 人未満の割合が 30%以上の業種もあり、高い傾向が見られる。



注:今回の推計対象から除外した業種(下水道業等)は省略した。

図 2-17 事業者規模 21 人未満の事業者による排出量の割合の推計結果

2-4-3 年間取扱量 1t 未満の排出の割合

(1) 推計の区分

年間取扱量 1t 未満の排出の割合に影響する要因には、「対象化学物質の種類」、「業種」、「事業者規模」、「排出源」など多くのものが考えられる。

影響する要因の一つである「事業者規模」については、年間取扱量との間に有意な相関があるか否かがポイントになる。その関係を定量的に把握するため、既存の調査結果に基づき、主要な3種類の対象化学物質について、業種グループごとに事業者規模(人)と年間取扱量(kg/年)の散布図を作成した(図 2-18~図 2-20)。大半のケースで(注)両者に実質的な相関は見られないため、年間取扱量 1t 未満における排出の割合は事業者規模から独立して設定できるものと考えられる。したがって、図 2-14 に示すパラメータ"q"は事業者規模に無関係なパラメータとして設定することとする。

注:一部のケースで両者に正の相関が見られるが、データ数が少ないことに起因した可能性もある ため、現時点において両者の関係を考慮した排出量推計の必要はないと判断される。

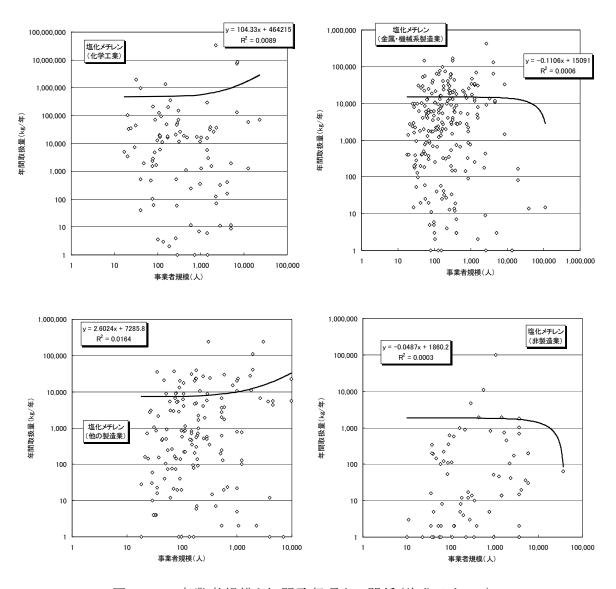


図 2-18 事業者規模と年間取扱量との関係(塩化メチレン)

その他の要因として考えられる「対象化学物質の種類」と「業種」については、図 2-18~図 2-20 においても無視できない要因であると認められる。

例えば塩化メチレン(図 2-18)について、製造業では年間取扱量 1t(図では 1,000kg/年)以上の寄与が大きいことが明らかだが、非製造業では年間取扱量 1t 以上のデータは一部に限られ、1t 未満の取扱に伴う排出量の寄与が無視できないものと考えられる。他の物質にも同様の状況が見られ、総じて考えれば化学工業は平均取扱量が最も大きく、非製造業は平均取扱量が最も小さい(年間取扱量 1t 未満における排出の寄与が最も大きいのは非製造業)という傾向が見られる。

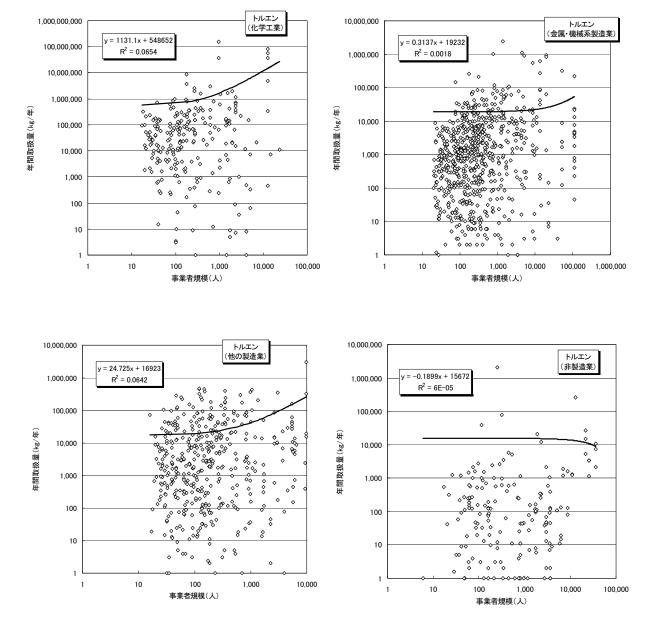


図 2-19 事業者規模と年間取扱量との関係(トルエン)

対象化学物質の種類も「年間取扱量 1t 未満における排出の割合」に大きく影響する。例えば、同じ金属・機械系製造業でトルエン(図 2-19)と $AE^{(i)}$ (図 2-20)を比較した場合、トルエンでは年間取扱量 1t 以上の寄与が大きいことが明らかだが、AEでは大半のデータが年間取扱量 1t 未満であり、顕著な差が見られる。

注:対象化学物質名の「ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)」を"AE"と略称した。

ただし、図 2-18~図 2-20 において採用した業種グループは、表 2-86 に示すとおり設定したものである(推計対象としない下水道業等は除外した)。

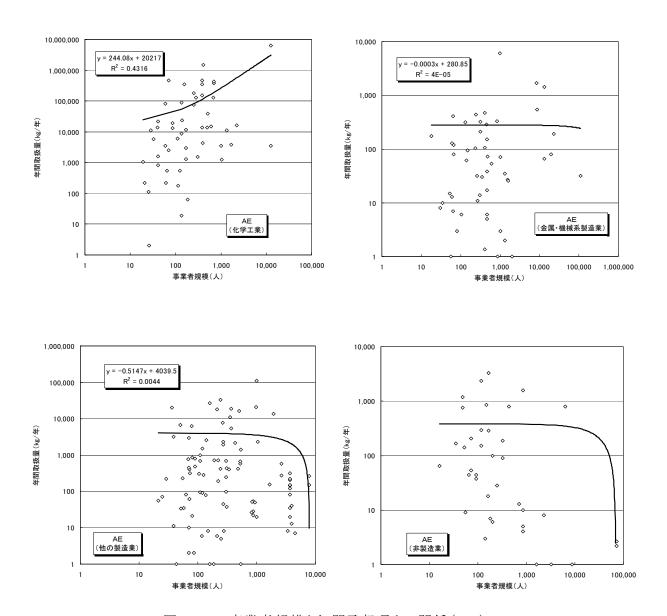


図 2-20 事業者規模と年間取扱量との関係(AE)

表 2-86 採用した業種グループの設定方法

業種グループ	対応する業種
化学工業	化学工業
金属•機械系	鉄鋼業、 非鉄金属製造業、 金属製品製造業、 一般機械器具製造業、
製造業	電気機械器具製造業、 輸送用機械器具製造業、 精密機械器具製造業
他の製造業	食料品製造業、 飲料・たばこ・飼料製造業、 繊維工業、
	衣服・その他の繊維製品製造業、 木材・木製品製造業、
	家具・装備品製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、出版・印刷・同関連産業、
	石油製品・石炭製品製造業、プラスチック製品製造業、ゴム製品製造業、
	なめし革・同製品・毛皮製造業、 窯業・土石製品製造業、 その他の製造業
非製造業	ガス業、鉄道業、倉庫業、燃料小売業、洗濯業、写真業、
	自動車整備業、 機械修理業、 商品検査業、 計量証明業、 高等教育機関、
	自然科学研究所

前述の考察に基づき、年間取扱量 1t 未満における排出の割合は、業種グループ別及び対象化学物質別に推計することとする。業種をさらに細分化しても、データ数が少なくなり、精度の高い推計が困難になると考えられることから、ここでは表 2-86 に示す業種グループごとに推計を行う。

また、対象化学物質が異なると用途等が異なる場合が多いため、原則として対象化学物質はすべて区別して推計を行う必要がある。但し、各種調査で十分なデータ数が得られていない対象化学物質については、それらの想定される主要な用途や需要分野を考慮して、別の対象化学物質の値を代用することとする。

(2) 推計方法とその結果

年間取扱量 1t 未満における排出の割合は、表 2-87 に示すデータに基づき、年間 取扱量の規模別に集計した結果に基づいて推計される。

	2. =	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	データ種類	内 容	データ数
ア	取扱量調査(H18 年度実績) (NITE)	平成 18 年度実績における対象化学 物質ごとの年間取扱量及び環境中 への排出率ランク	25,840
イ	取扱量調査(H19年度実績) (NITE)	年度以外は上記と同様	21,681
			47,521

表 2-87 年間取扱量 1t 未満の割合の推計に利用可能なデータの種類

その推計に利用可能なデータ数を取得方法別に集計した結果を表 2-88 に示す。これらの調査は、年間取扱量のすそ切りなしに実施されたものであるため、報告されたデータは実際の年間取扱量の分布を概ね忠実に反映しているものと考えられる。

また、同様の集計を前述の業種グループ別に行った結果を表 2-89に示す。

表 2-88 年間取扱量1t未満における排出の割合の推計に利用可能なデータ数(取得方法別)

15. 47. E.		利	用可能データ	数
取扱量	年間取扱量	取扱量調	取扱量調	合計
/ /		查(H18)	查(H19)	Ц П
1	100kg 未満	8,393	8,336	16,729
2	100∼500kg	3,617	3,584	7,201
3	500kg∼1t	1,847	1,687	3,534
4	1∼10t	6,191	4,673	10,864
5	10∼100t	3,656	2,291	5,947
6	100∼1,000t	1,555	815	2,370
7	1,000~10,000t	408	225	633
8	10,000~100,000t	121	60	181
9	100,000t 以上	52	10	62
	合 計	25,840	21,681	47,521

表 2-89 年間取扱量 1t 未満における排出の割合の推計に利用可能なデータ数(業種グループ別)

	- 114.00.00 = 10 / 111141					
			利用	可能データ	タ数	
取扱量	年間取扱量	1	2	3	4	
ランク	十间取扱里	化学工業	金属·機械 系製造業	他の製造 業	非製造業	合計
1	100kg 未満	1,763	5,971	3,313	5,682	16,729
2	100∼500kg	918	3,015	1,798	1,470	7,201
3	500kg~1t	535	1,294	818	887	3,534
4	1∼10t	2,473	4,329	2,380	1,682	10,864
5	10∼100t	1,998	1,762	1,048	1,139	5,947
6	100∼1,000t	1,012	456	353	549	2,370
7	1,000~10,000t	300	127	108	98	633
8	10,000~100,000t	66	35	52	28	181
9	100,000t 以上	14	4	43	1	62
	合 計	9,079	16,993	9,913	11,536	47,521

さらに、利用可能なデータ数を業種グループ別・対象化学物質別に集計した結果を表 2-90 に示す。なお、業種グループ・対象化学物質の組み合わせでデータ数が少ない場合には精度良い推計ができないため、当該物質の用途や需要分野を考慮して類似の対象化学物質のデータを代用することとする。

表 2-90 年間取扱量 1t 未満における排出の割合の推計に利用可能なデータ数 (業種グループ別・対象化学物質別)

(乗性グルーノ別・対象化子物質別)									
物		利用可能データ数							
がら		1	2	3	4				
質番号	対象化学物質名	化学工 業	金属·機 械系製造 業	他の 製造業	非製造業	合 計			
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び その塩(アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混合物に限る)	125	82	85	37	329			
40	エチルベンゼン	200	1,109	422	865	2,596			
42	エチレンオキシド	44	30	15	35	124			
63	キシレン	466	2,053	1,091	1,435	5,045			
145	塩化メチレン	197	474	337	334	1,342			
166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オ キシド	32	9	10	3	54			
177	スチレン	120	175	160	64	519			
200	テトラクロロエチレン	22	55	43	131	251			
211	トリクロロエチレン	19	243	129	42	433			
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	142	529	278	643	1,592			
227	トルエン	565	2,116	1,316	1,409	5,406			
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウ ム=クロリド	24	2	8	6	40			
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	78	406	75	122	681			
299	ベンゼン	59	240	106	884	1,289			
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)	190	191	275	72	728			
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェ ニルエーテル	64	57	48	25	194			
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル エーテル	169	261	237	47	714			
上記	以外の物質	6,563	8,961	5,278	5,382	26,184			
	合 計	9,079	16,993	9,913	11,536	47,521			

注: 平成 20 年度排出量を推計する対象化学物質のうち、界面活性剤の「N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド」(物質番号:166)と「ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム=クロリド」(物質番号:251)はデータ数が少ないため、同じ用途で需要分野が類似した「ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)」(物質番号:307)のデータを代用する。

以上のデータを使って「年間取扱量 1t 未満における排出の割合」を推計した例を表 2-91~表 2-93 に示す。塩化メチレンの場合(表 2-91)、1t 未満における排出の割合(図中の網掛けで示す部分)は全体的に小さい値であり、特に製造業では全て 1%未満である。トルエンの場合(表 2-92)も製造業は 2%未満である。AEについては(表 2-93)、金属・機械系製造業で 1t 未満における排出の割合が 10%以上を占め、非製造業では 90%以上となっている。

表 2-91 年間取扱量規模別の排出量集計結果の例(塩化メチレン)

		年間排出量の合計								
取扱量		1		2	2		3		4	
ランク	年間取扱量	量 化学工業		金属·機 製造		他の製造業		非製造業		
		kg/年	構成比	kg/年	構成比	kg/年	構成比	kg/年	構成比	
1	100kg 未満	307	0.0%	1,414	0.1%	1,123	0.1%	301	0.8%	
2	$100{\sim}500 \mathrm{kg}$	883	0.1%	5,725	0.3%	7,310	0.5%	1,528	4.2%	
3	500kg∼1t	2,525	0.3%	12,480	0.6%	9,936	0.7%	1,905	5.2%	
4	1∼10t	53,785	6.1%	438,622	20.8%	196,137	14.0%	18,485	50.3%	
5	10∼100t	193,276	21.8%	1,346,033	63.8%	452,389	32.3%	91	0.2%	
6	100∼1,000t	435,057	49.1%	306,334	14.5%	735,066	52.4%	12,120	33.0%	
7	$1,000$ $\sim 10,000$ t	199,509	22.5%	0	0.0%	0	0.0%	2,351	6.4%	
8	10,000 $\sim 100,000t$	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
9	100,000t 以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
É	計	885,342	100.0%	2,110,606	100.0%	1,401,961	100.0%	36,781	100.0%	

注:排出量の構成比で「年間取扱量 1t 未満」に該当する部分を網掛けで示す。

表 2-92 年間取扱量規模別の排出量集計結果の例(トルエン)

		年間排出量の合計								
		1		2		3		4		
取扱量 ランク	年間取扱 量	化学工業		金属·機械系 製造業		他の製造業		非製造業		
		kg/年	構成 比	kg/年	構成 比	kg/年	構成 比	kg/年	構成 比	
1	100kg 未満	213	0.0%	7,162	0.1%	3,845	0.0%	2,628	0.4%	
2	100 ∼500kg	1,104	0.1%	61,999	0.7%	26,504	0.1%	14,085	2.3%	
3	500kg∼1t	3,556	0.2%	90,749	1.1%	42,528	0.1%	24,328	4.0%	
4	1∼10t	40,735	2.0%	1,355,961	16.0%	692,033	1.7%	63,697	10.5%	
5	10∼100t	453,031	22.2%	3,183,152	37.6%	3,932,753	9.8%	75,154	12.3%	
6	100 ∼1,000t	971,095	47.6%	2,956,237	34.9%	11,703,810	29.2%	186,666	30.6%	
7	1,000 $\sim 10,000t$	560,738	27.5%	813,850	9.6%	21,208,519	53.0%	47,242	7.8%	
8	10,000 $\sim 100,000$ t	9,677	0.5%	0	0.0%	1,320,567	3.3%	195,345	32.1%	
9	100,000t 以上	0	0.0%	0	0.0%	1,122,726	2.8%	0	0.0%	
合	計	2,040,149	100.0%	8,469,111	100.0%	40,053,287	100.0%	609,143	100.0%	

注:排出量の構成比で「年間取扱量 1t 未満」に該当する部分を網掛けで示す。

表 2-93 年間取扱量規模別の排出量集計結果の例(AE)

		年間排出量の合計								
取扱	年間取扱	在問取场 1		2		3		4		
量ラン ク	量	化学二	化学工業		金属·機械系 製造業		他の製造業		非製造業	
		kg/年	構成比	kg/年	構成比	kg/年	構成比	kg/年	構成比	
1	100kg 未満	20	0.0%	442	1.7%	218	0.2%	346	18.1%	
2	100∼ 500kg	16	0.0%	2,676	10.0%	2,575	2.1%	711	37.2%	
3	500kg∼1t	27	0.0%	354	1.3%	5,211	4.3%	789	41.2%	
4	1∼10t	2,056	1.6%	22,852	85.7%	30,938	25.2%	68	3.5%	
5	10∼100t	12,982	10.3%	343	1.3%	83,593	68.2%	0	0.0%	
6	100∼ 1,000t	107,476	85.6%	0	0.0%	37	0.0%	0	0.0%	
7	1,000∼ 10,000t	3,039	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
8	10,000∼ 100,000t	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
9	100,000t 以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
合	計	125,616	100.0%	26,667	100.0%	122,573	100.0%	1,914	100.0%	

注1:排出量の構成比で「年間取扱量 1t 未満」に該当する部分を網掛けで示す。

注2:対象化学物質名「ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る)」を"AE"と略称した。

以上の考えに従って推計した年間取扱量 1t 未満における排出の割合の推計結果を表 2-94に示す。対象化学物質ごとの用途等の違いを反映して、1t 未満における排出の割合にも大きな差が見られるものの、データ数の少なさに起因したばらつきも含まれており、さらなるデータの蓄積によって精度の向上を図る必要がある。しかし、データ数が少ない場合であっても、用途等が類似した別の対象化学物質と比較して極端な差は見られないことから、全体として概ね妥当な結果と考えられる。したがって、表 2-94に示す値を使ってすそ切り以下事業者に係る排出量を推計することとする。

表 2-94 年間取扱量 1t 未満における排出の割合の推計結果(その1)

物質		年間取扱	量 1t 未満 l	こおける排	出の割合
番号	対象化学物質名	化学工業	金属·機械 系製造業	他の製 造業	非製造業
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び その塩(アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混合物に限る)	0.6%	6.7%	19.8%	60.2%
40	エチルベンゼン	1.0%	1.7%	4.0%	11.3%
42	エチレンオキシド	1.7%	13.3%	12.2%	52.0%
63	キシレン	0.5%	1.3%	2.9%	11.9%
145	塩化メチレン	0.4%	0.9%	1.3%	10.2%
166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド	0.1%	13.0%	6.5%	96.5%
177	スチレン	0.01%	2.5%	0.2%	59.0%
200	テトラクロロエチレン	0.01%	1.4%	1.7%	3.3%
211	トリクロロエチレン	18.3%	0.5%	4.6%	18.9%
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	1.6%	3.8%	7.2%	12.5%
227	トルエン	0.2%	1.9%	0.2%	6.7%
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム =クロリド	0.1%	13.0%	6.5%	96.5%
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	0.1%	1.0%	25.2%	0.1%
299	ベンゼン	0.1%	2.2%	0.1%	0.4%
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)	0.1%	13.0%	6.5%	96.5%
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニ ルエーテル	2.3%	4.6%	98.8%	89.2%
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル エーテル	1.3%	33.0%	14.4%	13.6%

注1:特定第一種指定化学物質(物質番号: 26, 42, 60, 69, 232, 252, 299)は「1t 未満」を「0.5t 未満」 と読み替える。

注 2:平成 19 年度排出量を推計する対象化学物質のうち、界面活性剤の「N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド」(物質番号:166) と「ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム=クロリド」(物質番号:251) はデータ数が少ないため、同じ用途で需要分野が類似した「ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)」(物質番号:307)のデータを代用する。

2-5 すそ切り以下事業者に係る排出量の推計結果

前述の総排出量(届出を含む対象業種全体の排出量)に対し、「事業者規模 21 人未満における排出の割合」と「年間取扱量 1t 未満における排出の割合」をそれぞれ乗じて重複を差し引くことにより、すそ切り以下事業者に係る対象化学物質の排出量が推計される。排出量の推計結果を表 2-95~表 2-99 に示す。ただし、表 2-95~表 2-97 の表中で"E1"、"E2"で示す排出量は、図 2-14 に示す同じ記号の排出量に対応することを意味する。

今回推計した17種類の対象化学物質全体で考えると、総排出量の約180千トンに対し、すそ切り以下事業者に係る排出量は約25千トンであり、総排出量の約14%の大きさとなっている。また、すそ切り以下事業者に係る排出量の約87%を「21人未満(1t未満を除く)」が占めており、「1t未満(21人未満を含む)」の寄与は約13%である。

表 2-95 すそ切り以下事業者に係る排出量推計結果(平成20年度)(排出源別)

			すそ切り以下排出量(t/年)			
排出源コード	排出源	総排出量 (t/年)	E1 21 人未満 (1t 未満を除く)	E2 1t 未満 (21人未満を含む)	合 計	
1	塗料	88,424	11,847	2,299	14,145	
2	接着剤等	33,702	3,448	195	3,643	
3	印刷インキ	11,298	1,771	30	1,800	
4	工業用洗浄剤等	21,160	2,192	505	2,698	
5	燃料(蒸発ガス)	2,180	827	144	971	
6	ゴム溶剤等	11,281	616	48	664	
7	化学品原料等	5,149	76	24	100	
8	剥離剤	1,201	118	16	134	
9	滅菌•殺菌•消毒剤	184	11	27	38	
10	表面処理剤	546	17	9	26	
11	試薬	42	1	3	4	
12	コンバーティング溶剤	2,983	454	11	466	
13	プラスチック発泡剤	1,626	172	21	193	
	合 計	179,775	21,551	3,331	24,881	

表 2-96 すそ切り以下事業者に係る排出量推計結果(平成20年度)(業種別)

		2717上四 〒 1正1	I	以下排出量(t/st	手)
業種	業種名	総排出量	E1	E2	
コード	术 1 年 4	(t/年)	21 人未満	1t 未満	合 計
1200	食料品製造業	42	(It 木価を除く) 3	(21 人未満を含む)	6
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	3	0.1	0.2	0.4
1400	繊維工業	5,707	866	43	909
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	3,707	0.8	0.4	1
1600	木材・木製品製造業	2,528	521	24	545
1700	家具•装備品製造業	4,819	1,004	95	1,100
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	7,352	454	25	480
1900	出版・印刷・同関連産業	10,406	1,674	29	1,703
2000	化学工業	5,465	81	27	108
2100	石油製品•石炭製品製造業	7	0.07	0.06	0.1
2200	プラスチック製品製造業	13,076	1,389	107	1,496
2300	ゴム製品製造業	17,804	968	149	1,117
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	183	41	7	48
2500	窯業·土石製品製造業	1,471	264	17	281
2600	鉄鋼業	1,886	102	50	152
2700	非鉄金属製造業	2,652	106	31	138
2800	金属製品製造業	18,346	3,398	240	3,638
2900	一般機械器具製造業	13,586	1,202	208	1,410
3000	電気機械器具製造業	8,350	149	150	299
3100	輸送用機械器具製造業	48,654	933	746	1,680
3200	精密機械器具製造業	2,283	163	31	193
3400	その他の製造業	554	76	6	82
3600	ガス業	1	0.01	0.6	0.6
3900	鉄道業	2	0.01	0.2	0.2
4400	倉庫業	17	2	1	3
5930	燃料小売業	2,180	827	144	971
7210	洗濯業	1,673	298	126	424
7430	写真業	6	2	0.9	3
7700	自動車整備業	10,700	7,025	1,061	8,086
7810	機械修理業	0	0	0	0
8620	商品検査業	0.3	0.03	0.03	0.06
8630	計量証明業	3	0.4	0.5	0.9
9140	高等教育機関	13	_	6	6
9210	自然科学研究所	2	0.1	0.4	0.5
	合計 表中の排出量 0t/年け 0.5kg/年未満を	179,775	21,551	3,331	24,881

表 2-97 すそ切り以下事業者に係る排出量推計結果(平成20年度)(対象化学物質別)

			すそ切り以下排出量(t/年)				
物質番号	対象化学物質名	総排出量 (t/年)	E1 21 人未満 (1t 未満を除く)	E2 1t 未満 (21 人未満を含む)	合 計		
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混合物に限る)	563	32	102	133		
40	エチルベンゼン	17,349	1,769	427	2,196		
42	エチレンオキシド	211	12	27	39		
63	キシレン	51,320	6,351	1,306	7,656		
145	塩化メチレン	16,915	1,816	176	1,992		
166	N,N-ジメチルドデシルアミン= N-オキシド	0.8	0.06	0.1	0.2		
177	スチレン	417	6	0.04	6		
200	テトラクロロエチレン	2,823	387	69	456		
211	トリクロロエチレン	7,811	581	55	636		
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	2,587	339	132	470		
227	トルエン	77,419	10,048	813	10,861		
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアン モニウム=クロリド	8	0.3	6	6		
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	738	20	9	29		
299	ベンゼン	557	116	1	117		
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキル エーテル(アルキル基の炭素数 が 12 から 15 までのもの及びそ の混合物に限る)	514	40	76	116		
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチル フェニルエーテル	4	0.07	2	2		
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフ ェニルエーテル	537	35	129	165		
	合 計	179,775	21,551	3,331	24,881		

表 2-98 すそ切り以下事業者に係る排出量推計結果(平成 20 年度) (排出源別・対象化学物質別)(その1)

	(1)	すそ切り以下排出量(t/年)								
物質番号	対象化学物質名	塗 料	接着剤等	印刷インキ	净 利 等 形 洗	(蒸 燃 ズ) ガ	ガム溶剤	原化料学品		
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が 10から14までのもの及びその混合物に限る)				133			0.08		
40	エチルベンゼン	2,144		20		27		4		
42	エチレンオキシド							0.9		
63	キシレン	7,069	382	34		106	35	9		
145	塩化メチレン		389		1,221		35	19		
166	N,N-ジメチルドデシルア ミン=N-オキシド				0.2					
177	スチレン							6		
200	テトラクロロエチレン				446		9	0.4		
211	トリクロロエチレン				608		18	9		
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	456				6		0.3		
227	トルエン	4,476	2,873	1,746		720	567	43		
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム=クロリド				6					
283	ふっ化水素及びその水 溶性塩							3		
299	ベンゼン					113		5		
307	ポリ(オキシエチレン)=ア ルキルエーテル(アルキ ル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混 合物に限る)				116			0.2		
308	ポリ(オキシエチレン)=オ クチルフェニルエーテル				2			0.004		
309	ポリ(オキシエチレン)=ノ ニルフェニルエーテル				165			0.02		
	合 計	14,145	3,643	1,800	2,698	971	664	100		

表 2-98 すそ切り以下事業者に係る排出量推計結果(平成 20 年度) (排出源別・対象化学物質別)(その2)

	WI FI	31,73 7 7 7 7	水化子物 すっ			/ 出量(t/4	丰)	
物質番号	対象化学物質名	(リムーバー)	・滅菌・殺菌	表面処理剤	試 薬	グ 溶 剤	発 泡 剤	合 計
24	直鎖アルキルベンゼンスル ホン酸及びその塩(アルキル 基の炭素数が 10 から 14 ま でのもの及びその混合物に 限る)							133
40	エチルベンゼン							2,196
42	エチレンオキシド		38					39
63	キシレン					21		7,656
145	塩化メチレン	134			1		193	1,992
166	N,N-ジメチルドデシルアミ ン=N-オキシド							0.2
177	スチレン							6
200	テトラクロロエチレン							456
211	トリクロロエチレン				2			636
224	1,3,5-トリメチルベンゼン					8		470
227	トルエン					437		10,861
251	ビス(水素化牛脂)ジメチル アンモニウム=クロリド							6
283	ふっ化水素及びその水溶 性塩			26				29
299	ベンゼン							117
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)							116
308	ポリ(オキシエチレン)=オク チルフェニルエーテル						•	2
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニ ルフェニルエーテル						·	165
	合 計	134	38	26	4	466	193	24,881

表 2-99 すそ切り以下事業者に係る排出量推計結果(平成 20 年度)

(業種別・対象化学物質別)(その1)

		() (12	(条種別・対象化子物質別)(その1) すそ切り以下排出量(t/年)								
		1200	1300	1400	1500	1600	1700	1800	1900	2000	
物質番号	対象化学物質名	食料品製	飼料・たば	繊 維 工	繊維製品製	製木 材 造木	製家 具 ・ 造装	加工品製	同りります。同り、関います。	化学工	
		造 業	造 ば 業・	業	造他業の	製 業品	備 業品	造· 業紙	産 利 業・	業	
24	直鎖アルキルベンゼンス ルホン酸及びその塩(ア ルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及び その混合物に限る)	0.9	0.06	8	0.1			4		2	
40	エチルベンゼン					11	160	0.2	19	4	
42	エチレンオキシド	0.02		2						2	
63	キシレン			32		107	447	17	39	9	
145	塩化メチレン			7		78	64	10	9	20	
166	N,N-ジメチルドデシル アミン=N-オキシド	0.02	0.001	0.04	0.001			0.007		0	
177	スチレン									6	
200	テトラクロロエチレン									0.4	
211	トリクロロエチレン								0.001	11	
224	1,3,5-トリメチルベンゼ			8		4	28			0.3	
227	トルエン			802		345	401	445	1,636	43	
251	ビス(水素化牛脂)ジメチ ルアンモニウム=クロリド	0.01	0.001	0.3	0.007			0.03		0.001	
283	ふっ化水素及びその水 溶性塩		0	0.001					0.001	3	
299	ベンゼン									5	
307	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル(アル キル基の炭素数が 12 か ら 15 までのもの及びそ の混合物に限る)	5	0.3	31	0.7			2		1	
308	ポリ(オキシエチレン)=オ クチルフェニルエーテル			0.08	0.001			0.03		0.03	
309	ポリ(オキシエチレン)=ノ ニルフェニルエーテル	0.2	0.01	17	0.3			0.7		1	
-	· 合 計	6	0.4	909	1	545	1,100	480	1,703	108	

表 2-99 すそ切り以下事業者に係る排出量推計結果(平成 20 年度) (業種別・対象化学物質別)(その2)

	(業種別・対象化学物質別)(その2) すそ切り以下排出量(t/年)										
		2100	2200	2300	2400	2500	2600	2700	2800	2900	
物質番号	対象化学物質名	製品製品・石炭	製品 製造 業 () プラスチック	製造製品	品・毛	製 業 業 業 出 石 製 品		製 造 業	製 造 業 品	製造業	
24	直鎖アルキルベンゼン スルホン酸及びその塩 (アルキル基の炭素数 が 10 から 14 までのも の及びその混合物に 限る)		48	46			0.2	0.006	0.02	0.1	
40	エチルベンゼン		0.5			9	13	14	408	257	
42	エチレンオキシド		3	0.3							
63	キシレン	0.04	68	116	6	66	28	31	1,081	667	
145	塩化メチレン	0.03	257	113	6	44	1	47	1,051	100	
	N,N-ジメチルドデシ ルアミン=N-オキシド		0.006	0.005			0.01	0	0.001	0.007	
177	スチレン										
200	テトラクロロエチレン			9			16	5	51	14	
211	トリクロロエチレン		0.004	18		0	40	22	305	94	
	1,3,5-トリメチルベン ゼン					2	2	2	64	41	
227	トルエン	0.05	1,099	796	22	159	11	15	674	217	
251	ビス(水素化牛脂)ジメ チルアンモニウム=ク ロリド		0.01	0.009			0.01	0	0.001	0.008	
	ふっ化水素及びその 水溶性塩		0.03			1	6	0.3	2	0.08	
299	ベンゼン										
307	ポリ(オキシエチレン)= アルキルエーテル(アル キル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及び その混合物に限る)		10	8	0.1		4	0.1	0.4	3	
308	ポリ(オキシエチレン)= オクチルフェニルエー テル		1	1	0.03		0.04	0.001	0.006	0.03	
	ポリ(オキシエチレン)= ノニルフェニルエーテル		9	8	14		30	1	2	18	

表 2-99 すそ切り以下事業者に係る排出量推計結果(平成 20 年度)

(業種別・対象化学物質別)(その3)

		/ L L // 1	* 刈 家仁		<u> </u>		量 (t/年	Ξ)		
		3000	3100	3200	3400	3600	3900	4400	5930	7210
物質番号	対象化学物質名	製 造 業	具 製 造 業輸送用機械器	製 造 業	製造業の他の	ガス業	鉄 道 業	倉庫業	燃料小売業	洗濯業
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が 10から14までのもの及びその混合物に限る)	0.2	0.03	0.008						23
40	エチルベンゼン	24	338	1	0.7				27	
42	エチレンオキシド			19	4	0.6				3
63	キシレン	58	803	4	4		0.04	0.6	106	
145	塩化メチレン	47	23	74	3		0.04	0.6		
166	N,N-ジメチルドデシルア ミン=N-オキシド	0.007	0.002	0						0.05
177	スチレン									
200	テトラクロロエチレン	6	4	8						343
211	トリクロロエチレン	36	29	82	0.001					
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	6	75	0.2					6	Ĭ
227	トルエン	58	402	4	67		0.1	2	720	
251	ビス(水素化牛脂)ジメチ ルアンモニウム=クロリド	0.008	0.002	0						6
283	ふっ化水素及びその水 溶性塩	11	0.03	0.01	4					0.00
299	ベンゼン								113	
307	ポリ(オキシエチレン)=ア ルキルエーテル(アルキル 基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合 物に限る)	3	0.7	0.2						45
308	ポリ(オキシエチレン)=オ クチルフェニルエーテル	0.03	0.006	0.002						
309	ポリ(オキシエチレン)=ノ ニルフェニルエーテル	50	6	1						4
	合 計	299	1,680	193	82	0.6	0.2	3	971	424

表 2-99 すそ切り以下事業者に係る排出量推計結果(平成 20 年度) (業種別・対象化学物質別)(その4)

		1至777					₫(t/年	Ξ)	
		7430	7700	7810	8620	8630	9140	9210	
物		写	自	機	商	計	高	研自	
質番号	対象化学物質名	真業	動車整備業	械修理業	品検査業	量証明業	等教育機関	然 所	合計
	直鎖アルキルベンゼンス	*					IA	121 1	
24	直頭アルギルベンセンス ルホン酸及びその塩(アル キル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混 合物に限る)	0.04							133
40	エチルベンゼン		909						2,196
42	エチレンオキシド					0.1	5	0.3	39
63	キシレン		3,967	0					7,656
145	塩化メチレン		37	0	0.04	0.5	0.2	0.1	1,992
166	N,N-ジメチルドデシルア ミン=N-オキシド		,						0.2
177	スチレン								6
200	テトラクロロエチレン								456
211	トリクロロエチレン				0.02	0.2	0.1	0.07	636
224	1,3,5-トリメチルベンゼン		232						470
227	トルエン		2,941	0					10,861
251	ビス(水素化牛脂)ジメチ ルアンモニウム=クロリド								6
283	ふっ化水素及びその水溶 性塩		,			0	0	0.004	29
299	ベンゼン								117
307	ポリ(オキシエチレン)=ア ルキルエーテル(アルキル 基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合 物に限る)	0.07							116
308	ポリ(オキシエチレン)=オ クチルフェニルエーテル	0.004							2
309	ポリ(オキシエチレン)=ノ ニルフェニルエーテル	3							165
	合 計	3	8,086	0	0.06	0.9	6	0.5	24,881

第3章 平均取扱量等に基づく排出量推計方法

3-1 推計対象

「平均取扱量等に基づく排出量推計方法」では、排出源を明示的に特定することなく、 業種(45 区分)及び対象化学物質(354 区分)ごとのデータを使って推計を行う。

3-1-1 推計対象とする業種

平成 20 年度のすそ切り以下事業者からの排出量の推計においては、推計に必要なデータが得られた 33 業種(表 3-1)を推計対象とする。

以下の 12 業種は今回の推計対象から除外するが、必ずしもすそ切り以下事業者からの排出がないことを意味するものではない(業種名のあとの番号は業種コード)。

- · 金属鉱業(0500)
- ・ 原油・天然ガス鉱業(0700)
- · 食料品製造業(1200)
- なめし革・同製品・毛皮製造業(2400)
- · 武器製造業(3300)
- · 下水道業(3830)
- · 倉庫業(4400)
- · 石油卸売業(5132)
- ・ 鉄スクラップ卸売業(5142)
- 燃料小売業(5930)
- · 一般廃棄物処理業(8716)
- · 産業廃棄物処分業(8722)

3-1-2 推計を行う対象化学物質

すそ切り以下事業者からの推計では、別途推計されているオゾン層破壊物質やダイオキシン類については推計対象から除外する。

平成 20 年度のすそ切り以下事業者からの排出量の推計においては、推計に必要なデータが得られた「亜鉛の水溶性化合物」等の 78 物質を推計対象とする(別途「排出源別排出量推計手法」で対象とする 17 物質を除く)。

推計を行う対象化学物質は業種ごとに異なり、例えば飲料・たばこ・飼料製造業ではアセトニトリル(物質番号:12)等の4物質だけが対象となり、33業種の合計で延べ421物質となっている(表 3-1)。なお、これらの推計対象物質は、推計に必要な取扱量等のデータが一定の数以上入手できることを条件に選定(注)したものである。

注:具体的な選定条件は「3-2 推計方法」にて後述。

表 3-1 業種別の推計対象物質数

業種コード	業種名	推計対象 物質数
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	4
1400	繊維工業	10
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	1
1600	木材•木製品製造業	3
1700	家具•装備品製造業	1
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	7
1900	出版·印刷·同関連産業	9
2000	化学工業	60
2100	石油製品•石炭製品製造業	7
2200	プラスチック製品製造業	16
2300	ゴム製品製造業	13
2500	窯業·土石製品製造業	15
2600	鉄鋼業	7
2700	非鉄金属製造業	14
2800	金属製品製造業	25
2900	一般機械器具製造業	23
3000	電気機械器具製造業	41
3100	輸送用機械器具製造業	27
3200	精密機械器具製造業	12
3400	その他の製造業	15
3500	電気業	1
3600	ガス業	1
3700	熱供給業	2
3900	鉄道業	8
5220	自動車卸売業	1
7210	洗濯業	1
7430	写真業	2
7700	自動車整備業	3
7810	機械修理業	2
8620	商品検査業	8
8630	計量証明業	11
9140	高等教育機関	35
9210	自然科学研究所	36
	合 計	421

3-2 推計方法

3-2-1 基本的な考え方

すそ切り以下事業者に係る PRTR 対象化学物質の排出量(以下「すそ切り以下排出量」という。)は、届出要件に合致しない事業所数(業種別・対象化学物質別)に対し、すそ切り以下事業所における平均取扱量(kg/年)と平均排出率(%)を乗じて、以下のとおり推計される。

すそ切り以下排出量(kg/年) = すそ切り以下事業所数×平均取扱量(kg/年)×平均排出率

これらのパラメータのうち、「すそ切り以下事業所数」は直接的な把握が困難であり、別のパラメータを使って以下のとおり推計される。

すそ切り以下事業所数

=全国の事業所数×推計対象比率(%)×化学物質取扱比率(%)-届出事業所数

この推計方法を推計フローで表すと図 3-1 のとおりとなる。

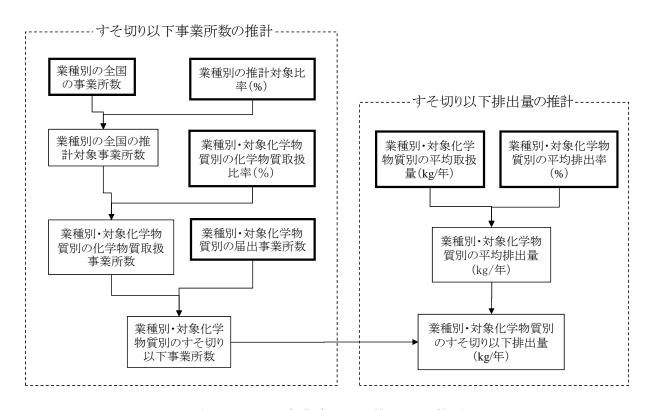


図 3-1 すそ切り以下事業者からの排出量の推計フロー (平均取扱量等に基づく排出量推計方法)

3-2-2 パラメータの設定方法

表 3-2 平均取扱量等に基づく排出量推計方法で採用するパラメータの定義等

	パラメータ	定 義	設定	区分
		足 我	業種別	物質別
(a)	全国の事業所数	全国に存在するすべての事業所数	0	
(b)	推計対象比率	「工場」等に該当する(=対象化学物質の排出の可能性がある)事業所の形態の割合 ※事務所だけの事業所(本社等)などを除くためのパラメータであり、該当する具体的な事業所形態は別掲	0	
(c)	化学物質取扱比率	「工場」等に該当する事業所のうち、対象化学物質に ついて何らかの取扱がある事業所の割合 ※「何らかの取扱がある事業所」には届出事業所とすそ切り以 下事業所の両方が含まれる。	0	0
(d)	届出事業所数	化管法に基づく対象化学物質別の届出事業所数	0	0
(e)	すそ切り以下事 業所数	対象化学物質について何らかの取扱がある事業所の うち、届出要件に合致しないため届出対象外の事業 所の数 ※別の物質の届出があっても、当該物質の届出がなければ該 当	0	0
(f)	平均取扱量 (kg/年)	すそ切り以下事業所における1事業所あたりの年間取扱量の平均値 ※取扱がない事業所は除くが、四捨五入して 1kg に満たない「0kg」という事業所のデータを含めて算出	0	0
(g)	平均排出率(%)	すそ切り以下事業所における対象化学物質の取扱量に対する環境中(大気・公共用水域等)への排出率の加重平均値	Δ	0

注:平均排出率は原則として業種の差を考慮しないが、化学工業は別途設定しているため、本表では"△"と表記した。

(1) 全国の事業所数

事業所に関する網羅的な調査のデータとして、平成 18 年事業所・企業統計調査 (総務省)のデータを採用する。

推計対象とする45業種ごとの「全国の事業所数」を表 3-3に示す。ただし、平成18年事業所・企業統計調査に示された業種区分と一致しない場合があるため、倉庫業等の8業種は本来の推計対象よりも広い範囲の業種のデータで代用することとした(表 3-4)。

表 3-3 業種別の全国の事業所数

業種コード	表 3-3 条種別の主国の事業が 業種名		全国の 事業所数
0500	金属鉱業		38
0700	原油・天然ガス鉱業		93
1200	食料品製造業		51,522
1300	飲料・たばこ・飼料製造業		8,202
1400	繊維工業		25,972
1500	衣服・その他の繊維製品製造業		35,859
1600	木材·木製品製造業		17,689
1700	家具•装備品製造業		27,977
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業		13,348
1900	出版・印刷・同関連産業		49,134
2000	化学工業		9,224
2100	石油製品•石炭製品製造業		1,329
2200	プラスチック製品製造業		24,784
2300	ゴム製品製造業		6,462
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業		7,324
2500	窯業·土石製品製造業		24,081
2600	鉄鋼業		7,213
2700	非鉄金属製造業		5,242
2800	金属製品製造業		71,354
2900	一般機械器具製造業		66,960
3000	電気機械器具製造業		36,518
3100	輸送用機械器具製造業		23,893
3200	精密機械器具製造業		10,614
3300	武器製造業		16
3400	その他の製造業		31,104
3500	電気業		1,628
3600	ガス業		655
3700	熱供給業		159
3830	下水道業		2,750
3900	鉄道業		4,750
4400	倉庫業	*	9,235
5132	石油卸売業	*	16,352
5142	鉄スクラップ卸売業	*	10,024
5220	自動車卸売業	*	15,693
5930	燃料小売業		60,711
7210	洗濯業		77,994
7430	写真業		22,309
7700	自動車整備業		68,768
7810	機械修理業		21,844
8620	商品検査業		1,578
8630	計量証明業	*	906
8716	一般廃棄物処理業	*	12,343
8722	産業廃棄物処分業	*	6,839
9140	高等教育機関	*	1,889
9210	自然科学研究所		4,458

注:業種名のあとに"*"で示す8業種は厳密な事業所数が把握できないため、それらを含む業種小分類等の事業所数で代用した(詳細は表 3-4)。

表 3-4 業種別の「全国の事業所数」の設定で代用した業種

	推計対象の業種		代用した業種
業種 コード	業種名	業種 コード	業種名
4400	倉庫業 ※農作物を保管する場合又は貯蔵タンクにより 気体又は液体を貯蔵する場合に限る。	442	普通倉庫業 冷蔵倉庫業 水面木材倉庫業
5132	石油卸売業	5131 5132 5133 5134 5135	石炭卸売業 石油卸売業 金属鉱物卸売業 非金属鉱物卸売業 (石炭、石油を除く) 鉄鋼卸売業 非鉄金属卸売業
5142	鉄スクラップ卸売業 ※自動車用エアコンディショナーに封入された 物質を取り扱う場合に限る。	5141 5142 5143 5144	字妖金属即元業 空瓶・空缶等空容器卸売業 鉄スクラップ卸売業 非鉄金属スクラップ卸売業 古紙卸売業 その他の再生資源卸売業
5220	自動車卸売業 ※自動車用エアコンディショナーに封入された 物質を取り扱う場合に限る。	5221 5222	自動車卸売業 (二輪自動車を含む) 自動車部分品・付属品卸売業
8630	計量証明業 ※一般計量証明業を除く。	8632	一般計量証明業 環境計量証明業 その他の計量証明業
8716	一般廃棄物処理業 ※ごみ処分業に限る。	8711 8712 8713 8714 8715 8716	し尿収集運搬業 し尿処分業 浄化槽清掃業 浄化槽保守点検業 ごみ収集運搬業 ごみ処分業 清掃事務所
8722	産業廃棄物処分業 ※特別管理産業廃棄物処分業を含む。	8722 8723	産業廃棄物収集運搬業 産業廃棄物処分業 特別管理産業廃棄物収集運搬業 特別管理産業廃棄物処分業
9140	高等教育機関 ※付属施設を含み、人文科学のみに係るもの を除く。		大学 短期大学 高等専門学校

注1:「代用した業種」の欄に示す複数の業種の事業所数の合計で代用したことを示す。 注2:石油卸売業(業種コード:5132)は鉱物・金属材料等卸売業(業種コード:513)の合計で代

注3:鉄スクラップ卸売業(業種コード:5142)は再生資源卸売業(業種コード:514)の合計で代用。 注4:「代用した業種区分」の中で、本来の推計対象が明確な場合は、当該業種を網掛けで示す。 注5:本表に示す業種の中には、別のパラメータが設定できないため、結果的に平成20年度排出 量の推計対象から除外されたものが含まれる(表 3-3に示す業種も同様)。

(2) 推計対象比率

事業所の業種が製造業等に属する場合であっても、その管理だけを行う事務所のような事業所も少なからず含まれている。このような事業所において PRTR 対象化学物質の取扱や排出はほぼ皆無と考えられることから、推計対象から除外する必要がある。

前掲の平成 18 年事業所・企業統計調査(総務省)によると、業種中分類における「事業所形態」ごとの事業所数を把握することができる。具体的には、事業所形態は「店舗・飲食店」等の7区分ごとに把握できるが、このうち推計対象とするのは、「①工場・作業所・鉱業所」と「②自家用倉庫・自家用油槽所」の2種類とする。ただし、燃料小売業におけるガソリンスタンドのように、上記2種類以外でも推計対象に該当すると考えられる事業所形態もあることから、一部の業種は別の事業所形態も併せて推計対象とした。

事業所形態別の全国の事業所数を表 3-5 に示す。表中の網掛けで示す部分が推計対象に該当し、業種ごとの合計に対するそれらの事業所数の割合が「推計対象比率」となる。

表 3-5 事業所形態別の全国の事業所数(その1)

					全国の事	業所数			
業種コード	業種名	店舗·飲食店	事務所・営業所	工場・作業所・飯業所	輸送センター・配送センター・これらの車庫	自家用倉庫·自家用油 槽所	外見上一般の住居と 区別しにくい事業所	その他(学校・病院・寺 社・旅館・浴場など)	合計
05	金属鉱業	26	1,262	1,418	16	2	294	4	3,022
07	原油・天然ガス鉱業	26	1,262	1,418	16	2	294	4	3,022
12	食料品製造業	8,597	5,389	34,483	127	56	2,670	82	51,404
	飲料・たばこ・飼料製造業	853	1,252	5,536	20	20	373	14	8,068
	繊維工業	555	1,642	18,983	9	21	4,752	10	25,972
15	衣服・その他の繊維製品製造業	2,128	3,972	23,665	66	28	5,937	59	35,855
16	木材·木製品製造業	359	1,880	14,397	14	17	994	11	17,672
17	家具·装備品製造業	1,183	1,899	22,680	18	27	2,154	15	27,976
18	パルプ・紙・紙加工品製造業	297	1,815	10,529	62	21	620	4	13,348
19	出版·印刷·同関連産業	2,454	13,197	23,284	35	20	2,729	32	41,751
20	化学工業	168	2,881	5,840	63	25	200	46	9,223
21	石油製品·石炭製品製造業	7	368	920	7	10	16	1	1,329
22	プラスチック製品製造業	189	2,889	20,717	51	24	909	5	24,784
23	ゴム製品製造業	70	744	5,292	8	9	337	2	6,462
24	なめし革・同製品・毛皮製造業	343	729	4,788	7	6	1,444	7	7,324
25	窯業·土石製品製造業	722	3,574	18,470	44	25	1,228	18	24,081
26	鉄鋼業	21	918	6,183	28	9	52	2	7,213
27	非鉄金属製造業	9	676	4,413	6	6	128	4	5,242
28	金属製品製造業	575	5,497	62,467	45	44	2,711	15	71,354
29	一般機械器具製造業	255	7,316	57,369	41	44	1,925	10	66,960
30	電気機械器具製造業	273	7,764	26,822	42	38	1,564	15	36,518
31	輸送用機械器具製造業精密機械器具製造業	96	2,666	20,381	26	23	691	10	23,893
32	精密機械器具製造業	115	2,224	7,493	12	13	735	21	10,613
33	武器製造業	2,396	4,981	19,529	48	42	4,096	25	31,117
34	その他の製造業	2,396	4,981	19,529	48	42	4,096	25	31,117

表 3-5 事業所形態別の全国の事業所数(その2)

					全国の事	業所数			
業種コード	業種名	店舗·飲食店	事務所·営業所	工場·作業所·鉱業所	からした。 からした。 からした。 はいまでは、 もいまでは、 もいまでも、 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっと。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。	自家用倉庫•自家用油 槽所	外見上一般の住居と 区別しにくい事業所	その他(学校・病院・寺社・旅館・浴場など)	合計
	電気業	3	1,254	236	4	2	_	31	1,530
36		12	469	94	10	7	_	5	597
	熱供給業	1	128	29	-	-	-	1	159
38	水道業	-	586	137	-	-	-	40	763
39	鉄道業	35	2,339	1,092	143	7	3	811	4,430
44		98	3,421	2,279	3,056	_	209	169	9,232
51		8,860	48,965	18,567	801	564	4,695	105	82,557
	機械器具卸売業	8,813	69,282	7,448	453	149	3,549	56	89,750
59		328,975	51,543	12,289	948	1,792	15,097	3,323	413,967
	洗濯·理容·浴場業	364,562	9,570	7,814	85	29	5,579	11,123	398,762
	その他の生活関連サービス業	30,684	17,031	3,223	77	106	4,492	4,704	60,317
77	自動車整備業	1,905	7,457	58,053	88	103	979	124	68,709
78	機械·家具等修理業	5,245	12,093	11,316	65	58	4,110	40	32,927
86		3,347	59,904	8,318	370	114	6,996	1,315	80,364
87	廃棄物処理業	95	8,300	4,627	362	60	2,079	133	15,656
	教育	47	453	15	_	3	74		17,352
92	学術研究機関	17	2,185	646	-	-	103	963	3,914

注1:本表に示す事業所数は民営事業所に限られる。

注2:網掛けで示す事業所形態の割合を業種ごとに算出し、当該業種の「推計対象比率」とする。

表 3-5のデータに基づき、業種ごとに推計対象比率を算出した結果を表 3-6に示す。製造業は概ね6割~8割程度の比率となっているが、非製造業の場合は業種によって大きくばらつく結果となった。

この推計対象比率を「全国の事業所数」に乗じることにより、業種別の全国の推計対象事業所数が算出される(表 3-7)。全国の事業所数は業種中分類や業種小分類ごとの値として設定したが、推計対象比率は民営事業所だけを使って業種中分類ごとに設定した値であるため、算出された「全国の推計対象事業所数」は表 3-5 の網掛け部分の事業所数とは必ずしも一致しない。

表 3-6 業種ごとの推計対象比率の算出結果

		全国の事	工業所数	
光廷		<u> </u>	うち、推計対	推計対象
業種 コード	業種名	全体	象となる事業	比率
17-1		(a)	所形態	=(k)/(a)
	A I AL NII		(k)	
	金属鉱業	3,022	1,420	47.0%
	原油・天然ガス鉱業	3,022	1,420	47.0%
	食料品製造業 	51,404	34,539	67.2%
	飲料・たばこ・飼料製造業	8,068	5,556	68.9%
	繊維工業	25,972	19,004	73.2%
	衣服・その他の繊維製品製造業	35,855	23,693	66.1%
	木材・木製品製造業	17,672	14,414	81.6%
	家具•装備品製造業	27,976	22,707	81.2%
	パルプ・紙・紙加工品製造業	13,348	10,550	79.0%
	出版•印刷•同関連産業	41,751	23,304	55.8%
20	化学工業	9,223	5,865	63.6%
	石油製品•石炭製品製造業	1,329	930	70.0%
22	プラスチック製品製造業	24,784	20,741	83.7%
	ゴム製品製造業	6,462	5,301	82.0%
24	なめし革・同製品・毛皮製造業	7,324	4,794	65.5%
25	窯業•土石製品製造業	24,081	18,495	76.8%
26	鉄鋼業	7,213	6,192	85.8%
27	非鉄金属製造業	5,242	4,419	84.3%
28	金属製品製造業	71,354	62,511	87.6%
29	一般機械器具製造業	66,960	57,413	85.7%
	電気機械器具製造業	36,518	26,860	73.6%
31	輸送用機械器具製造業	23,893	20,404	85.4%
32	精密機械器具製造業	10,613	7,506	70.7%
33	武器製造業	31,117	19,571	62.9%
34	その他の製造業	31,117	19,571	62.9%
	電気業	1,530	238	15.6%
36	ガス業	597	101	16.9%
37	熱供給業	159	29	18.2%
38	水道業	763	137	18.0%
39	鉄道業	4,430	1,099	24.8%
L	倉庫業	9,232	2,279	24.7%
51	建築材料,鉱物・金属材料等卸売業	82,557	19,131	23.2%
	機械器具卸売業	89,750	7,597	8.5%
59	その他の小売業	413,967	343,056	82.9%
72	洗濯·理容·浴場業	398,762	7,843	2.0%
74	その他の生活関連サービス業	60,317	3,329	5.5%
77	自動車整備業	68,709	58,156	84.6%
78	機械•家具等修理業	32,927	11,374	34.5%
86	その他の事業サービス業	80,364	8,432	10.5%
87		15,656	4,687	29.9%
		17,352	16,778	96.7%
92	学術研究機関	3,914	1,609	41.1%

表 3-7 全国の推計対象事業所数の算出結果

業種コード	業種名	全国の 事業所数 (a)	推計対象 比率 (b)	全国の 推計対象 事業所数	推計対象比率を 代用した業種
	A - AL MI			$(M)=(a)\times(b)$	
	金属鉱業	38	47.0%	18	鉱業(05)
0700	原油・天然ガス鉱業	93	47.0%	44	,
	食料品製造業	51,522	67.2%	34,618	
	飲料・たばこ・飼料製造業	8,202	68.9%	5,648	
	繊維工業	25,972	73.2%	19,004	
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	35,859	66.1%	23,696	
1600	木材•木製品製造業	17,689	81.6%	14,428	
1700	家具・装備品製造業	27,977	81.2%	22,708	
	パルプ・紙・紙加工品製造業	13,348	79.0%	10,550	
1900	出版·印刷·同関連産業	49,134	55.8%		
2000	化学工業	9,224	63.6%	5,866	
2100	石油製品•石炭製品製造業	1,329	70.0%	930	
2200	プラスチック製品製造業	24,784	83.7%	20,741	
2300	ゴム製品製造業	6,462	82.0%	5,301	
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	7,324	65.5%	4,794	
	窯業・土石製品製造業	24,081	76.8%	18,495	
	鉄鋼業	7,213	85.8%	6,192	
2700	非鉄金属製造業	5,242	84.3%	4,419	
2800	金属製品製造業	71,354	87.6%	62,511	
2900	一般機械器具製造業	66,960		57,413	
3000	電気機械器具製造業 輸送用機械器具製造業	36,518	73.6%	26,860	
3100	輸送用機械器具製造業	23,893	85.4%	20,404	
3200	精密機械器具製造業	10,614	70.7%	7,507	
	武器製造業	16		10	
	その他の製造業	31,104	62.9%	19,563	
	電気業	1,628	15.6%	253	
3600	ガス業	655	16.9%	111	
	熱供給業	159	18.2%	29	
	下水道業	2,750	18.0%	494	水道業(36)
3900	鉄道業	4,750	24.8%	1,178	
	倉庫業	9,235	24.7%	2,280	
	石油卸売業	16,352	23.2%	3,789	建築材料,鉱物・金属材
	鉄スクラップ卸売業	10,024	23.2%	2,323	料等卸売業(52)
5220	自動車卸売業	15,693	8.5%		機械器具卸売業(53)
5930	燃料小売業	60,711	82.9%	50,311	その他の小売業(60)
7210	洗濯業	77,994	2.0%	1,534	洗濯·理容·美容·浴場 業(82)
7430	写真業	22,309	5.5%	1,231	その他の生活関連サー ビス業(83)
7700	自動車整備業	68,768	84.6%	58,206	
7810	機械修理業	21,844		7,546	機械等修理業(別掲を除 く)(87)
8620	商品検査業	1,578	10.5%	166	その他の事業サービス
	計量証明業	906	10.5%	95	業(86)
	一般廃棄物処理業	12,343	29.9%	3,695	
	産業廃棄物処分業	6,839	29.9%		廃棄物処理業(85)
	高等教育機関	1,889	96.7%		学校教育(76)
	自然科学研究所	4,458	41.1%		学術·開発研究機関

(3) 化学物質取扱比率

PRTR 対象化学物質の取扱状況に関する調査結果として、「取扱量調査(平成 18 年度及び平成 19 年度実績調査)」(NITE)における事業者からの報告データを採用する。同調査は、1年間における事業所ごとの対象化学物質の取扱量等について報告を求めたものであり、今回の推計においては、平成 18 年度実績及び平成 19 年度実績を採用することとする。

前述のとおり、化学物質取扱比率とは業種別・対象化学物質別に(届出事業所を含めて)何らかの取扱がある事業所の割合と定義されたものであるため、事業者規模(常用雇用者数)や年間取扱量の値とは無関係に、業種ごとに報告があったすべてのデータを使い、以下のとおり算出した。

化学物質取扱比率(%)

業種別・対象化学物質別の報告事業所数(届出要件に該当するものを含む)

業種別に報告された工場・作業所等の数

報告された「事業活動を行う事業所数」のうち、工場・作業所等に該当する事業所数を業種ごとに集計することで、実際の定義に合致した値が算出されるものと考えられる。

「工場・作業所等」の数として事業者ごとに報告された事業所数を、当該事業者の業種別に集計した結果を表 3-8 に示す。

なお、対象化学物質の取扱がなく、かつ工場・作業所数を無回答である事業者については、対象化学物質の取扱がある事業者の平均的な工場・作業所数等(1.43 事業所/事業者)と同じとみなして補正を行っている。

表 3-8 報告された業種別の工場・作業所等の集計結果(平成20年度データ)

業種		「化学物質取扱
オード	業種名	比率」の分母
	金属鉱業	13
700	原油・天然ガス鉱業	71
1200	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	493
	飲料・たばこ・飼料製造業	669
1400		1,018
1500		1,323
	木材·木製品製造業	1,063
1700	T. D. OF THE CO. Market SHA	631
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	1,396
	出版・印刷・同関連産業	2,435
2000	化学工業	2,363
2100	石油製品•石炭製品製造業	656
2200	プラスチック製品製造業	2,100
2300	ゴム製品製造業	572
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	296
2500	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2,606
2600		1,035
2700	非鉄金属製造業	874
2800	金属製品製造業	3,765
2900	一般機械器具製造業	4,513
3000	電気機械器具製造業	4,228
3100	輸送用機械器具製造業	2,042
3200	精密機械器具製造業	1,045
3400	その他の製造業	1,159
3500	電気業	164
3600	ガス業	418
3700	熱供給業	181
3900	鉄道業	486
4400	倉庫業	2,488
5132	石油卸売業	1,487
5142	鉄スクラップ卸売業	624
	自動車卸売業	598
	燃料小売業	970
7210	洗濯業	857
7430	写真業	535
7700	自動車整備業	1,832
7810	機械修理業	1,465
8620	f. — r.	609
	計量証明業	447
9140	高等教育機関	714
9210		500
	合 計	50,743
L		

注:報告された「工場・作業所等」の数よりも「1物質以上の取扱がある事業所」の数が上回っている事業者は、その後者の事業所数を「工場・作業所等」の数と同じとみなして集計した。

この算出に使う取扱量調査のデータは毎年更新され、業種や対象化学物質によっては算出される化学物質取扱比率の値が大きく変化することがある。これは必ずしも現実の増減を意味するものではなく、データ数の不足に起因した見かけ上の変動と考えられることから、化学物質取扱比率は利用可能なデータ数が一定の数以上ある場合に限って設定し、それに満たない場合は設定しない(=推計対象から除外する)こととする。

このパラメータの設定に必要な最小データ数は、推計精度の観点から判断されるべきものであるが、簡易な検討の結果を踏まえて、当面は「業種別に報告された工場・作業所等の数」が 10 件以上の業種に限って設定することとする。結果的には、後述する平均取扱量が設定可能な場合は、化学物質取扱比率も例外なく設定されることとなる。

(4) 届出事業所数

前記の化学物質取扱比率を使って業種別・対象化学物質別の「化学物質取扱事業所数」が推計されるが、これは化管法の届出事業所を含む数であるため、推計対象年度の排出量を実際に届出した事業所の数を差し引くことにより、業種別・対象化学物質別の「すそ切り以下事業所数」が推計される。

今回は平成20年度が推計対象であるため、平成21年4~6月に届出されたデータを使って届出事業所数を設定した。

(5) すそ切り以下事業所数

対象化学物質別について、何らかの取扱があるが届出されない事業所の数であり、「化学物質取扱事業所数」から届出事業所数を差し引いて算出される。このように算出される「すそ切り以下事業所数」は整数とは限らず、一般には小数点以下の端数が含まれる。現実の事業所数は整数の値しかあり得ないものの、排出量推計で設定する「すそ切り以下事業所数」は現実の事業所数の「期待値」とみなされるため、算出された値が小数点以下の値を含んでいた場合でも、そのまま採用することとする。

以上のようなパラメータを使い、業種別・対象化学物質別に「すそ切り以下事業所数」を推計した結果を表 3-9 に示す。

表 3-9 業種別・対象化学物質別のすそ切り以下事業所数の推計結果(その1)

業種コード	業種名	物質番号	対象化学物質名	対象事業所 数(M)	化学物質取 扱比率 (c)	事業所数 (N)=(M)×(c)	届出事業 所数 (d)	すそ切り以下 事業所数 (e)=(N)-(d)
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	100 207	アセトニトリル コバルト及びその化合物 銅水溶性塩(錯塩を除く)	5,648 5,648 5,648	3.1% 2.4% 4.0%	177 135 228	3 41	13: 18'
		1	ホルムアルデヒド 亜鉛の水溶性化合物 アンチモン及びその化合物	5,648 19,004 19,004	2.7% 3.4% 2.8%	152 653 541	0 6 28	
	allen — We	68	エチレングリコール クロム及び3価クロム化合物 コバルト及びその化合物	19,004 19,004 19,004	8.2% 3.9% 1.6%	1,549 746 299	33 8 1	
	繊維工業	134 172	1,3-ジクロロ-2-プロパノール N,N-ジメチルホルムアミド ヒドラジン	19,004 19,004 19,004	2.1% 2.2% 1.2%	392 411 224	10 20	383 39
		304 310	ほう素及びその化合物 ホルムアルデヒド	19,004 19,004	2.4% 2.7%	448 504	1 3 20	48-
1500	衣服・その他の繊維製品製造業		エチレングリコール	23,696	1.4%	340	5	
1600	木材・木製品製造業(家具を除く)	266	エチレングリコール フェノール ホルムアルデヒド	14,428 14,428 14,428	1.5% 1.8% 2.4%	217 258 353	9 21	
1700	家具•装備品製造業		酢酸ビニル	22,708	2.1%	468	0	
	24.2.4. 22.00.00000000000000000000000000	16	2-アミノエタノール エチレングリコール	10,550 10,550	1.1%	113 536	4	10:
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業		クロロベンゼン ヒドラジン	10,550 10,550	0.7% 2.0%	76 212	0 2	21
		304	フタル酸ジ-n-ブチル ほう素及びその化合物	10,550 10,550	6.1%	642 672	102	57
	出版·印刷·同関連産業	43	モリブデン及びその化合物 エチレングリコール 6価クロム化合物	10,550 27,425 27,425	0.8% 3.5% 1.0%	83 969 270	0 4 39	96
1000		93 135	クロロベンゼン 1,2-ジクロロプロパン	27,425 27,425	0.6% 1.1%	158 293	13	28
1900		270	ヒドロキノン フタル酸ジ-n-ブチル ほう素及びその化合物	27,425 27,425 27,425	5.3% 1.7% 0.5%	1,442 462 135	8 3 2	45
		346	マンガン及びその化合物 モリブデン及びその化合物	27,425 27,425	0.5% 1.5%	146 405	3	403
		2	亜鉛の水溶性化合物 アクリルアミド アクリル酸	5,866 5,866 5,866	6.1% 2.5% 4.8%	360 144 283	200 102 219	4:
		9 12	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル) アセトニトリル	5,866 5,866	1.1% 11.7%	67 685	34 239	33
		16	2,2'-アゾビスイソブチロニトリル 2-アミノエタノール ジエチレントリアミン	5,866 5,866 5,866	2.6% 7.0% 1.4%	151 410 79	79 216 54	79 19-
		25	アンチモン及びその化合物 ビスフェノールA	5,866 5,866	4.1%	241 166	118 98	
2000	化学工業	30 43	ビスフェノールA型エポキシ樹脂 エチレングリコール	5,866 5,866	5.8% 14.4%	340 847	259 600	8 24
		45	エチレングリコールモノエチルエーテル エチレングリコールモノメチルエーテル エチレンジアミン	5,866 5,866 5,866	3.5% 3.1% 2.6%	206 184 154	96 92	9: 8:
		47 54	エチレンジアミン四酢酸 エピクロロヒドリン	5,866 5,866	1.9% 2.2%	114 114 127	49 99	6-22
		64	1-オクタノール 銀及びその水溶性化合物	5,866 5,866	1.1% 2.5%	65 149	35 47	103
		66	グリオキサール グルタルアルデヒド クレゾール	5,866 5,866	1.6%	94 77	31 18 104	5
			クロム及び3価クロム化合物	5,866 5,866	3.3%	191 184	104	8

表 3-9 業種別・対象化学物質別のすそ切り以下事業所数の推計結果(その2)

業種 コード	業種名	物質番号	対象化学物質名	全国の推計 対象事業所 数(M)	化学物質取 扱比率 (c)	化学物質取扱 事業所数 (N)=(M)×(c)	届出事業 所数 (d)	すそ切り以下 事業所数 (e)=(N)-(d)
			6価クロム化合物	5,866	2.9%	169	120	49
			クロロベンゼン クロロホルム	5,866 5,866	1.9% 9.4%	112 551	65 151	400
			コバルト及びその化合物	5,866	4.6%	268	99	169
		101	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	5,866	2.6%	151	83	68
			1,4-ジオキサン	5,866	3.4%	201	77	124
			1,2-ジクロロエタン ジウロン	5,866 5,866	3.1% 1.4%	184 79	91 31	93 48
			0-ジクロロベンゼン	5,866	2.2%	127	57	70
			N,N-ジメチルホルムアミド	5,866	9.7%	569	310	259
			有機スズ化合物 チオ尿素	5,866 5,866	2.7% 1.6%	159 92	63 48	96 44
			銅水溶性塩(錯塩を除く)	5,866	3.6%	209	125	84
		230	鉛及びその化合物	5,866	4.4%	256	178	78
			ニッケル ニッケル化合物	5,866	1.7% 3.8%	99 223	66 138	33 85
			ノニルフェノール	5,866 5,866	2.2%	127	156	61
			バリウム及びその水溶性化合物	5,866	2.2%	132	66	66
2000	化学工業(続き)		ヒドラジン	5,866	3.5%	206	111	95
			ピリジン	5,866 5,866	2.5% 5.3%	149 313	91 98	58 215
			フェノール	5,866	6.9%	405	213	192
		270	フタル酸ジ-n-ブチル	5,866	4.7%	276	145	131
			フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	5,866	4.3%	253	181	72
			フタル酸-n-ブチル=ベンジル ヘキサメチレン=ジイソシアネート	5,866 5,866	0.6% 1.7%	35 97	29 54	43
		298	ベンズアルデヒド	5,866	1.1%	65	22	43
			1,2,4-ベンゼントリカルボン酸1,2-無水物	5,866	1.3%	74	49	25
			ほう素及びその化合物 ホルムアルデヒド	5,866 5,866	10.2% 9.7%	598 569	280 309	318 260
			マンガン及びその化合物	5,866	6.1%	355	176	179
		312	無水フタル酸	5,866	3.0%	176	141	35
			無水マレイン酸	5,866	3.9%	228	187	41
			メタクリル酸 メタクリル酸メチル	5,866 5,866	3.8% 4.1%	221 238	185 212	36 26
			m-トリレンジイソシアネート	5,866	2.2%	129	95	34
			モリブデン及びその化合物	5,866	4.1%	243	87	156
			エチレングリコール	930 930	4.1% 2.1%	38 20	28 4	10 16
			<u>鉛及びその化合物</u> ノニルフェノール	930	3.0%	28	4	24
2100	石油製品•石炭製品製造業		フェノール	930	3.5%	33	6	27
			フタル酸ジ-n-ブチル	930	2.0%	18	3	15
			ほう素及びその化合物 モリブデン及びその化合物	930 930	5.2% 7.2%	48 67	21 34	27
			アンチモン及びその化合物	20,741	4.8%	988	189	799
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂	20,741	2.1%	435	55	380
			エチレングリコール エチレングリコールモノエチルエーテル	20,741 20,741	1.7% 0.5%	356 109	33 16	323 93
			銀及びその水溶性化合物	20,741	0.5%	109	6	103
		68	クロム及び3価クロム化合物	20,741	1.1%	237	26	211
			コバルト及びその化合物	20,741	1.2%	247	5	242
2200	プラスチック製品製造業		有機スズ化合物 鉛及びその化合物	20,741 20,741	1.9% 2.2%	395 464	55 95	340 369
			ニッケル	20,741	0.8%	168	14	154
			ニッケル化合物	20,741	1.2%	247	33	214
			フタル酸ジ-n-ブチル フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	20,741 20,741	1.0% 4.6%	207 948	14 162	193 786
			ほう素及びその化合物	20,741	1.4%	296	28	268
			ホルムアルデヒド	20,741	0.9%	188	34	154
			モリブデン及びその化合物 アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	20,741 5,301	0.8% 6.5%	158 343	51	154 292
			アンチモン及びその化合物	5,301	4.9%	259	21	238
		32	2-イミダゾリジンチオン	5,301	7.7%	408	26	382
			エチレングリコール	5,301	3.0%	157	18	139
		115	N-シクロヘキシル-2-ベンゾチア ゾールスルフェンアミド	5,301	13.3%	704	100	604
9900	ゴム製品製造業	159	ジフェニルアミン	5,301	3.3%	176	8	168
۵00	一つ次印教坦禾		ヘキサメチレンテトラミン	5,301	2.8%	148	23	125
			チウラム 鉛及びその化合物	5,301 5,301	13.3%	704 167	75 16	629 151
			一年の ニッケル化合物	5,301	3.1% 4.2%	222	16	208
		249	ジラム	5,301	3.3%	176	12	164
			フタル酸ジ-n-ブチル	5,301	5.9%	315	30	285
			フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) アンチモン及びその化合物	5,301 18,495	15.4% 1.5%	815 270	142 29	673 241
		30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	18,495	1.8%	334	37	297
		43	エチレングリコール	18,495	1.7%	312	50	262
			銀及びその水溶性化合物	18,495	0.6% 3.1%	114	10 92	104 483
0=00	尼华 1 一种1 日本15年		クロム及び3価クロム化合物 6価クロム化合物	18,495 18,495	3.1% 0.5%	575 99	10	483 89
2500	窯業・土石製品製造業	100	コバルト及びその化合物	18,495	1.8%	341	23	318
		230	鉛及びその化合物	18,495	2.5%	454	67	387
			ニッケル化合物 ヒドラジン	18,495	1.3% 0.7%	248 121	26 2	222 119
			フェノール	18,495 18,495	2.3%	419	83	336
		200	フタル酸ジ-n-ブチル	10,100	0.8%	149	15	134

表 3-9 業種別・対象化学物質別のすそ切り以下事業所数の推計結果(その3)

業種コード	業種名	物質番号	対象化学物質名	全国の推計 対象事業所 数(M)	化学物質取 扱比率 (c)	化学物質取扱 事業所数 (N)=(M)×(c)	届出事業 所数 (d)	すそ切り以下 事業所数 (e)=(N)-(d)
0500	PT 제도 1 #네 PT #네스타 제도		ほう素及びその化合物	18,495	4.5%	830		665
2500	窯業・土石製品製造業		ホルムアルデヒド マンガン及びその化合物	18,495 18,495	1.2% 3.2%	220 589	27 105	193 484
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂	6,192	1.4%	84	103	73
			クロム及び3価クロム化合物	6,192	7.7%	479		321
2600	鉄鋼業		6価クロム化合物 鉛及びその化合物	6,192 6,192	1.9% 3.0%	120 185	34 67	86 118
	2012/12	231	ニッケル	6,192	5.2%	323	95	228
			マンガン及びその化合物 モリブデン及びその化合物	6,192 6,192	10.7%	664	208 91	456 262
			亜鉛の水溶性化合物	4,419		353 136	41	95
		25	アンチモン及びその化合物	4,419	9.3%	409	82	327
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂	4,419		71	10	61
			エチレングリコール 銀及びその水溶性化合物	4,419 4,419		76 147	7 61	69 86
		68	クロム及び3価クロム化合物	4,419	5.7%	253	85	168
2700	非鉄金属製造業		コバルト及びその化合物 鉛及びその化合物	4,419 4,419		187 495	51 136	136 359
			ニッケル	4,419		334	95	239
		232	ニッケル化合物	4,419	4.5%	197	63	134
		294	ベリリウム及びその化合物 ほう素及びその化合物	4,419		61	2	59 175
			マンガン及びその化合物	4,419 4,419		233 389	58 112	277
			モリブデン及びその化合物	4,419		131	25	106
			亜鉛の水溶性化合物	62,511	3.4%	2,109	215	1,894
			2-アミノエタノール アンチモン及びその化合物	62,511 62,511	0.6% 0.4%	398 249	4 8	394 241
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂	62,511	1.0%	631	28	603
		43	エチレングリコール	62,511	0.6%	365	8	357
			エチレングリコールモノエチルエーテル カドミウム及びその化合物	62,511 62,511	1.0% 0.6%	648 365	17 16	631 349
			銀及びその水溶性化合物	62,511	0.8%	482	23	459
			クロム及び3価クロム化合物	62,511	3.6%	2,241	275	1,966
			6価クロム化合物 コバルト及びその化合物	62,511 62,511	4.1% 1.4%	2,557 863	226 57	2,331 806
			ーエロングリー リエノーエリー ニ					
		101	ルアセテート	62,511	0.8%	515	24	491
2800	金属製品製造業	108	無機シアン化合物(錯塩及びシアン 酸塩を除く)	62,511	1.8%	1,129	149	980
		172	 N,N-ジメチルホルムアミド	62,511	0.4%	249	7	242
		207	銅水溶性塩(錯塩を除く)	62,511	1.0%	598	66	532
			鉛及びその化合物	62,511	4.2%	2,657	151 320	2,506
			ニッケル ニッケル化合物	62,511 62,511		2,507 2,922	331	2,187 2,591
		253	ヒドラジン	62,511	0.3%	166	0	166
			フタル酸ジ-n-ブチル	62,511	0.7%	432	7	425
			フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) ほう素及びその化合物	62,511 62,511	0.7% 3.1%	448 1,926	23 66	425 1,860
		310	ホルムアルデヒド	62,511	0.9%	565	19	546
		311	マンガン及びその化合物	62,511	2.5%	1,594	134	1,460
		340	モリブデン及びその化合物 亜鉛の水溶性化合物	62,511 57,413	1.5% 0.6%	946 344	69 14	877 330
			2-アミノエタノール	57,413		687	15	672
			アンチモン及びその化合物	57,413		191	6	185
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂 エチレングリコール	57,413 57,413	1.3% 1.2%	738 662	29 32	709 630
			エチレングリコールモノエチルエーテル	57,413		242	4	238
			銀及びその水溶性化合物	57,413		242		238
			クロム及び3価クロム化合物 6価クロム化合物	57,413 57,413	1.4% 1.6%	776 916	72 29	704 887
			コバルト及びその化合物	57,413		471	28	443
0000	한다하시다 더 된 속이 가 제소	101	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	57,413	0.4%	242	3	239
2900	一般機械器具製造業		有機スズ化合物 鉛及びその化合物	57,413 57,413		191 1,450	34	191 1,416
		231	ニッケル	57,413		700	52	648
		232	ニッケル化合物	57,413	0.9%	522	33	489
			フェノール フタル酸ジ-n-ブチル	57,413 57,413		204 483	3 2	201 481
			フタル酸ジーローファル	57,413		496		490
		304	ほう素及びその化合物	57,413	1.2%	700	10	690
			ホルムアルデヒド マンガン及びその化合物	57,413 57,413		216 1,069	5 72	211 997
			マンガン及びその化合物 メタクリル酸メチル	57,413 57,413		1,069	4	136
		346	モリブデン及びその化合物	57,413	1.6%	929	37	892
	i e e e e e e e e e e e e e e e e e e e		亜鉛の水溶性化合物 アクリル酸	26,860		286	23	263
			1 / フリ/レ門符	26,860		70 76	2 0	68 76
				26.860	0.3%			
		12 16	アセトニトリル 2-アミノエタノール	26,860 26,860		642	108	534
		12 16 17	アセトニトリル 2-アミノエタノール ジエチレントリアミン	26,860 26,860	2.4% 0.2%	642 64	108 0	534 64
3000	雷気機械器具制洗業	12 16 17 25	アセトニトリル 2-アミノエタノール ジエチレントリアミン アンチモン及びその化合物	26,860 26,860 26,860	2.4% 0.2% 3.0%	642 64 813	108 0 133	534 64 680
3000	電気機械器具製造業	12 16 17 25 29	アセトニトリル 2-アミノエタノール ジエチレントリアミン	26,860 26,860	2.4% 0.2% 3.0% 0.8%	642 64	108 0 133 2	
3000	電気機械器具製造業	12 16 17 25 29 30 43	アセトニトリル 2-アミノエタノール ジエチレントリアミン アンチモン及びその化合物 ビスフェノールA型エポキシ樹脂 エチレングリコール	26,860 26,860 26,860 26,860 26,860 26,860	2.4% 0.2% 3.0% 0.8% 5.3% 2.4%	642 64 813 203 1,410 642	108 0 133 2 151 64	534 64 680 201 1,259 578
3000	電気機械器具製造業	12 16 17 25 29 30 43	アセトニトリル 2-アミノエタノール ジエチレントリアミン アンチモン及びその化合物 ビスフェノールA ビスフェノールA型エポキシ樹脂 エチレングリコール エチレングリコールモノエチルエーテル	26,860 26,860 26,860 26,860 26,860 26,860 26,860	2.4% 0.2% 3.0% 0.8% 5.3% 2.4% 0.8%	642 64 813 203 1,410 642 203	108 0 133 2 151 64	534 64 680 201 1,259 578
3000	電気機械器具製造業	12 16 17 25 29 30 43 44 45	アセトニトリル 2-アミノエタノール ジエチレントリアミン アンチモン及びその化合物 ビスフェノールA型エポキシ樹脂 エチレングリコール	26,860 26,860 26,860 26,860 26,860 26,860	2.4% 0.2% 3.0% 0.8% 5.3% 2.4% 0.8%	642 64 813 203 1,410 642	108 0 133 2 151 64 12	534 64 680 201 1,259 578

表 3-9 業種別・対象化学物質別のすそ切り以下事業所数の推計結果(その4)

69 日本及び発性という性に対し、	業種コード	業種名	物質番号	対象化学物質名	全国の推計 対象事業所 数(M)	化学物質取 扱比率 (c)	化学物質取扱 事業所数 (N)=(M)×(c)	届出事業 所数 (d)	すそ切り以下 事業所数 (e)=(N)-(d)
98) 71178-14-22 (1989) 1.11 292 (5 1 1 1 1 292 (1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			68	クロム及び3価クロム化合物	26,860	1.5%	413	39	374
100 パルトル 及びその任命物 20,800 1,11 202 65 101 102 102 103 104 105 10									215
10 キーデアー・ベード・ベードでドー・ 36,880									92 227
10 輸送円水を物料減及ジアの報金杯(2 25,000 1,1% 200 31 122 22 27 22 27 22 27 25 25									243
172 N.Nマジチルルルグエド 26.860								31	268
175 休憩及び子の任命物 26,860 0.35 70 1 176 株態などの任命物 26,860 0.45 21 3 3 20 7 7 7 1 1 3 3 20 7 7 1 1 3 3 20 7 7 7 1 3 3 20 3 20 7 7 7 7 3 3 2 20 3 20 7 7 7 3 3 2 20 3 20 7 7 3 3 2 20 3 20 7 7 3 3 2 20 3 20 7 7 3 3 2 20 3 20 7 7 3 3 2 20 3 20 7 7 3 3 2 20 3 20 7 7 3 3 2 20 3 20 7 7 3 3 2 20 3 20 7 7 3 3 2 20 3 20 7 7 3 3 2 20 3 20 20 20 2									88
16 有様文不化合物 20.890 0.45 121 8 8 202 デアドロッチル係 20.890 1.95 483 123 202 デアドロッチル係 20.890 1.95 483 123 202 202 ボルビの化合物 20.890 1.95 483 123 202 202 ボルビの化合物 20.890 2.95 775 10.8 202									178 69
3000 電気機械器具製造業(統) 20 ((統) 1.88 1483 133 230 ((公) ((公) ((公) ((公) ((公) ((公) ((公) ((公								_	113
200 龍気機械器具製造業(統含) 231 ニッケルと合物 26,860 11.7% 3,132 29.00			202	テトラヒドロメチル無水フタル酸					196
3000 電気機械器具製造業(検3) 231 ニッケル・ 268 800 2.9% 775 164 222 ニッケル・化合物 29.8 800 2.9% 776 164 222 ニッケル・化合物 29.8 800 0.3% 770 775 164 223 ニッケル・ルール・水平性化合物 29.8 800 0.3% 271 16 223 ニッケル・シール・ルール・スーケール 29.8 800 0.3% 271 16 224 ニッケル・シール・スーケール 29.8 800 0.3% 271 271 16 271 2									350
22日 ニッケル化合物 28.860 2.9所 775 16 221 ニッケル化合物 28.860 3.8 70 3 3 243 パリフム及でから配性化合物 28.860 0.58 127 16 17 16 22 24 18 24 24 18 24 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25		er to the Lineau et the Art Me (Art)							2,873 579
248 ドリウム及じたの水原性化合物 208.80	3000	電気機械器具製造業(続き)	232	ニッケル化合物				164	611
252 財子の 157 252 157 252 253 157 252 253 157 252 253 157 252 253 157 252 253 25									67
258 ドラジン 25.869 0.88 210 15 10 25 11 10 15 10 25 10 25 11 10 15 10 10 25 10 25 10 27 1 10 10 25 10 25 10 27 1 10 10 25 10 25 10 27 1 10 25 10 25 10 27 1 10 25 10 25 10 27 1 10 25 10 25 10 27 1 10 25 10 25 10 27 1 10 25 1									111 195
200 フェノール 26,860 1,05 273 18 270 270 270 270 270 26,860 1,05 273 18 270 270 270 26,860 1,05 273 18 270									195
270 アタル酸ン 26,860 1,08 273 18 272 アタル酸とスタニナル・キンル) 26,860 1,18 286 31 310 15 320 320 15 320 320 15 320 320 15 320 320 15 320			254	ヒドロキノン	26,860	0.4%	108	0	108
172 アルルド・ベード・・・・・・・・ 26,860 1.18 286 31 304 1.54 素及でその化合物 26,860 3.78 1.04 81 311 オル・メア・ル・ア・ド 26,860 1.38 349 74 311 アンガン及びその化合物 26,860 1.38 349 74 340 27 72 72 72 72 72 72 7									314
300 担う素皮(どその化合物									255 255
310 おかよアルデヒド 26,860 2,98 540 83 310 74 74 75 75 75 75 75 75									923
320 オリアナン及びその化合物 26,860	.		310	ホルムアルデヒド	26,860	1.3%	349	74	275
346 モリデデン及びその任合物 20,800 1.38 349 32 1									457
1 麻魚の水溶性化合物									122 317
16 2-アジェタノール 20,404 4.2% 859 33 29 ビスフェノールA 20,404 4.2% 480 38 29 ビスフェノールA 20,404 1.1% 220 11 30 ビスフェノールA 20,404 1.1% 220 11 310 ビスフェノールを国工ポキン神脂 20,404 1.3% 899 157 43 エチレングリコール 20,404 3.3% 850 880 889 897 17 44 エチレングリコールをJエチルエーテル 20,404 3.3% 370 22 20,404 1.8% 370 22 20,404 1.8% 370 22 20,404 1.8% 370 22 20,404 1.8% 370 22 20,404 1.8% 370 22 20,404 1.8% 370 22 20,404 1.8% 370 22 20,404 1.8% 380 24 20 20,404 2.8% 380 24 20 20,404 2.8% 380 24 20 20 20 20 20 20 2									864
29 ボスエノールA 20,404			16	2-アミノエタノール					826
30 ドスフェノールA型エボキン樹脂									442
43 エチレングリコール									209 832
64 般及びその水溶性化合物 20.404 4.78 949 124 69 68 / クロム及び観かコム化合物 20.404 4.78 949 124 69 66 / クロム及び観かコム化合物 20.404 2.88 580 70 100 エバルトなどその化合物 20.404 1.88 350 24 1101 ェラン・グリー・ルキ・エナルエーテル・アナット 20.404 1.88 350 24 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12									591
68 プロム及び3価プロム化合物									348
680 680 680 700 10									137
100 コンルト及びその化合物									825 510
176 有機大工化合物									253
新送用機械器具製造業									336
231 ニッケル 20,404 2.5% 520 98 232 ニッケル化合物 204,404 3.9% 789 112 242 /ニルフェノール 20,404 0.7% 140 55 523 127 243 パリウム及びその水溶性化合物 20,404 0.7% 150 7 266 フェノール 20,404 1.0% 210 1 1 266 フェノール 20,404 2.2% 450 7 277 79 小酸ショーブチル 20,404 2.2% 450 7 272 79 小酸ショーブチル 20,404 2.2% 450 7 272 79 小酸ショーブチル 20,404 2.2% 450 7 272 79 小酸ショーブチル 20,404 2.5% 450 7 272 79 小酸ションデール 20,404 2.5% 450 7 272 79 小酸ションデールペシシル 20,404 0.5% 110 4 20,404 2.2% 400 4 4 4 4 4 8 899 33 310 ボルムアルデヒド 20,404 4 4 4 8 899 33 310 ボルムアルデヒド 20,404 4 4 4 8 899 33 310 ボルムアルデヒド 20,404 4 4 4 8 899 33 310 ボルムアルデヒド 20,404 4 4 4 8 899 33 310 ボルムアルデヒド 20,404 4 4 4 8 899 33 310 ボルムアルデヒド 20,404 4 4 4 8 899 33 310 ボルムアルデヒド 20,404 4 4 4 8 899 33 310 ボルムアルデヒド 20,404 4 4 4 8 899 33 310 17 7 7 7 7 7 7 7 7	2100	本, 大田 44 44 田 日 41 大子							430
232 ニッケル化合物	3100								1,070 422
243 パリウム及びその水溶性化合物									677
253 上ドラジン 20,404 1.0% 210 1 266 フェノール 20,404 2.8% 570 62 270 79ル酸ジーnーブチル 20,404 2.8% 570 62 270 79ル酸ジーnーブチル 20,404 2.2% 450 7 272 79ル酸ジーnーブチル 20,404 3.2% 650 47 273 79ル酸シーnーブチルーペンジル 20,404 3.2% 650 47 273 79ル酸シープチルーペンジル 20,404 0.5% 110 4 304 15-3素及びその化合物 20,404 4.4% 889 33 310 ホルムアルデビド 20,404 4.4% 889 33 310 ホルムアルデビド 20,404 4.3% 879 59 177 346 モリブデン及びその化合物 20,404 4.3% 879 59 12 7セトミリル 7,507 1.1% 79 2 12 7セトミリル 7,507 1.3% 101 2 2 30 ピスフェノールA型エボキシ樹脂 7,507 1.3% 101 2 2 4 43 エチレングリコール 7,507 3.0% 223 4 44 43 エチレングリコール 7,507 1.6% 122 2 4 43 230 36 27 27 27 27 27 27 27 2									135
266 フェノール 20,404 2.8% 570 62 770 79ル酸ジーコブチル 20,404 2.2% 450 7 277 79ル酸ビス(ユーチルヘキシル) 20,404 2.2% 450 7 272 79ル酸ドス(ユーチルヘキシル) 20,404 3.2% 650 47 273 79ル酸トーブチル=ペンジル 20,404 0.5% 110 4 304 13 ラ素 ひきゃん化合物 20,404 4.4% 889 33 310 ホルムアルデヒド 20,404 2.0% 400 26 311 マンガン及びその化合物 20,404 4.3% 879 59 12 アセトーリル 7,507 1.1% 79 2 16 2-7ミノエタノール 7,507 1.1% 79 2 16 2-7ミノエタノール 7,507 1.3% 101 2 2 2 30 ピスフェノールA型エボキシ樹脂 7,507 3.0% 223 4 4 4 3 4 4 2 2 2 2 4 4 3 4 2 3 4 4 4 3 4 4 4 3 4 4									143
270 フタル酸ジーnーブチル 20,404 2.2% 450 7 272 フタル酸ビス(2-エチルペキシル) 20,404 3.2% 650 47 273 フタル酸ビス(2-エチルペキシル) 20,404 3.2% 650 47 273 フタル酸ビス(2-エチルペキシル) 20,404 4.4% 889 33 310 ホルムアルデヒド 20,404 2.0% 400 2.6 311 マンガン及びその化合物 20,404 4.3% 879 59 127 アセトニリル 7,507 1.1% 79 2 16 2-アミノエタノール 7,507 1.3% 101 2 2 30 ビスフェノールム型エボキシ樹脂 7,507 2.7% 201 4 43 45 1 1 2 2 2 4 4 4 4 4 4 4									209 508
10 10 10 10 10 10 10 10			270	フタル酸ジ-n-ブチル					443
304 ほう素及びその化合物 20,404 4.4% 889 33 310 ホルムアルデヒド 20,404 2.0% 400 26 311 マンガン及びその化合物 20,404 6.2% 1,259 177 346 モリデアン及びその化合物 20,404 4.3% 879 59 12 アセトニトリル 7,507 1.1% 79 2 16 2-アジェタノール 7,507 1.3% 101 2 30 ビスフェノールA型エボキシ樹脂 7,507 2.7% 201 4 43 エチレングリコール 7,507 1.6% 122 2 44 43 エチレングリコール 7,507 1.6% 122 2 2 44 43 45 45 45 45 45 45			272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)					603
310 ホルムアルデヒド 20,404 2.0% 400 26 311 マンガン及びその化合物 20,404 6.2% 1,259 177 346 モリブデン及びその化合物 20,404 4.3% 879 59 12 アセドニ・リル 7,507 1.1% 79 2 16 2-アミノエタノール 7,507 1.3% 101 2 2 30 ビスアェノールA型エボキシ樹脂 7,507 2.7% 201 4 43 エチレングリコール 7,507 3.0% 223 4 44 44 44 42 42 44 42 42 44 42 42 44 42 44 42 44 42 44 42 42 44 42 44 42 42 44 42 42 44 42 42 42 44 42 42 44 42 42 42 42 42 44 42 42 42 44 42 42 42 42 44 42 42 42 42 44 42 42 42 42 44 42 42 42 42 42 44 42 42 42 42 42 44 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 44 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 44 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 44 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 44 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 44 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 44 42 44 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 44 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42									106
311 マンガン及びその化合物 20,404 6.2% 1,259 177 346 モリプデン及びその化合物 20,404 4.3% 879 59 59 12 アセトニリル 7,507 1.1% 79 2 16 2-アミノエタノール 7,507 1.3% 101 2 2 2 30 ビスアェノールA型エポキシ樹脂 7,507 2.7% 201 4 43 エチレングリコール 7,507 3.0% 223 4 64 銀及びその水溶性化合物 7,507 1.6% 122 2 2 2 2 2 2 2 2									856 374
12 アセトーリル									1,082
16 2-アミノエタノール 7,507 1.3% 101 2 30 ビスフェノールA型エポキシ樹脂 7,507 2.7% 201 4 43 エチレングリコール 7,507 3.0% 223 4 44 3 エチレングリコール 7,507 3.0% 223 4 42 2 2 2 2 2 2 2									820
30 ビスフェノールA型エポキシ樹脂									77 99
43 エチレングリコール									197
18			43	エチレングリコール	7,507	3.0%	223	4	219
69 6価クロム化合物 7,507 1.6% 122 4 230 節及びその化合物 7,507 4.3% 323 12 270 7夕ル酸ジューブチル 7,507 1.6% 122 1 304 ほう素及びその化合物 7,507 1.6% 122 5 320 メタクリル酸ジューグ・ 7,507 1.6% 122 5 320 メタクリル酸チル 7,507 1.7% 129 6 346 モリブ・ン及びその化合物 7,507 1.7% 129 6 346 モリブ・ン及びその化合物 7,507 1.1% 86 0 0 0 0 0 0 0 0 0									120
230 公及びその化合物	3200	精密機械器具製造業							100 118
270 フタル酸ジーnーブチル									311
320 メタクリル酸メチル 7,507 1.7% 129 6 346 モリブデン及びその化合物 7,507 1.1% 86 0 25 アンチモン及びその化合物 19,563 1.4% 270 1 30 ビスフェノールA型エポキシ樹脂 19,563 2.3% 456 8 43 エチレングリコール 19,563 2.8% 557 19 64 銀及びその水溶性化合物 19,563 1.6% 321 4 68 クロム及び3価かロム化合物 19,563 1.4% 270 3 69 6価クロム化合物 19,563 1.7% 338 2 108 無機シアン化合物(維塩及びシアン酸塩を除く) 19,563 1.5% 287 0 3400 その他の製造業 230 路及びその化合物 19,563 1.5% 287 0 231 ニッケル 19,563 1.4% 270 7 232 ニッケル化合物 19,563 1.4% 270 7 232 ニッケル化合物 19,563 1.4% 270 7 232 ニッケル化合物 19,563 1.4% 270 5 270 フタル酸ジューブチル 19,563 1.4% 270 5 270 フタル酸ジューブチル 19,563 1.4% 270 7 272 フタル酸ビスニエチルヘキシル 19,563 1.1% 220 3 304 ほう素及びその化合物 19,563 2.2% 422 2			270	フタル酸ジ-n-ブチル	7,507	1.6%	122	1	121
346 モリブデン及びその化合物 7,507 1.1% 86 0 25 アンチモン及びその化合物 19,563 1.4% 270 1 30 ビスフェノールA型エポキシ樹脂 19,563 2.3% 456 8 43 エチレングリコール 19,563 2.8% 557 19 64 銀及びその水溶性化合物 19,563 1.6% 321 4 68 クロム及び3価クロム化合物 19,563 1.6% 321 4 68 クロム及び3価クロム化合物 19,563 1.7% 338 2 108 無機シアン化合物・19,563 1.7% 338 2 108 無機シアン化合物・19,563 1.5% 287 0 230 鉛及びその化合物 19,563 2.6% 507 3 231 ニッケル 19,563 1.4% 270 7 232 ニッケル化合物・19,563 1.4% 270 7 232 ニッケルセクトル 19,563 1.4% 270 7 232 ニッケルセクトル 19,563 1.4% 270 5 270 フタル酸ジューブチル 19,563 1.4% 270 5 270 フタル酸ジューブチル 19,563 1.4% 270 7 272 フタル酸ビズ(2-エチルヘキシル) 19,563 1.1% 220 3 304 ほう素及びその化合物 19,563 2.2% 422 2	.								117
25 アンチモン及びその化合物	.								123 86
30 ビヌフェノールA型ェボキシ樹脂 19,563 2.3% 456 8 43 エチレングリコール 19,563 2.8% 557 19 64 銀及びその水溶性化合物 19,563 1.6% 321 4 68 クロム及び3価クロム化合物 19,563 1.4% 270 3 69 6価クロム化合物 19,563 1.7% 338 2 108 無機シアン化合物(離塩及びシアン酸塩を除ぐ) 19,563 1.7% 338 2 2 108 無機シアン化合物(離塩及びシアン酸塩を除ぐ) 19,563 1.5% 287 0 230 鉛及びその化合物 19,563 2.6% 507 3 231 ニッケル 19,563 1.4% 270 7 232 ニッケル化合物 19,563 1.4% 270 7 232 ニッケル化合物 19,563 1.4% 270 7 272 グタル酸ジェーブチル 19,563 1.4% 270 5 270 ブタル酸ジェーブチル 19,563 1.4% 270 7 272 ブタル酸ジェーブチル 19,563 1.4% 270 7 272 ブタル酸ジェーブチル 19,563 1.4% 270 7 3 304 ほう素及びその化合物 19,563 2.2% 422 2									269
64 銀及びその水溶性化合物	.		30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	19,563	2.3%	456	8	448
68 クロム及び8価クロム化合物	.								538
69 6価クロム化合物 19,563 1.7% 338 2 108 無機シアン化合物(韓塩及びシアン酸塩を除ぐ) 19,563 1.5% 287 0 230 <u>外及びその化合物 19,563 2.6% 507 3 331 2.5% 231 2.5% 232 2.5% 232 2.5% 232 2.5% 233 2.5% 234 2.5% 234 2.5% 235 2.5% 237 </u>	.								317 267
108 無機シアン化合物(締塩及びシアン酸塩を除く) 19,563 1.5% 287 0 230 230 260 270	ļ								336
231 ニッケル 19,563 1.4% 270 7 232 ニッケル化合物 19,563 1.9% 371 11 266 フェノール 19,563 1.4% 270 5 270 フタル酸ジーnープチル 19,563 1.4% 270 7 272 フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) 19,563 1.1% 220 3 304 ほう素及びその化合物 19,563 2.2% 422 2	_	er - t - ded ad. alle	108	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く)	19,563	1.5%	287	0	287
232 ニッケル化合物 19,563 1.9% 371 11 266 フェノール 19,563 1.4% 270 5 270 フタル酸ジーnープチル 19,563 1.4% 270 7 272 フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) 19,563 1.1% 220 3 304 ほう素及びその化合物 19,563 2.2% 422 2	3400	その他の製造業							504
266 フェノール 19,563 1.4% 270 5 270 フタル酸ジーn-プチル 19,563 1.4% 270 7 272 フタル酸ビベ(2-エチルヘキシル) 19,563 1.1% 220 3 304 ほう素及びその化合物 19,563 2.2% 422 2	ļ								263 360
270 フタル酸ジーnーブチル 19,563 1.4% 270 7 272 フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) 19,563 1.1% 220 3 304 ほう素及びその化合物 19,563 2.2% 422 2	ļ								265
304 ほう素及びその化合物 19,563 2.2% 422 2	ļ		270	フタル酸ジ-n-ブチル	19,563	1.4%	270	7	263
									217
Oli 10 /9 /4 /4 C C Oli Ol									420 316
3500 電気業 253 ピドラジン 253 18.9% 48 40	3500	電気業							8
3600 ガス業 253 ヒドラジン 111 4.3% 5 0			253	ヒドラジン	111	4.3%	5	0	5
3700 熱供給業 253 ヒドラジン 29 25.4% 7 2 2 2 2 2 2 2 2 2	3700	熱供給業							5 3

表 3-9 業種別・対象化学物質別のすそ切り以下事業所数の推計結果(その5)

業種コード	業種名	物質番号	対象化学物質名	全国の推計 対象事業所 数(M)	化学物質取 扱比率 (c)	化学物質取扱 事業所数 (N)=(M)×(c)	届出事業 所数 (d)	すそ切り以下 事業所数 (e)=(N)-(d)
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂 エチレングリコール	1,178 1,178	3.5% 8.4%	41 99	1 34	40 65
		69	6価クロム化合物	1,178	3.3%	39	1	38
3900	鉄道業		3,3'-ジクロロー4,4'-ジアミノジフェニルメタン	1,178	2.1%	24	0	24
			鉛及びその化合物 フタル酸ジ-n-ブチル	1,178 1,178	8.6% 2.1%	102 24	1 0	101 24
		272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	1,178	3.7%	44	0	44
5220	自動車卸売業		モリブデン及びその化合物 エチレングリコール	1,178 1,328	2.9% 40.6%	34 540	2 140	32 400
	洗濯業		エチレングリコール	1,526	1.9%	29	140	28
	写真業		エチレンジアミン四酢酸	1,231	3.5%	44	0	44
	***************************************		銀及びその水溶性化合物 エチレングリコール	1,231 58,206	2.1% 61.5%	25 35,782	0 1,813	25 33,969
7700	自動車整備業		6価クロム化合物	58,206	0.7%	413	0	413
			鉛及びその化合物	58,206	0.8%	477	0	477
7810	機械修理業		エチレングリコール 鉛及びその化合物	7,546 7,546	6.2% 1.1%	469 82	11	458 82
			アセトニトリル	166	4.9%	8	2	6
			エチレングリコール	166	1.6%	3	0	3
	1. T. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.		クロロホルム N,N-ジメチルホルムアミド	166 166	4.4% 5.3%	7 9	0	7 9
8620	商品検査業		鉛及びその化合物	166	3.5%	6	1	5
			ヒドロキノン	166	3.0%	5	0	5
			フェノール ほう素及びその化合物	166 166	1.8% 3.1%	<u>3</u>	0	3 5
			アセトニトリル	95	37.6%	36	7	29
		64	銀及びその水溶性化合物	95	15.2%	14	0	14
			クロロホルム	95	29.5%	28	1	27
	ALE		1,2-ジクロロエタン N,N-ジメチルホルムアミド	95 95	4.9% 15.2%	5 14	1 0	4 14
8630	計量証明業(一般計量証明業を 除く。)		二硫化炭素	95	15.9%	15	0	15
	(京へ。)		ピリジン	95	3.4%	3	0	3
			フェノール ほう素及びその化合物	95 95	12.1% 3.1%	11 3	0	11
			ホルムアルデヒド	95	6.9%	7	0	7
			マンガン及びその化合物	95	5.1%	5	2	3
			亜鉛の水溶性化合物 アクリルアミド	1,827	3.8% 7.8%	69 143	1 0	68 143
			アセトニトリル	1,827 1,827	18.8%	343	8	335
		15	アニリン	1,827	3.2%	59	0	59
			2-アミノエタノール	1,827	1.7%	31	0	31
			エチレングリコール エチレングリコールモノメチルエーテル	1,827 1,827	6.3% 1.8%	115 33	0	115 33
			エチレンジアミン	1,827	1.5%	28	0	28
			エチレンジアミン四酢酸	1,827	3.4%	61	0	61
		64	銀及びその水溶性化合物 グルタルアルデヒド	1,827 1,827	1.8% 2.5%	33 46	0	33 46
			クロム及び3価クロム化合物	1,827	2.2%	41	0	41
		69	6価クロム化合物	1,827	2.2%	41	0	41
			クロロベンゼン クロロホルム	1,827	2.9%	54 392	61	54 331
			コバルト及びその化合物	1,827 1,827	21.4%	592	01	54
		102	酢酸ビニル	1,827	1.4%	26	0	26
9140	高等教育機関		1,4-ジオキサン	1,827	6.0%	110	0	110
1			1,2-ジクロロエタン o-ジクロロベンゼン	1,827 1,827	4.2% 1.5%	77 28	0	77 28
1		172	N,N-ジメチルホルムアミド	1,827	8.5%	156	0	156
			水銀及びその化合物	1,827	2.2%	41	0	41
			銅水溶性塩(錯塩を除く) 鉛及びその化合物	1,827 1,827	3.8% 3.4%	69 61	1 0	68 61
		232	ニッケル化合物	1,827	2.4%	44	0	44
			二硫化炭素	1,827	2.5%	46	0	46
			バリウム及びその水溶性化合物 ヒドラジン	1,827 1,827	2.4% 1.7%	44 31	1 0	43
		259	ピリジン	1,827	8.0%	146	1	145
			フェノール	1,827	9.2%	169	1	168
			ほう素及びその化合物 ホルムアルデヒド	1,827 1,827	5.5% 13.3%	100 243	<u>0</u>	100 237
			マンガン及びその化合物	1,827	3.9%	72	0	72
		320	メタクリル酸メチル	1,827	2.4%	44	0	44
			モリブデン及びその化合物 亜鉛の水溶性化合物	1,827	1.5% 6.8%	28 125	0	28 122
			里頭の水溶性化合物 アクリルアミド	1,833 1,833	5.8%	125	0	106
		12	アセトニトリル	1,833	28.6%	524	32	492
			アニリン 2-アミノエタノール	1,833	3.0%	55 77	0 1	55
			アンチモン及びその化合物	1,833 1,833	4.2% 2.0%	37	0	76 37
		43	エチレングリコール	1,833	7.8%	143	3	140
0015	方 外 利 冯 加 亦 □ 广		エチレングリコールモノエチルエーテル	1,833	2.2%	40	0	40
9210	自然科学研究所		エチレングリコールモノメチルエーテルエチレンジアミン	1,833 1,833	3.0% 2.2%	55 40	0	55 40
			1-オクタノール	1,833	3.0%	55	0	55
		64	銀及びその水溶性化合物	1,833	5.2%	95	0	95
			クレゾール	1,833	3.0%	55 51	0	55
			クロム及び3価クロム化合物 6価クロム化合物	1,833 1,833	2.8% 3.4%	51 62	1 1	50 61
		93	クロロベンゼン	1,833	2.8%	51	1	50
			クロロホルム	1,833	22.4%	411	29	382

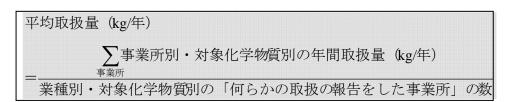
全国の推計 化学物質取 化学物質取扱 届出事業 すそ切り以下 業種 物質 業種名 対象事業所 数(M) 扱比率 事業所数 (N)=(M)×(c) 事業所数 (e)=(N)-(d) 対象化学物質名 (d) (c) 100 コバルト及びその化合物 1,833 4.49 81 80 113 1,4-ジオキサン 1,833 132 132 116 1,2-ジクロロエタ 139 o-ジクロロベンセ 1,833 3.0% 172 N,N-ジメチルホルムアミト 175 水銀及びその化合物 13.4% 246 246 1,833 1,833 69 207 銅水溶性塩(錯塩を除く) 4.8% 88 1,833 87 58 48 1,833 2.69 48 77 9210 自然科学研究所 1,833 硫化炭素 1,833 2.89 バリウム及びその水溶性化合物 243 1,833 4.4% 81 1,833 1,833 51 110 2.8% 51 110 304 ほう素及びその化合物 1,833 8.0% 147 146 93 1,833

表 3-9 業種別・対象化学物質別のすそ切り以下事業所数の推計結果(その6)

(6) 平均取扱量

従来の設定方法と同様に、取扱量調査;H18・H19 実績(NITE)における事業者からの報告データに基づいて設定する。

前述のとおり、平均取扱量とは、すそ切り以下事業所における年間取扱量を業種別・対象化学物質別に平均した値と定義されたものであるため、届出要件に該当するデータや事業者規模が不明のデータを除外し、業種別・対象化学物質別に以下のとおり算出した。



この算出に使う取扱量調査のデータは毎年更新され、業種や対象化学物質によっては算出される平均取扱量の値が大きく変化することがある。これは必ずしも現実の増減を意味するものではなく、データ数の不足に起因した見かけ上の変動と考えられることから、平均取扱量は利用可能なデータ数が一定の数以上ある場合に限って設定し、それに満たない場合は設定しない(=推計対象から除外する)こととする。

このパラメータの設定に必要な最小データ数は、推計精度の観点から判断されるべきものであるが、簡易な検討の結果を踏まえて、当面はすそ切り以下事業所からの報告件数が10件以上の業種・対象化学物質に限って設定することとする。

(7) 平均排出率

2年度分の取扱量調査;H18・H19 実績(NITE)において、平均排出率の設定に利用可能なデータが得られているため、それらの調査で得られた年間取扱量と環境への排出率のランクに基づいて平均排出率を設定することとした。

前述のとおり、平均排出率とは、すそ切り以下事業所において対象化学物質が環境中へ排出される割合の平均値と定義されたものであるため、届出要件に該当するデータや事業者規模が不明のデータを除外し、業種別・対象化学物質別に以下のとおり算出した。

この算出に使う取扱量調査 (NITE) のデータは毎年更新され、業種や対象化学物質によっては算出される平均排出率の値が大きく変化することがある。これは必ずしも現実の増減を意味するものではなく、データ数の不足に起因した見かけ上の変動と考えられることから、平均排出率は利用可能なデータ数が一定の数以上ある場合に限って設定し、それに満たない場合は設定しない(=推計対象から除外する)こととする。

このパラメータの設定に必要な最小データ数は、推計精度の観点から判断されるべきものであるが、簡易な検討の結果を踏まえて、当面はすそ切り以下事業所からの報告件数が 10 件以上の業種・対象化学物質に限って設定することとする(平均取扱量の設定方法からの類推として判断)。

設定された対象化学物質別の平均排出率の値を表 3-10 に示す。平成 20 年度排出量の推計対象とした業種の中で、化学工業だけは他の業種と著しい差があると考えられるため、表 3-10 では「化学工業」と「その他の業種」の2種類の値を示している。

表 3-10 設定された対象化学物質別の平均排出率(その1)

物質	対象化学物質名	平均排 (平成 20	
番号		化学工業	その他の 業種
1	亜鉛の水溶性化合物	0.17%	1.78%
2	アクリルアミド	0.06%	2.90%
3	アクリル酸	0.14%	21.59%
9	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	0.01%	6.94%
12	アセトニトリル	8.25%	4.63%
13	2,2'-アゾビスイソブチロニトリル	0.002%	_
15	アニリン	_	0.16%
16	2-アミノエタノール	1.43%	8.99%
17	ジエチレントリアミン	0.003%	1.38%
25	アンチモン及びその化合物	0.23%	1.12%
29	ビスフェノール A	0.01%	5.59%
30	ビスフェノール A 型エポキシ樹脂	2.68%	1.36%
32	2-イミダゾリジンチオン	_	0.50%
43	エチレングリコール	0.49%	12.39%
44	エチレングリコールモノエチルエーテル	1.39%	54.19%
45	エチレングリコールモノメチルエーテル	2.65%	31.21%
46	エチレンジアミン	0.05%	2.76%
47	エチレンジアミン四酢酸	4.45%	3.48%
54	エピクロロヒドリン	0.15%	_
58	1-オクタノール	0.02%	4.32%
60	カドミウム及びその化合物	_	0.27%
64	銀及びその水溶性化合物	0.002%	1.75%
65	グリオキサール	0.01%	-
66	グルタルアルデヒド	3.26%	25.86%
67	クレゾール	0.07%	4.15%
68	クロム及び3価クロム化合物	0.13%	0.19%
69	6 価クロム化合物	0.01%	3.74%
93	クロロベンゼン	0.86%	27.64%
95	クロロホルム	1.95%	8.94%
100	コバルト及びその化合物	0.37%	1.97%
101	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	7.50%	48.27%
102	酢酸ビニル	_	5.67%
108	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く)	_	3.25%
113	1,4-ジオキサン	16.89%	27.92%
115	N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールス ルフェンアミド	_	0.52%
116	1,2-ジクロロエタン	14.61%	25.48%
120	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタ	_	5.35%

表 3-10 設定された対象化学物質別の平均排出率(その2)

物質	対象化学物質名	平均排 (平成 20	
番号	对家旧于 物复石	化学工業	その他の 業種
129	ジウロン	0.005%	19.33%
134	1,3-ジクロロ-2-プロパノール	_	34.14%
135	1,2-ジクロロプロパン	_	30.09%
139	o-ジクロロベンゼン	1.42%	7.79%
159	ジフェニルアミン	_	0.39%
172	N,N-ジメチルホルムアミド	3.04%	82.98%
175	水銀及びその化合物	_	0.64%
176	有機スズ化合物	0.03%	0.47%
181	チオ尿素	1.12%	_
198	ヘキサメチレンテトラミン	_	5.14%
202	テトラヒドロメチル無水フタル酸	_	0.55%
204	チウラム	_	1.43%
207	銅水溶性塩(錯塩を除く)	0.04%	1.11%
230	鉛及びその化合物	0.04%	0.08%
231	ニッケル	0.03%	2.06%
232	ニッケル化合物	2.74%	0.62%
241	二硫化炭素	_	7.74%
242	ノニルフェノール	0.27%	17.81%
243	バリウム及びその水溶性化合物	0.002%	2.65%
249	ジラム	_	1.22%
252	砒素及びその無機化合物	_	0.01%
253	ヒドラジン	2.82%	21.49%
254	ヒドロキノン	0.03%	4.14%
259	ピリジン	0.16%	1.99%
266	フェノール	1.46%	2.19%
270	フタル酸ジ-n-ブチル	0.09%	3.96%
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	0.63%	5.43%
273	フタル酸-n-ブチル=ベンジル	0.03%	20.32%
293	ヘキサメチレン=ジイソシアネート	0.16%	_
294	ベリリウム及びその化合物	_	3.55%
298	ベンズアルデヒド	0.02%	_
300	1,2,4-ベンゼントリカルボン酸 1,2-無水物	0.001%	_
304	ほう素及びその化合物	1.50%	0.77%
310	ホルムアルデヒド	0.07%	15.00%
311	マンガン及びその化合物	3.30%	0.07%
312	無水フタル酸	0.04%	_
313	無水マレイン酸	0.01%	_
314	メタクリル酸	0.31%	_
320	メタクリル酸メチル	0.04%	15.03%
338	m-トリレンジイソシアネート	0.30%	_
346	モリブデン及びその化合物	0.54%	3.83%

注1:平成20年度排出量の推計対象とした78物質のみの値を示す。

注2:「その他の業種」には食料品製造業等の32業種が該当。

注3:化学工業以外の平均排出率は「その他の業種」として共通の値を採用。

全国の「すそ切り以下排出量」を推計した結果を表 3-11 に示す。

表 3-11 業種別・対象化学物質別のすそ切り以下排出量の推計結果(その1)

業種コード	業種名	物質番号	対象化学物質名	すそ切り以下 事業所数 (e)	平均取扱量 (kg/年) (f)	平均 排出率 (g)	平均排出量 (kg/年) (H)=(f)×(g)	すそ切り以 下排出量 (kg/年) =(e)×(H)
			アセトニトリル コバルト及びその化合物	176 132	94.5 160.9	4.6% 2.0%	4.4 3.2	770.8 417.4
1300	飲料・たばこ・飼料製造業		銅水溶性塩(錯塩を除く)	187	197.2	1.1%	2.2	407.7
		310	ホルムアルデヒド	152	20.2	15.0%	3.0	460.9
			亜鉛の水溶性化合物	647	101.6	1.8%	1.8	1,170.7
			アンチモン及びその化合物 エチレングリコール	513 1,516	160.8 235.6	1.1% 12.4%	1.8 29.2	920.8 44,252.6
		68	クロム及び3価クロム化合物	738	136.4	0.2%	0.3	193.7
1400	繊維工業		コバルト及びその化合物	298	49.1	2.0%	1.0	287.4
			1,3-ジクロロ-2-プロパノール N,N-ジメチルホルムアミド	382 391	341.7 97.7	34.1% 83.0%	116.7 81.0	44,554.7 31,650.9
		253	ヒドラジン	223	156.1	21.5%	33.5	7,478.0
			ほう素及びその化合物	445	170.5	0.8%	1.3	587.1
1500	衣服・その他の繊維製品製造業		ホルムアルデヒド エチレングリコール	484 335	263.0 157.3	15.0% 12.4%	39.5 19.5	19,094.3 6,534.1
1300	X版・その他の概葉袋田袋坦来		エチレングリコール	213	197.9	12.4%	24.5	5,228.2
1600	木材・木製品製造業(家具を除く)	266	フェノール	249	130.0	2.2%	2.8	708.5
1700	立日 北 /#日柳/北平	310	ホルムアルデヒド	332	101.5	15.0%	15.2	5,054.2
1700	家具•装備品製造業		酢酸ビニル 2-アミノエタノール	468 109	347.2 156.6	5.7% 9.0%	19.7 14.1	9,215.0 1,538.6
			エチレングリコール	519	309.4	12.4%	38.3	19,916.5
		93	クロロベンゼン	76	71.8	27.6%	19.8	1,499.5
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業		ヒドラジン	210	195.9	21.5%	42.1	8,819.5
			フタル酸ジ-n-ブチル ほう素及びその化合物	628 570	239.2 557.0	4.0% 0.8%	9.5 4.3	5,944.1 2,459.0
		346	モリブデン及びその化合物	83	122.8	3.8%	4.7	391.4
		43	エチレングリコール	965	29.7	12.4%	3.7	3,550.6
			6価クロム化合物 クロロベンゼン	231 158	206.1 93.0	3.7% 27.6%	7.7 25.7	1,782.0 4,053.9
			1,2-ジクロロプロパン	280	116.5	30.1%	35.0	9,808.7
1900	出版·印刷·同関連産業	254	ヒドロキノン	1,434	92.9	4.1%	3.8	5,514.2
			フタル酸ジ-n-ブチル	459	57.1	4.0%	2.3	1,036.3
			ほう素及びその化合物 マンガン及びその化合物	133 142	75.2 5.9	0.8%	0.6 0.0	77.5 0.6
			モリブデン及びその化合物	402	105.6	3.8%	4.0	1,629.7
		1	亜鉛の水溶性化合物	160	1,291.3	0.2%	2.2	350.0
			アクリルアミド	42	417.7	0.1%	0.2	9.8
			アクリル酸 アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	64	386.6 256.8	0.1%	0.5 0.0	33.6 1.0
		12	アセトニトリル	446	205.6	8.2%	17.0	7,566.9
		13	2,2'-アゾビスイソブチロニトリル	72	188.0	0.0%	0.0	0.2
			2-アミノエタノール ジエチレントリアミン	194 25	453.7 185.2	1.4% 0.0%	6.5 0.0	1,254.0 0.1
			アンチモン及びその化合物	123	410.4	0.0%	0.9	114.0
		29	ビスフェノールA	68	210.8	0.0%	0.0	1.6
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂	81	11,639.9	2.7%	311.7	25,281.4
			エチレングリコール エチレングリコールモノエチルエーテル	247 92	8,871.1 1,187.6	0.5% 1.39%	43.9 16.5	10,817.0 1,516.6
			エチレングリコールモノメチルエーテル	88	363.8	2.7%	9.7	846.6
			エチレンジアミン	62	1,044.7	0.0%	0.5	31.2
			エチレンジアミン四酢酸 エピクロロヒドリン	65 28	1,522.9 403.4	4.5% 0.2%	67.8 0.6	4,420.0 17.2
			1-オクタノール	30	43.5	0.02%	0.0	0.3
		64	銀及びその水溶性化合物	102	98.3	0.0%	0.0	0.2
			グリオキサール	63	4,405.2	0.0%	0.4	26.0
2000	化学工業		グルタルアルデヒド クレゾール	59 87	215.0 587.0	3.3%	7.0 0.4	412.6 37.3
		68	クロム及び3価クロム化合物	85	398.8	0.1%	0.4	42.5
		69	6価クロム化合物	49	624.7	0.0%	0.1	2.9
			クロロベンゼン クロロホルム	47 400	205.6	0.9% 2.0%	1.8	83.1
			コバルト及びその化合物	169	77.6 338.5	0.4%	1.5 1.3	606.6 214.1
		101	エチレングリコールモノエチルエーテ	68	857.9	7.5%	64.3	4,403.2
			ルアセプート					
			1,4-ジオキサン 1,2-ジクロロエタン	124 93	292.9 104.6	16.9% 14.6%	49.5 15.3	6,138.7 1,417.4
			ジウロン	48	353.2	0.0%	0.0	1,417.4
		139	0-ジクロロベンゼン	70	377.9	1.4%	5.4	373.1
			N,N-ジメチルホルムアミド 有機スズ化合物	259	1,905.6	3.0%	57.9	14,963.3
			有機スス化合物	96 44	146.8 130.4	0.0%	0.0 1.5	63.9
		207	銅水溶性塩(錯塩を除く)	84	30,165.7	0.0%	11.4	953.8
		230	鉛及びその化合物	78	281.8	0.0%	0.1	9.6
			ニッケル	33	836.8		0.2	7.1
		2.32.	ニッケル化合物	85	76.5	2.7%	2.1	179.0
			ノニルフェノール	61	1,738.9	0.3%	4.6	280.2

表 3-11 業種別・対象化学物質別のすそ切り以下排出量の推計結果(その2)

業種コード	業種名	物質番号	対象化学物質名	すそ切り以下 事業所数 (e)	(kg/年) (f)	平均 排出率 (g)	平均排出量 (kg/年) (H)=(f)×(g)	すそ切り以 下排出量 (kg/年) =(e)×(H)
			ヒドラジン	95	349.6	2.8%		937.4
			ヒドロキノン	58	220.7	0.0%		4.0
			ピリジン	215	87.3	0.2%		29.1
			フェノール	192	302.7	1.5%		847.6
			フタル酸ジ-n-ブチル フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	131	315.2	0.1%		37.4
			フタル酸こ入(2-エナルハギンル) フタル酸-n-ブチル=ベンジル	72 6	1,564.5 372.2	0.6%	9.9 0.1	714.7 0.7
			ヘキサメチレン=ジイソシアネート	43	193.4	0.0%	0.1	13.2
			ベンズアルデヒド	43	160.4	0.0%		1.1
2000	化学工業(続き)		1,2,4-ベンゼントリカルボン酸1,2-無水物	25	239.5	0.0%		
2000	18 1 = 1/2 (1/18)		ほう素及びその化合物	318	457.4	1.5%		2,188.0
			ホルムアルデヒド	260	62,507.8	0.1%		11,724.4
		311	マンガン及びその化合物	179	735.4	3.3%	24.3	4,346.6
			無水フタル酸	35	271.9	0.0%	0.1	4.2
			無水マレイン酸	41	1,058.6	0.0%		5.5
			メタクリル酸	36	18,504.5	0.3%		2,041.2
			メタクリル酸メチル	26	8,703.2	0.0%	3.4	88.7
			m-トリレンジイソシアネート	34	2,641.0	0.3%	8.0	273.2
			モリブデン及びその化合物	156	154.0	0.5%		130.5
			エチレングリコール	10	215.2	12.4%	26.7	274.1
			鉛及びその化合物	16	88.0	0.1%		1.1 910.1
2100	石油製品•石炭製品製造業		ノニルフェノール	24	209.9	17.8%		
2100	14 四发 11 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17		フェノール フタル酸ジ-n-ブチル	27 15	270.0 142.5	2.2%	5.9 5.6	157.3 87.0
			ほう素及びその化合物	27	131.5	0.8%	1.0	27.7
			モリブデン及びその化合物	33	399.4	3.8%	15.3	499.7
			アンチモン及びその化合物	799	277.5	1.1%		2,473.2
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂	380	176.4	1.4%		913.0
			エチレングリコール	323	270.9			
			エチレングリコールモノエチルエーテル	93	58.3	54.2%		2,926.8
	プラスチック製品製造業(別掲を除	64	銀及びその水溶性化合物	103	182.5	1.7%		327.4
		68	クロム及び3価クロム化合物	211	168.9	0.2%	0.3	68.5
		100	コバルト及びその化合物	242	189.8	2.0%	3.7	902.8
2200			有機スズ化合物	340	232.1	0.5%	1.1	371.9
2200			鉛及びその化合物	369	1,763.0	0.1%		492.8
			ニッケル	154	390.4	2.1%		
			ニッケル化合物	214	99.2	0.6%		132.2
			フタル酸ジ-n-ブチル	193	127.5	4.0%		975.1
			フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	786	447.2	5.4%		
			ほう素及びその化合物	268	285.7	0.8%		593.3
			ホルムアルデヒド モリブデン及びその化合物	154 154	79.1	15.0%		1,823.3
			アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	292	84.7 410.1	3.8% 6.9%	3.2 28.5	500.0 8,308.3
			アンチモン及びその化合物	238	234.4	1.1%		623.6
			2-イミダゾリジンチオン	382	192.3	0.5%		364.5
			エチレングリコール	139	84.3	12.4%		1,457.5
			N_シノクロヘキシノル-9-ベングチア					·
		115	ゾールスルフェンアミド	604	194.7	0.5%	1.0	614.6
0000	ゴム製品製造業	159	ジフェニルアミン	168	142.5	0.4%	0.6	93.1
2300	ーム表印表但未		ヘキサメチレンテトラミン	125	181.9	5.1%		1,170.6
			チウラム	629	271.4	1.4%		
			鉛及びその化合物	151	222.3			25.4
			ニッケル化合物	208	101.6	0.6%	0.6	132.0
			ジラム	164	94.2	1.2%	1.2	189.1
			フタル酸ジ-n-ブチル	285	1,747.8	4.0%	69.1	19,695.5
			フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	673	1,643.5	5.4%		60,063.9
			アンチモン及びその化合物	241	1,320.7	1.1%		3,546.7
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂 エチレングリコール	297	177.7	1.4%	2.4	718.3
			銀及びその水溶性化合物	262 104	104.4 427.1	12.4%		3,393.1 772.9
			クロム及び3価クロム化合物	483	32,378.2	0.2%		30,068.3
			6価クロム化合物	89	396.3	3.7%		1,323.4
			コバルト及びその化合物	318	254.6	2.0%		1,589.6
2500	窯業・土石製品製造業		鉛及びその化合物	387	2,045.5	0.1%		599.5
2000			ニッケル化合物	222	16,207.6	0.6%		
			ヒドラジン	119	137.3	21.5%		3,500.8
			フェノール	336	343.0	2.2%	7.5	2,521.6
			フタル酸ジ-n-ブチル	134	94.1	4.0%	3.7	498.6
1			ほう素及びその化合物	665	15,269.3	0.8%	118.2	78,619.0
								,
			ホルムアルデヒド	193	141.0	15.0%	21.2	4,082.9

表 3-11 業種別・対象化学物質別のすそ切り以下排出量の推計結果(その3)

業種コード	業種名	物質番号	対象化学物質名	すそ切り以下 事業所数 (e)	(kg/年) (f)	平均 排出率 (g)	平均排出量 (kg/年) (H)=(f)×(g)	すそ切り以 下排出量 (kg/年) =(e)×(H)
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂	73	118.3	1.4%		117.3
			クロム及び3価クロム化合物	321	185.9	0.2%	0.4	114.6
0000	鉄鋼業		6価クロム化合物	86	29.4	3.7%		94.1
2600			鉛及びその化合物	118 228	136.7	0.1%		12.3
			ニッケル マンガン及びその化合物	456	219.5 779.9	2.1%		1,029.1 265.3
			モリブデン及びその化合物	262	134.4	3.8%		1,349.7
			亜鉛の水溶性化合物	95	18,228.1	1.8%	324.5	30,980.2
			アンチモン及びその化合物	327	328.7	1.1%		1,201.1
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂	61	225.6	1.4%		186.9
		43	エチレングリコール	69	125.9	12.4%	15.6	1,073.9
			銀及びその水溶性化合物	86	4,242.4	1.7%	74.2	6,346.3
			クロム及び3価クロム化合物	168	372.2	0.2%	0.7	120.1
2700	非鉄金属製造業		コバルト及びその化合物	136	337.7	2.0%		903.1
			鉛及びその化合物	359	309,946.1	0.1%		84,320.4
			ニッケル	239	1,340.0	2.1%		6,575.1
			ニッケル化合物 ベリリウム及びその化合物	134 59	214.2 66.8	3.6%		179.1 139.2
			ほう素及びその化合物	175	172.8	0.8%	1.3	233.4
		311	マンガン及びその化合物	277	1,745.9	0.8%		361.0
			モリブデン及びその化合物	106	107.2	3.8%	4.1	437.4
		1		1,894	1,137.4	1.8%	20.2	38,340.6
			2-アミノエタノール	394	52.0	9.0%		1,845.0
			アンチモン及びその化合物	241	138.0	1.1%		371.2
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂	603	143.9	1.4%	2.0	1,183.0
		43	エチレングリコール	357	47.5	12.4%	5.9	2,103.2
			エチレングリコールモノエチルエーテル	631	140.1	54.2%	75.9	47,876.8
			カドミウム及びその化合物	349	145.8	0.3%		137.3
			銀及びその水溶性化合物	459	253.0	1.7%		2,027.5
			クロム及び3価クロム化合物	1,966	220.8	0.2%	0.4	835.3
			6価クロム化合物	2,331	341.0	3.7%		29,707.5
		100	コバルト及びその化合物	806	181.7	2.0%	3.6	2,879.7
		101	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	491	162.8	48.3%	78.6	38,571.0
2800	金属製品製造業	100	無機シアンル合物(結ち及びシアン	000	204.7	2.00	10 5	10 040 0
	dia (1-1-3-5), total 3-5 kilo (1).	108	酸塩を除く)	980	384.7	3.2%	12.5	12,243.3
			N,N-ジメチルホルムアミド	242	78.6	83.0%		15,794.4
			銅水溶性塩(錯塩を除く)	532	172.3	1.1%		1,013.9
			鉛及びその化合物	2,506	191.2	0.1%		362.6
			ニッケル	2,187	314.7	2.1%		14,154.2
			ニッケル化合物	2,591	712.8	0.6%	4.4	11,513.3
			ヒドラジン	166 425	200.9	21.5%		7,168.6
			フタル酸ジ-n-ブチル フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	425	115.4 130.5	4.0% 5.4%	4.6 7.1	1,937.7 3,013.1
			ほう素及びその化合物	1,860	176.3	0.8%		2,537.7
			ホルムアルデヒド	546	87.1	15.0%		7,129.6
			マンガン及びその化合物	1,460	239.0	0.1%		260.3
			モリブデン及びその化合物	877	206.3	3.8%		6,941.2
			亜鉛の水溶性化合物	330	331.8	1.8%	5.9	1,946.4
		16	2-アミノエタノール	672	108.0	9.0%		6,521.9
			アンチモン及びその化合物	185	340.8	1.1%		703.0
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂	709	114.1	1.4%		1,103.1
			エチレングリコール	630	138.4			10,795.3
			エチレングリコールモノエチルエーテル	238	109.9			14,161.1
			銀及びその水溶性化合物	238	130.7	1.7%		543.2
			クロム及び3価クロム化合物	704	205.4	0.2%		278.2
			6価クロム化合物 コバルト及びその化合物	887 443	53.6 222.2	3.7% 2.0%		1,777.3 1,934.1
			エチレングロコールエノエチルエーテ					
2900	一般機械器具製造業	101	ルアセテート	239	122.5	48.3%		14,115.6
2900			有機スズ化合物	191	102.9	0.5%		92.5
			鉛及びその化合物	1,416	148.1	0.1%		158.8
			ニッケル	648	255.3	2.1%	5.3	3,400.7
		232	ニッケル化合物	489	79.4	0.6%		241.7
			F / / 11 /	201	84.2	2.2%	1.8	369.8
			フェノール					
		270	フタル酸ジ-n-ブチル	481	34.9	4.0%		
		270 272	フタル酸ジ-n-ブチル フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	481 490	48.2	5.4%	2.6	1,283.1
		270 272 304	フタル酸ジ-n-ブチル フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) ほう素及びその化合物	481 490 690	48.2 112.1	5.4% 0.8%	2.6 0.9	1,283.1 598.5
		270 272 304 310	フタル酸ジ-n-ブチル フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) ほう素及びその化合物 ホルムアルデヒド	481 490 690 211	48.2 112.1 80.7	5.4% 0.8% 15.0%	2.6 0.9 12.1	1,283.1 598.5 2,558.6
		270 272 304 310 311	フタル酸ジ-n-ブチル フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) ほう素及びその化合物	481 490 690	48.2 112.1	5.4% 0.8% 15.0% 0.1%	2.6 0.9 12.1 0.2	665.5 1,283.1 598.5 2,558.6 195.6 2,086.1

表 3-11 業種別・対象化学物質別のすそ切り以下排出量の推計結果(その4)

業種コード	業種名	物質番号	対象化学物質名	すそ切り以下 事業所数 (e)	平均取扱量 (kg/年) (f)	平均 排出率 (g)	平均排出量 (kg/年) (H)=(f)×(g)	すそ切り以 下排出量 (kg/年) =(e)×(H)
			亜鉛の水溶性化合物	263	158.9	1.8%	2.8	743.3
			アクリル酸	68	65.4	21.6%	14.1	958.3
			アセトニトリル	76	41.5	4.6%	1.9	146.5
			2-アミノエタノール	534	109.4	9.0%	9.8	5,247.7
			ジエチレントリアミン	64	21.9	1.4%	0.3	19.2
			アンチモン及びその化合物 ビスフェノールA	680 201	269.9 107.1	1.1% 5.6%	3.0 6.0	2,048.3 1,203.7
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂	1,259	165.7	1.4%	2.3	2,844.8
			エチレングリコール	578	131.7	12.4%	16.3	9,428.3
			エチレングリコールモノエチルエーテル	191	110.9	54.2%	60.1	11,494.2
			エチレングリコールモノメチルエーテル	173	124.8	31.2%	39.0	6,747.8
			エチレンジアミン	123	143.7	2.8%		489.7
		64	銀及びその水溶性化合物	1,493	126.4	1.7%		3,298.7
			クロム及び3価クロム化合物	374	154.2	0.2%	0.3	110.9
			6価クロム化合物	215	48.4	3.7%	1.8	388.7
			クロロホルム	92	96.3	8.9%	8.6	794.8
		100	コバルト及びその化合物	227	64.7	2.0%	1.3	289.0
		101	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	243	181.9	48.3%	87.8	21,381.4
		108	無機シアンル会物(雑悔及びシアン	268	208.9	3.2%	6.8	1,814.8
3000	電気機械器具製造業	129	ジウロン	88	32.5	19.3%	6.3	552.3
		172	N,N-ジメチルホルムアミド	178	203.9	83.0%	169.2	30,162.3
			水銀及びその化合物	69	77.6	0.6%	0.5	34.1
			有機スズ化合物	113	154.2	0.5%	0.7	81.9
			テトラヒドロメチル無水フタル酸	196	273.1	0.5%	1.5	291.7
			銅水溶性塩(錯塩を除く)	350	218.0	1.1%	2.4	844.0
			鉛及びその化合物	2,873	196.4	0.1%		427.2
			ニッケル	579	228.4	2.1%		2,718.0
			ニッケル化合物	611	101.8	0.6%	0.6	387.8
			ノニルフェノール	67	67.8	17.8%	12.1	807.5
			バリウム及びその水溶性化合物 砒素及びその無機化合物	111 195	34.1	2.7%	0.9	100.3
			世界及いての無機化合物 ヒドラジン	195	61.7 152.0	21.5%	0.0 32.7	1.8 6,360.0
			ヒドロキノン	108	144.8	4.1%		647.3
			フェノール	314	100.1	2.2%	2.2	688.8
			フタル酸ジ-n-ブチル	255	97.7	4.0%	3.9	985.8
			フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	255	129.4	5.4%	7.0	1,790.2
			ほう素及びその化合物	923	117.4	0.8%	0.9	838.1
		310	ホルムアルデヒド	275	170.8	15.0%	25.6	7,059.3
		311	マンガン及びその化合物	457	158.1	0.1%	0.1	53.9
			メタクリル酸メチル	122	84.8	15.0%	12.8	1,556.5
			モリブデン及びその化合物	317	108.0	3.8%	4.1	1,314.6
			亜鉛の水溶性化合物	864	357.8	1.8%	6.4	5,505.0
			2-アミノエタノール	826	97.0	9.0%	8.7	7,201.4
		25	アンチモン及びその化合物	442	139.8	1.1%	1.6	688.9
			ビスフェノールA ビスフェノールA型エポキシ樹脂	209	102.4	5.6%	5.7	1,194.1
			ピスフェノールA型エホキン樹脂 エチレングリコール	832 591	202.9 165.9	1.4%	2.8	2,302.7
			エチレングリコールモノエチルエーテル	348	115.5	12.4% 54.2%	20.6 62.6	12,144.2 21,761.0
			銀及びその水溶性化合物	137	37.8		0.7	90.3
			クロム及び3価クロム化合物	825	120.3	0.2%	0.7	191.0
			6価クロム化合物	510	60.0	3.7%	2.2	1,142.0
			コバルト及びその化合物	253	111.7	2.0%	2.2	555.2
		101	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	336	149.1	48.3%	72.0	24,161.3
2100	整法田稼牲品目制定来	176	有機スズ化合物	430	219.3	0.5%	1.0	444.0
3100	輸送用機械器具製造業		鉛及びその化合物	1,070	150.1	0.1%	0.1	121.6
		231	ニッケル	422	160.2	2.1%	3.3	1,388.8
			ニッケル化合物	677	132.4	0.6%		558.9
			ノニルフェノール	135	17.8	17.8%	3.2	428.1
			バリウム及びその水溶性化合物	143	135.8	2.7%	3.6	514.5
			ヒドラジン	209	92.2	21.5%	19.8	4,138.0
			フェノール	508	171.0	2.2%	3.7	1,901.0
			フタル酸ジ-n-ブチル	443	53.3	4.0%	2.1	933.8
			フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	603	126.7	5.4%	6.9	4,146.7
			フタル酸-n-ブチル=ベンジル ほう素及びその化合物	106	13.5	20.3%	2.7	290.5
			ホルムアルデヒド	856 374	148.1 119.6	0.8% 15.0%	1.1 17.9	981.8 6,707.4
			ペソヒン・1/ /レ / レル・	3/4	119.0	10.0%	11.9	0,101.4
			マンガン及びその化合物	1,082	260.6	0.1%	0.2	210.4

表 3-11 業種別・対象化学物質別のすそ切り以下排出量の推計結果(その5)

業種コード	業種名	物質番号	対象化学物質名	すそ切り以下 事業所数 (e)	平均取扱量 (kg/年) (f)	平均 排出率 (g)	平均排出量 (kg/年) (H)=(f)×(g)	すそ切り以 下排出量 (kg/年) =(e)×(H)
			アセトニトリル	77	106.2	4.6%	4.9	378.7
			2-アミノエタノール	99	90.8	9.0%		804.6
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂	197	188.6	1.4%		506.9
			エチレングリコール	219	210.6	12.4%		5,706.6
			銀及びその水溶性化合物 クロム及び3価クロム化合物	120 100	20.5 177.5	1.7% 0.2%	0.4	43.0 34.1
3200	精密機械器具製造業		6価クロム化合物	118	45.2	3.7%		199.3
			鉛及びその化合物	311	235.1	0.1%		55.4
			フタル酸ジ-n-ブチル	121	19.5	4.0%		93.4
			ほう素及びその化合物	117	74.0	0.8%	0.6	67.1
			メタクリル酸メチル	123	111.7	15.0%		2,070.1
			モリブデン及びその化合物	86	33.3	3.8%	1.3	109.9
			アンチモン及びその化合物	269	175.8	1.1%		528.1
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂 エチレングリコール	448 538	190.8 197.7	1.4% 12.4%		1,165.0 13,185.5
		64	銀及びその水溶性化合物	317	182.6	1.7%		1,011.0
			クロム及び3価クロム化合物	267	763.9	0.2%	1.5	392.6
		69	6価クロム化合物	336	46.2	3.7%		580.1
			無機シアン化合物(錯塩及びシアン					
3400	その他の製造業	108	酸塩を除く)	287	220.3	3.2%		2,053.1
5400	CマノI巴マノ水坦米		鉛及びその化合物	504	94.7	0.1%		36.1
			ニッケル	263	224.1	2.1%		1,212.7
			ニッケル化合物	360	173.7	0.6%		390.2
			フェノール	265	219.8	2.2%		1,276.3
			フタル酸ジ-n-ブチル フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	263 217	116.3 166.0	4.0% 5.4%	4.6 9.0	1,210.0 1,951.5
		304	ほう素及びその化合物	420	70.8	0.8%		230.2
			マンガン及びその化合物	316	294.5	0.1%		69.4
3500	電気業		ヒドラジン	8	281.0	21.5%		481.3
	ガス業	253	ヒドラジン	5	154.1	21.5%		157.9
3700	熱供給業		ヒドラジン	5	290.9	21.5%	62.5	336.1
5100	然 内和未	346	モリブデン及びその化合物	3	19.6	3.8%	0.8	2.5
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂	40	219.1	1.4%		120.1
			エチレングリコール	65	73.6	12.4%		595.9
		69	6価クロム化合物 3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニ	38	64.8	3.7%	2.4	91.4
3900	鉄道業	120	ルメタン	24	56.1	5.4%	3.0	72.8
0000	- SCE 不	230	鉛及びその化合物	101	31.0	0.1%	0.0	2.4
			フタル酸ジ-n-ブチル	24	19.9	4.0%	0.8	19.1
			フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	44	25.4	5.4%	1.4	60.2
			モリブデン及びその化合物	32	26.4	3.8%	1.0	32.3
	自動車卸売業		エチレングリコール	400	433.8	12.4%		21,499.2
	洗濯業		エチレングリコール エチレンジアミン四酢酸	28	92.4	12.4%		316.5
7430	写真業	64	銀及びその水溶性化合物	44 25	99.8 22.9	3.5% 1.7%		151.8 10.1
			エチレングリコール	33,969	478.5	12.4%		2,014,207.1
7700	自動車整備業		6価クロム化合物	413	1.9	3.7%	0.1	29.7
			鉛及びその化合物	477	7.5	0.1%	0.0	2.7
7810	機械修理業	43	エチレングリコール	458	234.9			13,324.1
1010	 (機) ((d) + 1) 		鉛及びその化合物	82	8.1	0.1%		
			アセトニトリル	6	243.0	4.6%		69.3
	l l		エチレングリコール	3	64.0			21.6
			クロロホルム N.N-ジメチルホルムアミド	7 9	53.6 56.44	8.9% 83.0%		35.2 407.7
8620	商品検査業		鉛及びその化合物	5	216.3	0.1%		0.8
			ヒドロキノン	5	66.1	4.1%		13.4
			フェノール	3	14.5	2.2%	0.3	1.0
			ほう素及びその化合物	5	31.3	0.8%		1.3
			アセトニトリル	29	91.3	4.6%	4.2	121.5
			銀及びその水溶性化合物	14	5.2	1.7%	0.1	1.3
			クロロホルム	27	40.0	8.9%		96.9
			1,2-ジクロロエタン	4	14.0	25.5%	3.6	13.1
8630	計量証明業(一般計量証明業を		N,N-ジメチルホルムアミド 二硫化炭素	14 15	6.4 14.3	83.0% 7.7%		77.2 16.7
0030	除く。)		一帆化灰茶 ピリジン	3	27.3			10.7
			フェノール	11	3.6		0.5	0.9
			ほう素及びその化合物	2	3.8		0.0	0.1
			ホルムアルデヒド	7	16.6			16.4

表 3-11 業種別・対象化学物質別のすそ切り以下排出量の推計結果(その6)

業種コード	業種名	物質番号	対象化学物質名	すそ切り以下 事業所数 (e)	(kg/年) (f)	平均 排出率 (g)	平均排出量 (kg/年) (H)=(f)×(g)	すそ切り以 下排出量 (kg/年) =(e)×(H)
			亜鉛の水溶性化合物	68	5.1	1.8%		6.2
			アクリルアミドアセトニトリル	143 335	5.5 107.3	2.9% 4.6%	0.2 5.0	22.8 1,663.5
			アニリン	59	2.3	0.2%	0.0	0.2
			2-アミノエタノール	31	2.2	9.0%	0.2	6.0
			エチレングリコール	115	35.7	12.4%	4.4	509.1
			エチレングリコールモノメチルエーテ	33	5.6	31.2%	1.8	58.3
			エチレンジアミン	28	2.7	2.8%	0.1	2.1
			エチレンジアミン四酢酸	61	4.13	3.5%	0.1	8.8 2.8
			銀及びその水溶性化合物 グルタルアルデヒド	46	4.8 5.5	1.7% 25.9%	0.1	65.5
			クロム及び3価クロム化合物	41	3.9	0.2%	0.0	0.3
		69	6価クロム化合物	41	3.6	3.7%	0.1	5.5
			クロロベンゼン	54	16.2	27.6%	4.5	240.6
			クロロホルム	331	112.7	8.9%	10.1	3,329.8
			コバルト及びその化合物	54	4.2	2.0%	0.1	4.5
9140	高等教育機関		酢酸ビニル 1,4-ジオキサン	26 110	2.6 9.3	5.7% 27.9%	0.1 2.6	3.8 286.6
3140	同 寸 秋 月 1		1,2-ジクロロエタン	77	13.9	25.5%		272.0
			0-ジクロロベンゼン	28	31.1	7.8%	2.4	68.2
		172	N,N-ジメチルホルムアミド	156	26.7	83.0%	22.2	3,464.2
			水銀及びその化合物	41	20.3	0.6%	0.1	5.3
			銅水溶性塩(錯塩を除く)	68	6.1	1.1%	0.1	4.6
			鉛及びその化合物 ニッケル化合物	61	4.0 6.5	0.1%	0.0	0.2 1.8
			二硫化炭素	44	6.9	7.7%	0.0	24.6
			バリウム及びその水溶性化合物	43	7.8	2.7%	0.2	8.8
			ヒドラジン	31	5.4	21.5%	1.2	35.8
			ピリジン	145	6.8	2.0%	0.1	19.7
			フェノール	168	11.5	2.2%	0.3	42.2
			ほう素及びその化合物	100	5.5	0.8%	0.0	4.2
			ホルムアルデヒド マンガン及びその化合物	237 72	106.7 3.8	15.0% 0.1%	16.0	3,796.2 0.2
			メタクリル酸メチル	44	13.5	15.0%	2.0	88.1
			モリブデン及びその化合物	28	3.7	3.8%	0.1	4.0
			亜鉛の水溶性化合物	122	10.1	1.8%	0.2	21.9
			アクリルアミド	106	3.3	2.9%	0.1	10.2
			アセトニトリルアニリン	492	153.5	4.6%	7.1	3,500.3
			2-アミノエタノール	55 76	1.5 17.3	0.2% 9.0%	0.0	0.1 118.4
			アンチモン及びその化合物	37	8.1	1.1%	0.1	3.3
			エチレングリコール	140	28.8	12.4%	3.6	499.5
			エチレングリコールモノエチルエーテル	40	2.5	54.2%	1.4	55.6
			エチレングリコールモノメチルエーテル	55	9.0	31.2%	2.8	154.6
			エチレンジアミン	40	1.4	2.8%	0.0	1.5
			1-オクタノール 銀及びその水溶性化合物	55 95	3.5 3.8	4.3% 1.7%	0.1	8.2 6.4
			かとジール	55	2.6	4.1%	0.1	5.9
			クロム及び3価クロム化合物	50	5.7	0.2%	0.0	0.6
		69	6価クロム化合物	61	1.8	3.7%	0.1	4.0
			クロロベンゼン	50	30.1		8.3	419.5
			クロロホルム	382	84.0	8.9%	7.5	2,868.1
9210	自然科学研究所		コバルト及びその化合物 1,4-ジオキサン	80 132	6.1 14.1	2.0% 27.9%	0.1 3.9	9.5 519.2
		116	1,2-ジクロロエタン	71	14.1		3.8	271.0
			0-ジクロロベンゼン	54	30.7	7.8%	2.4	129.1
		172	N,N-ジメチルホルムアミド	246	76.3	83.0%	63.3	15,561.4
			水銀及びその化合物	69	13.5	0.6%	0.1	5.9
		207	銅水溶性塩(錯塩を除く)	87	3.3	1.1%	0.0	3.2
			鉛及びその化合物 ニッケル	58 48	12.3 16.2	0.1% 2.1%	0.0	0.5 15.9
			ニッケル化合物	75	9.6	0.6%	0.3	4.5
			二硫化炭素	51	50.8	7.7%	3.9	201.9
		243	バリウム及びその水溶性化合物	79	2.7	2.7%	0.1	5.6
			ヒドラジン	51	45.8		9.8	505.1
			ピリジン	110	10.7	2.0%	0.2	23.5
			フェノール	127	7.2	2.2%	0.2	20.1
			ほう素及びその化合物	146	7.1		0.1	2 510 5
			ホルムアルデヒド マンガン及びその化合物	322 93	72.9 8.8	15.0% 0.1%	10.9	3,519.5 0.6
			モリブデン及びその化合物	62	4.5	3.8%		10.8

3-3 推計結果

これまでの結果を集約し、平均取扱量等に基づいて推計した全国のすそ切り以下事業者に係る排出量の推計結果を表 3-12 に示す。

今回推計した78物質の合計では、全国のすそ切り以下事業者に係る排出量は約3,500トンであり、同じ78物質の届出排出量(26,100トン)の約13%の大きさであった。排出源別に推計した17物質と合わせた95物質の合計では、全国のすそ切り以下事業者に係る排出量は約28,400トンであり、同じ95物質の届出排出量(187,500トン)の約15%の大きさであった。

表 3-12 すそ切り以下事業者に係る排出量推計結果(平成 20 年度;t/年)(その1)

	1	1000			1000		1000	1000	00	04.7.7	0077
		1300	1400				1800		2000		2200
		飲 料		衣肥	木	家ョ	パ	出版		石油	プラ
		科•		服 製・	材 •	具・	ルプ	加		油製	ラス
物質	Han FFF (2)	製た	繊	品そ	木	装	ポプー・	- 印	化学工	製品	造ッ
番号	物質名	造ば	維工	製の	製品	備	製紙	産刷業・	子工	\ <u>-</u>	311/2
		業こ	工業	造他	品	品	宣•	 .	業	業石	オク
		•	*	業の	製造	製造	業紙	同		炭	製品
		飼料		繊維	定業	道 業	加工	関連		炭製品	品製
1	亜鉛の水溶性化合物	14	1		未	未		连	0.4	ПП	衣
_	アクリルアミド		1						0.4		
_	アクリル酸								0.01		
	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)										
		- 1							0.001		
	アセトニトリル	1							8		
	2,2'-アゾビスイソブチロニトリル								0		
	アニリン						0		1		
	2-アミノエタノール						2		1		
	ジエチレントリアミン		-						0		
	アンチモン及びその化合物		1						0.1		2
	ビスフェノールA								0.002		
	ビスフェノールA型エポキシ樹脂								25		1
	2-イミダゾリジンチオン										
	エチレングリコール		44	7	5		20	4	11	0.3	11
	エチレングリコールモノエチルエーテ								2		3
	エチレングリコールモノメチルエーテル								1		
	エチレンジアミン								0.03		
	エチレンジアミン四酢酸								4		
54	エピクロロヒドリン								0.02		
	1-オクタノール								0		
60	カドミウム及びその化合物										
64	銀及びその水溶性化合物								0		0.3
	グリオキサール								0.03		
	グルタルアルデヒド								0.4		
67	クレゾール								0.04		
	クロム及び3価クロム化合物		0.2						0.04		0.1
	6価クロム化合物								0.003		
0.5	クロロベンゼン						1	4	0.1		
	クロロホルム コバルト及びその化合物	0.4	0.3						0.2		1
101	エチレングリコールモノエチルエーテ	0.1	0.0								
101	ルアセテート								4		
102	酢酸ビニル					9					
	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く)										
113	1 4-ジオキサン								6		
115	N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾー										
	ルスルフェンアミド								-1	<u> </u>	
	1,2-ジクロロエタン 3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニル								1		
120	3,3 -ンクロロ-4,4 -シテミノンフエー/レ メタン										
129	ジウロン								0.001		
134	1,3-ジクロロ-2-プロパノール		45								
135	1,2-ジクロロプロパン o-ジクロロベンゼン							10	0.4		
	0-ンクロロペンセン ジフェニルアミン								0.4		
172	N,N-ジメチルホルムアミド		32						15		
175	水銀及びその化合物										
	有機スズ化合物								0.004		0.4
181	チオ尿素					<u> </u>			0.1		

注:「0t/年」は 0.5kg/年未満の数値を示す。

表 3-12 すそ切り以下事業者に係る排出量推計結果(平成 20 年度;t/年)(その2)

		1300		1500		1700	1800	1900		2100	2200
		飲	1400	衣	木	家	1000	出	2000		
		以 料		服	材	豕 具	i i	版		石油	プニ
							ルプ	九人		油	ラス
物質		生ロチュ	繊	製・品そ	•	7 1+ -	品プ ##・	r:n	化	製	
番号	物質名	製た	維		木	装	製細	産印	学	製品	チ 造 _ツ
留万		造ば	工	製の	製	備	浩	産別業・	Ĭ	造・	ᄣ
		業こ	業	造他	<u>—————————————————————————————————————</u>	血	製造業紙・紙		業	業石	
		•	7.4	業の	品製造	品製造		同	,,,,	炭	製品
		飼		繊	追	追	加	関		製	品
100	4.11.14. C13C.	料		維	業	業	エ	連		品	製
	ヘキサメチレンテトラミン										
	テトラヒドロメチル無水フタル酸										
	チウラム 銅水溶性塩(錯塩を除く)	0.4							1		
	動水俗性塩(超塩を除く) 鉛及びその化合物	0.4								0.001	0.5
231	ニッケル								0.01	0.001	0.5
232	ニッケル化合物								0.01		0.1
241	二硫化炭素								0.2		0.1
242	ノニルフェノール								0.3	1	
243	バリウム及びその水溶性化合物								0.004		
	ジラム										
	砒素及びその無機化合物										
	ヒドラジン		7				9		1		
	ヒドロキノン							6	0.004		
259	ピリジン								0.03		
					1				1	0.2	
	フタル酸ジ-n-ブチル						6	1	0.04	0.1	1
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)								1		19
273	フタル酸-n-ブチル=ベンジル								0.001		
293	ヘキサメチレン=ジイソシアネート								0.01		
294	ベリリウム及びその化合物										
298	ベンズアルデヒド								0.001		
300	1,2,4-ベンゼントリカルボン酸1,2-無								0		
204	水物 ほう素及びその化合物		1				2	0.1	2	0.03	1
	は7素及いての化合物 ホルムアルデヒド	0.5	19		5			0.1	12	0.03	2
311	マンガン及びその化合物	0.0	13		1			0.001	4		
312	無水フタル酸							0.001	0.004		
313	無水マレイン酸								0.01		
	メタクリル酸								2		
	メタクリル酸メチル								0.1		
	m-トリレンジイソシアネート								0.3		
346	モリブデン及びその化合物						0.4	2	0.1	0.5	1
	合計	2	150	7	11	9	41	27	106	2	44

<u>注:「0t/年」は0.5kg/年未満の数値を示す。</u>

表 3-12 すそ切り以下事業者に係る排出量推計結果(平成 20 年度;t/年)(その3)

	_	2300	2500	2600	2700	2800	2900	3000	3100	3200	3400	3500
		2000	窯	2000	2100	2000	_	電	輸	精	0100	0000
		ゴ	業		非	金	般	気	送	密	そ	
		A	•		鉄	属	機	機	用	機	の	
物質	物質名	製	土	鉄	金	製	械	械	機	械	他	電
番号	NAT	<u>П</u>	業石	鋼	属	品	器	器	業械	器	0	気
		製造	製品	業	製造	製造	具製	具製造	器	具製造	製造業	業
		道 業	品製		道 業	道 業	聚 造	製	具製	製	追	
		未	造		未	未	業	業	造	業	未	
1	亜鉛の水溶性化合物		, E		31	38	2	1	6			
	アクリルアミド				01	00		-	0			
	アクリル酸							1				
	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	8						1				
	アセトニトリル	0						0.1		0.4		
	2,2'-アゾビスイソブチロニトリル							0.1		0.4		
	アニリン											
	2-アミノエタノール					2	7	Е	7	1		
	ジエチレントリアミン						7	5	7	1		
	アンチモン及びその化合物	1	4		-	0.4	1	0.0	1		- 1	
		1	4		1	0.4	1	2	1		1	
	ビスフェノールA				0.0			1	1			
	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	0.4	1	0.1	0.2	1	1	3	2	1	1	
	2-イミダゾリジンチオン	0.4									4.0	
	エチレングリコール	1	3		1	2	11	9	12	6	13	
	エチレングリコールモノエチルエーテ					48	14	11	22			
	エチレングリコールモノメチルエーテル							7				
	エチレンジアミン							0				
	エチレンジアミン四酢酸											
	エピクロロヒドリン											
	1-オクタノール											
	カドミウム及びその化合物					0.1						
	銀及びその水溶性化合物		1		6	2	1	3	0.1	0.04	1	
	グリオキサール											
	グルタルアルデヒド											
	クレゾール											
	クロム及び3価クロム化合物		30	0.1	0.1	1	0.3	0.1	0.2	0.0	0.4	
69	6価クロム化合物		1	0.1		30	2	0.4	1	0.2	1	
	クロロベンゼン クロロホルム							1				
	コバルト及びその化合物		2		1	3	2	0.3	1			
101	エチレングリコールモノエチルエーテ					39		21	24			
	ルアセテート					აჟ	14	41	24			
	酢酸ビニル 無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸											
108	塩を除く)					12		2			2	
119	1 4 25-4-2407											
115	1,4-ンオキサン N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾー ルフルフ-ンアミビ	1										
116	1.0 ミンカロロエカン	1										
110	1,2-ジクロロエタン 3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニル											
	プグ ン											
	ジウロン							1				
	1,3-ジクロロ-2-プロパノール											
	1,2-ジクロロプロパン 0-ジクロロベンゼン											
159	ジフェニルアミン	0.1										
172	N,N-ジメチルホルムアミド					16		30				
	水銀及びその化合物							0.03				$oxed{oxed}$
176	有機スズ化合物 チオ尿素						0.1	0.1	0.4			
101	ノA原糸		l	<u> </u>	I	1	I	l	L	l	1	

注:「0t/年」は 0.5kg/年未満の数値を示す。

表 3-12 すそ切り以下事業者に係る排出量推計結果(平成 20 年度;t/年)(その4)

		0000	0500	0000	0700	0000	0000	0000	0100	0000	0.400	0500
		2300	2500	2600	2700	2800	2900	3000		3200	3400	3500
			窯業					電	輸	精		
		ゴ	業		非	金	般	気	送	密	そ	
		ム	•		鉄	属	機	機	用	機	0)	
物質	物質名	製	土	鉄	金	製	械	械	機	械	他	電
番号	以 英·日	品	業石	鋼	属	品	器	器	業械	器	0)	気
		製	製品	業	製	製	具	具	器	具	製造	業
		造	品		造	造	製	製	具	具製造	造	
		業	製		業	業	造	造	製	造	業	
			造				業	業	造	業		
	ヘキサメチレンテトラミン	1										
202	テトラヒドロメチル無水フタル酸							0.3				
	チウラム	2										
207	銅水溶性塩(錯塩を除く)	0.00		0.01	0.4	1		1		0.4	0.01	
230	鉛及びその化合物	0.03	1	0.01	84	0.4	0.2	0.4	0.1	0.1	0.04	
231	ニッケル	0.1	0.0	1	7	14	3	3	1		1	
232	ニッケル化合物	0.1	22		0.2	12	0.2	0.4	1		0.4	
241	二硫化炭素							1	0.4			
242	ノニルフェノール バリウム及びその水溶性化合物							1	0.4			
243	ブリウム及びその水俗性化合物 ジラム	0.2						0.1	1			
	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0.2						0.002				
	ヒドラジン		4			7		6	4			0.5
	ヒドロキノン		1			'		1	Т			0.0
	ピリジン							1				
266	フェノール		3				0.4	1	2		1	
270	フタル酸ジ-n-ブチル	20	0.5			2	1	1	1	0.1	1	
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	60	0.0			3	1	2	4	0.1	2	
273	フタル酸-n-ブチル=ベンジル								0			
293	ヘキサメチレン=ジイソシアネート											
	ベリリウム及びその化合物				0.1							
298	ベンズアルデヒド											
300	1,2,4-ベンゼントリカルボン酸1,2-無											
	水物											
304	ほう素及びその化合物		79		0.2	3	1	1	1	0.1	0.2	
	ホルムアルデヒド		4		_	7	3	7	7			
311	マンガン及びその化合物	!	40	0.3	0.4	0.3	0.2	0.1	0.2		0.1	
312	無水フタル酸											
	無水マレイン酸	-										
	メタクリル酸	-					0	0		0		
	メタクリル酸メチル	-					2	2		2		
	m-トリレンジイソシアネート エリブニンスズスの化合物	-		1	0.4	7	0	1	0	0.1		
346	モリブデン及びその化合物 合計	95	194	3	0.4	7 250	3 69	127	102	0.1	25	0.5
	口印	95	194	၁	199	∠30	09	141	102	10	Z	0.0

注:「0t/年」は0.5kg/年未満の数値を示す。

表 3-12 すそ切り以下事業者に係る排出量推計結果(平成 20 年度;t/年)(その5)

		3600	3700	3900	5220	7210	7430	7700	7810	8620	8630	9140	9210	
		0000	0100	0000	0220	1210	1100	1100	1010	0020	0000	3110		
			恭由		自動			自動	機	商	計	高	自然	
物質	物質名	ガ	熱供	鉄	動車	洗	写	動車	械	品	量	等教	科	合
番号	77.7	ス業	給	道業	卸	濯業	真業	整	修理	検査	証明	育	学研	計
		未	業	未	売	未	未	備	業	業	業	機	究	
					業			業				関	所	
- 1	工公(のJ)(を計1)(人) bh											0.01	0.00	70
	亜鉛の水溶性化合物 アクリルアミド											0.01	0.02	0.04
-	アクリル酸											0.02	0.01	1
_	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)													8
	アセトニトリル									0.1	0.1	2	4	14
13	2,2'-アゾビスイソブチロニトリル													0
15	アニリン											0	0	0
16	2-アミノエタノール											0.01	0.1	25
	ジエチレントリアミン													0.02
	アンチモン及びその化合物												0.003	13
	ビスフェノールA													2
	ビスフェノールA型エポキシ樹脂			0.1										36
	2-イミダゾリジンチオン			1	0.1	0.0		0.014	10	0.00		1	0.5	0.4
	エチレングリコール エチレングリコールモノエチルエーテ			1	21	0.3		2,014	13	0.02		1		2,212
	エチレングリコールモノメチルエーテル											0.1	0.1	100
_	エチレンジアミン												0.002	1
	エチレンジアミン四酢酸						0.2					0.01	0.002	5
	エピクロロヒドリン											0.01		0.02
58	1-オクタノール												0.01	0.01
60	カドミウム及びその化合物													0.1
64	銀及びその水溶性化合物						0.01				0.001	0.003	0.01	14
	グリオキサール													0.03
	グルタルアルデヒド											0.1		0.5
	クレゾール												0.01	0.04
	クロム及び3価クロム化合物 6価クロム化合物			0.1				0.02					0.001	32
	クロロベンゼン			0.1				0.03				0.01	0.004	6
95	クロロホルム									0.04	0.1	3	3	8
100	コバルト及びその化合物 エチレングリコールモノエチルエーテ											0.004	0.01	10
101	ルアセテート													103
	酢酸ビニル											0.004		9
108	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く)													16
110	4.4.5% L.E.11.5.											0.3	1	7
115	1,4-ンオキサン N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾー ルフルフーンアミド													1
	ルスルフェンアミド 1,2-ジクロロエタン										0.01	0.3	0.3	2
	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニル			0.1							0.01	0.0	0.0	
120	メタン			0.1										0.1
	ジウロン 1,3-ジクロロ-2-プロパノール		-		-									1 45
135	1,2-ジクロロプロパン													10
139	o-ジクロロベンゼン											0.1	0.1	1
	ジフェニルアミン N.N-ジメチルホルムアミド	-	-							0.4	0.1	3	16	0.1
175	水銀及びその化合物									5.1	0.1		0.01	
176	有機スズ化合物													1
181	チオ尿素	L	1		1			<u> </u>						0.1

注:「0t/年」は 0.5kg/年未満の数値を示す。

表 3-12 すそ切り以下事業者に係る排出量推計結果(平成 20 年度;t/年)(その6)

		3600	3700	3900	5220	7210	7430	7700	7810	8620	8630	9140	9210	
物質番号	物質名	ガス業	熱供給業	鉄道業	自動車卸売業	洗濯業	写真業	自動車整備業	機械修理業	商品検査業	計量証明業	高等教育機関	自然科学研究所	合計
	ヘキサメチレンテトラミン													1
	テトラヒドロメチル無水フタル酸													0.3
204	チウラム													2
207	銅水溶性塩(錯塩を除く)											0	0	3
	鉛及びその化合物			0.002				0.003	0.001	0		0	0	87
	ニッケル											_	0	32
232	ニッケル化合物											0	0	36
241	二硫化炭素										0.02	0.02	0.2	0.2
242	ノニルフェノール													2
	バリウム及びその水溶性化合物											0.01	0.01	1
	ジラム													0.2
	砒素及びその無機化合物													0.002
	ヒドラジン	0.2	0.3									0.04	1	40
	ヒドロキノン									0.01				6
	ピリジン										0.002	0.02		0.1
266	フェノール									0.001	0.001	0.04	0.02	9
	フタル酸ジ-n-ブチル			0.02										34
	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)			0.1										92
273	フタル酸-n-ブチル=ベンジル													0.3
293	ヘキサメチレン=ジイソシアネート													0.01
	ベリリウム及びその化合物													0.1
298	ベンズアルデヒド													0.001
300	1,2,4-ベンゼントリカルボン酸1,2-無 水物													0
304	ほう素及びその化合物									0.001	0	0.004	0.008	90
310	ホルムアルデヒド										0.02	4	4	73
311	マンガン及びその化合物										0	0	0.001	46
312	無水フタル酸													0.004
313	無水マレイン酸													0.01
314	メタクリル酸													2
320	メタクリル酸メチル											0.1		6
	m-トリレンジイソシアネート													0.3
346	モリブデン及びその化合物		0.003	0.03								0.004		19
	合計	0.2	0.3	1	21	0.3	0.2	2,014	13	1	0.3	14	28	3,502

注:「0t/年」は 0.5kg/年未満の数値を示す。

第4章 都道府県別排出量の推計方法

4-1 推計対象

全国におけるすそ切り以下排出量は、「排出源別排出量推計方法」と「平均取扱量等に 基づく排出量推計方法」の二つを組み合わせて推計したが、都道府県別排出量は両者を 合わせて(共通の方法で)推計する。

4-1-1 推計対象とする業種

すそ切り以下事業者に係る平成20年度排出量の推計において、推計対象となった業種は、「排出源別排出量推計方法」が34業種で、「平均取扱量等に基づく排出量推計方法」が33業種である。両者を合わせて重複を除くと、37業種についてすそ切り以下排出量が推計されたことになる(表4-1)。

これら37業種すべてが都道府県別排出量の推計対象である。

4-1-2 推計を行う対象化学物質

平成20年度排出量が推計された対象化学物質は、「排出源別排出量推計方法」がトルエン(物質番号:227)等の17物質、「平均取扱量等に基づく排出量推計方法」がエチレングリコール(物質番号:43)等の78物質であり、両者に重複はないため、合わせて95物質となる。

これら95物質すべてが都道府県別排出量の推計対象であるが、推計される対象化学物質は業種ごとに異なっている。業種ごとの物質数は表 4-2 に示すとおりであり、化学工業(77物質)や電気機械器具製造業(55物質)などが比較的多くなっている。

表 4-1 二つの方法で推計された業種別のすそ切り以下排出量(平成 20 年度)

		すそ切り	以下排出量	(kg/年)
業種		, , ,	平均取扱	(116/ /
オード	業 種 名	排出源別	量等に基づ	合 計
		の推計	全性計	Ц Н
1200	食料品製造業	6,281		6,281
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	364.4	2,057	2,421
1400	繊維工業	909,175	150,190	1,059,366
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	1,153	6,534	7,688
1600	木材·木製品製造業	544,518	10,991	555,508
1700	家具·装備品製造業	1,099,662	9,215	1,108,877
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	479,560	40,568	520,129
1900	出版·印刷·同関連産業	1,702,551	27,453	1,730,004
2000	化学工業	108,098	105,873	213,971
2100	石油製品•石炭製品製造業	124	1,957	2,080
2200	プラスチック製品製造業	1,496,326	43,656	1,539,982
2300	ゴム製品製造業	1,116,816	95,174	1,211,990
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	48,087		48,087
2500	窯業•土石製品製造業	280,924	194,076	475,000
2600	鉄鋼業	151,818	2,982	154,800
2700	非鉄金属製造業	137,628	133,057	270,685
2800	金属製品製造業	3,638,344	249,948	3,888,292
2900	一般機械器具製造業	1,410,270	68,677	1,478,947
3000	電気機械器具製造業	298,978	127,154	426,132
3100	輸送用機械器具製造業	1,679,723	101,735	1,781,458
3200	精密機械器具製造業	193,214	10,069	203,283
3400	その他の製造業	82,146	25,292	107,438
3500	電気業		481.3	481.3
3600	ガス業	575	158	733
3700	熱供給業		339	339
3900	鉄道業	188	994	1,182
4400	倉庫業	3,167		3,167
5220	自動車卸売業		21,499	21,499
5930	燃料小売業	971,432		971,432
7210	洗濯業	424,286	316	424,602
7430	写真業	3,027	162	3,188
7700	自動車整備業	8,085,612	2,014,239	10,099,852
7810	機械修理業	0.00003	13,325	13,325
8620	商品検査業	63	550	613
8630	計量証明業	876	346	1,222
9140	高等教育機関	5,749	14,056	19,805
9210	自然科学研究所	497	28,493	28,990
	合 計	24,881,231	3,501,617	28,382,848
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	表に示す排出量けすべての対象化学物質	マだっかりまる	∧ =ı → — <u>—</u>	

注:本表に示す排出量はすべての対象化学物質に係る排出量の合計を示す。

表 4-2 二つの方法で推計された業種別の対象化学物質数(平成 20 年度)

1 4-		推計された物質数							
業種コード	業 種 名	排出源別 の推計	平均取扱 量等に基づ く推計	合 計					
1200	食料品製造業	6		6					
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	6	4	10					
1400	繊維工業	12	10	22					
1500	衣服・その他の繊維製品製造 業	6	1	7					
1600	木材·木製品製造業	5	3	8					
1700	家具·装備品製造業	5	1	6					
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	10	7	17					
1900	出版·印刷·同関連産業	6	9	15					
2000	化学工業	17	60	77					
2100	石油製品•石炭製品製造業	3	7	10					
2200	プラスチック製品製造業	13	16	29					
2300	ゴム製品製造業	12	13	25					
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	6		6					
2500	窯業·土石製品製造業	7	15	22					
2600	鉄鋼業	14	7	21					
2700	非鉄金属製造業	14	14	28					
2800	金属製品製造業	14	25	39					
2900	一般機械器具製造業	14	23	37					
3000	電気機械器具製造業	14	41	55					
3100	輸送用機械器具製造業	14	27	41					
3200	精密機械器具製造業	15	12	27					
3400	その他の製造業	7	15	22					
3500	電気業		1	1					
3600	ガス業	1	1	2					
3700	熱供給業		2	2					
3900	鉄道業	3	8	11					
4400	倉庫業	3		3					
5220	自動車卸売業		1	1					
5930	燃料小売業	5		5					
7210	洗濯業	8	1	9					
7430	写真業	4	2	6					
7700	自動車整備業	5	3	8					
7810	機械修理業	3	2	5					
8620	商品検査業	2	8	10					
8630	計量証明業	4	11	15					
9140	高等教育機関	4	35	39					
9210	自然科学研究所	4	36	40					
	合 計	266	421	687					
沙1.人	*業種の合計欄け延べ物質粉でなり 堆ま			西 70 胁 西 ()					

注1:全業種の合計欄は延べ物質数であり、推計した実物質数はそれぞれ 17 物質、78 物質(計 95 物質)

注2:二つの方法で推計した対象化学物質に重複はないため、業種ごとの合計欄は実物質数と同じ。

4-2 推計方法

4-2-1 基本的な考え方

全国で推計されたすそ切り以下排出量は、すそ切り以下事業所の存在する都道府県へ配分されるべきものである。しかし、都道府県ごとに業種別・対象化学物質別のすそ切り以下事業所数を推計する(=化学物質取扱事業所数から届出事業所数を差し引く)のは、過度に煩雑になって推計精度が保証されないと考えられることから、当面は平成 18年事業所・企業統計調査(総務省)に示された都道府県別の事業所数に基づき、簡易な方法で推計する。

この都道府県への配分においては、以下のような地域差に留意して推計を行うこととする。

(1) 事業所形態の地域差

平均取扱量等に基づく排出量推計方法では、事業所形態が「工場」等に該当する 事業所数だけを使うため、「推計対象比率」というパラメータを設定した。このパラメータ の値がどの都道府県でも同程度の値であれば、都道府県への配分にはほとんど影響 しないが、実際は大都市部に「本社」等の事務所が集積する傾向があるため、事業所 形態の地域差を考慮した推計が必要と考えられる。

全国におけるすそ切り以下排出量の推計では、業種別(中分類又は小分類)の事業所数に業種中分類ごとの「推計対象比率」を乗じる方法を採用したが、都道府県への配分においては、業種中分類ごとの「工場」等に該当する民営事業所数を直接採用し、業種小分類による差異などは無視することとする。

(2) 下水道普及率の地域差

すそ切り以下排出量のうち、公共用水域への排出量については、下水道が普及している地域で相対的に少なくなる傾向があると考えられることから、下水道普及率の地域差を考慮した推計が必要である。ただし、下水道普及率は人口ベースの値ではなく、すそ切り以下事業者の実態を反映すると考えられる面積ベースの値を採用することとする。(詳細は後述)

下水道普及率を考慮した推計を行うには、すそ切り以下排出量の媒体別の内訳が 把握されている必要がある。その厳密な推計を行うためのデータは現時点までに得ら れていないが、当面は届出データの媒体別構成比と同じと仮定することとする。

4-2-2 推計フロー

以上の考え方を踏まえ、都道府県別排出量の具体的な推計方法を推計フローで表す と図 4-1のとおりとなる。まず、二つの方法で推計された全国のすそ切り以下排出量を統 合し、届出データの媒体別構成比によって「大気等」と「公共用水域」に分け、それぞれの配分指標(後者のみ下水道普及率を考慮)によって都道府県別排出量として配分される。

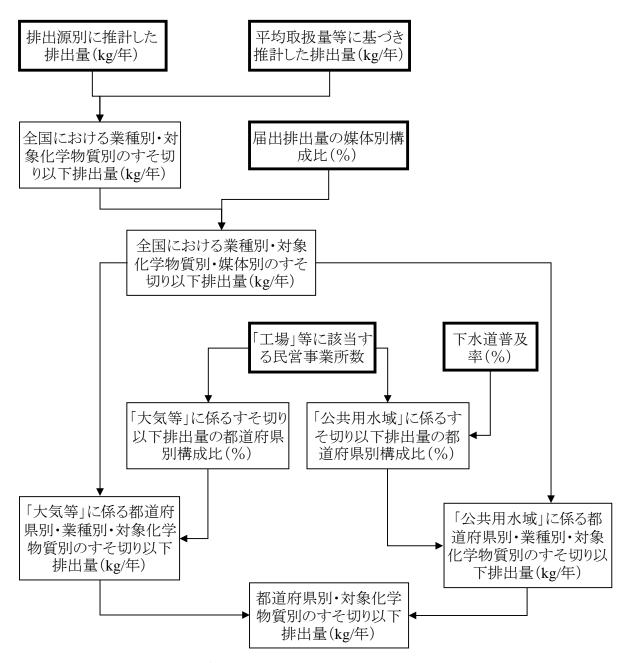


図 4-1 都道府県別排出量の推計フロー

4-2-3 パラメータの設定方法

前掲の「4-2-2 推計フロー」で示したパラメータは、表 3-2に示すとおり定義された値である。

表 4-3 都道府県別排出量の推計で採用するパラメータの定義等

			設	定区分	•
	パラメータ	定義	都道府	業種	物質
			県別	別	別
(a)	排出源別に推計し た排出量(kg/年)	「排出源別排出量推計方法」によって推計された全国のすそ切り以下事業者に係る排出量		0	0
(b)	平均取扱量等に基 づき推計した排出 量(kg/年)	「平均取扱量等に基づく排出量推計方法」に よって推計された全国のすそ切り以下事業者 に係る排出量		0	0
(c)	届出排出量の媒体 別構成比(%)	化管法に基づき届出された全データを対象 化学物質別・媒体別に集計した排出量の媒 体ごとの構成比		Δ	0
(d)	「工場」等に該当す る民営事業所数	事業所形態が「工場・作業所・鉱業所」や「自家用倉庫・自家用油槽所」等に該当する民営事業所の数 ※業種ごとの「推計対象比率」の定義で採用した事業所形態と同じ	0	0	
(e)	下水道普及率(%)	下水道事業者の「予定処理面積」に対する 「処理区域面積」の割合	0		

注1:上記(a)は排出源別の内訳も把握可能だが、都道府県への配分に使わないため、本表では省略した。

注2:上記(c)は、推計対象としない業種(例:金属鉱業)を除外した全業種の合計で設定したため、業種別の欄を" \triangle "とした。

注3:上記(d)は業種中分類ごとに設定される値であり、上記(a)や(b)とは業種区分が異なる場合がある。

(a) 排出源別に推計した排出量

「排出源別のすそ切り以下事業者に係る排出量の推計方法」で示したとおり、業種(34 区分)別・対象化学物質(17 区分)別に設定する。

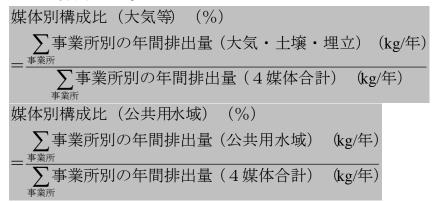
(b) 平均取扱量等に基づき推計した排出量

「平均取扱量等に基づく排出量推計方法」で示したとおり、業種(33 区分)別・対象化学物質(78 区分)別に設定する。

(c) 届出排出量の媒体別構成比

化管法に基づき届出された平成 20 年度排出量のデータを使い、推計対象としない 8 業種(例:金属鉱業)を除いた 37 業種のすべての事業所の排出量を対象化学物質(95 区分)別・媒体(4 区分)別に集計する。その対象化学物質ごとの排出量合計に対する媒体(「大気」、「公共用水域」、「土壌」、「埋立」の 4 区分)別の割合を算出し、媒体別構成比として設定する。

都道府県への配分に使う指標は、公共用水域以外の3媒体は共通であるため、 大気、土壌、埋立の3媒体をまとめて「大気等」と表記する。したがって、対象化学物 質ごとの媒体別構成比は「大気等」と「公共用水域」の2種類について設定する。具 体的には、前述のすべての届出事業所のデータを使って、対象化学物質ごとに以下のとおり算出される。



このパラメータの値は、まったく対象としていない 6 業種だけを除外して設定したものであるため、対象化学物質によっては、推計対象としていない業種のデータも含まれていることに留意が必要である。

届出された媒体別排出量とその構成比を表 4-4 に示す。推計対象となっている 95 物質の合計では、「大気等」が約 98%を占めており、「公共用水域」は約 2%である。 しかし、媒体別構成比は対象化学物質によって大きくばらついており、金属化合物 や界面活性剤として使われる対象化学物質を中心に、約 1/3 の対象化学物質では 公共用水域が 50%以上となっている。

表 4-4 届出された媒体別排出量とその構成比(平成 20 年度;その1)

物質	届出排出量(kg/年)				媒体別			
番号	対象化学物質名	大気	公共用水 域	土壌	埋立	合計	大気等	公共用 水域
1	亜鉛の水溶性化合物	21,677	162,701	1	161,553	345,932	53.0%	47.0%
	アクリルアミド	297	17			314	94.7%	5.3%
	アクリル酸	42,003	877			42,880		2.0%
	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	3,753	190	0.3		3,943		4.8%
	アセトニトリル	136,564	5,123			141,687	96.4%	3.6%
	2,2'-アゾビスイソブチロニトリル	2 2 4 4	21			21		100.0%
	アニリン	2,911	10,128			13,039		77.7%
	2-アミノエタノール ジエチレントリアミン	50,217	25,318			75,535		
11	直鎖アルキルベンゼンスルホン	964	84,006			84,970	1.1%	98.9%
24	酸及びその塩(アルキル基の炭 素数が10から14までのもの及び その化合物に限る)	889	21,389			22,278	4.0%	96.0%
25	アンチモン及びその化合物	1,963	6,575	45	311,314	319,897	97.9%	2.1%
	ビスフェノールA	299	709			1,008		70.4%
	ビスフェノールA型エポキシ樹	36,899	1,169	176		38,244		3.1%
	2-イミダゾリジンチオン	10	0.1	2.7.=		10		
	エチレングリコール	539,131	483,089	227,014		1,249,234		38.7%
	エチルベンゼン	15,118,682	1,164	10		15,119,856		0.0%
	エチレンオキシド	163,361	29,188			192,549		15.2%
	エチレングリコールモノエチルエーテル エチレングリコールモノメチルエーテル	207,755	1,620			209,375		0.8%
	エチレンジアミン	151,824 6,727	3,468 110,179			155,292 116,905		2.2% 94.2%
	エチレンジアミン四酢酸	0,121	1,373			1,373		100.0%
	エピクロロヒドリン	53,724	4,601			58,325		7.9%
	1-オクタノール	1,044	54			1,098		4.9%
	カドミウム及びその化合物	1,900	482		79,310	81,691		0.6%
	キシレン	38,115,249	14,382	57	.0,010	38,129,688		0.0%
	銀及びその水溶性化合物	210	837	0.1	7,270	8,317	89.9%	10.1%
	グリオキサール	1,601	53		,	1,654		3.2%
66	グルタルアルデヒド	165	36			201	82.1%	17.9%
	クレゾール	35,342	25,112			60,455		41.5%
	クロム及び3価クロム化合物	5,230	8,049	3	19,509	32,792		24.5%
	6価クロム化合物	1,396	973	1		2,370		41.1%
	クロロベンゼン	259,608	3,662			263,269		1.4%
	クロロホルム	563,966				607,163		
100	コバルト及びその化合物	263	8,552	1	2,670	11,486	25.5%	74.5%
101	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	296,787	141			296,928		0.0%
102	酢酸ビニル	614,192	18,208			632,400	97.1%	2.9%
108	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く)	147,290	1,706			148,996		1.1%
113	1,4-ジオキサン	49,545	50,620			100,164	49.5%	50.5%
115	N-シクロヘキシル-2-ベンゾチ アゾールスルフェンアミド	756	0.2			756		
116	1,2-ジクロロエタン	267,160	2,489			269,649	99.1%	0.9%
120	1,2 マノーニー/ 3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジ フェニルメタン	18				18	100.0%	
	ジウロン	17	44			62	28.0%	72.0%
	1,3-ジクロロ-2-プロパノール	1,234	21,658			22,892		94.6%
	1,2-ジクロロプロパン	129,171	244			129,415		0.2%
	0-ジクロロベンゼン	97,795	945	1,700		100,441		0.9%
	塩化メチレン	15,465,592	3,151	42		15,468,785		0.0%
	ジフェニルアミン	116	0.4			117	99.7%	0.3%
166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N- オキシド	0.3	1,531			1,531		
	N,N-ジメチルホルムアミド	3,438,553	123,205	29		3,561,786		3.5%
	水銀及びその化合物	6	13	4.0	643	662		2.0%
177	スチレン	2,393,429	4,687	13		2,398,129	99.8%	0.2%

表 4-4 届出された媒体別排出量とその構成比(平成 20 年度;その2)

州加万斤			届出:	排出量(kg	/年)		媒体別構成比	
物質番号	対象化学物質名	大気	公共用水	土壌	埋立	合計	大気等	公共用
			域	上場	生业			水域
	有機スズ化合物	6,858	131			6,989		1.9%
	チオ尿素	3	171,045			171,047		
	ヘキサメチレンテトラミン	1,153	1,071			2,224		48.1%
	テトラクロロエチレン	1,202,844	52			1,202,896		0.0%
	テトラヒドロメチル無水フタル酸	3,459				3,459		
	チウラム	14	11			25		45.3%
	銅水溶性塩(錯塩を除く)	7,172	47,984	0.2	19,874	75,030		
	トリクロロエチレン	3,659,904	224			3,660,128		0.0%
	1,3,5-トリメチルベンゼン	1,279,946	576			1,280,522		0.0%
	トルエン	81,787,307	56,279	6		81,843,592		
	鉛及びその化合物	17,662	6,719	8	2,892,250	2,916,638		0.2%
	ニッケル	1,943	4,720	1	1,111	7,774		60.7%
	ニッケル化合物	3,025	61,298		27,100	91,423		67.0%
	二硫化炭素	3,999,634	86,660			4,086,294	97.9%	2.1%
242	ノニルフェノール	1,886	2			1,888		0.1%
	バリウム及びその水溶性化合物	928	2,225	2		3,155	29.5%	70.5%
249	ジラム	4				4	100.0%	
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアン モニウム=クロリド		2,351			2,351		100.0%
252	砒素及びその無機化合物	5,292	7,992		848,750	862,035	99.1%	0.9%
	ヒドラジン	5,787	8,690			14,477	40.0%	60.0%
	ヒドロキノン	119	3,135			3,254	3.7%	96.3%
	ピリジン	10,042	33,761			43,802		
	フェノール	349,260	9,227			358,487	97.4%	2.6%
	フタル酸ジ-n-ブチル	17,180	575			17,755		3.2%
	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	229,239	285	18		229,543		0.1%
	フタル酸-n-ブチル=ベンジル	39,468	87			39,555		0.2%
	ふっ化水素及びその水溶性塩	126,296	997,608			1,123,904		88.8%
	ヘキサメチレン=ジイソシアネート	1,809	,			1,809		
	ベリリウム及びその化合物		2		190	192	99.2%	0.8%
	ベンズアルデヒド	50				50		
200	ベンノゼン	845,566	3,235	1		848,801	99.6%	0.4%
000	1,2,4-ベンゼントリカルボン酸						50.0 %	
300	1,2-無水物	2	1			3	76.9%	23.1%
304	ほう素及びその化合物	109,501	991,382	31	4,965	1,105,879	10.4%	89.6%
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキル	8,588	132,298			140,886		93.9%
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチル フェニルエーテル	49	1,370			1,420	3.5%	96.5%
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェ ニルエーテル	1,344	38,844			40,188	3.3%	96.7%
910	ホルムアルデヒド	235,042	51,151	0.4		206 102	82.1%	17 Oº/
	マンガン及びその化合物				5 699 109	286,193		17.9%
	無水フタル酸	44,222	258,006	150,114	5,622,102	6,074,444		4.2%
	無水マレイン酸	2,091	47 27			2,138		2.2%
	メタクリル酸	2,512	3,690			2,539 19,503		1.0% 18.9%
	メタクリル酸メチル	15,813						
		360,095	18,506			378,601	95.1%	4.9%
	m-トリレンジイソシアネート モリブデン及びその化合物	3,051	50 000	1.0	700	3,051	7 100	0.5 0%
340	モリノテン及いその化合物	3,624 172,817,065	58,000	270 288		62,419 187,541,943		92.9% 2.3%
L	エコ・柑休別構成比で大気 土地					101,041,340	91.170	۵.5%

注1:媒体別構成比で大気、土壌、埋立の合計を「大気等」と表記した。

注2:媒体別構成比欄の「0.0%」は 0.05%未満の数値を意味する。(排出がない場合は空欄。)

以上の媒体別構成比を使って推計した業種別·対象化学物質別·媒体別のすそ切り以下排出量を表 4-5 に示す。

表 4-5 業種別・対象化学物質別・媒体別のすそ切り以下排出量推計結果(その1)

業種	業種名	物質	対象化学物質名	下排出量	(0	;)		そ切り以下排 E)=(E)×(c)
コード	X I I	番号		(kg/年) (E)=(a)+(b)	大気 等	公共 用水	大気等	公共用水域
			直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び その塩(アルキル基の炭素数が10から 14までのもの及びその混合物に限る)	906	4.0%	96.0%	36	870
		42	エチレンオキシド	23	85%	15%	20	4
		166	エテレンオキント N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキ シド	21	0%	100%	0	21
1200	食料品製造 業	251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム =クロリド	12		100%		12
	214		ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)	5,117	6%	94%	312	4,805
		308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニ ルエーテル		3%	97%		
		309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル エーテル	201	3%	97%	7	194
		12	アセトニトリル	771	96%	4%	743	28
		24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び その塩(アルキル基の炭素数が10から 14までのもの及びその混合物に限る)	61	4%	96%	2	58
		100	ー ジュー T ナドフ の // 人 //m	417	26%	74%	107	311
			コハルト及いての化合物 N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキ シド	1	0%	100%	0	1
	飲料・たば	207	銅水溶性塩(錯塩を除く)	408	36%	64%	147	261
1300	こ・飼料製	251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム =クロリド	1		100%		1
	造業	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	0	11%	89%	0	0
		307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)	289	6%	94%	18	271
		308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニ ルエーテル		3%	97%		
		309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル エーテル	13	3%	97%	0	12
			ホルムアルデヒド	461	82%	18%	378	82
		1		1,171	53%	47%	620	551
		24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び その塩(アルキル基の炭素数が10から 14までのもの及びその混合物に限る)	7,894	4%	96%	315	7,579
			アンチモン及びその化合物	921	98%	2%	902	19
			エチレンオキシドエチレングリコール	2,259 44,253	85% 61%	15% 39%	1,917 27,140	342 17.113
			キシレン	32,263	100%	0%	32,251	12
			クロム及び3価クロム化合物	194	75%	25%	146	48
		100	コバルト及びその化合物 1,3-ジクロロ-2-プロパノール	287 44,555	26% 5%	74% 95%	2,401	214 42,153
			塩化メチレン	7,228	100%	95%	7,226	42,155
1400	繊維工業	166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド	44	0%	100%	0	44
	1000112		N,N-ジメチルホルムアミド	31,651	97%	3%	30,556	1,095
			1,3,5-トリメチルベンゼン	8,087	100%	0%	8,084	4
			トルエン ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム	802,474	100%	0%	801,922	552
		251	=クロリド	329		100%		329
			ヒドラジン	7,478	40%	60%	2,989	4,489
			ふっ化水素及びその水溶性塩 ほう素及びその化合物	587	11% 10%	89% 90%	61	526
			ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15ま	31,471		94%	1,918	29,553
			でのもの及びその混合物に限る)	31,471	6%	94%	1,910	49,003
		308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニ ルエーテル	80	3%	97%	3	78

注1:排出量「0kg/年」は 0.5kg 未満の数値を示す。(以下、表 4-5 全て同様)

注2:媒体別構成比欄の「0.0%」は 0.05%未満の数値を示す。(排出がない場合は空欄。)(以下、表 4-5 全て同様)

表 4-5 業種別・対象化学物質別・媒体別のすそ切り以下排出量推計結果(その2)

業種	業種名	物質	対象化学物質名	下排出量	(c	<u>.</u>)		そ切り以下排 =)=(E)×(c)
コード	7(12)	番号		(kg/年) (E)=(a)+(b)	大気 等	公共 用水	大気等	公共用水域
1400	繊維工業		ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル エーテル	17,045	3%	97%	570	16,475
		310	ホルムアルデヒド	19,094	82%	18%	15,682	3,413
		24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び その塩(アルキル基の炭素数が10から 14までのもの及びその混合物に限る)	149	4%	96%	6	143
		43	エチレングリコール	6,534	61%	39%	4,007	2,527
		166	エナレンクリコール N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキ シド	1	0%	100%	0	1
1500	衣服・その 他の繊維製	251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム =クロリド	7		100%		7
	品製造業	307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)	662	6%	94%	40	622
		308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニ ルエーテル	1	3%	97%	0	1
		309	ポリ(オキシエチレン)= ノニルフェニル エーテル	333	3%	97%	11	322
			エチルベンゼン	10,813	100%	0%	10,813	1
		43	エチレングリコール	5,228	61%	39%	3,206	2,022
			キシレン	106,590	100%	0%	106,550	40
1600	木材•木製	145	塩化メチレン	77,909	100%	0%	77,893	16
1000	品製造業		1,3,5-トリメチルベンゼン	4,019	100%	0%	4,017	2
			トルエン	345,186	100%	0%	344,949	237
			フェノール	709	97%	3%	690	18
			ホルムアルデヒド	5,054	82%	18%	4,151	903
			エチルベンゼン	159,930	100%	0%	159,917	12
			キシレン	446,991	100%	0%	446,823	169
1700	家具·装備		酢酸ビニル	9,215	97%	3%	8,950	265
1100	品製造業	145	塩化メチレン	63,589	100%	0%	63,576	13
			1,3,5-トリメチルベンゼン	28,076	100%	0%	28,063	13
			トルエン	401,077	100%	0%	400,801	276
		16	2-アミノエタノール	1,539	66%	34%	1,023	516
			直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び その塩(アルキル基の炭素数が10から 14までのもの及びその混合物に限る)	4,130	4%	96%		3,965
			エチルベンゼン	235	100%	0%	235	0
			エチレングリコール	19,916	61%	39%	12,215	7,702
			キシレン	16,890	100%	0%	16,884	6
			クロロベンゼン	1,499	99%	1%		21
		145	塩化メチレン	9,951	100%	0%	9,949	2
			塩化メテレン N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキ シド	7	0%	100%		7
	パルプ・紙・	227	トルエン	445,061	100%	0%	444,755	306
1800	紙加工品製 造業	251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム =クロリド	35		100%		35
	~~	253	ヒドラジン	8,819	40%	60%	3,526	5,294
			フタル酸ジ-n-ブチル	5,944	97%	3%	5,752	192
			ほう素及びその化合物	2,459	10%	90%	255	2,204
		307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)	2,493	6%	94%	152	2,341
		308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニ ルエーテル	33	3%	97%	1	32
		309	ルエーアル ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル エーテル	726	3%	97%	24	701
			モリブデン及びその化合物	391	7%	93%	28	364
			エチルベンゼン	18,751	100%	0%	18,750	1

表 4-5 業種別・対象化学物質別・媒体別のすそ切り以下排出量推計結果(その3)

業種	業種名	物質	対象化学物質名	下排出量	((2)		そ切り以下排 E)=(E)×(c)
コード	不懂有	番号	八水旧丁四英山	(kg/年) (E)=(a)+(b)	大気 等	公共 用水	大気等	公共用水域
		43	エチレングリコール	3,551	61%	39%	2,178	1,373
			キシレン	39,319	100%	0%	39,304	15
			6価クロム化合物	1,782	59%		1,050	732
			クロロベンゼン	4,054	99%	1%	3,998	56
			1,2-ジクロロプロパン	9,809	100%	0%	9,790	18
	uule reed		塩化メチレン	8,867	100%	0%	8,865	2
1900	出版·印刷·		トリクロロエチレン	1	100%	0%	1	0
	同関連産業		トルエン	1,635,612			, ,	1,125
			ヒドロキノン	5,514	4%	96%		5,313
	ŀ		フタル酸ジ-n-ブチル	1,036		3%	1,003	34
			ふっ化水素及びその水溶性塩	1 70	11% 10%	89%	8	1
			ほう素及びその化合物 マンガン及びその化合物	78	96%	90% 4%	1	69
		311	モリブデン及びその化合物	1,630	7%	93%	_	1,514
		340 1	亜鉛の水溶性化合物	350	53%	47%	185	1,514
			アクリルアミド	10	95%	5%	9	103
			アクリル酸	34	98%	2%	33	1
		9	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	1	95%	5%	1	0
			アセトニトリル	7,567	96%	4%	-	274
		13	2,2'-アゾビスイソブチロニトリル	0	0070	100%	1,200	0
			2-アミノエタノール	1,254	66%		834	420
			ジエチレントリアミン	0	1%	99%	0	0
			直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び					
		24	その塩(アルキル基の炭素数が10から	2,431	4%	96%	97	2,334
			14までのもの及びその混合物に限る)					
		25	アンチモン及びその化合物	114	98%	2%	112	2
		29	ビスフェノールA	2	30%		0	1
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂	25,281	97%	3%	24,508	773
			エチルベンゼン	4,232	100%	0%	4,231	0
			エチレンオキシド	1,907	85%	15%	1,618	289
			エチレングリコール	10,817	61%	39%	6,634	4,183
	•		エチレングリコールモノエチルエーテル	1,517	99%	1%	1,505	12
	ŀ		エチレングリコールモノメチルエーテル	847	98%	2%	828	19
	ŀ	46	エチレンジアミン エチレンジアミン四酢酸	31 4,420	6%	94% 100%	Z	29 4,420
			エピクロロヒドリン	4,420	92%	8%	16	4,420
			1-オクタノール	0	95%	5%	0	0
			キシレン	9,239	100%	0%	9,235	3
			銀及びその水溶性化合物	0,233	90%	10%	0,200	0
2000	化学工業		グリオキサール	26	97%	3%	25	1
			グルタルアルデヒド	413	82%	18%	339	74
	i	0.5	クレゾール	37	58%	42%	22	16
		68	クロム及び3価クロム化合物	42	75%	25%		10
			6価クロム化合物	3	59%	41%	2	1
		93	クロロベンゼン	83	99%	1%	82	1
			クロロホルム	607	93%	7%	563	43
		100	コバルト及びその化合物	214	26%	74%	55	159
		101	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	4,403	100%	0%	4,401	2
		113	1,4-ジオキサン	6,139	49%	51%	3,036	3,102
			1,2-ジクロロエタン	1,417	99%	1%	1,404	13
		129	ジウロン	1	28%	72%		1
		139	o-ジクロロベンゼン	373	99%	1%	370	4
		145	塩化メチレン	20,025	100%	0%	20,021	4
		166	風化グラレン N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド	0	0%	100%	0	0
			N,N-ジメチルホルムアミド	14,963	97%	3%	14,446	518
]		有機スズ化合物	4	98%	2%	4	0
			スチレン	6,250	100%		6,238	12
]		チオ尿素	64	0%			64
]		テトラクロロエチレン	356	100%	0%	356	0
			銅水溶性塩(錯塩を除く)	954	36%			610
			トリクロロエチレン	10,731	100%		10,731	1
		224	1,3,5-トリメチルベンゼン	288	100%	0%	288	0

表 4-5 業種別・対象化学物質別・媒体別のすそ切り以下排出量推計結果(その4)

業種	業種名	物質	対象化学物質名	下排出量	(c			そ切り以下排 E)=(E)×(c)
コード	未怪石	番号	对家儿子 物真石	(kg/年) (E)=(a)+(b)	大気 等	公共 用水	大気等	公共用水域
		227	トルエン	43,433	100%	0%	43,403	30
			鉛及びその化合物	10	100%	0%	10	0
			ニッケル	7	39%	61%	3	4
		232	ニッケル化合物	179	33%	67%	59	120
			ノニルフェノール	280	100%	0%	280	0
		0.40	ジロカナ ワッドフ のよい皮は ル へ 転	4	29%	71%	1	3
		251	ハリソム及いての水溶性化合物 ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム =クロリド	1	2070	100%		1
		253	ヒドラジン	937	40%	60%	375	563
			ヒドロキノン	4	4%	96%	0	4
			ピリジン	29	23%	77%	7	22
			フェノール	848	97%	3%	826	22
			フタル酸ジ-n-ブチル	37	97%	3%	36	1
			フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	715	100%	0%	714	1
			フタル酸-n-ブチル=ベンジル	1	100%	0%	1	0
			ふっ化水素及びその水溶性塩	3,045	11%	89%	342	2,703
			ヘキサメチレン=ジイソシアネート	13	100%	03/0	13	2,100
			ベンズアルデヒド	13	100%		13	
2000	// . 3)		ベンゼン		100%	0%	-	17
2000	化学工業			4,506	100%	U%	4,489	17
		300	1,2,4-ベンゼントリカルボン酸1,2-無水物	0	77%	23%	0	0
		304	ほう素及びその化合物	2,188	10%	90%	227	1,961
		307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)	863	6%	94%	53	811
		308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニ	29	3%	97%	1	28
		309	ルエーアル ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル エーテル	762	3%	97%	25	736
			ホルムアルデヒド	11,724	82%	18%	9,629	2,095
		311	マンガン及びその化合物	4,347	96%	4%	4,162	185
			無水フタル酸	4	98%	2%	4	0
		313	無水マレイン酸	5	99%	1%	5	0
			メタクリル酸	2,041	81%	19%	1,655	386
		320	メタクリル酸メチル	89	95%	5%	84	4
			m-トリレンジイソシアネート	273	100%		273	
			モリブデン及びその化合物	131	7%	93%	9	121
			エチレングリコール	274	61%	39%	168	106
			キシレン	43	100%	0%	43	0
			塩化メチレン	30	100%	0%	30	0
			トルエン	51	100%	0%	51	0
			鉛及びその化合物	1	100%	0%	1	0
			ノニルフェノール	910	100%	0%	909	1
			フェノール	157	97%	3%	153	4
	石油製品・	270	フタル酸ジ-n-ブチル	87	97%	3%	84	3
2100	石炭製品製		ほう素及びその化合物	28	10%	90%	3	25
	造業		モリブデン及びその化合物	500	7%	93%	35	464
			直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び その塩(アルキル基の炭素数が10から 14までのもの及びその混合物に限る)	47,669	4%	96%	1,902	45,767
		95	アンチモン及びその化合物	2,473	98%	2%	2,422	51
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂	913	97%	3%	885	28
			エチルベンゼン	477	100%	0%	477	0
			エチレンオキシド	2,651	85%	15%	2,249	402
			エチレングリコール		61%			
	プラスチック			10,831		39%	6,642	4,188
2200	製品製造業		エチレングリコールモノエチルエーテル	2,927	99%	1%	2,904	23
2200	(別掲を除		キシレン	68,386	100%	0%	68,360	26
1	<)		銀及びその水溶性化合物	327	90%	10%	294	33
	<u> </u>	68	クロム及び3価クロム化合物	69	75%	25%	52	17

表 4-5 業種別・対象化学物質別・媒体別のすそ切り以下排出量推計結果(その5)

業種	業種名	物質	対象化学物質名	下排出量	媒体別(c			そ切り以下排 E)=(E)×(c)
コード	米 運和	番号	对家儿子物真石	(kg/年) (E)=(a)+(b)	大気 等	公共 用水	大気等	公共用水域
		100	コバルト及びその化合物	903	26%	74%	231	672
		1.45	塩ルソチロン	257,439	100%	0%	257,387	52
		166	風化パリレン N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキ シド	6	0%	100%	ŕ	6
		176	有機スズ化合物	372	98%	2%	365	7
			トリクロロエチレン	4	100%	0%	4	0
			トルエン	1,099,394	100%	0%	1,098,638	756
			鉛及びその化合物	493	100%	0%	492	1
			ニッケル	1,236	39%	61%	485	750
			ニッケル化合物	132	33%	67%	44	89
	プニッチぃヵ		ビフ(水美ル生能)ジメチルアンエーウム		0070			
	プラスチック	251	=クロリド	11		100%		11
2200	製品製造業	270	フタル酸ジ-n-ブチル	975	97%	3%	944	32
	(別掲を除		フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	19,090	100%	0%	19,066	24
	く)(続き)		ふっ化水素及びその水溶性塩	31	11%	89%	3	27
		304	ほう素及びその化合物	593	10%	90%	61	532
			ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテ					
			ル(アルキル基の炭素数が12から15ま	10,110	6%	94%	616	9,494
		308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニ ルエーテル	961	3%	97%	33	928
		309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル	9,186	3%	97%	307	8,879
		010	エーテル		0.00/	1.00/	1 407	906
			ホルムアルデヒド	1,823	82%	18% 93%	1,497	326
		346	モリブデン及びその化合物	500	7%	93%	35	465
		9	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	8,308	95%	5%	7,908	400
		24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び その塩(アルキル基の炭素数が10から 14までのもの及びその混合物に限る)	46,098	4%	96%	1,840	44,259
			アンチモン及びその化合物	624	98%	2%	611	13
		32	2-イミダゾリジンチオン	364	99%	1%	361	4
		42	エチレンオキシド	332	85%	15%	282	50
		43	エチレングリコール	1,458	61%	39%	894	564
		63	キシレン	116,374	100%	0%	116,330	44
		115	キンレン N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾー ルスルフェンアミド	615	100%	0%	614	0
		145	塩化メチレン	113,259	100%	0%	113,236	23
		159	ジフェニルアミン	93	100%	0%	93	0
		166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキ シド	5	0%	100%	0	5
	→ 3 / 生II 口牛II	198	ヘキサメチレンテトラミン	1,171	52%	48%	607	564
2300	ゴム製品製	200	テトラクロロエチレン	9,118	100%	0%	9,118	0
	造業		チウラム	2,436	55%	45%	1,331	1,104
			トリクロロエチレン	17,515	100%	0%	17,514	1
			トルエン	796,485	100%	0%	795,938	548
			鉛及びその化合物	25	100%	0%	25	0
		232	ニッケル化合物	132	33%	67%	43	88
		249	ジラム	189	100%		189	
		251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム =クロリド	9		100%		9
		270	フタル酸ジ-n-ブチル	19,695	97%	3%	19,058	638
			フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	60,064	100%	0%	59,989	75
			ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)	8,084	6%	94%	Í	7,592
		308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニ ルエーテル	1,090	3%	97%	38	1,052
		309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル エーテル	8,445	3%	97%	282	8,163

表 4-5 業種別・対象化学物質別・媒体別のすそ切り以下排出量推計結果(その6)

業種	業種名	物質	対象化学物質名	下排出量	(0	(;)		そ切り以下排 E)=(E)×(c)
コード	76121	番号	7,7,7,10 7 PV Z	(kg/年) (E)=(a)+(b)	大気 等	公共 用水	大気等	公共用水域
			直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び その塩(アルキル基の炭素数が10から 14までのもの及びその混合物に限る)		4%	96%		
			キシレン 塩化メチレン	5,788 6,482	100% 100%	0% 0%	5,786 6,481	2
		166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキ	0,102	0%	100%	<i>'</i>	1
	なめし革・		シド トルエン	21,827	100%	0%	21,812	15
2400	同製品·毛 皮製造業	251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム =クロリド			100%		
			ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)	107	6%	94%	7	101
		308	ルエーアル	33	3%	97%	1	32
		309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル エーテル	13,850	3%	97%	463	13,387
			アンチモン及びその化合物	3,547	98%	2%	3,474	73
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂 エチルベンゼン	718 9,013	97% 100%	3% 0%	696 9,013	22
			エチレングリコール	3,393	61%	39%	2,081	1,312
			キシレン	66,046	100%	0%	66,021	25
			銀及びその水溶性化合物	773	90%	10%	695	78
			クロム及び3価クロム化合物	30,068	75%	25%	22,688	7,381
			6価クロム化合物 コバルト及びその化合物	1,323 1,590	59% 26%	41% 74%	780 406	543 1,184
			塩化メチレン	43,944	100%	0%	43,935	9
2500	窯業・土石	211	トリクロロエチレン	0	100%	0%	0	0
2000	製品製造業		1,3,5-トリメチルベンゼン	1,897	100%	0%	1,897	1
			トルエン	158,608	100%	0% 0%	158,499	109
			鉛及びその化合物 ニッケル化合物	22,465	100% 33%	67%	598 7,402	15,062
		253	ヒドラジン	3,501	40%	60%	1,399	2,101
		266	フェノール	2,522	97%	3%	2,457	65
		270	フタル酸ジ-n-ブチル	499	97%	3%	482	16
		283	ふっ化水素及びその水溶性塩 ほう素及びその化合物	1,416 78,619	11% 10%	89% 90%	159	1,257 70,479
			ホルムアルデヒド	4,083	82%	18%	8,140 3,353	730
			マンガン及びその化合物	40,376	96%	4%	38,661	1,715
			直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び その塩(アルキル基の炭素数が10から 14までのもの及びその混合物に限る)	191	4%	96%	8	183
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂	117	97%	3%	114	4
			エチルベンゼン	12,512	100%	0%	12,511	10
			キシレンクロム及び3価クロム化合物	27,615 115	100% 75%	0% 25%	27,605 86	10 28
			6価クロム化合物	94	59%	41%	55	39
		145	塩化メチレン	1,366	100%	0%	1,366	0
		166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキ シド	11	0%	100%	0	11
2600	鉄鋼業		テトラクロロエチレン	15,953	100%	0%	15,953	1
			トリクロロエチレン	40,064	100%	0%	40,062	2
			1,3,5-トリメチルベンゼン	1,975 11,251	100% 100%	0% 0%	1,974 11,243	1 8
			鉛及びその化合物	12	100%	0%	12	0
		001	4-1.	1,029	39%	61%	404	625
		251	ーツグル ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム =クロリド	13		100%		13
		283	ふっ化水素及びその水溶性塩	6,358	11%	89%	714	5,643
			ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15ま	4,383	6%	94%		4,116
			でのもの及びその混合物に限る)					,

表 4-5 業種別・対象化学物質別・媒体別のすそ切り以下排出量推計結果(その7)

業種	業種名	物質	対象化学物質名	下排出量	(0			そ切り以下排 E)=(E)×(c)
コード	未恒	番号		(kg/年) (E)=(a)+(b)	大気 等	公共 用水	大気等	公共用水域
		308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニ ルエーテル	44	3%	97%	2	42
2600	鉄鋼業		ルエーナル ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル エーテル	30,083	3%	97%	,	29,077
			マンガン及びその化合物	265	96%	4%	254	11
			モリブデン及びその化合物	1,350	7%	93%	96	1,254
		1	亜鉛の水溶性化合物	30,980	53%	47%	16,409	14,571
			直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び その塩(アルキル基の炭素数が10から 14までのもの及びその混合物に限る)	6	4%	96%		6
			アンチモン及びその化合物	1,201	98%	2%	1,176	25
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂	187	97%	3%	181	6
			エチルベンゼン	14,167	100%	0%	14,166	1
			エチレングリコールキシレン	1,074 31,314	61% 100%	39%	659 31,303	415 12
			サンレン 銀及びその水溶性化合物	6,346	90%	10%	5,708	639
			クロム及び3価クロム化合物	120	75%	25%	91	29
			コバルト及びその化合物	903	26%	74%	231	672
		1.45	11-11. 2-12. S.	46,611	100%	0%	46,601	9
		166	塩化メナレン N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキ シド	0	0%	100%	ŕ	0
		200	テトラクロロエチレン	4,820	100%	0%	4,820	0
			トリクロロエチレン	21,659	100%	0%	21,658	1
2700	非鉄金属製	224	1,3,5-トリメチルベンゼン	2,375	100%	0%	2,374	1
2700	造業		トルエン	15,241	100%	0%	15,231	10
			鉛及びその化合物	84,320	100%	0%	84,126	194
			ニッケル	6,575	39%	61%	2,583	3,992
		232	ニッケル化合物	179	33%	67%	59	120
			ーツ / ル 化 盲 物 ビス(水素化 牛脂)ジメチルアンモニウム = クロリド	0		100%		0
			ふっ化水素及びその水溶性塩	254	11%	89%	28	225
		294	ベリリウム及びその化合物	139	99%	1%	138	1
		307	ほう素及びその化合物 ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)	233	10%	90%	9	135
		308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニ	1	3%	97%	0	1
		309	ルエーケル ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル エーテル	1,034	3%	97%	35	999
			マンガン及びその化合物	361	96%	4%	346	15
		346	モリブデン及びその化合物	437	7%	93%	31	406
		1	亜鉛の水溶性化合物	38,341	53%	47%		18,033
		16	2-アミノエタノール	1,845	66%	34%	1,227	618
			直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び その塩(アルキル基の炭素数が10から 14までのもの及びその混合物に限る)	22	4%	96%		21
			アンチモン及びその化合物	371	98%	2%	364	8
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂	1,183	97%	3%	1,147	36
			エチルベンゼン	408,314	100%	0%	408,283	31
2800	金属製品製		エチレングリコール エチレングリコールモノエチルエーテル	2,103	61%	39%	1,290	813
2000	造業		カドミウム及びその化合物	47,877 137	99% 99%	1% 1%	47,506 137	370
			キシレン	1,080,941	100%	0%	1,080,533	408
			銀及びその水溶性化合物	2,028	90%	10%	1,824	204
			クロム及び3価クロム化合物	835	75%	25%	630	205
			6価クロム化合物	29,707	59%	41%	17,510	12,197
			コバルト及びその化合物	2,880	26%	74%	736	2,144
		101	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	38,571	100%	0%		18
		108	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸 塩を除く)	12,243	99%	1%	12,103	140

表 4-5 業種別・対象化学物質別・媒体別のすそ切り以下排出量推計結果(その8)

業種	業種名	物質	対象化学物質名	すそ切り以 下排出量	媒体別(c			そ切り以下排 E)=(E)×(c)
コード	未俚石	番号	对 家 化 子 物 員 名	(kg/年) (E)=(a)+(b)	大気 等	公共 用水	大気等	公共用水域
		145	塩化メチレン	1,050,591	100%	0%	1,050,377	214
		166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド	1	0%	100%	0	1
		172	N,N-ジメチルホルムアミド	15,794	97%	3%	15,248	546
			テトラクロロエチレン	50,873	100%	0%	50,871	2
		207	銅水溶性塩(錯塩を除く)	1,014	36%	64%	365	648
		211	トリクロロエチレン	304,576	100%	0%	304,558	19
			1,3,5-トリメチルベンゼン	64,130	100%	0%	64,101	29
			トルエン	674,149	100%	0%	673,685	464
			鉛及びその化合物	363	100%	0%	362	1
			ニッケル	14,154	39%	61%	5,561	8,593
			ニッケル化合物	11,513	33%	67%	3,794	7,719
	金属製品製	251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム =クロリド	1		100%		1
2800	造業(続き)		ヒドラジン	7,169	40%	60%	2,866	4,303
	(2)(40)267		フタル酸ジ-n-ブチル	1,938	97%	3%	1,875	63
		272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	3,013	100%	0%	3,009	4
			ふっ化水素及びその水溶性塩	2,200	11%	89%	247	1,953
		304	ほう素及びその化合物 ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテ	2,538	10%	90%	263	2,275
		307	ル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)	411	6%	94%	25	386
		308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニ ルエーテル	6	3%	97%	0	5
		309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル エーテル	2,129	3%	97%	71	2,058
		310	ホルムアルデヒド	7,130	82%	18%	5,855	1,274
		311	マンガン及びその化合物	260	96%	4%	249	11
		346	モリブデン及びその化合物	6,941	7%	93%	491	6,450
		1	亜鉛の水溶性化合物	1,946	53%	47%	1,031	915
		16	2-アミノエタノール	6,522	66%	34%	4,336	2,186
		24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び その塩(アルキル基の炭素数が10から 14までのもの及びその混合物に限る)	138	4%	96%	6	133
		25	アンチモン及びその化合物	703	98%	2%	689	14
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂	1,103	97%	3%	1,069	34
		40	エチルベンゼン	257,495	100%	0%	257,475	20
			エチレングリコール	10,795	61%	39%	6,621	4,175
			エチレングリコールモノエチルエーテル	14,161	99%	1%	14,052	110
			キシレン	666,560	100%	0%	666,308	251
		64	銀及びその水溶性化合物	543	90%	10%	489	55
			クロム及び3価クロム化合物	278	75%	25%	210	68
			6価クロム化合物	1,777	59%	41%	1,048	730
0000	一般機械器	100	コバルト及びその化合物 エチレングリコールモノエチルエーテル	1,934	26%	74%	494	1,440
2900	具製造業	101	アセテート	14,116	100%	0%	,	7
		145	塩化メチレン	99,800	100%	0%	99,779	20
		100	シド	7	0%	100%	0	7
			有機スズ化合物	92	98%	2%	91	2
			テトラクロロエチレン	13,501	100%	0%	13,501	1
			トリクロロエチレン	94,012	100%	0%	94,006	6
			1,3,5-トリメチルベンゼン	40,504	100%	0%	40,486	18
			トルエン 飲みバスのル合物	216,996	100%	0%	216,847	149
			鉛及びその化合物 ニッケル	159 3,401	100% 39%	0% 61%	158 1,336	2,065
			ニッケル化合物	242	33%	67%	1,336	2,065
			ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム		აა%		00	
		251	=クロリド	8		100%		8
			フェノール フタル酸ジ-n-ブチル	370 665	97% 97%	3% 3%	360 644	10 22
L	l	410	/ / / F E久 マ II / / / V	000	9170	ა%	044	44

表 4-5 業種別・対象化学物質別・媒体別のすそ切り以下排出量推計結果(その9)

業種	業種名	物質	対象化学物質名	下排出量	(0	e)		そ切り以下排 =)=(E)×(c)
コード	水压口	番号		(kg/年) (E)=(a)+(b)	大気 等	公共 用水	大気等	公共用水域
		272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	1,283	100%	0%	1,282	2
			ふっ化水素及びその水溶性塩	81	11%	89%	9	72
			ほう素及びその化合物	598	10%	90%	62	536
			ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)	2,916	6%	94%	178	2,738
2900	一般機械器 具製造業 (続き)	308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニ ルエーテル	33	3%	97%	1	32
	(MOLE)	309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル エーテル	18,219	3%	97%	609	17,610
		310	ホルムアルデヒド	2,559	82%	18%	2,101	457
		311	マンガン及びその化合物	196	96%	4%	187	8
			メタクリル酸メチル	2,086	95%	5%	1,984	102
		346	モリブデン及びその化合物	3,147	7%	93%	223	2,925
			亜鉛の水溶性化合物	743	53%	47%	394	350
			アクリル酸	958	98%	2%	939	20
			アセトニトリル	146	96%	4%	141	5
			2-アミノエタノール	5,248	66%	34%	3,489	1,759
			ジエチレントリアミン	19	1%	99%	0	19
			直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び その塩(アルキル基の炭素数が10から 14までのもの及びその混合物に限る)	174	4%	96%	7	167
		25	アンチモン及びその化合物	2,048	98%	2%	2,006	42
		29	ビスフェノールA	1,204	30%	70%	357	847
		30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	2,845	97%	3%	2,758	87
			エチルベンゼン	23,825	100%	0%	23,823	2
			エチレングリコール	9,428	61%	39%	5,782	3,646
			エチレングリコールモノエチルエーテル	11,494	99%	1%	11,405	89
			エチレングリコールモノメチルエーテル	6,748	98%	2%	6,597	151
			エチレンジアミン	490	6%	94%	28	462
			キシレン	58,103	100%	0%	58,081	22
			銀及びその水溶性化合物	3,299	90%	10%	2,967	332
			クロム及び3価クロム化合物	111	75%	25%	84	27
			6価クロム化合物	389	59%	41%	229	160
			クロロホルム	795	93%	7%	738	57
		100	コバルト及びその化合物	289	26%	74%	74	215
3000	電気機械器 具製造業	101	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	21,381	100%	0%	21,371	10
	八衣之木	108	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸 塩を除く)	1,815	99%	1%	,	21
			ジウロン	552	28%	72%	155	397
		145	塩化メチレン	47,113	100%	0%	47,104	10
			塩化メナレン N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキ シド	7	0%	100%	0	7
			N,N-ジメチルホルムアミド	30,162	97%	3%	29,119	1,043
			水銀及びその化合物	34	98%	2%	33	1
		176	有機スズ化合物	82	98%	2%	80	2
			テトラクロロエチレン	5,561	100%	0%	5,561	0
			テトラヒドロメチル無水フタル酸	292	100%		292	
			銅水溶性塩(錯塩を除く)	844	36%	64%	304	540
			トリクロロエチレン	36,393	100%	0%	36,391	2
			1,3,5-トリメチルベンゼン	6,080	100%	0%	6,077	3
			トルエン	57,716	100%	0%	57,677	40
			鉛及びその化合物	427	100%	0%	426	1
			ニッケル	2,718	39%	61%	1,068	1,650
			ニッケル化合物	388	33%	67%	128	260
			ノニルフェノール	808	100%	0%	807	1
		243 251	バリウム及びその水溶性化合物 ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム	100	29%	71% 100%	30	71
			=クロリド					
		252	砒素及びその無機化合物	2	99%	1%	2	0

表 4-5 業種別・対象化学物質別・媒体別のすそ切り以下排出量推計結果(その10)

業種	業種名	物質	対象化学物質名	下排出量	(0	e)		そ切り以下排 E)=(E)×(c)
コード	不证	番号		(kg/年) (E)=(a)+(b)	',1	公共 用水	大気等	公共用水域
		253	ヒドラジン	6,360	40%	60%	2,542	3,818
			ヒドロキノン	647	4%	96%	24	624
			フェノール	689	97%	3%	671	18
		270	フタル酸ジ-n-ブチル	986	97%	3%	954	32
			フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	1,790	100%	0%	1,788	2
			ふっ化水素及びその水溶性塩	11,440	11%	89%	1,286	10,155
		304	ほう素及びその化合物	838	10%	90%	87	751
3000	電気機械器 具製造業 (続き)		ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)	2,967	6%	94%	181	2,786
	(M)LC)		でのもの及いその混合物に限る) ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニ ルエーテル	26	3%	97%	1	25
		309	エーブル	49,565	3%	97%	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	47,907
			ホルムアルデヒド	7,059	82%	18%	5,798	1,262
			マンガン及びその化合物	54	96%	4%	52	2
			メタクリル酸メチル	1,556	95%	5%	1,480	76
			モリブデン及びその化合物	1,315	7%	93%	93	1,222
			亜鉛の水溶性化合物	5,505	53%	47%	2,916	2,589
		16	2-アミノエタノール	7,201	66%	34%	4,788	2,414
			直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び その塩(アルキル基の炭素数が10から 14までのもの及びその混合物に限る)	27	4%	96%	1	26
		25	アンチモン及びその化合物	689	98%	2%	675	14
		29	ビスフェノールA	1,194	30%	70%	354	840
		30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	2,303	97%	3%	2,232	70
		40	エチルベンゼン	337,958	100%	0%	337,932	26
		43	エチレングリコール	12,144	61%	39%	7,448	4,696
		44	エチレングリコールモノエチルエーテル	21,761	99%	1%	21,593	168
		63	キシレン	802,749	100%	0%	802,446	303
		64	銀及びその水溶性化合物	90	90%	10%	81	9
		68	クロム及び3価クロム化合物	191	75%	25%	144	47
		69	6価クロム化合物	1,142	59%	41%	673	469
			コバルト及びその化合物	555	26%	74%	142	413
		101	エチレングリコールモノエチルエーテル	24,161	100%	0%	24,150	11
		145	塩化メチレン	23,065	100%	0%	23,060	5
		166	ント	2	0%	100%	0	2
	輸送用機械		有機スズ化合物	444	98%	2%	436	8
3100	器具製造業		テトラクロロエチレン	4,349	100%	0%	4,349	0
	加入私色水	211	トリクロロエチレン	28,730	100%	0%	28,728	2
			1,3,5-トリメチルベンゼン	74,829	100%	0%		34
			トルエン	401,649	100%	0%	401,373	276
			鉛及びその化合物	122	100%	0%	121	0
[ニッケル	1,389	39%	61%	546	843
			ニッケル化合物	559	33%	67%	184	375
			ノニルフェノール	428	100%	0%	428	0
		243	バリウム及びその水溶性化合物	515	29%	71%	152	363
		251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム =クロリド	2		100%		2
			ヒドラジン	4,138	40%	60%	1,654	2,484
			フェノール	1,901	97%	3%	1,852	49
			フタル酸ジ-n-ブチル	934	97%	3%	904	30
[フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	4,147	100%	0%	4,142	5
			フタル酸-n-ブチル=ベンジル	291	100%	0%	290	1
			ふっ化水素及びその水溶性塩	27	11%	89%	3	24
		304	ほう素及びその化合物	982	10%	90%	102	880
		307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)	721	6%	94%	44	677
		308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニ ルエーテル	6	3%	97%	0	6

表 4-5 業種別・対象化学物質別・媒体別のすそ切り以下排出量推計結果(その11)

業種	業種名	物質	対象化学物質名	下排出量	((2)		そ切り以下排 E)=(E)×(c)
コード	3,77,2	番号		(kg/年) (E)=(a)+(b)	大気 等	公共 用水	大気等	公共用水域
	輸送用機械	309	エーアル	5,608	3%	97%		5,420
3100	器具製造業 (続き)		ホルムアルデヒド	6,707	82%	18%	5,509	1,199
	(称で)		マンガン及びその化合物 モリブデン及びその化合物	210 2,032	96% 7%	4% 93%	201 144	1,888
			アセトニトリル	379	96%	4%	365	1,000
			2-アミノエタノール	805	66%	34%	535	270
			直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び その塩(アルキル基の炭素数が10から 14までのもの及びその混合物に限る)	8	4%	96%		8
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂 エチルベンゼン	507	97%	3%	491	15
			エチレンオキシド	1,277 18,589	100% 85%	0% 15%	1,277 15,771	2,818
			エチレングリコール	5,707	61%	39%	3,500	2,207
			キシレン	3,696	100%	0%	3,695	1
		64	銀及びその水溶性化合物	43	90%	10%	39	4
		68	クロム及び3価クロム化合物	34	75%	25%	26	8
		69	6価クロム化合物	199	59%	41%	117	82
		145	塩化メチレン	73,856	100%	0%	73,841	15
		166	ント	0	0%			0
3200	精密機械器		テトラクロロエチレン	7,597	100%	0%	7,597	0
3200	具製造業	211	トリクロロエチレン	82,191	100%	0%	82,186	5
			1,3,5-トリメチルベンゼン	248	100%	0%	248	0
			トルエン	4,440 55	100% 100%	0% 0%	4,437 55	3
			鉛及びその化合物 ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム	55	100%	0%	55	0
		251	=クロリド	0		100%		0
		270	フタル酸ジ-n-ブチル	93	97%	3%	90	3
			ふっ化水素及びその水溶性塩	13	11%	89%		12
		304	ほう素及びその化合物	67	10%	90%	7	60
		307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)	172	6%	94%	10	161
		308	ルエーアル	2	3%	97%	0	2
		309	ポリ(オキシエチレン)= ノニルフェニル エーテル	1,123	3%	97%	38	1,086
			メタクリル酸メチル	2,070	95%	5%	1,969	101
			モリブデン及びその化合物	110	7%	93%	8	102
			アンチモン及びその化合物	528				11
			ビスフェノールA型エポキシ樹脂	1,165	97%	3%	1,129	36
		40	エチルベンゼンエチレンオキシド	693	100%	0%	693	0 E47
			エチレングリコール	3,611 13,186	85% 61%	15% 39%	3,064 8,087	547 5,099
			キシレン	3,889	100%	39% 0%	3,887	5,099
			銀及びその水溶性化合物	1,011	90%	10%	909	102
			クロム及び3価クロム化合物	393	75%	25%	296	96
			6価クロム化合物	580	59%	41%		238
	その他の製	108	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸 塩を除く)	2,053	99%	1%	2,030	24
3400	造業	145	塩化メチレン	2,963	100%	0%	2,962	1
	~= ~		トリクロロエチレン	1	100%	0%	1	0
			トルエン	67,190	100%	0%	67,144	46
			鉛及びその化合物	36	100%	0%	36	726
			ニッケル	1,213	39%	61%	476	736
			ニッケル化合物 フェノール	390 1,276	33% 97%	67% 3%	129 1,243	262 33
1	1	∠00	フェノール フタル酸ジ-n-ブチル	1,210	97%	3%	1,243	39
		970				J /0	1,1(1	1 55
		270 272	フタル酸ジョーファル			0%		2
		272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	1,951	100%	0% 89%	1,949	3,372
		272 283	フタル酸ジョローファル フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) ふっ化水素及びその水溶性塩 ほう素及びその化合物			0% 89% 90%	1,949 427	3,372 206

表 4-5 業種別・対象化学物質別・媒体別のすそ切り以下排出量推計結果(その12)

業種	We are to	物質	// // // // // // // // // // // // //	すそ切り以 下排出量	媒体別		大大、等 公共用が 50% 192 28 55% 488 8 80% 63 9 50% 134 20 33% 116 99% 365 23 0% 42 11% 54 3 73 0% 42 11% 54 3 73 0% 102 0% 102 0% 2 3 0% 592 0% 647 0% 1,927 39% 13,185 8,31 0% 27,237 0% 106,081 4 0% 5,721 0% 719,351 49 0% 719,351 49 0% 1,2075 42 0% 927 22,30 55% 2,521 45 10% 927 22,30 50% 592 0% 592 0% 647 0% 1,927 39% 13,185 8,31 0% 5,721 0% 106,081 4 0% 5,721 0% 112,075 42 0% 5,50 343,479 1 1 0% 5,50 39% 0 5,50 39% 0 5,50 39% 0 343,479 1 1 0% 5,50 39% 0 348,479 1 1 39% 0 348,479 1 1	
コード	業種名	番号	対象化学物質名	(kg/年) (E)=(a)+(b)	大気	公共 用水		公共用水域
3500	電気業	253	ヒドラジン	481	40%	60%	192	289
	ガス業		エチレンオキシド	575	85%	15%	488	87
3000	ルハ未	253	ヒドラジン	158	40%	60%		95
3700	熱供給業		ヒドラジン	336	40%	60%		202
0.00	MIN THE SEC	346	モリブデン及びその化合物	3	7%	93%		2
		30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	120	97%			4
			エチレングリコール	596	61%			230
		CO	キシレン 6価クロム化合物	42 91	100% 59%			38
		09	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメ	91	39%	41%	54	30
0000	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	120	タン	73	100%		73	
3900	鉄道業	145	塩化メチレン	43	100%	0%	43	0
			トルエン	102	100%	0%	102	0
			鉛及びその化合物	2	100%		2	0
		270	フタル酸ジ-n-ブチル	19	97%			1
			フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	60	100%			0
			モリブデン及びその化合物	32	7%	93%		30
	V + 710		キシレン	592	100%			0
4400	倉庫業		塩化メチレン	648	100%			0
<u> </u>	白制士加士	227	トルエン	1,928	100%	0%	1,927	1
5220	自動車卸売業		エチレングリコール	21,499	61%	39%		8,314
			エチルベンゼン	27,239	100%			2
			キシレン	106,121	100%			40
5930	燃料小売業		1,3,5-トリメチルベンゼン	5,723	100%			3
		227	トルエン	719,846	100%		719,351	495
		299	ベンゼン	112,503	100%	0%	112,075	429
		24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び その塩(アルキル基の炭素数が10から 14までのもの及びその混合物に限る)	23,234	4%	96%	927	22,307
			エチレンオキシド	2,972	85%	15%	2,521	450
			エチレングリコール	316	61%	39%	194	122
		145	塩化メチレン		100%	0%		
		166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド	52	0%	100%	0	52
		200	テトラクロロエチレン	343,494	100%	Ο%	343 479	15
7910	洗濯業		トリクロロエチレン	010,101	100%		010,113	10
1210	元催来		ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム	F F00	100%	0,0		F F00
		251	=クロリド	5,508		100%		
		283	ふっ化水素及びその水溶性塩	1	11%	89%	0	0
		0.07	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテ	45 441	COV	0.40/	0.770	40.671
		307	ル(アルキル基の炭素数が12から15ま でのもの及びその混合物に限る)	45,441	6%	94%	2,770	42,671
			ポリ(オキシェチレン)ーオクチルフェー					
		308	ルエーテル		3%	97%		
			ポリ(オキシェチレン)ー ノールフェール					
		309	エーテル	3,585	3%	97%	120	3,465
			直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び					
		24	その塩(アルキル基の炭素数が10から	45	4%	96%	2	43
			14までのもの及びその混合物に限る)					
			エチレンジアミン四酢酸	152		100%		152
		64	銀及びその水溶性化合物	10	90%	10%	9	1
		166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド		0%	100%		
7430	写真業	251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム			100%		
			=クロリト			_ 5 5 70		
		905	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテ	00	C0/	0.40	,	c.
		30 <i>1</i>	ル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)	69	6%	94%	4	65
			でのもの及びその混合物に限る) ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニ					
		308	ルエーテル	4	3%	97%	0	4
		309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル	2,908	3%	97%	97	2,811
		509	エーテル	۵,500	J/0	J 1 /0	91	4,011

表 4-5 業種別・対象化学物質別・媒体別のすそ切り以下排出量推計結果(その13)

業種	业任力	物質		すそ切り以 下排出量	媒体別(そ切り以下排 E)=(E)×(c)
コード	業種名	番号	対象化学物質名	(kg/年) (E)=(a)+(b)	大気	公共 用水	大気等	公共用水域
		40	エチルベンゼン	908,921	100%	0%	908,851	70
			エチレングリコール	2,014,207	61%	39%	1,235,297	778,910
			キシレン	3,966,653	100%	0%	3,965,156	1,496
7700	自動車整備		6価クロム化合物	30	59%	41%	18	12
1100	業	145	塩化メチレン	36,774	100%	0%	36,767	7
			1,3,5-トリメチルベンゼン	232,174	100%	0%	232,070	104
			トルエン	2,941,090	100%	0%	2,939,068	2,022
			鉛及びその化合物	3	100%	0%	3	0
			エチレングリコールキシレン	13,324	61%	39% 0%	8,172	5,153
7810	機械修理業		塩化メチレン	0	100% 100%	0%	0	0
1010			トルエン	0	100%	0%	0	0
			鉛及びその化合物	1	100%	0%	1	0
		12	アセトニトリル	69	96%	4%	67	3
		43	エチレングリコール	22	61%	39%	13	8
		95	クロロホルム	35	93%	7%	33	3
			塩化メチレン	43	100%	0%	43	0
8620	商品検査業	172	N,N-ジメチルホルムアミド	408	97%	3%	394	14
5520	四四次县禾		トリクロロエチレン	20	100%	0%	20	0
			鉛及びその化合物	1	100%	0%	1	0
			ヒドロキノン	13	4%	96%	0	13
			フェノール ほう素及びその化合物	1 1	97% 10%	3% 90%	1 0	0
			アセトニトリル	121	96%	90% 4%	117	4
			エチレンオキシド	146	85%	15%	124	22
			銀及びその水溶性化合物	140	90%	10%	124	0
			クロロホルム	97	93%	7%	90	7
			1,2-ジクロロエタン	13	99%	1%	13	0
		145	塩化メチレン	495	100%	0%	495	0
		172	N,N-ジメチルホルムアミド	77	97%	3%	74	3
8630	計量証明業	211	トリクロロエチレン	234	100%	0%	234	0
			二硫化炭素	17	98%	2%	16	0
			ピリジン	2	23%	77%	0	1
			フェノール	1	97%	3%	1	0
			ふっ化水素及びその水溶性塩	0	11%	89% 90%	0	0
		304	ほう素及びその化合物 ホルムアルデヒド	16	10% 82%	18%	13	3
			マンガン及びその化合物	0	96%	4%	0	0
			亜鉛の水溶性化合物	6	53%	47%	3	3
			アクリルアミド	23	95%	5%	22	1
			アセトニトリル	1,664	96%	4%	1,603	60
			アニリン	0	22%	78%	0	0
			2-アミノエタノール	6	66%	34%	4	2
		42	エチレンオキシド	5,455	85%	15%	4,628	827
		43	エチレングリコール	509	61%	39%	312	197
			エチレングリコールモノメチルエーテル	58	98%	2%	57	1
			エチレンジアミン	2	6%	94%	0	2
			エチレンジアミン四酢酸	9	0.00	100%	•	9
			銀及びその水溶性化合物 グルタルアルデヒド	3	90%	10%	3	0
	高等教育機		クルタルアルテヒト クロム及び3価クロム化合物	66	82% 75%	18% 25%	54 0	12
9140	関		6価クロム化合物	5	59%	41%	3	2
			クロロベンゼン	241	99%	1%	237	3
		95	クロロホルム	3,330	93%	7%	3,093	237
		100	コバルト及びその化合物	4	26%	74%	1	3
		102	酢酸ビニル	4	97%	3%	4	0
		113	1,4-ジオキサン	287	49%	51%	142	145
		116	1,2-ジクロロエタン	272	99%	1%	270	3
			o-ジクロロベンゼン	68	99%	1%	68	1
			塩化メチレン	178	100%	0%	178	0
			N,N-ジメチルホルムアミド	3,464	97%	3%	3,344	120
			水銀及びその化合物	5	98%	2%	5	0
	i l	207	銅水溶性塩(錯塩を除く)	5	36%	64%	2	3
			トリクロロエチレン	116	100%	0%	116	0

表 4-5 業種別・対象化学物質別・媒体別のすそ切り以下排出量推計結果(その14)

業種	業種名	物質	対象化学物質名	下排出量	(0	;)		そ切り以下排 :)=(E)×(c)
コード	八庄石	番号		(kg/年) (E)=(a)+(b)	,	公共 用水	大気等	公共用水域
			鉛及びその化合物	0	100%	0%	0	0
		232	ニッケル化合物	2	33%	67%	1	1
	_	241	二硫化炭素	25	98%	2%	24	1
	_		バリウム及びその水溶性化合物	9	29%	71%	3	6
	-		ヒドラジン	36	40%	60%	14	21
9140	高等教育機		ピリジン フェノール	20	23% 97%	77% 3%	5 41	15
9140	関(続き)		フェノール ふっ化水素及びその水溶性塩	42	11%	89%	0	1 0
	•		ほう素及びその化合物	4	10%	90%	0	4
	-		ホルムアルデヒド	3,796	82%	18%	3,118	678
	•		マンガン及びその化合物	0,190	96%	4%	0,110	0/8
	-	320	メタクリル酸メチル	88	95%	5%	84	4
			モリブデン及びその化合物	4	7%	93%	0	4
			亜鉛の水溶性化合物	22	53%	47%	12	10
			アクリルアミド	10	95%	5%	10	1
		12	アセトニトリル	3,500	96%	4%	3,374	127
			アニリン	0	22%	78%	0	0
		16	2-アミノエタノール	118	66%	34%	79	40
		25	アンチモン及びその化合物	3	98%	2%	3	0
			エチレンオキシド	295	85%	15%	250	45
		43	エチレングリコール	499	61%	39%	306	193
			エチレングリコールモノエチルエーテル	56	99%	1%	55	0
			エチレングリコールモノメチルエーテル	155	98%	2%	151	3
	_		エチレンジアミン	2	6%	94%	0	1
			1-オクタノール	8	95%	5%	8	0
		64	銀及びその水溶性化合物	6	90%	10%	6	1
		67	クレゾール	6	58%	42%	3	2
		68	クロム及び3価クロム化合物	1	75%	25%	0	0
			6価クロム化合物	4	59%	41%	2	2
	-		クロロベンゼン	420	99%	1%		6
	-		クロロホルム	2,868	93%	7%	2,664	204
	自然科学研		コバルト及びその化合物 1,4-ジオキサン	10	26% 49%	74%	2	7
9210	百 然 件 子 妍 究 所		1,2-ジクロロエタン	519 271	99%	51% 1%	257 268	262 3
	九刀		0-ジクロロベンゼン	129	99%	1%	128	<u> </u>
	-		塩化メチレン	132	100%	0%	132	0
		140	風化グノレン N,N-ジメチルホルムアミド	15,561	97%	3%	15,023	538
		175	水銀及びその化合物	6		2%		0
	-		銅水溶性塩(錯塩を除く)	3	36%	64%	1	2
	-		トリクロロエチレン	66	100%	0%	66	0
			鉛及びその化合物	1	100%	0%	1	0
			ニッケル	16	39%	61%	6	10
			ニッケル化合物	4	33%	67%	1	3
	ľ		二硫化炭素	202	98%	2%	198	4
	ļ		バリウム及びその水溶性化合物	6	29%	71%	2	4
			ヒドラジン	505	40%	60%	202	303
			ピリジン	23	23%	77%	5	18
			フェノール	20	97%	3%	20	1
			ふっ化水素及びその水溶性塩	4	11%	89%	0	3
			ほう素及びその化合物	8	10%	90%	1	7
			ホルムアルデヒド	3,520	82%	18%	2,890	629
		311	マンガン及びその化合物	1	96%	4%	1	0
		346	モリブデン及びその化合物	11	7%	93%	1	10

注:「すそ切り以下排出量」の欄には、以下の2種類の排出量を示す。

(a):「排出源別排出量推計方法」で推計された全国のすそ切り以下排出量

(b):「平均取扱量等に基づく推計方法」で推計された全国のすそ切り以下排出量

(d)「工場」等に該当する民営事業所数

公共用水域以外(「大気等」と表記)への排出量は、業種ごとに都道府県別事業所数に比例して配分することとする。その際、事業所形態が「工場」等に該当する事業所だけを対象とするため、平成18年事業所・企業統計調査(総務省)における都道府県別・業種中分類別の民営事業所数を配分指標として採用する。

具体的には、業種中分類ごとに以下の式によって都道府県別構成比を算出して 大気等に係る配分指標とする。

都道府県別構成比(大気等) = $\frac{3 \times 1}{2 \times 1}$ $\frac{3 \times 1}$

このような「工場」等に該当する民営事業所数は業種中分類ごとにしか把握できないため、洗濯業等の業種は、当該業種を含む業種中分類全体の事業所数で代用した(表 4-6)。以上の方法で設定した都道府県別・業種中分類別の「工場」等に該当する民営事業所数を表 4-7 に示す。

表 4-6「工場」等に該当する民営事業所数の設定で代用した業種

	推計対象の業種	代用した業種				
業種 コード	業種名	業種 コード	業種名			
	金属鉱業 原油・天然ガス鉱業	05	鉱業			
3300	武器製造業	32	その他製造業			
3830	下水道業	36	水道業			
	石油卸売業 鉄スクラップ卸売業	52	建築材料、鉱物·金属材料等 卸売業			
5220	自動車卸売業 ※自動車用エアコンディショナーに封入された物質を 取り扱う場合に限る。	53	機械器具卸売業			
5930	燃料小売業	60	その他の小売業			
7210	洗濯業	82	洗濯·理容·美容·浴場業			
7430	写真業	83	その他の生活関連サービス業			
8620 8630	商品検査業 計量証明業 ※一般計量証明業を除く。	90	その他の事業サービス業			
8716	一般廃棄物処理業 ※ごみ処分業に限る。	85	廃棄物処理業			
8722	産業廃棄物処分業 ※特別管理産業廃棄物処分業を含む。					
9140	高等教育機関 ※付属施設を含み、人文科学のみに係るものを除く。	76	学校教育			
9210	自然科学研究所	81	学術•開発研究機関			

注:網がけの部分は平成20年度排出量で推計の対象外の業種を示す。

表 4-7 都道府県別・業種中分類別の「工場」等に該当する民営事業所数(その1)

		1200	1300	1400	1500	1600	1700	1800	1900	2000	2100	2200	2300
都道府県コード	都道府県 名	食料品製造業	飲料・たばご・飼 料製造業	繊維工業	衣服・その他の 繊維製品製造業	木材·木製品製造業	家具•装備品製 造業	パルプ・紙・紙加工品製造業	出版・印刷・同関連産業	化学工業	石油製品•石炭 製品製造業	プラスチック製 品製造業	ゴム製品製造業
		2,199	182	39	216	546	739	111	520	94	38	184	21
	青森県	503	80	10	204	182	242	35	117	17	16	29	6
3	岩手県	667	78	21	258	270	200	43	140	34	20	98	13
4	宮城県	899	82	22	237	211	337	110	301	53	19	150	35
	秋田県	477	49	12	512	337	315	27	133	18	20	51	21
6	山形県	556	101	202	401	216	396	70	152	39	16	109	23
7	福島県	676	75	127	692	372	410	123	213	110	19	260	68
	茨城県 栃木県	955	126	93	497 825	324	381	192	292	203	22	719 724	166
9	群馬県	508 603	80 64	448 595	825	356 252	496 526	166 162	286 355	91 105	23 14	732	130 80
11	埼玉県	1,140	123	194	1,089	386	1,385	920	1,876	507	47	1,863	470
12	千葉県	1,117	108	46	376	215	339	207	383	283	47	515	174
13	東京都	1,160	65	332	1,885	411	1,229	1,395	6,043	343	28	2,057	721
14	神奈川県	817	68	124	243	168	486	325	703	315	34	915	100
15	新潟県	890	88	502	669	367	706	187	337	72	30	341	35
16	富山県	430	44	142	181	227	258	117	179	103	12	267	18
17	石川県	404	35	1,655	203	219	375	104	220	43	8	169	23
18	福井県	309	34	1,250	366	205	213	156	207	69	8	210	13
19	山梨県	276	96	467	214	99	228	89	150	37	8	311	29
20	長野県	823	124	56	203	368	622	159	462	66	26	468	44
21	岐阜県	710	115	809	1,427	632	962	411	482	121	12	698	197
22	静岡県	1,604	853	822	319	750	1,364	736	694	215	30	1,025	272
23	愛知県	1,767	201	3,392	1,576	785	1,985	867	1,386	340	56	2,342	471
24	三重県	688	213	139	214	473	334	126	194	139	13	282	118
	滋賀県	247	51	487	336	165	218	126	134	101	14	325	22
26	京都府	564	143	3,087	481	255	444	282	608	138	13	302	15
27	大阪府	1,153	67	1,254	2,746	545	1,368	1,500	3,128	815	52	2,761	705
28	兵庫県	1,810	158	782	738	470	555	333	555	346	41	579	741
29	奈良県	323	51	219	763	698	173	131	141	93	7	468	116
30	和歌山県	427	37	428	361	328	417	44	130	74	11	123	21
31	鳥取県 島根県	220 391	37 72	11 12	145 221	84 172	91 148	57 51	43 75	5 9	5 14	31 29	14 13
33	岡山県	449	104	320	822	200	280	112	255	125	24	237	91
34	広島県	821	98	130	838	405	559	158	335	107	26	294	93
35	山口県	518	52	12	133	148	202	46	98	99	23	76	22
36	徳島県	413	44	30	217	262	409	38	102	46	6	39	24
	香川県	650	19	33	280	132	263	94	157	39	9	124	9
	愛媛県	573	52	142	555	221	211	275	178	57	8	99	14
	高知県	349	56	13	98	202	115	93	77	22	4	35	2
	福岡県	1,114	147	112	347	442	1,218	167	545	129	29	289	64
41	佐賀県	365	60	9	117	97	165	44	69	38	8	73	20
	長崎県	992	55	22	170	76	127	21	100	19	7	29	5
	熊本県	536	134	37	220	269	225	38	148	39	19	109	16
	大分県	482	75	15	106	346	230	34	125	34	10	75	20
	宮崎県	443	162	26	135	259	297	23	130	34	9	63	17
	鹿児島県	884	666	188	114	241	293	33	160	36	14	34	6
	沖縄県	637	132	136	56	26	171	12	186	43	11	28	3
	合計	34,539	5,556	19,004	23,693	14,414	22,707	10,550	23,304	5,865	930	20,741	5,301

表 4-7 都道府県別・業種中分類別の「工場」等に該当する民営事業所数(その2)

		2400	2500	2600	2700	2800	2900	3000	3100	3200	3400	3500	3600
都道 府県 コード	都道府県名	なめし革・同製 品・毛皮製造業	窯業•土石製品 製造業	鉄鋼業	非鉄金属製造業	金属製品製造業	一般機械器具製 造業	電気機械器具製 造業	輸送用機械器具 製造業	精密機械器具製 造業	その他の製造業	電気業	ガス業
1	北海道	24	496	99	20	955	473	150	210	27	341	15	3
2	青森県	5	124	26	17	217	79	160	63	37	169	3	1
	岩手県	34	184	82	28	310	279	315	97	55	130	1	1
	宮城県	12	175	44	44	439	396	384	159	65	295	2	
	秋田県	79	133	26	22	274	248	287	58	58	155	1	2
	山形県	64	169	65	61	512	643	551	193	91	223	4	3
	福島県	82	420	70	72	625	633	850	199	209	351	8	4
	茨城県	94	1,019	135	149	1,369	1,174	886	459	197	430	6	1
	栃木県	64	479	92	104	1,177	1,133	609	529	279	388	2	
	群馬県	30	264	131	118	1,629	1,676	1,055	1,168	136	434	1	
	埼玉県	382	595	398	535	4,790	4,304	1,950	1,449	876	1,553	4	4
12		143	329	353	119	1,608	1,166	476	256	178	533	10	5
	東京都	1,701	501	332	309	6,888	5,333	2,852	1,002	1,403	2,278	5	3
	神奈川県	21	309	193	222	3,083	3,330	2,022	1,116	410	623	8	4
	新潟県	31	303	178	83	3,532	1,537	617	242	147	326	4	4
	富山県	8	167	58	149	880	668	282	130	15	183	7	3
17	石川県	6	307	77	35	613	1,025	255	97	18	450		1
	福井県	5	165	30	34	372	388	194	47	648	321	6	
	山梨県	18	146	23	70	389	496	554	168	144	491	2	
	長野県	33	276	83	145	1,106	1,964	1,653	452	693	406	7	2
	岐阜県	34	2,214	122	130	1,898	1,627	477	688	48	359	4	2
	静岡県	36	350	184	239	2,375	2,863	1,247	2,288	152	970	7	4
	愛知県	111	2,016	746	354	5,454	6,574	1,578	3,337	311	1,289	11	8
24	三重県	11	523	155	82	884	887	625	558	35	283	5	6
	滋賀県	18	396	54	54	561	651	372	137	64	210	2	2
	京都府	58	363	86	79	952	1,020	596	198	223	341	4	2
27	大阪府	609	611	1,039	566	9,493	7,868	2,173	1,168	506	1,650	9	5
	兵庫県	717	602	340	194	2,685	2,427	958	869	132	679	12	2
	奈良県	92	128	57	36	347	280	96	70	16	247	6	_
	和歌山県 鳥取県	26	104	57	10	300	250	47	68	17	280	3	
31		2	74	12	4	125	133	214	25	6	36	2	
32	島根県 岡山県	5 25	181 404	36 106	6 65	160 608	206 691	92 260	81 434	13 26	287	3	2
	広島県	10	251	200	87	1,439	1,439	385	828	53	420	6	4
	山口県	4	215	67	13	300	292	108	222	13	116	6	2
	徳島県	14	107	15	5	195	203	71	49	12	97		1
	香川県	122	389	46	22	402	360	99	117	17	202	1	1
	愛媛県	5	315	50	15	328	407	137	172	14	147	9	1
	高知県	10	120	26	2	265	178	43	51	9	103	1	1
	福岡県	25	433	165	54	1,160	1,103	416	196	42	595	7	7
	佐賀県	7	508	20	13	206	207	114	61	6	111	4	_
	長崎県	- '	554	35	6	287	130	67	229	13	121	4	1
	熊本県	6	220	35	15	289	200	191	163	14	188	4	2
	大分県	3	196	18	18	210	154	149	142	20	161	3	2
	宮崎県	1	152	13	8	183	135	81	59	28	119	5	1
	鹿児島県	4	272	6	4	277	163	149	71	21	242	11	4
	沖縄県	3	236	7	2	360	20	13	29	9	174	5	<u> </u>
	合計	4,794		6,192	4,419	62,511		26,860		7,506	19,571	238	101

表 4-7 都道府県別・業種中分類別の「工場」等に該当する民営事業所数(その3)

		3700	3900	4400	5220	5930	7210	7430	7700	7810	8620	8630	9140	9210	
都道府県コード	都道府県名	熱供給業	鉄道業	倉庫業	自動車卸売業	燃料小売業	洗濯業	写真業	自動車整備業	機械修理業	商品検査業	計量証明業	高等教育機関	自然科学研究所	合計
1	北海道	5	31	72	251	13,844	317	104	2,704	765	253	253	869	72	27,242
	青森県		12	38	50	4,167	71	319	981	217	47	47	200	3	8,494
	岩手県		11	13	69	4,187	123	71	802	184	110	110	164	15	9,217
	宮城県		12	57	124	6,536	149	32	1,150	243	128	128	375	40	13,445
	秋田県		6	8	42	3,623	89	58	663	160	95	95	131	7	8,292
	山形県		2	18	72	3,749	95	28	650	158	106	106	161	12	10,017
	福島県	3	10	6	86	6,199	126	68	1,326	179	160	160	258	11	15,260
	茨城県	2	13	67	129	7,810	160	95	1,988	208	181	181	329	135	21,187
	栃木県 群馬県		16 15	25 35	121 114	5,782 5,592	138 148	46 35	1,348 1,272	189 196	198 148	198 148	307 265	38 22	17,395 19,007
	埼玉県		67	161	465	14,129	367	95	3,444	537	519	519	872	67	48,082
	千葉県	2	47	102	217	12,310	289	52	2,200	363	253	253	704	78	25,856
	東京都	7	83	143	701	33,770	613	206	2,743	666	768	768	2,277	130	81,151
	神奈川県	1	238	146	424	16,633	407	53	1,958	507	357	357	1,102	123	37,945
	新潟県	1	29	22	192	7,229	200	43	1,184	286	252	252	254	21	21,192
	富山県		10	22	75	3,540	81	17	646	146	95	95	128	17	9,400
	石川県		4	11	106	3,503	105	17	606	159	83	83	146	19	11,184
	福井県		6	13	82	2,664	69	11	393	115	104	104	91	16	8,918
	山梨県		8	4	51	2,907	71	28	847	70	84	84	125	20	8,804
20	長野県	1	20	20	126	6,687	179	69	1,108	178	136	136	235	36	19,172
21	岐阜県		21	28	143	6,366	177	43	1,113	220	458	458	209	28	23,443
	静岡県	1	32	154	253	10,898	277	72	2,179	411	298	298	479	67	34,818
23	愛知県		78	253	800	17,912	521	104	3,469	785	640	640	879	77	63,115
24			24	28	101	5,446	96	27	1,118	233	123	123	190	16	14,512
	滋賀県		17	36	72	3,349	93	10	408	82	103	103	81	33	9,134
	京都府		11	36	135	7,638	181	29	828	134	107	107	387	54	19,901
	大阪府	2	138	275	807	22,762	466	147	3,125	709	674	674	1,064	70	72,704
	兵庫県	3	19	136	275	15,003	330	94	1,840	383	315	315	582	60	36,080
	奈良県		4	9	36	3,712	86	10	627	53	44	44	138	4	9,325
	和歌山県	1	5	10	46	4,092	74	22	828	117	49	49	114	14	8,984
31	鳥取県 島根県		2	16 5	28 38	2,072	61 56	16 32	290 287	59 95	38 54	38 54	76 62	10 16	4,082
	岡山県		4	21	118	2,464 5,488	103	28	887	166	186	186	165	28	5,218 13,310
	広島県		9	40	205	8,766	208	51	914	292	205	205	436	37	20,354
	山口県	1	J	14	63	4,834	87	31	485	147	86	86	249	17	8,887
	徳島県		5	8	39	2,909	47	20	641	89	38	38	60	16	6,314
	香川県		9	19	58	3,295	69	14	515	122	65	65	119	16	7,953
	愛媛県		6	21	80	4,621	76	33	773	152	98	98	178	5	10,126
	高知県		1	4	25	2,917	56	26	558	75	36	36	98	9	5,716
	福岡県		29	89	302	13,723	305	141	2,474	366	221	221	832	35	27,544
	佐賀県		5	10	48	2,785	69	51	589	91	29	29	154	12	6,194
	長崎県		8	18	80	4,632	103	74	800	191	78	78	242	10	9,384
	熊本県		6	22	85	5,167	106	124	1,204	185	101	101	218	21	10,457
	大分県		8	14	53	3,966	87	73	810	128	67	67	159	12	8,072
	宮崎県		3	8	54	3,801	95	184	1,021	169	103	103	200	10	8,134
	鹿児島県		3	21	102	5,475	111	330	1,219	214	90	90	278	25	11,851
47	沖縄県		11	1	54	4,102	106		1,141	180	49	49	136	25	8,249
	合計	29	1,099	2,279	7,597	343,056	7,843	3,329	58,156	11,374	8,432	8,432	16,778	1,609	885,121

(e) 下水道普及率

公共用水域への排出量は、業種ごとに都道府県別事業所数と(1-下水道普及率)の両方に比例すると仮定して配分することとする。具体的には、業種中分類ごとに以下の式によって都道府県別構成比を算出して公共用水域に係る配分指標とする。

都道府県別構成比 (公共用水域)

都道府県ごとの下水道普及率は人口ベースの値として使われる場合が多いが、 すそ切り以下事業所の分布と人口の分布には大きな差があると考えられるため、別 の定義による下水道普及率の値を採用することが必要と考えられる。すそ切り以下 事業所の場合、下水道計画区域外に立地する事業所は少ないと考えられ、下水道 整備区域であれば自社処理等を行わない(=下水道に接続する)ケースが多いと考 えられるため、下水道事業者ごとの予定処理面積(ha)や処理区域面積(ha)が「下 水道普及率」を定義するための適当な指標と考えられる。

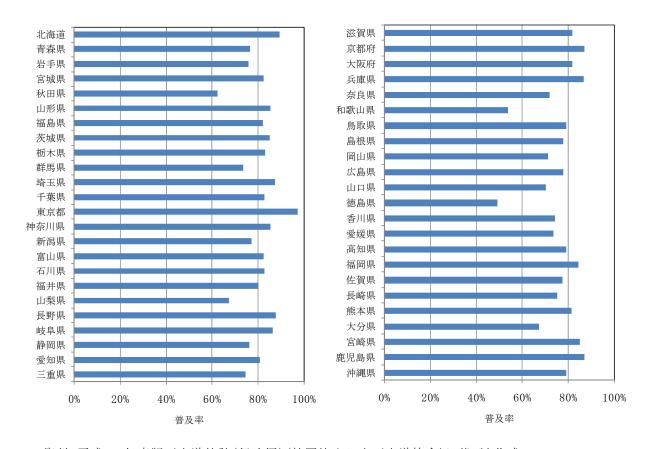
したがって、平成 20 年度排出量の推計においては、前年度末時点における処理 区域面積等のデータを使って以下のとおり「下水道普及率」を定義し、その都道府 県別の値を採用することとする(表 4-8)。

下水道普及率(%) = $\frac{$ 処理区域面積($\frac{ha}{ha}$ × $\frac{100}{ha}$

表 4-8 面積ベースの下水道普及率の算出結果(平成 19 年度末)

	4124	ト垣日及平り昇		
都道府	都道府県名	予定処理 面積(ha)	処理区域 面積(ha)	面積ベース 普及率
県コード	마시크 /13 /11/1	面傾 (na) (a)	面傾 (lia) (b)	=(b)/(a)
1	北海道	131,115	116,901	89.2%
2	青森県	23,799	18,123	76.2%
3	岩手県	25,343	19,186	75.7%
4	宮城県	48,565	39,899	82.2%
5	秋田県	28,669	17,867	62.3%
6	山形県	28,766	24,469	85.1%
7	福島県	30,240	24,782	82.0%
8	茨城県	65,309	55,497	85.0%
9	栃木県	36,301	30,121	83.0%
10	群馬県	32,389	23,779	73.4%
11	埼玉県	73,864	64,425	87.2%
12	千葉県	65,819	54,261	82.4%
13	東京都	107,193	104,070	97.1%
14	神奈川県	102,290	87,009	85.1%
15	新潟県	51,602	39,735	77.0%
16	富山県	28,386	23,326	82.2%
17	石川県	25,858	21,336	82.5%
18	福井県	19,847	15,887	80.0%
19	山梨県	22,501	15,086	67.0%
20	長野県	63,218	55,254	87.4%
21	岐阜県	43,886	37,759	86.0%
22	静岡県	53,740	40,755	75.8%
23	愛知県	93,391	75,301	80.6%
24	三重県	25,827	19,178	74.3%
25	滋賀県	36,930	30,169	81.7%
26	京都府	36,179	31,464	87.0%
27	大阪府	93,965	76,567	81.5%
28	兵庫県	98,867	85,517	86.5%
29	奈良県	24,548	17,610	71.7%
30	和歌山県	6,614	3,541	53.5%
31	鳥取県	12,393	9,795	79.0%
32	島根県	11,887	9,238	77.7%
33	岡山県	37,629	26,700	71.0%
34	広島県	42,016	32,590	77.6%
35 36	山口県 徳島県	30,283 3,889	21,233	70.1%
37	徳島県 香川県	14,094	1,903 10,446	48.9% 74.1%
38	愛媛県	18,386	13,472	73.3%
39	直知県 高知県	5,449	4,300	78.9%
40	福岡県	70,502	59,308	84.1%
41		13,109	10,144	77.4%
42	- 長崎県	19,429	14,560	74.9%
43	熊本県	29,489	23,978	81.3%
44	大分県	17,687	11,866	67.1%
45	宮崎県	16,598	14,080	84.8%
46	鹿児島県	14,135	12,283	86.9%
47	沖縄県	22,408	17,718	79.1%
合		1,904,404	1,562,489	82.0%
	下水道統計(行政			

資料:平成19年度版下水道統計(行政編)(社団法人日本下水道協会)に基づき作成注:処理区域面積等は公共下水道(単独及び流域関連)の集計値で、流域下水道は重複するため除外した。



資料:平成19年度版下水道統計(行政編)(社団法人日本下水道協会)に基づき作成 図 4-2 都道府県別の面積ベースの下水道普及率(平成19年度末)

第5章 推計方法に係る課題の検討

5-1 平成 20 年度排出量推計方法の検討

5-1-1 主な課題とその対応方針

平成 20 年度排出量の推計における課題と検討会にて審議した対応方針等は次の通りである。網掛けの箇所は平成 20 年度排出量の推計において対応した内容である。

表 5-1 「排出源別排出量推計方法」に係る主な課題

	課題	対応方針(案)
1	塗料等に係る推計対 象物質の追加(例:スチ レン)	ア 現状は業界団体等からデータを得ることが困難である。 イ 用途に基づく新たな推計方法が採用されれば改善できる見込み。
2	塗料における標準組成 やシンナー希釈率の年 度による変化	過去3年間くらいの値を示した上で業界団体と協議する。
3	接着剤等における業種 配分の適正化	ア 接着剤は現行の方法(接着剤種類別の出荷量と溶剤 含有率による配分方法)と取扱量調査の結果で単純に 配分する方法との比較した結果、後者を採用する。 イ 界面活性剤については一部の需要分野について業 種配分を修正
4	平均排出率の設定の 適正化	ア 工業用洗浄剤については業種(又は用途)による差異を考慮する必要性を指摘されているが、物質別のデータ数としても多くないこと、現在の用途情報の精度が十分でないことから、さらに業種別(又は用途別)に細分化することは当面見合わせることとする。 イ 取扱量調査に基づき算出される平均排出率を業界団体等の設定値があるものについては比較し、不整合がある場合はその原因について情報収集を行う。
(5)	全国出荷量等の精度 向上 (ゴム溶剤等)	ア 現状は改善策を得るのが困難であるため、情報収集に努める。イ 用途に基づく新たな推計方法が採用された場合には、その方法にシフトする可能性を検討する。
6	排出源の追加 (例:洗浄用シンナーの トルエン、キシレン等)	ア 現状は業界団体等からデータを得ることが困難である。 イ 用途に基づく新たな推計方法が採用されれば改善で きる見込み。
7	排出率指数*の設定の 適正化 ※「21 人未満の割合」の推 計に必要なパラメータ	取扱量調査等において、平均排出率の設定に利用可能 なデータを 21 人未満の事業者を含めて収集に努める。 ※平成 19 年度実績調査では 21 人未満の事業者データを多 く含む

表 5-2 「平均取扱量等に基づく排出量推計方法」に係る主な課題

	課題	寺に巻う、併山里推司刀伝」に依る土な味趣
-		対応方針(案)
		ア主要な対象化学物質の届出相当排出量を算出し、
		実際の届出排出量と比較を行い、不整合がある場
(1)	届出排出量との整合の	合はその原因を探る。
	検証	イ 上記「ア」で著しい乖離が見られる場合、その原因と
		なったパラメータ(例:「平均取扱量」、「平均排出
		率」)を特定する。
		ア 過去の取扱量調査の事業所別データに立ち返り、
		用途等から判断して異常と認められるデータを削除
2	平均排出率の妥当性の	(又は修正)*するための判断基準を再検討する。
	検証	イ すそ切り以下事業者(特に 21 人未満の事業者)に
		係るデータの収集に努める。
		※修正や削除を行うために事業者に照会するか要検討
		「年間取扱量1t未満の割合」は、現状では「非製造業」
		等の業種グループごとに設定しているが、同じ業種グル
		ープ内での業種による差を考慮する必要性を検討す
		る。
		例:同じトルエンでも、燃料小売業と自動車整備業では取扱量
		の分布に大きな差がある可能性が高い。
	パラメータ設定区分の妥	経年的な変化が大きくないと考えられるパラメータにつ
3	当性の検証	いては、過去2年間のデータだけで設定する代わりに、
		さらに長い期間(例:過去5年間)の取扱量調査のデー
		タを使って平均値等を設定する。
		業種別・対象化学物質別に細かくパラメータを設定す
		る代わりに、対象化学物質の用途等に応じてグループ
		化してパラメータを設定する可能性を、新たな推計方法
		の一つとして検討する。
		ア 化学物質取扱比率の設定に当たり、「工場・作業
		所数 の設問の回答が未回答の事業者が全体の
		約1/3である。従来は未回答の事業者の「工場・作
		業所数 はカウントしていなかったが、未回答分に
4	化学物質取扱比率の設	ついても回答のあった事業者の平均値として設定
	定	する。
		・・,る。 イ 取扱量調査にて「対象化学物質の取扱がない」と
		電話のみの回答が得られている場合もあり、それら
		を上記アと同様に補正する。
		(工品/乙円塚に開上9分。

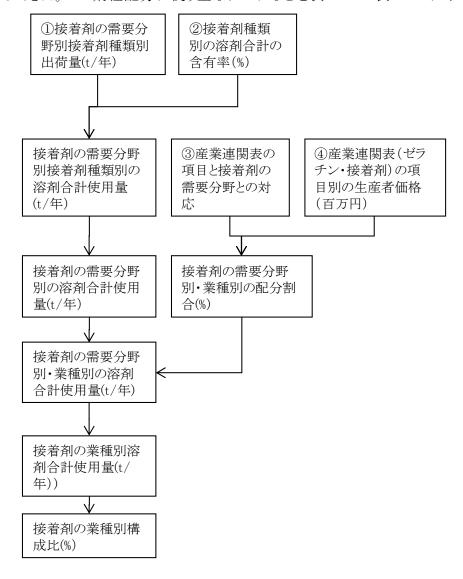
5-1-2 課題別の対応方針の内容

前述、表 5-1 及び表 5-2 に示す、平成 20 年度排出量にて対応した課題(網掛けの項目)について、具体的な内容を以下に示す。

(1) 接着剤における業種配分の方法の変更

① 従来の業種配分の方法

接着剤に係るすそ切り以下排出量(日本接着剤工業会を情報源とするポリエチレンラミネート用を除く接着剤に由来するトルエン・キシレン排出量、及びクロロカーボン衛生協会を情報源とする接着剤用の塩化メチレン排出量)は、業界団体による需要分野別の全国出荷量をベースとして、その業種との対応関係を仮定して業種に配分する方法を採用してきた。この業種配分に使う主なデータなどを表 5-3~表 5-6 に示す。



注:接着剤等の排出量は複数の情報源に基づくが、本フロー図は日本接着剤工業会等から公表される排出量を業種配分する手法である。

図 5-1 接着剤に係るすそ切り以下排出量の業種への配分方法(従来の方法)

表 5-3 接着剤種類別・需要分野別全国出荷量及び接着剤種類別溶剤含有率(平成20年度排出量推計用)

		平成20年の全国出荷量(t/年)																	
	接着剤種類	合板	二次合板	木工	建築(工場生産 用)	製本	ラミネート	包装	紙管	繊維	フロック加工	自動車	その也輸送機	靴 · 履物	ゴム製品	電機	その他	合計	溶剤 含有 率
	脂系接着剤	7,115		302	69				2							2		72,917	2%
	<u> </u>	71,302	4,302	473	610				13	311	7							78,011	8%
		98,289		2,715								997			43	10		106,163	2%
	酢酸ビニル樹脂系溶剤形接着剤			25	243		16					1				1	228		25%
溶剤系	その他の樹脂系溶剤形接着剤	2		1	1,424		386	,		937		399	211	266	26			11,036	70%
接着剤	CR系溶剤形接着剤	20		3,193	951		108	47		3		715	415		179	117	894	7,687	75%
12/11	その他の合成ゴム系溶剤形接着剤			1,549	929		110	9		64		2,374		69	81	96			70%
	天然ゴム系溶剤形接着剤			10	18							2		573	20	8	106	737	70%
	酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形接 着剤	1,062	5,260	15,630	2,674	470	1,515	18,228	19,437	372	12	1		1			3,234	67,896	
	酢酸ビニル共重合樹脂系エマルジョン形接着剤	7	878	1,555	957	45	108	2,266	153	86	8						965	7,028	
	EVA樹脂系エマルジョン形接着剤	2,025	7,230	261	1,247	341	2,468	5,799	1,408	246	71	219				7	6,078	27,400	3%
水性系 接着剤	アクリル樹脂系エマルジョン形接着剤		237	361	1,653	3	4,401	1,099	47	14,677	212	7,452	10			4	19,323	49,479	2%
1女 有 判	その他の樹脂系エマルジョン形接着剤	1	615	1,834	997		388	1,910	1,483	296	44	181				10	634	8,393	2%
	水性高分子・イソシアネート系接着 剤	23	814	5,640	9,992					58								16,527	
	合成ゴム系ラテックス形接着剤	88	2,472	829			81	212				89	2	11	77		150		4%
	その他の水溶性形接着剤		569	753	85	8			20	264				84			946		
	EVA樹脂系ホットメルト形接着剤	1,402	48	1,053				22,076	1	19		145		1	10	120		42,196	
ルト形	合成ゴム系ホットメルト形接着剤		2	20		25		1,305		36,264		3,954	223		1	696		48,280	
接着剤	その他のホットメルト形接着剤	86	72		2,035	23		0,001		4,420		1,395		5	26	431		15,084	
	エポキシ樹脂系接着剤	100	25		3,382		73	2			66	2,368				449			
反応形	シアノアクリレート系接着剤		1	82	602							156		3	5	72	376		
接着剤	ポリウレタン系接着剤	222	230	300	6,101			60	3	307	2	1,311	978	76	71	334		14,898	60%
12.071	アクリル樹脂系接着剤				18							21	55			59	244	397	
7 0 11.1	その他の反応型接着剤	6	0	1	1,308		391			4		23			137	206	245		
その他			83	16	516		43	12		76		4,891	0.001	471	25.0	227		10,845	
	合 計	245,650	24,107	37,605	42,475	14,491	12,132	61,382	22,567	58,419	423	26,694	3,624	2,605	676	3,709	58,815	615,374	

注1:日本接着剤工業会による。全国出荷量は平成20年実績、溶剤含有率は平成15年度実績の推計値。

注2:感圧形接着剤は日本粘着テープ工業会、ポリウレタン系接着剤(ラミネートの需要分野に限る)は日本ポリエチレンラミネート製品工業会の公表排出量として別途推計されているため、ここでは除外する。

表 5-4 接着剤種類別・需要分野別溶剤使用量(平成20年度)

								平成	20年の泊	溶剤使月	月量(t/	年)						
	接着剤種類	合板	二次合板	# H	建築(工場生産 用)	港本	ブネート	包装	紙管	繊維	フロック 加工	自動車	その倍輸送機	靴·履物	ゴム製品	電機	その他	合計
ユリア植	脂系接着剤	1,420	25	6	1				0	0	0					0	5	1,458
メラミン村	猷脂系接着剤	5,704	344	38	49				1	25	1						79	6,241
	ル樹脂系接着剤	1,966		54	34							20			1	0	49	2,123
	酢酸ビニル樹脂系溶剤形接着剤			6	61		4	173				0				0	57	301
溶剤系	その他の樹脂系溶剤形接着剤	1		1	997		270	2,325		656		279	148	186	18	602	2,241	7,725
接着剤	CR系溶剤形接着剤	15		2,395	713		81	35		2		536	311	784	134	88	671	5,765
1女/目刊	その他の合成ゴム系溶剤形接着剤			1,084	650		77	6		45		1,662	743	48	57	67	1,208	5,647
	天然ゴム系溶剤形接着剤			7	13							1		401	14	6	74	516
	酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形接着剤 酢酸ビニル共重合樹脂系エマルジョ																	
	ン形接着剤																	
	EVA樹脂系エマルジョン形接着剤	61	217	8	37	10	74	174	42	7	2	7				0	182	822
水性系 接着剤	アクリル樹脂系エマルジョン形接着 剤		5	7	33	0	88	22	1	294	4	149	0			0	386	990
1女 相 削	その他の樹脂系エマルジョン形接着剤	0	12	37	20		8	38	30	6	1	4				0	13	168
	水性高分子・イソシアネート系接着 剤																	
	合成ゴム系ラテックス形接着剤 その他の水溶性形接着剤	4	99	33	72		3	8				4	0	0	3		6	232
ホットメ	EVA樹脂系ホットメルト形接着剤																	
ルト形	合成ゴム系ホットメルト形接着剤																	
接着剤	その他のホットメルト形接着剤																	
	エポキシ樹脂系接着剤																	
反応形	シアノアクリレート系接着剤																	
接着剤	ポリウレタン系接着剤	133	138	180	3,661			36	2	184	1	787	587	46	43	200	2,942	8,939
12人日 17.1	アクリル樹脂系接着剤																	
	その他の反応型接着剤																	
その他打																		
	合 計	9,304	840	3,856	6,340	10	605	2,818	76	1,219	9	3,448	1,789	1,465	270	964	7,913	40,927

表 5-5 産業連関表(ゼラチン・接着剤)の項目と日本接着剤工業会の需要分野との対応(平成 20 年度)

注1:生産者価格は産業連関表(平成17年)に基づき、原則1億円以上のものを抽出しているが、需要分野に対応する項目が1億円以下に限られる場合にはその項目を抽出。 注2:日本接着剤工業会のヒアリングに基づき、ゼラチンや糊澱粉系接着剤に限り関係する需要分野は除外している。

表 5-6 需要分野別・業種別溶剤使用量の推定値(平成20年度)

	米 任						需要	要分野	別・業	種別溶	剤使	用量(t	/年)						
	業種	1	2	3	5	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	19		
コード	業種名	合板	二次合板	木工	建築工場	製本	ラミネート	包装	紙管	繊維	フロック加工	自動車	その他輸送機	靴 履 物	ゴム製品	電機	その他	合計	構成比
1400	繊維工業									519	9							528	1%
1600	木材・木製品製造業	9,304	840	886	1,038													12,068	29%
1700	家具·装備品製造業			2,970	4,811													7,780	19%
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業						332	1,952	76	700								3,060	7%
1900	出版・印刷・同関連産業					10												10	0.03%
2200	プラスチック製品製造業						273	867									2,404	3,544	9%
2300	ゴム製品製造業													1,465	270			1,735	4%
2800	金属製品製造業				492													492	1%
3000	電気機械器具製造業															964		964	2%
3100	輸送用機械器具製造業											3,448	1,789					5,237	13%
3400	その他の製造業																5,509	5,509	13%
	合計	9,304	840	3,856	6,340	10	605	2,818	76	1,219	9	3,448	1,789	1,465	270	964	7,913	40,927	100%
	構成比	23%	2%	9%	15%	0.03%	1%	7%	0.2%	3%	0.02%	8%	4%	4%	1%	2%	19%	100%	

② 問題点

- ▶ 平成16年度以降、データの更新は困難であるとされている。
- ▶ 接着剤種類別に設定されており、需要分野による違いを考慮することが困難である。
- ➤ 溶剤含有率は全ての物質を含んでおり、PRTR対象化学物質の偏りは考慮されていない。
- ▶ 産業連関表は「ゼラチン・接着剤」で作成されており、いわゆる澱粉糊などの日本接着 剤工業会の対象とする範囲と異なるものも含まれる。

③ 変更後の方法

- ▶ 取扱量調査のデータに基づき設定をする。
- ▶ 接着剤を資材として使用している用途の、推計対象物質(トルエン、キシレン、塩化メチレン)排出量の分布に基づき配分をする。

④ 試算結果の比較

前記の変更案に基づき業種別構成比を試算した結果を表 5-7 に示す。従来の構成比と比べると、より多くの業種に配分されている。構成比も従来とは大きく異なっているものの、構成比の値が大きな業種は十分なデータ数が得られているため、全体として概ね信頼できる結果であると考えられる。

丰 5-7	 版	H19 実績)に基づく試算結果(3物質合	⇒十丿
77 D-1			ᆔᅵ

業種		データ	取扱量	排出量	平均	排出量	構成と
来性 コード	業種名	件数			排出率		
ļ	the en alle		(kg/年)	(kg/年)		試算	従来
1400	繊維工業	7	41,135	21,007	51%	1%	1%
1600	木材•木製品製造業	22	244,395	164,312	67%	11%	29%
1700	家具•装備品製造業	19	128,664	97,528	76%	6%	19%
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	55	86,003	63,852	74%	4%	7%
1900	出版•印刷•同関連産業	27	71,294	24,535	34%	2%	0.03%
2000	化学工業	4	73,049	5,480	8%	0.4%	
2100	石油製品•石炭製品製造業	7	668	634	95%	0.04%	
2200	プラスチック製品製造業	37	869,192	257,676	30%	17%	9%
2300	ゴム製品製造業	51	714,986	554,624	78%	36%	4%
2400	なめし革・同製品・毛皮製造 業	15	19,825	12,702	64%	1%	
2500	窯業•土石製品製造業	17	118,219	105,679	89%	7%	
2600	鉄鋼業	1	680	646	95%	0.04%	
2700	非鉄金属製造業	5	9,712	6,495	67%	0.4%	
2800	金属製品製造業	14	99,640	93,056	93%	6%	1%
2900	一般機械器具製造業	17	17,040	1,347	8%	0.1%	
3000	電気機械器具製造業	71	66,327	49,966	75%	3%	2%
3100	輸送用機械器具製造業	50	88,793	59,573	67%	4%	13%
3200	精密機械器具製造業	10	6,015	3,282	55%	0.2%	
3400	その他の製造業	21	21,094	9,434	45%	1%	13%
3900	鉄道業	6	1,113	190	17%	0.01%	

業種	業種名	データ	取扱量	排出量	平均	排出量	構成比
コード	未俚石	件数	(kg/年)	(kg/年)	排出率	試算	従来
4400	倉庫業	1	2,508	1,505	60%	0.1%	
7700	自動車整備業	5	234	122	52%	0.01%	
7810	機械修理業	1	1	0.00001	0.001%	0.000%	
	合 計	463	2,680,584	1,533,643	57%	100%	100%

注: 取扱量調査(H18、H19 実績)において接着剤を資材として使用していると回答した事業所のデータ(塩化メチレン、キシレン、トルエンに限る)を集計した。

(2) 工業用洗浄剤(界面活性剤)における業種配分の方法の変更

工業用洗浄剤等(界面活性剤)では、表 5-8 の需要分野ごとの全国使用量に基づき LAS 等の6物質について推計を行っている。表 5-8 の需要分野と業種分類との対応は、表 5-9 に示すとおり設定している。

表 5-8 界面活性剤に係る需要分野の定義

	需要分野	定義
1	食品工業	食品加工設備の洗浄剤として使用されるもの
2	繊維工業	繊維の洗浄、紡績油剤など繊維の製造工程で使用されるもの
3	紙・パルプ工業	ピッチコントロール剤、消泡剤など紙パルプの製造工程で使用されるもの
4	ゴム・プラスチック工業	合成ゴム、プラスチックの乳化重合の際の乳化剤など、ゴム・プラ スチック製造工程で使用されるもの
5	皮革工業	皮革の加工前に水系の処理剤(染料等)が接触しやすくする為 の脱脂剤、水浸剤、浸透剤、また加工後仕上がった皮革の耐久 性を出す為の加脂剤、艶消し剤、撥水剤等に使用されるもの
6	機械•金属工業	製品表面の洗浄剤、部品保存中のさび止め剤など機械・金属製品の製造工程中で使用されるもの
7	情報関連産業	写真フイルムの増感剤、プリント基板の洗浄剤等フロン代替洗浄剤、磁気記録媒体の磁性粉分散剤、インクジェット記録紙用助剤等として使用されるもの
8	クリーニング工業	衣料用洗剤など洗濯業等で使用されるもの
9	その他	(省略)

注:対象業種に関係しない業種は「その他」とし、その定義は省略した。

<修正の内容>

▶修正前

「4 ゴム・プラスチック工業」については、プラスチック製品製造業、ゴム製品製造業と対応付け、産業連関表(表 5-10)に応じて2つの業種に配分。

▶修正後

乳化重合等の合成過程は「化学工業」に該当すること、当該需要分野には塗料等のポリマーを重合するための製品も含まれることが確認されたため、一部を化学工業に配分する(統計も $H12 \rightarrow H17$ に更新)。

表 5-9 界面活性剤に係る需要分野と業種との対応関係

業種コード	業種名	食品工業	繊維工業	紙・パルプ	エ業 スチック ララ	皮革工業	属械·金	情 産 業 関 連	ング 工業	
1200	食料品製造業	\circ								
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	0								
1400	繊維工業		0							
1500	衣服・その他の繊維製品製造業		0							
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業			0						
2000	化学工業									
2200	プラスチック製品製造業				0					
2300	ゴム製品製造業				0					
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業					\circ				
2600	鉄鋼業						0			
2700	非鉄金属製造業						0			
2800	金属製品製造業						0			
2900	一般機械器具製造業						0			
3000	電気機械器具製造業						0			
3001	情報通信•電子機器製造業							0		
3100	輸送用機械器具製造業						0			
3200	精密機械器具製造業						0			
7210	洗濯業								0	
7430	写真業							0		

注:●は新規に配分を予定する箇所を示す。

表 5-10 界面活性剤に係る業種別の生産者価格(配分指標)

業種	業種名	生産者価格(百万円/年)
コード		H19	H20
1200	食料品製造業	20,642	18,460
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	1,159	1,409
1400	繊維工業	27,993	19,348
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	470	312
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	9,461	7,412
2000	化学工業	(配分せず)	6,654
2200	プラスチック製品製造業	7,655	9,665
2300	ゴム製品製造業	11,458	10,969
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	93	59
2600	鉄鋼業	8,661	8,805
2700	非鉄金属製造業	273	311
2800	金属製品製造業	614	502
2900	一般機械器具製造業	5,197	5,018
3000	電気機械器具製造業	7,889	6,942
3001	情報通信•電子機器製造業	6,778	5,808
3100	輸送用機械器具製造業	1,707	1,757
3200	精密機械器具製造業	393	319
7210	洗濯業	15,888	14,421
7430	写真業	1,120	422
	合 計	127,451	118,593

資料:産業連関表(総務省)に基づく。産出表に示された需要分野ごとの値を対応する業種別に集計。 注:H20 排出量推計では、H19 排出量推計時の統計(H12 産業連関表)から更新している。

(3) 化学物質取扱比率の補正

平均取扱量等に基づく排出量推計では表 5-11 に示すパラメータにより推計を行っている。 そのうち、化学物質取扱比率の定義は下記に示すとおりである。

表 5-11 平均取扱量等に基づく排出量推計方法で採用するパラメータの定義等

	パラメータ	定義	設定	区分	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	た我	業種別	物質別	
(a)	全国の事業所数	全国に存在するすべての事業所数	0		
		「工場」等に該当する(=対象化学物質の排出の可			
(b)	推計対象比率	能性がある)事業所の形態の割合	0		
		※ 事務所だけの事業所(本社等)などを除くためのパラメータ であり、該当する具体的な事業所形態は別掲			
	11	「工場」等に該当する事業所のうち、対象化学物質			
(c)	化学物質取扱比	について何らかの取扱がある事業所の割合		0	
	率	※「何らかの取扱がある事業所」には届出事業所とすそ切り 以下事業所の両方が含まれる。			
(d)	届出事業所数	化管法に基づく対象化学物質別の届出事業所数	0	0	
		対象化学物質について何らかの取扱がある事業所			
	すそ切り以下事	のうち、届出要件に合致しないため届出対象外の	_		
(e)	業所数	事業所の数	0	0	
		※別の物質の届出があっても、当該物質の届出がなければ 該当			
	716 F 17 F	すそ切り以下事業所における1事業所あたりの年間			
(f)	平均取扱量	取扱量の平均値	\circ	0	
	(kg/年)	※ 取扱がない事業所は除くが、四捨五入して1kgに満たない「0kg」という事業所のデータを含めて算出			
		すそ切り以下事業所における対象化学物質の取扱			
(g)	平均排出率(%)	量に対する環境中(大気・公共用水域等)への排出	\triangle	0	
		率の加重平均値			

注:平均排出率は原則として業種の差を考慮しないが、化学工業は別途設定しているため、本表では"△"と表記した。

化学物質取扱比率(%)

業種別・対象化学物質別の報告事業所数(届出要件に該当するものを含む)業種別に報告された工場・作業所等の数

① 推計における問題点

- ➤ 化学物質取扱比率は取扱量調査の「工場・事業所数」の数値を使用することとなっているが、特に平成 18 年度調査については、調査票の設計上、未回答の割合が多くなっている。
- ▶ PRTR 対象化学物質の取扱がある事業者とそれ以外の事業者の平均的な工場・作業所数には差異があることから、未回答の事業者についても補正が必要である。

表 5-12 対象化学物質の取扱の有無による工場・作業所等の数の比較

対象化学物質		業所等の数 の回答事業		工場・作業	回答事業者による工場・作業所
取扱の有無	回答あり (a)	回答なし	合計	所等の数 (b)	数等の平均値 =(b)/(a)
取扱あり	8,030	_	8,030	18,080	2.25
取扱なし	9,117	7,577	16,694	13,002	1.43
合 計	17,147	7,577	24,724	31,082	1.81

注:回答された「工場・事業所数等」の数よりも「1物質以上対象化学物質の取扱がある事業所」の数が上回っている事業者は、後者の事業所数を「工場・作業所数」とみなした。

② 補正の方法

未回答の事業者については、対象化学物質の取扱がない事業者と同じ工場・作業所等があるものとみなし、1事業者当たり平均1.43箇所の工場・作業所等があると仮定して補正をする。

③ 補正結果

上記の方法で工場・作業所等の数を業種ごとに補正した結果を表 5-13 に示す。「化学物質の取扱が1物質もない」と回答した事業者の割合などが業種によって異なるため、補正比率も業種によって差があるが、全業種の合計では工場・作業所等の数が約 1.3 倍(=41,691/31,082)に増えるため、物質ごとの化学物質取扱比率は 75%程度に減少するものと考えられる。なお、表 5-13 の数値は、第1回検討会に示した試算値であり、「電話回答による」無回答の数値が別途追加となったため、平成 20 年度排出量の公表値の推計では、さらに化学物質取扱比率は減少している。

表 5-13 「工場・作業所等の数」の補正前後の比較(試算結果)(その1)

業種	We can be	工場·作業	所等の数	比率
コード	業種名	補正前	補正後	=(a)/(b)
		(a)	(b)	
0500	金属鉱業	12	13	90%
0700	原油・天然ガス鉱業	50	64	78%
1200	食料品製造業	252	417	60%
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	409	594	69%
1400	繊維工業	625	867	72%
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	483	850	57%
1600	木材・木製品製造業(家具を除く)	525	767	68%
1700	家具•装備品製造業	352	450	78%
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	925	1,187	78%
1900	出版·印刷·同関連産業	993	1,682	59%
2000	化学工業	2,023	2,237	90%
2100	石油製品•石炭製品製造業	567	612	93%
2200	プラスチック製品製造業(別掲を除 く)	1,309	1,722	76%

表 5-13「工場・作業所等の数」の補正前後の比較(試算結果)(その2)

業種		工場·作業	所等の数	比率
オード	業種名	補正前	補正後	=(a)/(b)
•		(a)	(b)	(4)
2300	ゴム製品製造業	418	478	87%
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	129	192	67%
2500	窯業•土石製品製造業	1,519	2,173	70%
2600	鉄鋼業	669	837	80%
2700	非鉄金属製造業	681	796	86%
2800	金属製品製造業	2,160	2,973	73%
2900	一般機械器具製造業	2,320	3,422	68%
3000	電気機械器具製造業	2,497	3,345	75%
3100	輸送用機械器具製造業	1,292	1,617	80%
3200	精密機械器具製造業	664	878	76%
3400	その他の製造業	630	886	71%
3500	電気業	144	161	90%
3600	ガス業	264	398	66%
3700	熱供給業	171	178	96%
3900	鉄道業	323	434	74%
4400	倉庫業	916	1,589	58%
5132	石油卸売業	1,227	1,373	89%
5142	鉄スクラップ卸売業	323	446	72%
5220	自動車卸売業	1,068	1,183	90%
5930	燃料小売業	839	948	88%
7210	洗濯業	571	739	77%
7430	写真業	297	441	67%
7700	自動車整備業	957	1,023	94%
7810	機械修理業	756	1,113	68%
8620	商品検査業	353	489	72%
8630	計量証明業(一般計量証明業を除 く。)	365	415	88%
9140	高等教育機関	378	584	65%
9210	自然科学研究所	350	431	81%
	(業種不明等)	276	685	81%
	台 計	31,082	41,690	75%

注:本表は第1回検討会で提示した試算結果であるため、第8回公表のための利用した数値とは異なることに留意が必要である。

5-2 新規対象化学物質の推計可能性の検討

5-2-1 既存データの収集及び整理の方針

新規対象化学物質(政令の改正により第一種指定化学物質として新たに追加となった物質を意味する。)に係る用途等の整理に利用可能なデータには、表 5-14 の2種類が存在する。

データ利用 主な調査項目 調査名 が可能な (推計に利用可能な項目に限る) 事業所数 化管法新規化学物質に関する使 •対象化学物質の用途 用実態及び排出量推計手法の調 791 •対象化学物質別・用途別の取扱量 査(H21年、みずほ情報総研) •対象化学物質の用途 PRTR 対象化学物質の取扱等に 890 ・対象化学物質別・用途別の取扱量 関する調査(H20年、NITE) ・取扱量に対応する排出率

表 5-14 新規対象化学物質に係る既存データ

注:「データ利用が可能な事業所数」とは、新規化学物質に係る用途又は取扱量等の定量的な情報が1物質 以上について得られる事業所数を意味する。

これらの既存調査結果に基づき、次の事項について解析を試みた。

- ▶ 排出源別排出量推計方法の排出源(以下、「既存排出源」とする。)における新規 対象化学物質の使用状況
- ▶ 新たな排出源(既存排出源として推計していない排出源)の追加の必要性
- ▶ 平均取扱量等に基づく排出量推計方法の利用可能性

5-2-2 排出源別排出量推計方法の利用可能性

(1) 既存排出源で使用される新規対象化学物質

既存排出源で使用される新規対象化学物質を把握することを試みた。調査の用途と既存排出源の対応関係は「<新規対象化学物質の検討に係る参考> 表 5-29」に示すとおりであり、用途の範囲は完全には一致していない場合が多い。

表 5-15 従来の推計対象と完全に一致しない例

排出源名	既存の推計の用途	抽出対象の用途
		木材防腐剤等の主に製品に添
滅菌•殺菌•	医薬品に該当するエチレンオ	加される殺生物剤、スライムコント
消毒剤	キシドに限る。	ロール剤等の工場で使用される
		殺生物剤
丰	「エッチング剤」としてのふっ化	エッチング剤以外のメッキに関係
表面処理剤	水素及びその化合物に限る。	する薬剤も含む範囲

排出量算出への利用可能性にかかわらず、物質名と用途との対応に関する情報を集計した結果は表 5-16 のとおり。データ数の多い新規対象化学物質の順に並べており、ノルマルーへキサンが一番多い。

また、既存排出源別の主な新規対象化学物質(件数ベース)は表 5-17~表 5-24 とおりである。これらの表では回答数が10件以上の物質に限り抽出した。塗料、接着剤では5物質以上の新規対象化学物質が抽出されたが、印刷インキではノルマルーへキサンの1物質であった。なお、剥離剤(リムーバー)等については、物質別の回答数が10件以上のものがないため、省略した。

(2) 排出源別排出量推計方法の利用可能性

前述(1)で抽出した排出源別の新規対象化学物質について、現在の推計で利用している情報源(例:日本接着剤工業会)に対し、新規対象化学物質の把握の可能性を調査した。

その結果、現在の排出源別の推計方法における全国出荷量と同じように業界団体の調査 等で把握可能性が高いものは次の2つに限られることが分かった。

- ・ノルマル-ヘキサン(接着剤)
- ・ポリ(オキシエチレン)=ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム(工業用洗浄剤)

表 5-16 新規物質別の用途の報告件数

			-				11 127.42						4.0	4.0	I	1
4-6		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	K ~	
物質番号	化学物質名	途料	接着剤等	印刷インキ	工業用洗 浄剤等	燃料(蒸 発ガス)	ゴム溶剤等	化学品原	剥離剤	滅菌·殺 菌·消毒剤	表面処理 剤	試薬	コンバーティング溶剤	プラスチッ ク発泡剤	その他(不 明を含む)	台
392	ノルマルー ヘキサン	44	117	17	48	11		116	2			176		2	254	787
71	塩化第二鉄	1		1	5			15			48	42			315	427
277	トリエチルアミン	56	4	4	2			66				37			92	261
448	メチレンビス(4, 1- フェニレン)=ジ イソシアネート	34	67				1	44						2	87	235
302	イソシアネート ナフタレン	79	2	4		4		10		4	1	14			55	173
207	2, 6- ジー ターシャリー ブチルー 4 - クレゾール	10	9	5	1			11				2			131	169
296	1, 2, 4- トリメチルベンゼン	43	2	3	7	19	1	5	2	2		4			37	125
275	ドデシル硫酸ナトリウム	2	1		4			5				38		2	70	122
455	モルホリン	8	2	1	19			8		1		6			77	122
11	アジ化ナトリウム							14		1		62			43	120
395	ペルオキソニ硫酸の水溶性塩	1						19			1	56			43	120
213	N, N- ジメチルアセトアミド	8	1	1	7			29	8	5		15			45	119
7	アクリル酸ノルマルー ブチル	8	15					40				3			34	100
44	インジウム及びその化合物	5	1	1				4			7	3			77	98
234	臭素		3					30		1	3	29			26	92
384	1- ブロモプロパン		1		21			15				1			31	69
51	2- エチルヘキサン酸	10	9	3	3			17							24	66
409	ポリ(オキシエチレン) =ドデシルエー テル硫酸エステルナトリウム	3	3		15			5							40	66
403	ベンゾフェノン	18		2	1			4			1	13			19	58
334	4- ヒドロキシ安息香酸メチル							3				8			46	57
83	クメン	13	2	4	4			4	1			3			24	55
282	トリクロロ酢酸											42			11	53
6	アクリル酸2- ヒドロキシエチル	5						25				2			17	49
461	りん酸トリフェニル		1					3							44	48
340	ビフェニル					1		4		3		8			31	47

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	17	
物質番号	化学物質名	塗料	接着剤等	印刷インキ	工業用洗 浄剤等	燃料(蒸 発ガス)	ゴム溶剤等	化学品原 料等	剥離剤	滅菌・殺 菌・消毒剤	表面処理 剤	試業	コンバーナインが対	プラスチッ ク発泡剤	その他(不 明を含む)	₹ □
452	2- メルカプトベンゾチアゾール		2		4			8		2		1			27	44
359	ノルマルー ブチルー 2,3- エポキ シプロピルエーテル	1	19					1							20	41
460	りん酸トリトリル	8	1					2							30	41
278	トリエチレンテトラミン	6	14		1			1	2						16	40
218	ジメチルアミン	3			1			12				2			20	38
202	ジビニルベンゼン	2						20							15	37
259	テトラエチルチウラムジスルフィド(別 名ジスルフィラム)		2					4							30	36
353	フタル酸ジエチル	5								1		6			24	36
438	メチルナフタレン	2			1	11		4							18	36
368	4- ターシャリー ブチルフェノール	8	9	3				8				1			4	33
190	ジシクロペンタジエン							20				2			10	32
235	臭素酸の水溶性塩				1			3			1	8			18	31
273	1- ドデカノール (別名ノルマル- ド デシルアルコール)				2			12				3			10	27
256	デカン酸				2			6		1		1			16	26
257	デシルアルコール(別名デカノール)				2			11				1			12	26
339	N- ビニルー 2- ピロリドン	9	5					3				2			7	26
440	1- メチル- 1- フェニルエチル=ヒ ドロペルオキシド		18		2			2							4	26
32	アントラセン							2				8			15	25
205	1,3- ジフェニルグアニジン							3			1				21	25
330	ビス(1- メチル- 1- フェニルエチ ル)=ペルオキシド							7							18	25
23	パラー アミノフェノール							3				3			18	24
188	N, N- ジシクロヘキシルアミン				1			3							18	22
216	N, N- ジメチルアニリン	1	1					6				7			7	22
81	キノリン				1			3				9			8	21
204	ジフェニルエーテル							5				4			12	21

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	17	
物質番号	化学物質名	途料	接着剤等	印刷インキ	工業用洗 浄剤等	燃料(蒸 発ガス)	ゴム溶剤等	化学品原 料等	剥離剤	滅菌・殺 菌・消毒剤	表面処理剤	採	コンバーティンが溶剤	プラスチッ ク発泡剤	その他(不 明を含む)	<u>₩</u>
276	テトラエチレンペンタミン	3	9					1			1				7	21
389	ヘキサデシルトリメチルアンモニウム =クロリド	1			1			1							18	21
151	1,3- ジオキソラン	3			4				1			4			8	20
292	トリブチルアミン			1				9				2			8	20
317	ニトロメタン				1	1		1				5			12	20
230	N- (1, 3- ジメチルブチル)- N'- フェニルーパラ- フェニレンジアミン							2				1			16	19
365	ブチルヒドロキシアニソール(別名BHA)					1						3			15	19
366	ターシャリー ブチル=ヒドロペルオキ シド		1					12							6	19
352	フタル酸ジアリル		2	1				4				1			10	18
396	PFOS	1						3			1				13	18
155	N- (シクロヘキシルチオ)フタルイミ ド							2							14	16
15	アセナフテン							2		3		6			4	15
64	エトフェンプロックス									2		1			12	15
290	トリクロロベンゼン							1			2	5			7	15
393	ベタナフトール			2				5			3				5	15
121	パラー クロロフェノール		1					4				5			4	14
238	水素化テルフェニル							2							11	13
321	バナジウム化合物	1										5			7	13
423	メチルアミン							6				3			4	13
458	りん酸トリス(2- エチルヘキシル)		4					2				1			6	13
143	4, 4'- ジアミノジフェニルエーテル							9				1			2	12
306	ニアクリル酸ヘキサメチレン	8						2							2	12
454	2- (モルホリノジチオ)ベンゾチアゾ ール							3							9	12

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	17	
物質番号	化学物質名	塗料	接着剤等	印刷インキャ	工業用洗 浄剤等	燃料(蒸 発ガス)	ゴム溶剤等	化学品原 料等	剥離剤	滅菌・殺 菌・消毒剤	表面処理 剤	紫	コンバーナインが発	プラスチッ ク発泡剤	その他(不 明を含む)	合計
78	2, 4- キシレノール	1						6							4	11
219	ジメチルジスルフィド							2				2			7	11
66	1, 2- エポキシブタン	3			3										4	10
72	塩化パラフィン(炭素数が10から13 までのもの及びその混合物に限る。)														10	10
120	オルトー クロロフェノール		1									6			3	10
210	2, 2- ジブロモ- 2- シアノアセトア ミド									9					1	10
220	ジメチルジチオカルバミン酸の水溶性塩										1				9	10
319	1- ノナノール(別名ノルマル- ノニ ルアルコール)							2							8	10
274	ターシャリー ドデカンチオール							2							7	9
345	フェニルヒドラジン							2				6			1	9
346	2- フェニルフェノール							2		5					2	9
77	カルシウムシアナミド														8	8
110	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				2			2							4	8
347	N- フェニルマレイミド	2						3				1			2	8
99	クロロ酢酸エチル		1					5		1						7
137	シアナミド							3							4	7
226	1,1- ジメチルヒドラジン							2				2			3	7
4	アクリル酸及びその水溶性塩											1			5	6
35	イソブチルアルデヒド	1						3							2	6
189	N, N- ジシクロヘキシル- 2- ベン ゾチアゾールスルフェンアミド														6	6
208	2, 4- ジ- ターシャリ- ブチルフェ ノール		2												4	6
229	チオファネートメチル		_	_	_							_	_		6	6

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1/ -	
物質番号	化学物質名	塗料	接着剤等	印刷インキ	工業用洗 浄剤等	燃料(蒸 発ガス)	ゴム溶剤等	化学品原 料等	剥離剤	滅菌・殺 菌・消毒剤	表面処理 剤	採	コンバーディング溶剤	プラスチッ ク発泡剤	その他(不 明を含む)	十二
307	二塩化酸化ジルコニウム							1							5	6
322	5'- [N, N- ビス(2- アセチルオ キシエチル)アミノ]- 2'- (2- ブロ モ- 4, 6- ジニトロフェニルアゾ)- 4'- メトキシアセトアニリド														6	6
26	4'- メトキシアセトアニリド 3- アミノー 1- プロペン							2				1			2	5
209	ジブロモクロロメタン											3			2	5
223	N, N- ジメチルドデシルアミン							5								5
269	イソフィトール							2							3	5
298		1						3							1	5
379	2- プロピン- 1- オール				4			1								5
437	3- メチルチオプロパナール	1													4	5
456	りん化アルミニウム									3					2	5
14	アセトンシアノヒドリン							3				1				4
241	2- スルホヘキサデカン酸- 1- メ チルエステルナトリウム塩				2										2	4
287	2, 4, 6- トリクロロフェノール									3					1	4
303	1,5- ナフタレンジイル=ジイソシア ネート							3							1	4
381	ブロモジクロロメタン											1			3	4
45	エタンチオール							1							2	3
124	クミルロン														3	3
131	3- クロロ- 2- メチル- 1- プロペ ン							3								3
165	2,4- ジクロロトルエン														3	3
166	1,2- ジクロロ- 4- ニトロベンゼン							3								3
214	2,4- ジメチルアニリン							1				2				3
289	1, 2, 3ートリクロロプロパン				·			_				1			2	3

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1/	
物質番号	化学物質名	楽	接着剤等	印刷インキャ	工業用洗净剤等	燃料(蒸 発ガス)	ゴム溶剤等	化学品原 料等	剥離剤	滅菌・殺 菌・消毒剤	表面処理 剤	採	コンバーナインが溶剤	プラスチッ ク発泡剤	その他(不 明を含む)	∜ □
299								1				2				3
312								1				2				3
315	オルトー ニトロトルエン							2							1	3
324	1, 3- ビス[(2, 3- エポキシプロピル)オキシ] ベンゼン ブタクロール		2		1											3
376	ブタクロール														3	3
421	4- メチリデンオキセタン- 2- オン							2				1				3
435	ピリミノバックメチル														3	3
442	メプロニル														3	3
443	メソミル											1			2	3
54	ホスチアゼート														2	2
97	1- クロロー 2- (クロロメチル)ベン ゼン														2	2
111	2- クロロー 4- ニトロアニリン							2								2
115	フェントラザミド														2	2
	4- クロロー 3- メチルフェノール									1					1	2 2
	トラロメトリン									2						2
	ジクロロアニリン							1				1				2
171	プロピコナゾール														2	2
172	オキサジクロメホン														2	2
228	3, 3'- ジメチルビフェニル- 4, 4' - ジイル=ジイソシアネート							2								2
261	フサライド														2	2
301	トルエンジアミン							1							1	2
311	オルトー ニトロアニソール														2	2
377	フラン							2								2
383															2	2
19	1- アミノー 9, 10- アントラキノン											1				1

		Ι.,	0	Ι ο	1						1.0		1.0	1.0		1
物		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	K ~	
物質番号	化学物質名	一条	接着剤等	日間インキャ	工業用洗 浄剤等	燃料(蒸 発ガス)	ゴム溶剤等	化学品原 料等	剥離剤	滅菌・殺 菌・消毒剤	表面処理 剤	試業	コンベーティング溶剤	プラスチッ ク発泡剤	その他(不 明を含む)	<u>∜</u> □
25	メトリブジン														1	1
39	フェナミホス														1	1
40	ビフェナゼート	1														1
41	フルトラニル														1	1
52	アラニカルブ	1														1
70	エマメクチン安息香酸塩														1	1
117	テブコナゾール									1						1
122	2- クロロプロピオン酸							1								1
140	フェンプロパトリン														1	1
	イプロジオン														1	1
170	テトラコナゾール														1	1
181	ジクロロベンゼン			1												1
217	チオシクラム														1	1
221	ベンフラカルブ														1	1
335	N- (4- ヒドロキシフェニル)アセト アミド											1				1
367	オルトー セカンダリー ブチルフェノール							1								1
373	2- ターシャリー ブチルー 5- メチ ルフェノール							1								1
430	インドキサカルブ														1	1
431	アゾキシストロビン														1	1
	オキサミル														1	1
445	クレソキシムメチル														1	1
	合計	421	334	54	173	48	2	795	16	51	71	701		6	2,456	5,128

注:本表は既存のアンケート調査の集計結果でああり、空欄は回答がなかった箇所を示す。

表 5-17「塗料」として抽出された物質

物質 番号	対象化学物質名	回答数
302	ナフタレン	79
277	トリエチルアミン	56
392	ノルマルー ヘキサン	44
296	1, 2, 4- トリメチルベンゼン	43
448	メチレンビス(4, 1- フェニレン)=ジイソシアネート	34
403	ベンゾフェノン	18
83	クメン	13
51	2- エチルヘキサン酸	10
207	2,6- ジー ターシャリー ブチルー 4- クレゾール	10
上記以	外の 33 物質	114
	合計	421

表 5-18「接着剤等」として抽出された物質

物質 番号	化学物質名	回答数
392	ノルマルー ヘキサン	116
448	メチレンビス(4, 1- フェニレン)=ジイソシアネート	67
	ノルマルー ブチルー 2,3- エポキシプロピルエーテル	19
440	1- メチル- 1- フェニルエチル=ヒドロペルオキシド	18
7	アクリル酸ノルマルー ブチル	15
278	トリエチレンテトラミン	14
上記以	J外の 29 物質	84
	合計	333

注:網がけは日本接着剤工業会及び日本粘着テープ工業会が VOC 排出量として公表している物質。

表 5-19「印刷インキ」として抽出された物質

物質 番号	化学物質名	回答数				
392	392 ノルマルー ヘキサン					
上記以	上記以外の 16 物質					
	合計					

表 5-20「工業用洗浄剤等」として抽出された物質

物質 番号	化学物質名	回答数				
392	ノルマルー ヘキサン	45				
384	1- ブロモプロパン	21				
455	モルホリン	19				
409	ポリ(オキシエチレン) =ドデシルエーテル 硫酸エステルナトリウム	15				
上記以	上記以外の 28 物質					
	合計					

注:網がけは界面活性剤工業会にて将来的に調査を予定している物質。

表 5-21 「燃料(蒸発ガス)」として抽出された物質

物質 番号	化学物質名	回答数				
296	1, 2, 4- トリメチルベンゼン	19				
392	ノルマルー ヘキサン	11				
438	メチルナフタレン	11				
上記以	上記以外の4物質					
	合計					

表 5-22 「化学品原料等」として抽出された物質

	次 0 11 1 旧 1 阳						
物質番号	化学物質名	回答数					
392	ノルマルー ヘキサン	116					
277	トリエチルアミン	66					
448	メチレンビス(4, 1- フェニレン) =ジイソシア ネート	44					
7	アクリル酸ノルマルー ブチル	40					
234	臭素	30					
213	N, N- ジメチルアセトアミド	29					
6	アクリル酸2- ヒドロキシエチル	25					
190	ジシクロペンタジエン	20					
202	ジビニルベンゼン	20					
395	ペルオキソニ硫酸の水溶性塩	19					
51	2- エチルヘキサン酸	17					
71	塩化第二鉄	15					
384	1- ブロモプロパン	15					
11	アジ化ナトリウム	14					
218	ジメチルアミン	12					
273	1- ドデカノール(別名ノルマル- ドデシルア ルコール)	12					
366	ターシャリー ブチル=ヒドロペルオキシド	12					
207	2, 6- ジ- ターシャリ- ブチル- 4- クレゾ ール	11					
257	デシルアルコール(別名デカノール)	11					
302	ナフタレン	10					
上記以	上記以外の 83 物質 257						
	合計	795					

表 5-23「表面処理剤」として抽出された物質

物質 番号	化学物質名	回答数				
71	塩化第二鉄	48				
上記以	以外の 12 物質	23				
	合計					

表 5-24「試薬」として抽出された物質

物質 番号	化学物質名	回答数		
392	ノルマルー ヘキサン	176		
11	アジ化ナトリウム	62		
395	ペルオキソニ硫酸の水溶性塩	56		
71	塩化第二鉄	41		
282	トリクロロ酢酸	41		
275	ドデシル硫酸ナトリウム	37		
277	トリエチルアミン	37		
234	臭素	28		
213	N, N- ジメチルアセトアミド	15		
302	ナフタレン	14		
403	ベンゾフェノン	13		
上記以	上記以外の 58 物質			
	合計	696		

5-2-3 新たな排出源の可能性

既存調査で推定される排出量において、新たな排出源の寄与が大きい物質を把握するため、表 5-25の解析を行った。この結果からは新たな排出源について考慮すべき新規対象化学物質は、ナフタレン、ノルマルーへキサンである。しかし、データ件数が少ないため、更なるデータの蓄積などが必要である。

表 5-25 新規排出源における排出量の寄与の大きい物質

物質	データ件数		取扱量(t/年)			排出量(t/年)				
番号	対象化学物質名	既存	新 規	合計	既存	新規	合計	既存	新規	合計
302	ナフタレン	29	3	32	99,976	10,012	109,988	11	2,002	2,013
392	ノルマルー ヘキサン	232	17	249	6,918	328	7,246	751	114	865
205	1, 3- ジフェニルグア ニジン		8	8		22	22		3	3
452	2- メルカプトベンゾチ アゾール	1	12	13	1	68	69	0.003	3	3
277	トリエチルアミン	49	5	54	155	12	167	24	3	26
51	2- エチルヘキサン酸	6	2	8	120	238	358	3	3	5
461	りん酸トリフェニル	1	10	11	1	8,014	8,016	0.004	2	2
207	2,6- ジ- ターシャリー ブチル- 4- クレゾー ル	8	27	35	53	388	441	0.007	2	2
230	N- (1,3- ジメチル ブチル)- N'- フェニ ルーパラー フェニレンジ アミン		4	4		12	12		1	1
259	テトラエチルチウラムジ スルフィド (別名ジスル フィラム) N, N- ジメチルアセト	1	17	18	88	12	101	0.001	1	1
213	アミド	27	4	31	3,094	9	3,103	9	1	10
330	ビス(1- メチル- 1- フェニルエチル)=ペル オキシド	1	7	8	8	3	10	0.002	1	1
334	4- ヒドロキシ安息香酸 メチル	1	10	11	0.001	24	24	0.000	0.4	0.4
340	ビフェニル	3	2	5	2,845	1	2,846	0.03	0.3	0.4
460	りん酸トリトリル	1	4	5	0	2,384	2,384	0.000	0.3	0.3
上記以外の 109 物質		354	140	494	39,106	4,157	43,263	2,205	0.8	2,206
	合計	714	272	986	152,366		178,051	3,003		5,139

注:定量的な解析が実施可能なもののみ使用しているため、データ数は表 5-16 等とは一致しない。

また、表 5-25の15物質における新たな用途は、表 5-26のとおりである。

これらの用途のうち、対象業種での使用が主と考えられるのは、「ゴム用添加剤」「プラスチック添加剤」「繊維処理剤」「エアゾール溶剤」「シーリング剤」「着色剤」である。しかし、データ数が現段階では非常に少ないため、これらを裏付ける情報の収集が今後必要である。

表 5-26 新規排出源における排出量が多い物質とその用途

	対象化学物質	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
物質番号	対象化学物質名	ゴム用添加剤	プラスチック添加剤	繊維処理剤	医薬品·動物医薬品·医 薬部外品·医療用具	昭 琳刀	エアゾール溶剤	シーリング剤 (溶剤を含 む)	着色剤(染料、顔料、色 素)	その他(写真、フォトレジスト、印刷版材料など)	合計
302	ナフタレン	1	1						1		3
392	ノルマルー ヘキサン		1	2	4	1	2	4		3	17
205	1, 3- ジフェニルグアニジ ン	8									8
452	2- メルカプトベンゾチアゾ ール	12									12
277	トリエチルアミン		1		2				1	1	5
51	2- エチルヘキサン酸		1			1					2
461	りん酸トリフェニル		9	1							10
207	2, 6- ジ- ターシャリ- ブ チル- 4- クレゾール	10	8		4	4		1			27
230	N- (1, 3- ジメチルブチ ル)- N'- フェニルーパラ- フェニレンジアミン	4									4
259	テトラエチルチウラムジスル フィド (別名ジスルフィラム)	17									17
213	N, N- ジメチルアセトアミド		1		2					1	4
330	ビス(1- メチル- 1- フェ ニルエチル)=ペルオキシド	7									7
334	4- ヒドロキシ安息香酸メチ ル				3	7					10
340	ビフェニル			2							2
460	りん酸トリトリル	3	1								4
	15 物質の合計	62	23	5	15	13	2	5	2	5	132

5-2-4 平均取扱量等に基づく排出量推計方法の利用可能性

現行の平均取扱量等に基づく排出量推計を実施する場合には、「すそ切り以下」としての取扱量 1t 未満及び事業者 21 人未満のデータが必要となるが、今回収集した既存調査にて利用可能なデータは非常に限定的である。比較的データ数の多い「ノルマルーへキサン」及び「メチレンビス(4,1- フェニレン) = ジイソシアネート」について、業種別にパラメータの設定が可能なデータ数をカウントした。その結果を、表 5-27、表 5-28 に示す。業種別のデータ数が 10 件以上の物質について推計の対象となるが、現状ではこの手法で推計できる物質は非常に少ないことが分かる。

表 5-27 すそ切り以下のデータ数(ノルマルヘキサン)

表 5-27 すで切り以下のゲータ数 (ノルマル・ペキサン) 業種 利用可能デー タ							
 業種		取扱量	排出率				
来性 コード	業種名	設定	設定				
0700	原油・天然ガス鉱業	1	1				
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	2	1				
1400	繊維工業	4	3				
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	2	2				
1700	家具•装備品製造業	7	3				
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	2					
1900	出版·印刷·同関連産業	12	5				
2000	化学工業	118	25				
2100	石油製品•石炭製品製造業	5	2				
2200	プラスチック製品製造業	28	5				
2300	ゴム製品製造業	8	1				
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	3	2				
2500	窯業•土石製品製造業	4	1				
2700	非鉄金属製造業	10	3				
2800	金属製品製造業	10	3				
2900	一般機械器具製造業	22	7				
3000	電気機械器具製造業	57	12				
3100	輸送用機械器具製造業	24	5				
3200	精密機械器具製造業	9	2				
3300	武器製造業	1	1				
3400	その他の製造業	13	7				
3600	ガス業	1	1				
3700	熱供給業	2	1				
3900	鉄道業	1	1				
7210	洗濯業	1	1				
8620	商品検査業	11	7				
8630	計量証明業	74	49				
8722	産業廃棄物処分業	1					
9140	高等教育機関	13	11				
9210	自然科学研究所	27	13				
-999	対象外業種	39					
	合計	512	175				

表 5-28 すそ切り以下のデータ数 (メチレンビス(4,1- フェニレン)=ジイソシアネート)

	業種	利用可能	データ数
業種コード	業種名	取扱量 設定	排出率 設定
1400	繊維工業	1	
1600	木材・木製品製造業(家具を除く)	8	8
1700	家具·装備品製造業	2	2
1900	出版·印刷·同関連産業	3	2
2000	化学工業	19	3
2100	石油製品•石炭製品製造業	6	6
2200	プラスチック製品製造業	7	2
2600	鉄鋼業	3	
2700	非鉄金属製造業	3	1
2800	金属製品製造業	3	1
2900	一般機械器具製造業	8	3
3000	電気機械器具製造業	15	6
3100	輸送用機械器具製造業	7	2
3200	精密機械器具製造業	5	2
3400	その他の製造業	6	2
3900	鉄道業	2	2
	合計	98	42

5-2-5 新規対象化学物質の推計可能性に係るまとめ

新規対象化学物質の推計可能性について、5-2では既存の事業者へのアンケート調査 結果に基づく解析を主に実施した。その結果のまとめは次のとおり。

<まとめ>

- ▶ 排出源別推計方法として追加できる可能性が高い物質は、現在業界団体等より入手できている情報ではノルマルーへキサン(接着剤)及びポリ(オキシエチレン)=ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム(工業用洗浄剤)に限られる。
- ▶ 取扱量調査(又はそれに類似)する調査から、平均取扱量等に基づき推計することを 想定した場合、現在の利用可能なデータ数では、化学工業で数物質程度追加できる 可能性があるが、その他の業種ではノルマルーへキサンに限られる業種が多い見込み である。
- ▶ 排出量が多い物質について新規排出源の抽出を試みた結果、「ゴム用添加剤」「プラスチック添加剤」「繊維処理剤」等が列挙される。しかし、データ数が少ないこと、排出率の精度が十分ではない可能性があることから、この結果のみで主要な新規排出源を判断することは困難である。

<今後のデータ取得の方向性>

- ▶ 新規対象化学物質の排出量がすそ切り以下事業者排出量において無視できないと判断するためには、事業者へのアンケート調査等によるデータの蓄積が必要である。
- ▶ 又は、各業界団体へ、排出源別の手法として追加すべき物質の調査の依頼等を行うことが考えられる。
- ▶ 排出源別の手法を採用できる物質は限定的であると考えられるため、平均取扱量等に基づく排出量推計のためのデータ収集が必要であると考えられる。
- ▶ 既存物質と同様に、各業種で取扱件数が多いと考えられる物質に絞り込んでの調査を 行うことが効率的であると考えられる(絞り込みにこれらの既存調査を活用)。

<新規対象化学物質の検討に係る参考> 表 5-29 既存排出源と各調査との用途との対応

	既存排出源		みずほ総研の調査における用途	NITE 取扱量調査における用途		
1	塗料	10a 21a∼j	塗料用溶剤、塗料希釈剤、塗料剥離剤 塗料(塗料、ワニス原料)、コーティング剤	6	塗料・ワニス(溶剤を含む)	
2	接着剤等	11a	接着剤、粘着剤用溶剤、接着剤剥離剤、糊剥離剤	19	接着剤(溶剤を含む)	
		29a∼e	接着剤、粘着剤、シーリング剤、封止剤	20	粘着剤(溶剤を含む)	
3	印刷インキ	10d 22a∼g	印刷インキ用溶剤、インキ除去剤、複写用溶剤 印刷インキ、複写用薬剤	7	印刷インキ(筆記用具を含む)(溶剤を含む)	
	工業用洗浄剤	12a	非水系(脱脂洗浄等)、準水系(フラックス洗浄等)	36	工業用洗浄剤	
4	一条用优伊剂 等	13a∼b	クリーニング洗浄剤	27	洗濯業の洗浄溶剤	
	寸	19a	石鹸、洗剤(界面活性剤)	5	水系洗浄剤(界面活性剤等)、ワックス	
5	燃料	53a	燃料	49	燃料及び燃料添加剤	
6	ゴム溶剤等	11b	 溶剤による接着(但し、2300 の業種に限る)	22	ゴム、プラスチック接着用溶剤(但し、2300 の	
U	コム俗別寺	110	俗別による女相 (担し、2300 の未性に敗る)	22	業種に限る)	
		09	中間物(合成原料、重合原料等)	1	重合原料•合成原料	
7	化学品原料等		 工業用溶剤(合成反応用溶剤、紡糸・製膜用溶	2	化学プロセス調整剤	
		14a∼c	剤、抽出·精製溶剤)	3	合成反応用溶剤、紡糸・製膜用溶剤、抽出・ 精製溶剤等	
8	剥離剤(リムー バー)		用途詳細に「剥離剤」「リムーバー」の用語を含むも の。※レジスト剥離も含む	25	レジスト現像用溶剤、レジスト剥離剤	
9	滅菌・殺菌・消	24	殺生物剤(農薬以外の工業用途/成型品に含まれる)	16	殺生物剤(農薬以外)	
9	毒剤等	25a∼d	殺生物剤(農薬以外の工業用途/上記以外)	10	校生初別(辰衆以介)	
10	表面処理剤	40a∼f	表面処理剤(電気メッキ、エッチング剤等)	37	表面処理剤(メッキ薬剤、エッチング剤等)	
11	試薬	04	試薬	23	試薬	
12	コンバーティン グ溶剤		(該当無し)		(該当無し)	
13	プラスチック発 泡剤		用途詳細に「発泡剤」の用語を含む		(該当なし)	

注:「接着剤等」の既存排出源に対応する「用途」の内訳は、データ集計においては区分していない。

5-3 新たなデータ取得方法の検討

従来は、取扱量調査で得られる直近 2 年分のデータを合算し、そのデータに基づき排出量の推計を実施している。しかし、平成 20 年度実績調査を最後に、取扱量調査自体が実施されないこととなったため、それに代わるデータの取得方法や既存データを利用した推計の方針を検討する必要が生じた。本項では、これまでの取扱量調査の利用方法等を整理すると共に、今後のデータ取得の方針について可能性を検討した。

5-3-1 これまでの取扱量調査データの概要及び利用方法

(1) 取扱量調査の概要

経済産業省と環境省は、化管法に基づく PRTR 制度の円滑な実施を支援することを目的として、 平成 12 年度に「取扱量調査」を実施し、NITE にて結果の取りまとめを行った。

その後、PRTR 制度が軌道に乗った後、すそ切り以下排出量の推計を主目的の一つとして掲げ、 NITE が実施主体となった上で平成 20 年度まで概ね同様の方法で継続的に取扱量調査を実施してきた(表 5-30)。

		回答数							
実施 年度	発送数	調査票1 (事業者数)	調査票2-1 (1物質以上取扱の ある事業所数)	調査票2-2 (取扱のある延べ 物質数)					
H12 H13	54, 825	24, 805	22, 164	54, 436					
H14	調査なし	_	_	_					
H15	43, 000	11, 703	10, 860	37, 107					
H16	46, 020	12, 380	12, 083	45, 712					
H17	44, 500	15, 945	8, 904	41, 672					
H18	44, 170	16, 089	11, 092	51, 319					
H19	24, 406	10, 876	8, 285	32, 647					
H20	25, 000	9, 150	6, 946	31, 039					

表 5-30 これまでの取扱量調査の実施状況

注1:本表に示す回答数の中には、電話による「取扱なし」等の回答は含まれていない。

注2:「調査票1」等は取扱量調査での名称を示す(表 5-31 参照)。

注3:調査票2-1の回答数には、調査票1を返送しなかった事業者の回答も含まれている(調査票1の回答数としてはカウントしていない)。

調査項目は実施年度によって若干の違いがあるものの、平成 18 年度実施の取扱量調査においては、表 5-31 に示す形で調査が実施された。この取扱量調査は、「すそ切り以下排出量の推計」以外の活用目的もあるため、すそ切り以下排出量の推計に直接使用しない項目や、必ずしも最適ではない項目設定などが混在した形となっている。

表 5-31 取扱量調査の調査項目(平成18年度実施の調査の場合)

	調査項目	推計での活用	備考
	事業者(企業)の名称		
	事業者(本社)所在地		
	PRTR 対象物質の取扱事業所の有 無		1事業所以上あるか否か
æuli	事業者全体の常用雇用者数	•	「1~10 人」等のランク別
調査	事業者の資本金		
:鷡1	事業活動を行う事業所の数	•	「工場・作業所等」と「その他 (営業所等)」の区分ごと
	調査票2-1の数	0	
	事業者全体(企業)の業種コード	Δ	"2025"等の4桁
	記入者の所属・氏名		
	記入者の電話番号		
	事業所の名称		
	事業所の所在地		
	事業所の常用雇用者数	0	「1~10 人」等のランク別
	事業所の業種コード	•	"2025"等の4桁
淵	記入者の所属・氏名		
調査票!	記入者の電話番号		
淵	事業所の製造品出荷額等		百万円単位での概算
	(又は売上高)		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
1	特別要件施設の有無	Δ	「下水道終末処理施設」等
	事業所におけるPRTR対象物質の取 扱の把握状況	0	「量は一部把握していない」 等の選択式
	取り扱っている PRTR 対象物質の数 (調査票2-2の数)	0	
	政令番号		
	CAS 番号		物質群は回答不要
	物質名	0	
#	年間取扱量(①期首在庫量)	0	
調査	年間取扱量(②外部からの調達量)	0	
脈	年間取扱量(③期末在庫量)	0	
2-	年間取扱量(④製造量)	0	
2	年間取扱量(①+②-③+④)	•	
	用途等	•	「塗料」等の選択式
	排出率	•	「90%以上」等の選択式
	今後の取扱量の増減予想		「20%程度増」など

注1:調査票に含まれた項目のうち、「事業所通し番号」など実質的な内容を伴わない項目は省略した。

注2:「推計での活用」における記号の意味は以下の通り。

- ●:すそ切り以下排出量の推計で必ず活用する。
- ○:同じく関連項目との整合性チェックで必ず活用する。
- △:同じくデータの欠損等の問題が見つかった場合に活用する可能性がある。

注3:上記注2の●や○は「必ず活用」であっても、現状での項目設定が最適とは限らない。

(2) これまでの取扱量調査データの活用方法

① 排出源別の排出量推計方法(トップダウン式)

排出源別の推計方法では、把握可能な物質別の全国出荷量等に基づき、環境中への平均排出率を乗じることで、業種ごとの総排出量(届出排出量とすそ切り以下排出量の合計)を推計する。さらに、推計された総排出量に対し、別途推計されたすそ切り以下の割合(21 人未満の割合/1t(又は 0.5t;以下同様)未満の割合)を乗じてすそ切り以下排出量を推計する。

この排出源別の推計方法では、いくつかの排出源に係る総排出量の推計と、すそ切り以下の割合の推計において、それぞれ取扱量調査データが活用されている。具体的な活用方法は表5-32に示すとおり。

表 5-32 総排出量の推計における取扱量調査データの活用方法

排出源		取扱量調査データの 活用方法			
		平均排出率の 設定	全国出荷量の 業種への配分		
1	塗料				
2	接着剤等				
3	印刷インキ				
4	工業用洗浄剤等	0			
5	燃料(蒸発ガス)				
6	ゴム溶剤等	0			
7	化学品原料等				
8	剥離剤(リムーバー)				
9	滅菌・殺菌・消毒剤	0	0		
10	表面処理剤	0	0		
11	試薬	0	0		
12	コンバーティング溶剤				
13	プラスチック発泡剤				

注1:平均排出率は「取扱量」及び「排出率ランク」に基づき設定。

注2:「業種配分指標」は該当する用途における「排出量(取扱量×排出率ランクの中央値)」の 業種別構成比を示す。

このうち、「平均排出率の設定」や「全国出荷量の業種への配分」に取扱量調査データを活用している事例をそれぞれ表 5-33、表 5-34 に示す。

表 5-33 平均排出率の設定に取扱量調査データを活用した事例 (工業用洗浄剤等における活用例)

物質番号	対象化学物質名	利用可能データ数	年間取扱量 (kg/年) (a)	年間排出量 (kg/年) (b)	平均 排出率 =(b)/(a)
24	LAS	138	69,357	21,065	30.4%
145	塩化メチレン	554	7,414,659	2,811,404	37.9%
166	AO	28	1,561	873	55.9%
200	テトラクロロエチレン	55	434,949	302,430	69.5%
211	トリクロロエチレン	327	3,455,995	1,661,821	48.1%
251	DAC	_	_	_	19.8%
307	AE	200	130,294	25,810	19.8%
308	OPE	43	8,212	2,344	28.5%
309	NPE	215	152,520	26,347	17.3%

- 注1:本表に示す年間取扱量と年間排出量は取扱量調査(平成17年度及び平成18年度実績)を集計
- 注2:取扱量調査の用途で「工業用洗浄剤」「表面処理剤」のデータに限定した。
- 注3:物質番号 251 番は平均排出率のデータが 10 件に満たないため、需要分野の類似している 307 番と同じと仮定した。
- 注4:界面活性剤は対象化学物質名を略称にて示す。

表 5-34 「全国出荷量の業種への配分」に取扱量調査データを活用した事例 (滅菌・殺菌・消毒剤における活用例)

(M)四 (人)四 (11 中) (11 年) (11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11							
業種		既不	総排出量				
未性コード	業種名	回答 事業所数	取扱量 (kg/年)	取扱量 構成比	版別田里 (kg/年)		
		事未归数					
1400	繊維工業	4	11,990	1.1%	4,025		
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	2	22,585	2.1%	7,582		
2000	化学工業	25	724,399	68.7%	243,187		
2200	プラスチック製品製造業	5	11,024	1.0%	3,701		
2300	ゴム製品製造業	2	1,920	0.2%	645		
3200	精密機械器具製造業	37	259,481	24.6%	87,110		
3400	その他の製造業	3	14,495	1.4%	4,866		
3600	ガス業	1	520	0.0%	175		
7210	洗濯業	3	534	0.1%	179		
9140	高等教育機関	16	7,488	0.7%	2,514		
9210	自然科学研究所	7	163	0.0%	55		
	合 計	105	1,054,599	100.0%	354,038		

資料:平成17年度及び平成18年度取扱量調査。

注1:エチレンオキシドを滅菌・消毒の用途で使用した事業所のデータを抽出し、構成比を算出。

注2:本表に示す総排出量はすべてエチレンオキシド(物質番号:42)に係るもの。

取扱量調査データは、さらに「すそ切り以下の割合」の推計でも活用されている。その活用範囲は表 5-35 に示すとおりであり、そのうち、「年間取扱量1t未満の割合」の推計における具体的な活用事例を表 5-36 に示す。

表 5-35 すそ切り以下の割合の推計に必要なパラメータと取扱量調査データとの関係

推計指標	設定するパラメータ	取扱量調査 データの
		活用方法
	業種別・事業者規模別の延べ常用雇用者数(人)	
業種別の事業者規模 21 人未満の割合	業種別・事業者規模別の従業者1人当たりの製造品出 荷額等(百万円/人・年)	
	事業者規模別の排出率指数	0
業種グループ別・物	業種グループ別・物質別の全データの排出量(t/年)	0
質別の年間取扱量 1t 未満の割合	業種グループ別・物質別の年間取扱量 1t 未満に対応 する排出量(t/年)	0

注:推計指標は両者とも排出量ベースを意味する。

表 5-36 「年間取扱量1t未満の割合」の設定に取扱量調査データを活用した事例 (ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る)の例)

取		年間排出量の合計							
取扱量ランク	年間取扱量	1		2		3		4	
		化学工業		金属·機械系 製造業		他の製造業		非製造業	
ク		kg/年	構成比	kg/年	構成比	kg/年	構成比	kg/年	構成比
1	100kg 未満	20	0.1%	377	3.0%	697	0.8%	322	10.3%
2	100∼500kg	2	0.0%	1,320	10.6%	4,498	5.4%	1,440	46.2%
3	500kg∼1t	84	0.3%	244	2.0%	3,647	4.4%	1,310	42.0%
4	1∼10t	371	1.2%	10,488	84.3%	39,590	47.5%	47	1.5%
5	10∼100t	11,739	38.7%	10	0.1%	34,599	41.5%	0	0.0%
6	100∼1,000t	6,855	22.6%	0	0.0%	53	0.1%	0	0.0%
7	1,000~10,000t	535	1.8%	0	0.0%	317	0.4%	0	0.0%
8	10,000~100,000t	10,719	35.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9	100,000t 以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	合 計	30,326	100.0%	12,440	100.0%	83,402	100.0%	3,118	100.0%

注:排出量の構成比で「年間取扱量 1t 未満」に該当する部分を網掛けで示す。

② 平均取扱量等に基づく推計方法(ボトムアップ式)

ボトムアップ式の推計方法では、前述の排出源別の推計方法では推計が困難とされている対象化学物質(トルエン等の17物質を除くすべての物質)の排出量を推計している。全国の業種ごとの事業所数に対し、取扱量調査等から算出される化学物質取扱比率や1事業所あたりの平均取扱量、平均排出率を乗じるといった方法ですそ切り以下排出量が推計される。

このうち、取扱量調査のデータを使って業種別・物質別の平均取扱量の値を算出した事例を表 5-38 に示す。

表 5-37 平均取扱量に基づく推計に必要なパラメータと取扱量調査データとの関係

パラメータ		定義		区分
		足我		物質別
(a)	全国の事業所数	全国に存在するすべての事業所数	0	
	推計対象比率	「工場」等に該当する(=対象化学物質の排出の可能		
(b)		性がある)事業所の形態の割合	0	
		※ 事務所だけの事業所 (本社等) などを除くためのパラメータのこと		
		「工場」等に該当する事業所のうち、対象化学物質につ		
(c)	化学物質取扱比 率	いて何らかの取扱がある事業所の割合	0	0
		※「何らかの取扱がある事業所」には届出事業所とすそ切り以下 事業所の両方が含まれる。		
(d)	届出事業所数	化管法に基づく対象化学物質別の届出事業所数	0	0
	すそ切り以下事業 所数	対象化学物質について何らかの取扱がある事業所のうち、		
(e)		届出要件に合致しないため届出対象外の事業所の数	0	0
		※別の物質の届出があっても、当該物質の届出がなければ該当		
		すそ切り以下事業所における1事業所あたりの年間取		
(f)	平均取扱量 (kg/年)	扱量の平均値	0	0
		※ 取扱がない事業所は除くが、四捨五入して 1kg に満たない「0kg」という事業所のデータを含めて算出		
	平均排出率(%)	すそ切り以下事業所における対象化学物質の取扱量		
(g)		に対する環境中(大気・公共用水域等)への排出率の	Δ	0
		加重平均值		

注1:網掛けの箇所が取扱量調査データに基づく設定である。

注2:平均排出率は「化学工業」と「その他の業種」の2区分のみで設定しているため、本表では"△"で示す。

表 5-38 平均取扱量の設定に取扱量調査データを活用した事例 (食料品製造業における2物質の例)

	アセ	トニトリル	2-アミノ	アエタノール
	事業所名	年間取扱量 (kg/年)	事業所名	年間取扱量 (kg/年)
	А	285	A	428
	В	127	В	211
	С	65	С	135
	D	59	D	96
	Е	18	Е	66
	F	16	F	53
	G	15	G	46
	Н	9	Н	25
	Ι	9	Ι	24
事業所別の	J	8	J	13
報告データ	K	8	K	7
報音プータ	L	7	L	6
	M	6		
	N	6		
	О	5		
	Р	3		
	Q	1		
	R	1		
	S	1		
	Т	1		
	U	1		
合計		651		1, 110
平均		31		95. 5

注1:一般に物質ごとに報告事業所は異なり、物質ごとの"A","B"等の事業所名は同一の事業 所であることを意味しない。

注2:本表に示す例の場合、アセトニトリルと2-アミノエタノールは、それぞれ21事業所と12事業所が「すそ切り以下事業所」として当該物質を報告した。

注3:これらの報告データから算出される平均取扱量(=網掛けで示す部分)が「平均取扱量等に基づく排出量推計方法」で使われる値となる。

5-3-2 今後のデータ取得方法の方向性

(1) 考えられるケースの比較

前述の状況を踏まえ、今後のすそ切り以下事業者排出量の推計のためのデータ取得の方針等 として可能性のあるケースについて優劣を比較した(表 5-39)。

表 5-39 すそ切り以下事業者排出量推計のための方針の優劣の比較

	データ取得等の方針	メリット	デメリット
案1	過去の <u>5年分</u> 程度の取扱量 調査のデータを合算して排 出量推計に使用	データ数が現在の 2.5 倍程度になり、平均値のばらつきは6割程度になる。新規データ取得が不要。	事業者の努力が反映されない仕組みとなり、事業者の自主管理に役立つものとならない。新規物質の情報が皆無。
案2	過去の取扱量調査におい て、複数年度に回答がある 事業所のデータを使用	事業所ごとのデータのばら つきが多少緩和される可能 性がある。新規データ取得が不要	 データ数が2年分を合算する場合の1/3程度に減少する。 用途を調査していない年度のものについては異常値データの排除が困難。 他は案1と同様
案3	届出排出量とパラメータの 値*より、すそ切り以下排出 量を推計 →詳細は5-4	推計方法が非常に簡単推計結果に不規則な増減がなくなる。	・届出事業者とすそ切り以下 事業者の差が反映されない。・推計結果の妥当性を検証 する仕組みがない。
案4	数年に一度、対象化学物質 や業種を絞り込んだ調査を 実施し、そのデータを推計 に使用	事業者の努力の傾向が反映される。推計に必要なデータの取得に限ることができる。	主要でない物質は推計対象と はならない。(現在よりも推計対 象物質は減少する可能性があ る)

[※]排出源別排出量推計方法における、1t 未満の割合(業種別)^{注1}及び21人未満の割合(業種グループ別・対象化学物質別)^{注2}を示す。

注1:総排出量(届出排出量を含む全国排出量)に対する、取扱量が1t(又は0.5t)未満に相当する排出量の占める割合。 注2:総排出量(届出排出量を含む全国排出量)に対する、従業員数が21人未満の企業に起因する排出量の占める割合。

(2) 過去の取扱量調査の利用

今後取扱量調査に相当するものが実施困難である場合には、前述、表 5-39 の案1や案2のように、既存の取扱量調査で複数年度の回答を得ることができた事業所のデータを利用することで、データの安定化を図る方法も考えられる。その検討材料の一つとして、過去の取扱量調査における回答数別の事業所数を示す(表 5-40)。この事業所数には対象化学物質の取扱がない事業所数も多数含まれており、このうち約 1/3 が1物質以上の取扱量等を回答したものと考えられる。

複数年度に回答をしている事業所数は延べ約18,000事業所であり、そのうち1/3の事業所が1物質以上の対象化学物質を取り扱い、平均3物質/事業所の取扱があると仮定すると、延べ回答物質数は約18,000物質と推計される。それに対し、2年分(平成18~平成19年度実績)の延べ回答物質数は約57,000件であることから、継続事業所に限るとデータ数が1/3程度に減少してしまい、「推計結果の安定化」に寄与する可能性は低いと考えられる(これらの回答数は全てPRTRの届出要件に該当する事業所のデータが含まれる)。

表 5-40 取扱量調査の回答数別の事業所数(H14~H19 実績)(その1)

業種	業種名		回	答数別の	事業所	数	
コード	来 俚石	1回	2回	3回	4回	5 回	合計
0500	金属鉱業	5	1				6
0700	原油・天然ガス鉱業	39	7	3	7		56
1200	食料品製造業	1,374	66	6	4		1,450
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	433	26	9	3		471
1400	繊維工業	619	64	45	9		737
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	508	9	8			525
1600	木材•木製品製造業	497	44	38	6		585
1700	家具•装備品製造業	343	34	21	3		401
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	959	83	49	6		1,097
1900	出版•印刷•同関連産業	2,158	86	39	10		2,293
2000	化学工業	2,418	524	332	40	2	3,316
2100	石油製品•石炭製品製造業	243	31	19	18		311
2200	プラスチック製品製造業	1,807	244	100	24		2,175
2300	ゴム製品製造業	563	51	45	11		670
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	100	7	6	3		116
2500	窯業•土石製品製造業	1,613	125	76	16		1,830
2600	鉄鋼業	565	79	64	10		718
2700	非鉄金属製造業	712	139	86	11	2	950
2800	金属製品製造業	3,261	412	198	33	1	3,905

表 5-40 取扱量調査の回答数別の事業所数(H14~H19 実績)(その2)

業種	光柱力		回	答数別の	事業所	数	
コード	業種名	1回	2回	3回	4回	5 回	合計
2900	一般機械器具製造業	2,725	197	127	21		3,070
3000	電気機械器具製造業	3,922	423	227	39		4,611
3100	輸送用機械器具製造業	1,881	299	148	20	1	2,349
3200	精密機械器具製造業	996	69	41	11		1,117
3300	武器製造業	9	1	1			11
3400	その他の製造業	1,780	139	50	10		1,979
3500	電気業	233	31	6	3		273
3600	ガス業	299	8	3	7	1	318
3700	熱供給業	134	6	6			146
3830	下水道業	1,439	307	97	28		1,871
3900	鉄道業	586	11	9	2		608
4400	倉庫業	656	14	11			681
5132	石油卸売業	563	41	20			624
5142	鉄スクラップ卸売業	132	4	3	1		140
5220	自動車卸売業	380	30		2		412
5930	燃料小売業	3,949	573	106	33		4,661
7210	洗濯業	776	28	9	1		814
7430	写真業	210	1		1		212
7700	自動車整備業	2,242	121	39	29		2,431
7810	機械修理業	554	5	2			561
8620	商品検査業	318	13	1	1		333
8630	計量証明業	463	8	4	6		481
8716	一般廃棄物処理業	1,664	478	107	17		2,266
8722	産業廃棄物処分業	324	40	2	1		367
9140	高等教育機関	1,236	35	17	6		1,294
9210	自然科学研究所	1,374	43	9	3	2	1,431
	(不明)	39,242	46	5			39,293
	合 計	90,379	5,010	2,194	456	9	98,048

注1:業種が「不明」とした事業所の中には、事業者全体としての業種のみ回答した事業所が含まれている。

注2:本表に示す事業所数には「対象化学物質の取扱がない」と回答した事業所が含まれている。

注3:本表に示す事業所数は、過去の取扱量調査で1回以上回答した事業所の数(98,048件)の回答数ごとの内訳を示している。したがって、例えばある事業所が3年度分回答している場合には「3回」に該当する事業所としてのみカウントしており、「2回」及び「1回」に重複してカウントしてはいない。

5-3-3 新たなデータ取得の方針(案)

(1) アンケート調査の構成

前述、表 5-39 の案3又は案4の場合には何らかの新たなデータ取得が必要となる。本業務 では新たなデータ取得をすることを想定し、より具体的な検討を実施した。

アンケート調査の実施を前提とする場合、プレ調査(簡易調査)と詳細調査を組み合わせるこ とを想定した。プレ調査では、すそ切り以下事業者で推計すべき物質の絞り込みを行うことを目 的とし、推計に利用する定量的なデータは詳細調査で把握する。これは、今までの取扱量調査 の経験から、全対象化学物質について一律に調査するよりも、物質の重点化を行う方が事業者 負担は少なく効率的であるとの考えに基づくものである。

第1回目の詳細調査の前段と位置づけるプレ調査は、既存の取扱量調査等のデータを活用 し、新たなアンケート調査は既存の取扱量調査を活用した「詳細調査」から開始することが考え られる。

表 5-41 アンケート調査の構成(案)								
項目	プレ調査(簡易調査)	詳細調査						
対象事業者 _{注1}	業種ごとに 50~200 事業者 (合計で約 6,000 事業者)	業種ごとに 100~500 事業者 (合計で約 10,000 事業者)						
対象化学物質	全物質462物質 ※当面は取扱量調査のデータを活用	100 物質程度 ※さらに業種ごとに絞り込み						
	以下のようかランク							

① 1~10kg ② 10~100kg 有効桁数1桁の数値 ③ 100kg∼1t 年間取扱量 ④ 1~10t (例:800kg) ⑤ 10~100t 6) 100 \sim 1,000t ⑦ 1,000t 以上 以下のような小分類 以下のような大分類 (1) 塗料(溶剤) 溶剤 用涂 ② 印刷インキ(溶剤) ② 添加剤 ③ 塗料(顔料) (3) . . . (4) 以下のようなランク 排出抑制対策の有無及びその方 ① ゼロ ② 0.1%未満(ゼロ以外) 法を調査 ③ $0.1 \sim 1\%$ ※詳細調査のための物質選定では、 排出率 (4) 1~10% 「用途」で一律に排出率を設定し、 (5) 10 \sim 30% 「排出抑制対策の有無」を考慮する ことで排出量を算出 (6) 30~90%

注1: すそ切り以下排出量の推計に馴染まない以下を除外した業種を対象とする。

金属鉱業(業種コード:500)、原油・天然ガス鉱業(700)、下水道業(3830)、石油卸売業(5132)

燃料小売業(5930)、一般廃棄物処理業(8716)、産業廃棄物処分業(8722)

注2:事業者ごとに特定の工場等を一つ抽出し、その工場等に調査票を直接送付する。

⑦ 90%以上

(2) 調査票の構成

選定された事業者に対し、「詳細調査」においては、以下のとおり構成される調査票を送付することとしたい。調査票のうち、別紙1と別紙2は事業者(又は事業所)の事業形態に応じて事業者が自ら選択し、回答しやすい調査票を選択することを可能とする(両方を選択することも認める)。詳細は、<参考資料2>として資料編に示す。なお、これらの調査票の項目は、5-4に後述する推計方法との整合を取る必要がある。しかし、現段階では推計方法についても検討段階であるため、暫定的なものとして示す(5-4のいずれの方法も採用できる項目として設定している)。

また、調査票の設計に際し、既存の調査の結果等も考慮している(参考資料3参照)

調査票の種類 主な設問の内容 従業員規模(事業者全体/事業所) 事業活動を行う事業所の数(事業者) 本紙 業種(事業所) PRTR の届出の有無(事業所) 特別要件施設の有無 主な取扱資材の種類 主として化学 資材等の年間取扱量 資材等の種類ごとの排出抑制対策の有無 工業以外向け 別 具体的な排出抑制対策の方法 紙 化学物質の取扱区分(化学反応を伴う製造、調合、小分け等) 主として化学 取扱区分ごとの年間取扱量 工業向け 取扱区分ごとの排出抑制対策の有無 資材等の種類 主として化学 主な含有成分(物質名)と平均的な含有率 工業以外向け 物質毎の年間取扱量 別 物質毎の平均排出率 紙 取扱区分(調合等の場合は、その品目ごとに回答することも可) 主として化学 製造量の物質別の内訳 工業向け 物質毎の平均排出率

表 5-42 アンケート調査票の構成

(3) 事業者の選定方法

事業者の選定方法の概要は次のとおり。対象事業者数の設定例を表 5-45 に示す。

項目 概 要 取扱量調査で使用実績があるため、「帝国データバンク」の利用を想定。事 データベース 業者としての抽出となる。 業種ごとに最小で 100 件、最大で 500 件とする。 推計された「すそ切り以下排出量」に比例して抽出する方法(案1)と統 業種別の事 計上の事業者数に比例して抽出する方法(案2)が考えられる。 化学工業は他の業種と異なった特徴があり、医療業は実態が不明なた 業者数 め、必要に応じて最大の500件とする(案1のみ)。 業種内での従業員規模は偏らないように(ほぼ均等に)抽出 21 人未満の 各業種において2割程度を目安として一部に含める。 事業者

表 5-43 対象事業者の選定方法(案)

表 5-44 業種別のすそ切り以下事業者排出量(H20年度)

対象化学物質 業種 コード 業種名 7700 自動車整備業 2800 金属製品製造業 3100 輸送用機械器具製造業 1900 出版・印刷・同関連産業		H20 排出	量(kg/年)	構瓦	 比
	業種名	推計物質 (95 物質)	抽出物質 (33 物質)	推計 物質	抽出 物質
7700	自動車整備業	10,099,852	8,085,642	35.6%	32.0%
2800	金属製品製造業	3,888,292	3,821,681	13.7%	15.1%
3100	輸送用機械器具製造業	1,781,458	1,744,992	6.3%	6.9%
1900	出版·印刷·同関連産業	1,730,004	1,722,398	6.1%	6.8%
2200	プラスチック製品製造業	1,539,982	1,465,622	5.4%	5.8%
2900	一般機械器具製造業	1,478,947	1,449,729	5.2%	5.7%
2300	ゴム製品製造業	1,211,990	1,142,511	4.3%	4.5%
1700	家具·装備品製造業	1,108,877	1,099,662	3.9%	4.4%
1400	繊維工業	1,059,366	909,634	3.7%	3.6%
5930	燃料小売業	971,432	858,929	3.4%	3.4%
1600	木材・木製品製造業	555,508	545,226	2.0%	2.2%
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	520,129	490,510	1.8%	1.9%
2500	窯業・土石製品製造業	475,000	420,867	1.7%	1.7%
3000	電気機械器具製造業	426,132	370,175	1.5%	1.5%
7210	洗濯業	424,602	350,050	1.5%	1.4%
3200	精密機械器具製造業	203,283	193,567	0.7%	0.8%
2700	非鉄金属製造業	270,685	152,018	1.0%	0.6%
2600	鉄鋼業	154,800	143,450	0.5%	0.6%
2000	化学工業	213,971	118,445	0.8%	0.5%
3400	その他の製造業	107,438	86,602	0.4%	0.3%
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	48,087	47,980	0.2%	0.2%
9210	自然科学研究所	28,990	16,708	0.1%	0.1%
9140	高等教育機関	19,805	9,341	0.1%	0.04%
4400	倉庫業	3,167	3,167	0.01%	0.01%
7430	写真業	3,188	2,923	0.01%	0.01%
2100	石油製品•石炭製品製造業	2,080	1,805	0.01%	0.01%
8630	計量証明業	1,222	955	0.004%	0.004%
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	2,421	838	0.01%	0.003%
3600	ガス業	733	733	0.003%	0.003%
8620	商品検査業	613	486	0.002%	0.002%
3500	電気業	481	481	0.002%	0.002%
3900	鉄道業	1,182	390	0.004%	0.002%
3700	熱供給業	339	339	0.001%	0.001%
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	7,688	334	0.03%	0.001%
1200	食料品製造業	6,281	224	0.02%	0.001%
7810	機械修理業	13,325	0.00003	0.05%	0.000%
5220	自動車卸売業	21,499		0.1%	
	合計	28,382,848	25,258,416	100%	100%

注1:「推計対象」とは平成20年度に推計した全95物質を示し、「抽出物質」とは資料3にて仮定した優先的に推計対象とすべき物質を示す。

注2:網がけは抽出物質の排出量の構成比が1%以上の業種である。

注3:燃料小売業はアンケート調査の対象としない予定のため、網がけをしていない。

表 5-45 アンケート調査の業種別・対象事業者数

		対象事	業者数	事業	者数	
業種コード	業種名	案1 (排出量 比例)	案2 (事業者 数比例)	総数	うち、10 ~19 人	事業所数
1200	食料品製造業	100	500	23,488	4,666	
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	100	212	4,102	687	
1400	繊維工業	500	396	7,656	1,032	
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	100	500	13,770	2,365	
1600	木材•木製品製造業	500	393	7,601	1,125	
1700	家具•装備品製造業	500	468	9,052	1,128	
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	483	346	6,693	1,159	
1900	出版·印刷·同関連産業	500	500	23,150	2,820	
2000	化学工業	500	230	4,450	658	
2100	石油製品•石炭製品製造業	100	100	407	67	
2200	プラスチック製品製造業	500	500	12,781	2,289	
2300	ゴム製品製造業	500	143	2,769	452	
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	100	115	2,217	319	
2500	窯業·土石製品製造業	442	500	10,371	2,307	
2600	鉄鋼業	144	201	3,886	749	
2700	非鉄金属製造業	252	144	2,780	446	
2800	金属製品製造業	500	500	34,121	5,191	
2900	一般機械器具製造業	500	500	37,456	5,356	
3000	電気機械器具製造業	396	500	21,234	3,355	
3100	輸送用機械器具製造業	500	500	12,141	2,016	
3200	精密機械器具製造業	189	310	5,997	867	
3400	その他の製造業	100	500	12,526	1,550	
3500	電気業	100	100	106	14	1,628
3600	ガス業	100	100	200	32	655
3700	熱供給業	100	100	76	17	159
3900	鉄道業	100	100	328	46	
4400	倉庫業	100	121	2,332	378	
5220	自動車卸売業	100	325	6,294	773	
7210	洗濯業	395	431	8,334	1,338	
7430	写真業	100	183	3,545	222	
7700	自動車整備業	500	500	23,418	1,972	
7810	機械修理業	100	276	5,340	578	
8620	商品検査業	100	100	434	97	
8630	計量証明業	100	100	450	61	
8800	医療業	500	308	5,963	675	
9140	高等教育機関	100	100	2	_	1,889
9210	自然科学研究所	100	100	566	77	
		10,101	11,002	316,036	46,884	

注1:出版・印刷・同関連産業は、統計上の「印刷・同関連業」の値で代用した。

注2:電気機械器具製造業は、統計上の以下の3業種の合計とみなした。

- •電気機械器具製造業
- •情報通信機械器具製造業
- ・電子部品・デバイス製造業

注3:武器製造業は事業者数が減少し、統計上は「その他の製造業」に統合されたため、独立した業種としては設定していない。

- 注4:鉄スクラップ卸売業は主としてオゾン層破壊物質(=すそ切り以下の対象外)の排出が想定されるため、調査対象から除外した。
- 注5:事業者数が少ない業種は、アンケート調査の対象を「事業所」として抽出する方法を併用するため、統計上の 事業所数を併記した。
- 注6:事業所の業種はそれを含む事業者の業種と一致するとは限らないため、本表に示す業種別の事業者数と事業 所数は完全に対応するものではない。
- 注7:対象事業者数は、上記「注5」の業種は一部を「事業所数」と読み替える。
- 注8:対象事業者数は、いずれの抽出方法であっても「最小100件・最大500件」とする。

5-3-4 推計対象物質の重点化の可能性

前述の事業者へのアンケート調査の効率化の方法の一つとして、アンケート調査の対象とする対象化学物質の重点化の可能性を検討した。現在は対象化学物質であれば差別化することなく一律に推計することとしており、実質的には取扱量調査等のデータの有無により推計対象が決定される。

なお、本項目では検討のための試算を行ったが、この方法や結果には問題が多く残っているため、今後の更なる検討が必要であることに留意すべきである。

(1) 物質選定の基本方針(案)

過去の検討会委員の意見等を踏まえて、物質選定の基本方針(案)は次のとおりに設定した。

- ① 物質の選定は有害性及び曝露性の両者を考慮することとする。
- ② すそ切り以下事業者からの排出量の寄与が全体の排出量に対して大きい物質を考慮することとする。
- ③ 最終的には上記①及び②の考え方を総合的に組み合わせる。
- ④ 排出源別排出量推計方法の対象としている17物質についても、有害性や排出量の寄与の観点から、推計の必要がないと判断されるものについては、見直しを行う。

(2) 推計対象物質の選定方法(案)

① 有害性及び曝露性の指標による選定

<物質の抽出方法>

選定に利用する指標は次のように設定し、本資料では試算を行った。

表 5-46 選定に利用する指標及びその内容

項目	指標	指標の概要
有害性	<健康影響> 発がん性、変異原性、生殖 毒性、慢性毒性(吸入※) ※データが不足する場合に は「経口」で代用	▶ 左記指標のデータに基づくランク分けを行い、「健康影響」「生態影響」別に有害性を係数化▶ 健康影響は、最も係数が大きい指標の係数を当該物質の毒性係数として採用。
	<生態影響> 水生生物急性毒性	→神奈川県「化学物質の安全性影響度の評価に 関する指針」を参考にランクを設定(表 5-47)
曝露性	すそ切り以下事業者からの 物質別・媒体別排出量 (t/年)	 ▶ 取扱量データの異常値の除外等を実施した 平成 17 年度~平成 20 年度排出量の平均値 を採用。 ▶ すそ切り以下事業者排出量の推計を複数年 行っている物質を対象とした。 ※平成 21 年度排出量も将来的には追加可能 ▶ 「大気等」、「水域」の媒体別排出量に区分(届 出排出量の 4 年間の平均割合を使用)。

表 5-47 有害性の評価指標及びランク等

ランク	人への健康影響	生態影響	毒性 係数
А	 人に対する発がん性、変異原性、発生/生殖毒性があるもの 大気の基準値が0.001mg/m³又はACGIHのTLV-TWAが1ppm以下のもの 水質の基準値が0.001 mg/L又はADIが0.0001mg/kg/day以下のもの 	➤ LC ₅₀ 又はEC ₅₀ が 0.1mg/L以下のもの	1
В	 ▶ 人に対する発がん性、発生/生殖毒性のおそれがあるもの ▶ 大気の基準値が0.01mg/m³又はACGIH のTLV -TWA が10ppm 以下のもの ▶ 水質の基準値が0.01 mg/L 又はADI が0.001mg/kg/day 以下のもの 	➤ LC ₅₀ 又はE C ₅₀ が 1mg/L以下のもの	0.1
С	 ★気の基準値が0.1mg/m³又はACGIH のTLV-TWAが100ppm以下のもの 冰質の基準値が0.1 mg/L 又はADIが0.01mg/kg/day以下のもの 	➤ LC ₅₀ 又はE C ₅₀ が 10mg/L以下のもの	0.01
D	▶ 前述の「C」までに該当しない物質		0.001

注1:神奈川県「化学物質の安全性影響度の評価に関する指針」を参考に、変異原性及び発生/生殖毒性の項目を追加。 注2:大気の基準値とは、WHO大気質ガイドライン値、日本の大気の汚染に係る環境基準値及び指針値のうち最も低い値。 注3:水質の基準値とは、WHO水質ガイドライン値、EPAの飲用水基準値、国内の環境基準値、水道法・水質管理

目標設定項目等の最も低い値。

<有害性の評価方法>

以下の式によって換算排出量を算出し、その量が大きいほど人や環境へのリスクが高い (推計対象の候補)とみなした。人への健康影響は「大気等への排出量」と対応付け、生態影響は「水域への排出量」と対応付けた。

表 5-48 換算排出量の算出方法

換算排出量	管山士 沙
(kg/年)の種類	算出方法
健康影響	大気等への排出量(kg/年)×毒性係数(健康影響)
生態影響	水域への排出量(kg/年)×毒性係数(生態影響)

また、これらを合計した換算排出量として、評価を行った。

換算排出量=換算排出量(健康影響)+換算排出量(生態影響)

なお、今回は暫定的な方法として、健康影響と生態影響の換算排出量を合計したが、それ ぞれの換算排出量ごとに推計対象とする基準を決める方法も考えられる。

<試算結果>

平成 17 年度排出量~平成 20 年度排出量において、何らかの推計を行った物質は 107 物質であり、複数年度推計対象となったのは、そのうち、82 物質であった。物質別に、4年間 平均の媒体別排出量に対し、毒性係数を考慮した結果を換算排出量として算出した(表 5-49)。

表 5-49 すそ切り以下事業者排出量及びその換算排出量(その1)

	対象化学物質		すそ切り排と	出量(kg/年)	毒性係数		換算排出量(kg/年)			
特定		747410 4 17494	H17~H2		健康	生態	換昇·	排出重(kg/	(牛)	ラン
第一種	物質 番号	物質名	大気等(a)	水域(b)	影響(c)	影響 (d)	健康影響 =(a)×(c)	生態影響 =(b)×(d)	合計	ク
		フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	558,100	7,272	1	0.001	558,100	7	558,107	Α
		マンガン及びその化合物	293,970	34,000	1	0.001	293,970	34	294,004	Α
	145	ジクロロメタン(別名塩化メチレン)	1,857,799	798	0.1	0.001	185,780	1	185,781	Α
\circ		ホルムアルデヒド	158,478	34,163	1	0.01	158,478	342	158,820	Α
\circ	299	ベンゼン	144,318	892	1	0.001	144,318	1	144,319	Α
	227	トルエン	14,430,125	10,706	0.01	0.001	144,301	11	144,312	Α
\circ	230	鉛及びその化合物	126,602	308	1	0.1	126,602	31	126,633	Α
	63	キシレン	9,081,829	6,273	0.01	1	90,818	6,273	97,091	Α
	211	トリクロロエチレン	889,703	396	0.1	0.01	88,970	4	88,974	А
	200	テトラクロロエチレン	874,598	585	0.1	1	87,460	585	88,045	Α
		クロム及び3価クロム化合物	65,239	19,787	1	1	65,239	19,787	85,025	А
0		ニッケル化合物	38,202	45,260	1	1	38,202	45,260	83,462	A
		フェノール	80,278	1,934	1	0.1	80,278	193	80,471	A
0		6価クロム化合物	5,465	72,087	1	1	5,465	72,087	77,552	A
		銅水溶性塩(錯塩を除く。)	21,098	50,208	1	1	21,098	50,208	71,306	A
	270	フタル酸ジーnーブチル	51,866	1,590	1	0.1	51,866	159	52,025	A
		N, N – ジメチルホルムアミド	442,601	26,789	0.1	0.001	44,260	27	44,287	A
		ヒドラジン	15,066	27,724	1	1	15,066	27,724	42,790	A
0	42	エチレンオキシド	41,193	4,560	1	0.001	41,193	5	41,198	А
		エチルベンゼン	3,588,583	321	0.01	1	35,886	321	36,207	А
		ほう素及びその化合物	25,250	449,339	1	0.001	25,250	449	25,699	Α
		エチレングリコールモノエチルエーテル	251,217	5,132	0.1	0.001	25,122	5	25,127	Α
	101	酢酸2-エトキシエチル(別名エチレングリコールモノエチルエーテルアセ	227,272	173	0.1	0.001	22,727	0.2	22,727	А
	307	テート) ポリ(オキシエチレン) = アルキルエー テル(アルキル基の炭素数が12から1 5までのもの及びその混合物に限る。)	8,671	223,949	0.01	0.1	87	22,395	22,482	А
	24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)	7,213	188,347	0.01	0.1	72	18,835	18,907	А
	231	ニッケル	17,688	24,608	1	0.01	17,688	246	17,934	Α
	176	有機スズ化合物	11,667	159	1	1	11,667	159	11,826	Α
	64	銀及びその水溶性化合物	8,615	1,977	1	1	8,615	1,977	10,592	А
		ポリ(オキシエチレン) = ノニルフェニ ルエーテル	7,928	146,098	1	0.01	7,928	1,461	9,389	В
	204	テトラメチルチウラムジスルフィド(別名 チウラム又はチラム)	148	8,906	1	1	148	8,906	9,054	В
		コバルト及びその化合物	8,975	46,057	1	0.001	8,975	46	9,021	В
		2ーアミノエタノール	76,132	51,229	0.1	0.01	7,613	512	8,126	В
	1	亜鉛の水溶性化合物	20,818	73,922	0.01	0.1	208	7,392	7,600	В
	224	1, 3, 5ートリメチルベンゼン	670,373	403		0.1	6,704	40	6,744	В
	135	1, 2-ジクロロプロパン	47,414	44	0.1	0.1	4,741	4	4,746	В
	108	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く。)	17,420	2,943	0.1	1	1,742	2,943	4,685	В
	25	アンチモン及びその化合物	25,101	228	0.1	0.001	2,510	0.2	2,510	В
	95	クロロホルム	23,546	3,139	0.1	0.01	2,355	31	2,386	В
	308	プロロバルム ポリ(オキシエチレン) =オクチルフェ ニルエーテル	2,609	17,611	0.01	0.1	26	1,761	1,787	В
	346	モリブデン及びその化合物	1,722	27,168	1	0.001	1,722	27	1,749	В
		無水マレイン酸	1,636	20	1	0.001	1,636	0.02	1,636	В
		スチレン	14,333	25		0.001	1,433	0.02	1,433	

注1:毒性係数は既存データに基づく暫定値であるため、今後見直しの必要がある。

注2:網がけの物質は排出源別排出量推計方法にて推計を行っている物質である。

注3:「ランク」は、表 5-51 に後述する換算排出量のランクを示す。

注4:物質番号及び物質名は改正前の番号等であり、特定第一種指定化学物質は改正後のものを示す。また、「鉛及びその化合物」については、改正後は「鉛化合物」のみ特定第一種指定化学物質に該当する。

表 5-49 すそ切り以下事業者排出量及びその換算排出量(その2)

		対象化学物質	すそ切り排と	出量(kg/年)	毒性	係数	1.62 fe/s	LILITE /1 /	H)	
特定		7434104 1435	H17~H2	20の平均	健康	生態		排出量(kg/	牛)	ラン
第一	物質	物質名			影響	土 形 影響	健康影響	生熊影響		ク
種	番号	初貝石	大気等(a)	水域(b)	(c)	(d)	(a)×(c)		合計	2
					` ′	,	. , . ,	` ' ` '		
		クロロベンゼン	10,986	1,897	0.1	0.1	1,099	190	1,288	В
		エチレングリコールモノメチルエーテ	12,682	249		0.001	1,268	0.2	1,268	В
0		砒素及びその無機化合物	959	14	1	1	959	14	973	С
		ノニルフェノール	813	6	1	1	813	6	820	С
	254	ヒドロキノン	425	22,685	1	0.01	425	227	652	С
	178	セレン及びその化合物	630	161	1	0.1	630	16	646	С
		1, 2-ジクロロエタン	5,254	59	0.1		525	1	526	С
		酢酸ビニル	5,081	120	0.1	0.001	508	0.1	508	С
	2	アクリルアミド	493	82	1	0.001	493	0.1	493	С
	29	4, 4' ーイソプロピリデンジフェノール (別名ビスフェノールA)	1,986	1,853	0.1	0.1	199	185	384	С
	166	N, Nージメチルドデシルアミン=Nー オキシド	1	2,818	0.001	0.1	0.001	282	282	С
	113	1, 4-ジオキサン	2,631	1,972	0.1	0.001	263	2	265	С
		ふっ化水素及びその水溶性塩	2,045	32,160	0.1	0.001	204	32	237	С
		エピクロロヒドリン	202	12	1	0.001	202	0.01	202	С
	12	アセトニトリル	19,731	633	0.01	0.001	197	1	198	С
		グルタルアルデヒド	184	127	1	0.1	184	13	196	С
		ピリジン	45	174	0.1	1	4	174	178	С
0	60	カドミウム及びその化合物	106	4	1	0.1	106	0.4	106	С
		二硫化炭素	682	14	0.1	0.001	68	0.01	68	D
	314	メタクリル酸	635	594	0.1	0.001	63	1	64	D
	46	エチレンジアミン	22	354	1	0.1	22	35	58	D
	320	メタクリル酸メチル	4,339	308	0.01	0.001	43	0.3	44	D
	312	無水フタル酸	34	9	1	0.001	34	0.01	34	D
		アクリル酸	270	4	0.1	0.001	27	0.004	27	D
	32	2ーイミダゾリジンチオン	251	1	0.1	0.001	25	0.001	25	D
		エチレンジアミン四酢酸	0	1,879	0.001	0.01	0.0001	19	19	D
		3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1 -ジメチル尿素(別名ジウロン又はDC MU)	143	189	0.1	0.01	14	2	16	D
		テトラヒドロメチル無水フタル酸	6,915	0	0.001	0.1	7	0.02	7	D
	11	アセトアルデヒド	64	47	0.1	0.001	6	0.05	6	D
	175	水銀及びその化合物	54	13	0.1	0.001	5	0.01	5	D
	67	クレゾール	50	22	0.1	0.01	5	0.2	5	D
	65	グリオキサール	5	8	1	0.001	5	0.01	5	D
	139	oージクロロベンゼン	202	3	0.01	1	2	3	5	D
	198	1, 3, 5, 7ーテトラアザトリシクロ[3. 3. 1. 1(3, 7)]デカン(別名ヘキサメ チレンテトラミン)	324	266	0.01	0.001	3	0.3	4	D
	273	フタル酸nーブチル=ベンジル	1,965	5	0.001	0.1	2	0.5	2	D
	15	アニリン	0.2	2	0.1	1	0.02	2	2	D
	298	ベンズアルデヒド	62	_	0.01	0.01	1		1	D
	181	チオ尿素	0.01	46	0.1		0.001	0.5	0	D
		1ーオクタノール	9	0.2	0.01	0.1	0.1	0.02	0.1	D
	13	2, 2'ーアゾビスイソブチロニトリル	2	2	0.01	0.001	0.02	0.002	0.02	D
		合 計	34,321,145	1,685,922			2,444,734	291,457	2,736,190	

注1:毒性係数は既存データに基づく暫定値であるため、今後見直しの必要がある。

注2:網がけの物質は排出源別排出量推計方法にて推計を行っている物質である。

注3:「ランク」は、表 5-51 に後述する換算排出量のランクを示す。

注4:物質番号及び物質名は改正前の番号等であり、特定第一種指定化学物質は改正後のものを示す。また、「鉛及びその化合物」については、改正後は「鉛化合物」のみ特定第一種指定化学物質に該当する。

② すそ切り以下事業者の排出量における寄与

<物質の抽出方法>

前述の(2)と同様に、平成 17 年度排出量~平成 20 年度排出量の平均値を利用した。届 出及び届出外排出量の合計に占める、すそ切り以下事業者排出量の割合を物質別に算出 し、寄与率が高いものを「推計対象」の候補とした(表 5-50)。

<試算結果>

2ーイミダブリジンチオンやアクリルアミドのように排出量自体は少ないが、すそ切り以下事業者排出量の寄与が大きいものが存在する。

表 5-50 全排出量に対するすそ切り以下事業者排出量の寄与(その1)

		対象化学物質	排出量(H1	7∼H20Ø	すそ切り	
特定		// // // // // // // // // // // // //	平均;kg		以下の寄	
第一	物質	物質名	届出+届出外		与率	ランク
種	番号	初貝石	伸出+伸出タト (a)	9 そ 切り込 下(b)	分 符 (b)/(a)	
	0.0	0 ひがかい オル	, ,			т .
		2ーイミダゾリジンチオン	262	252	96%	
		テトラヒドロメチル無水フタル酸	8,864			
	69	6価クロム化合物	103,302	77,552	75%	I
	29	4, 4' ーイソプロピリデンジフェノール (別名ビスフェノールA)	5,238	3,839	73%	I
	254	ヒドロキノン	32,614	23,111	71%	I
		フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	811,429	565,372	70%	I
	176	有機スズ化合物	19,917	11,826	59%	
	100	コバルト及びその化合物	94,784	55,032	58%	
	242	ノニルフェノール	1,432	820	57%	
		ニッケル	75,539	42,296	56%	
		アクリルアミド	1,124	575	51%	I
	270	フタル酸ジーnーブチル	117,770	53,456	45%	
		銀及びその水溶性化合物	23,348	10,592	45%	I
		エチレングリコールモノエチルエーテル	580,015	256,349	44%	
		ヒドラジン	101,491	42,790		
	68	クロム及び3価クロム化合物	221,878	85,025	38%	I
		酢酸2-エトキシエチル(別名エチレ				
	101	ングリコールモノエチルエーテルアセ	609,899	227,445	37%	I
		テート)				
	200	テトラクロロエチレン	2,511,595	875,184	35%	I
	207	銅水溶性塩(錯塩を除く。)	238,414	71,306	30%	
\circ		ニッケル化合物	300,439	83,462	28%	
	313	無水マレイン酸	6,102	1,655	27%	
		1, 2-ジクロロプロパン	215,706	47,458	22%	I
	346	モリブデン及びその化合物	136,437	28,890	21%	I
	309	ポリ(オキシエチレン) = ノニルフェニ ルエーテル	864,488	154,026	18%	П

注1:「ランク」は、表 5-51 に後述するすそ切り以下の寄与率のランクを示す。

注2:物質番号及び物質名は改正前の番号等であり、特定第一種指定化学物質は改正後のものを示す。また、「鉛及びその化合物」については、改正後は「鉛化合物」のみ特定第一種指定化学物質に該当する。

表 5-50 全排出量に対するすそ切り以下事業者排出量の寄与(その2)

		対象化学物質	排出量(H1	7~H20の	すそ切り	
特定	IU . 55		平均;kg		以下の寄	س ر يـ
第一	物質	物質名	届出+届出外	すそ切り以	与率	ランク
種	番号	N. A. F.	(a)	下(b)	(b)/(a)	
	266	フェノール	486,837	82,212	17%	Π
		トリクロロエチレン	5,408,127			
		1, 3, 5ートリメチルベンゼン	5,434,229	670,776		
		2, 2'ーアゾビスイソブチロニトリル	30	3		
0		エチレンオキシド	413,608	45,753	11%	П
	40	エチルベンゼン	32,791,616	3,588,904	11%	П
	308	エナルヘンセン ポリ(オキシエチレン) = オクチルフェ ニルエーテル	196,550	20,220	10%	П
	66	グルタルアルデヒド	3,043	311	10%	П
		ほう素及びその化合物	4,877,779			
		亜鉛の水溶性化合物	996,479		10%	
		N, Nージメチルホルムアミド	4,944,215	469,389	9%	
		ジクロロメタン(別名塩化メチレン)	20,809,751	1,858,598	9%	
		トルエン	166,745,485	14,440,831	9%	
		キシレン	106,244,344		9%	
	1.0	マートートル	244,721	20,364	8%	
	12	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸	244,721	20,304		
		塩で味く。)	250,586		8%	
		2ーアミノエタノール	1,804,574	127,361	7%	
		エチレングリコールモノメチルエーテル	270,977	12,931	5%	
		フタル酸n-ブチル=ベンジル	41,407			IV
		マンガン及びその化合物	7,069,536	327,970	5%	IV
	204	テトラメチルチウラムジスルフィド(別名 チウラム又はチラム)	203,631	9,054	4%	IV
	93	クロロベンゼン	313,298	12,883	4%	IV
	175	水銀及びその化合物	2,237	66	3%	IV
		1,4-ジオキサン	156,406	4,603	3%	IV
	95	クロロホルム	950,750	26,685	3%	IV
	25	アンチモン及びその化合物	933,821	25,330	3%	IV
	178	セレン及びその化合物	32,276	791	2%	IV
	314	メタクリル酸	53,298	1,229	2%	IV
	47	エチレンジアミン四酢酸	94,897	1,879	2%	IV
\circ	230	鉛及びその化合物	6,892,831	126,910	2%	IV
\circ	310	ホルムアルデヒド	12,127,339		2%	IV
	116	1, 2-ジクロロエタン	347,883	5,313	2%	IV
		直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)	14,005,123	195,560	1%	IV
	198	1, 3, 5, 7ーテトラアザトリシクロ[3. 3. 1. 1(3, 7)]デカン(別名ヘキサメ チレンテトラミン)	43,802	590	1%	IV
		ポリ(オキシエチレン) = アルキルエー テル (アルキル基の炭素数が12から1 5までのもの及びその混合物に限る。)	20,352,110	232,621	1%	IV
\bigcirc	299	ベンゼン	13,809,730	145,210	1%	IV

注1:「ランク」は、表 5-51 に後述するすそ切り以下の寄与率のランクを示す。

注2:物質番号及び物質名は改正前の番号等であり、特定第一種指定化学物質は改正後のものを示す。また、「鉛及びその化合物」については、改正後は「鉛化合物」のみ特定第一種指定化学物質に該当する。

表 5-50 全排出量に対するすそ切り以下事業者排出量の寄与(その3)

特定		対象化学物質	排出量(H1	7~H20の	すそ切り	
第一	物質		平均;kg		以下の寄	ランク
角種	番号	物質名	届出+届出外	すそ切り以	与率	127
7里	笛ケ		(a)	下(b)	(b)/(a)	
		メタクリル酸メチル	460,942	4,647	1%	IV
		ふっ化水素及びその水溶性塩	3,505,354	34,205	1%	IV
		無水フタル酸	4,510	42	1%	IV
		酢酸ビニル	1,014,506	5,202	1%	IV
		アクリル酸	56,007	274	0.5%	IV
		ピリジン	48,568	218	0.4%	IV
		1ーオクタノール	2,527	9	0.3%	IV
		エピクロロヒドリン	62,771	213	0.3%	IV
	46	エチレンジアミン	130,485	376	0.3%	IV
	177	スチレン	5,099,956	14,358	0.3%	IV
	129	3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1 ージメチル尿素(別名ジウロン又はDC	184,051	332	0.2%	IV
	166	オキンド	1,611,246	2,819	0.2%	IV
		グリオキサール	9,098	13	0.1%	IV
\bigcirc		カドミウム及びその化合物	93,678	110	0.1%	IV
		クレゾール	95,790	72	0.1%	IV
	139	oージクロロベンゼン	337,223	205	0.1%	IV
\bigcirc	252		2,261,106	973	0.04%	IV
		チオ尿素	160,973	46	0.03%	IV
		二硫化炭素	4,305,751	696	0.02%	IV
		アニリン	27,466	2	0.01%	IV
		ベンズアルデヒド	793,479	62	0.01%	IV
	11	アセトアルデヒド	5,017,030	111	0.002%	IV
		合 計	461,717,930	36,007,066	8%	

注1:「ランク」は、表 5-51 に後述するすそ切り以下の寄与率のランクを示す。

注2:物質番号及び物質名は改正前の番号等であり、特定第一種指定化学物質は改正後のものを示す。また、「鉛及びその化合物」については、改正後は「鉛化合物」のみ特定第一種指定化学物質に該当する。

③ 既存物質における暫定的な選定結果

前述の①及び②の結果を総合的に判断し、表 5-51 の表中の「○」の箇所を優先的に推計対象とする物質として選定した。

重点化する物質を抽出した暫定的な結果は、表 5-52 に示す 33 物質であった。

表 5-51 推計対象物質の選定方法(総合評価)

			寄与	率	
	換算排出量	I	П	Ш	IV
		20%以上	10%~20%	5%~10%	5%未満
А	10,000以上	0	0	0	
В	1,000~10,000	0	0		
С	100~1,000	0			
D	100 未満				

表 5-52 重点化を図る物質の暫定的な抽出結果

特定 第一種	物質 番号	物質名	環境リ スク	すそ切り 以下排出 量の寄与	総合
	1	亜鉛の水溶性化合物	В	Ш	
	2	アクリルアミド	С	I	\circ
	3	アクリル酸	D	IV	
	11	アセトアルデヒド	D	IV	
	12	アセトニトリル	С	Ш	
	13	2, 2'ーアゾビスイソブチロニトリル	D	П	
	15	アニリン	D	IV	
	16		В	Ш	
	24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び その塩(アルキル基の炭素数が10から1 4までのもの及びその混合物に限る。)	А	IV	
	25	アンチモン及びその化合物	В	IV	
	29	4, 4' ーイソプロピリデンジフェノール (別名ビスフェノールA)	С	I	0
	32	2ーイミダゾリジンチオン	D	I	
	40	エチルベンゼン	А	П	0
0	42	エチレンオキシド	А	П	0
	44	エチレングリコールモノエチルエーテル	А	I	0
	45	エチレングリコールモノメチルエーテル	В	IV	
	46	エチレンジアミン	D	IV	
	47	エチレンジアミン四酢酸	D	IV	
	54	1 1	С	IV	
	58	1ーオクタノール	D	IV	
0	60	カドミウム及びその化合物	С	IV	
	63	キシレン	А	Ш	0
	64	銀及びその水溶性化合物	А	I	0

特定 第一種	物質 番号	物質名	環境リスク	すそ切り 以下排出 量の寄与	総合
	65	グリオキサール	D	IV	
	66	グルタルアルデヒド	С	П	
	67	クレゾール	D	IV	
	68	クロム及び3価クロム化合物	А	I	\circ
0	69	6価クロム化合物	А	I	\circ
	93	クロロベンゼン	В	IV	
	95	クロロホルム	В	IV	
	100	コバルト及びその化合物	В	I	0
	101	酢酸2-エトキシエチル(別名エチレン グリコールモノエチルエーテルアセテー ト)	А	I	0
	102	酢酸ビニル	С	IV	
	108	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く。)	В	Ш	
	113	1,4-ジオキサン	С	IV	
	116	1,2ージクロロエタン	С	IV	
	129	3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1- ジメチル尿素(別名ジウロン又はDCM U)	D	IV	
	135	1, 2-ジクロロプロパン	В	I	0
	139	oージクロロベンゼン	D	IV	
	145	ジクロロメタン(別名塩化メチレン)	А	III	0
	166	N, Nージメチルドデシルアミン=Nーオ キシド	С	IV	
	172	N, Nージメチルホルムアミド	А	Ш	\circ
	175	水銀及びその化合物	D	IV	
	176	有機スズ化合物	А	I	\circ
	177	スチレン	В	IV	
	178	セレン及びその化合物	С	IV	
	181	チオ尿素	D	IV	
	198	1, 3, 5, 7ーテトラアザトリシクロ[3. 3. 1. 1(3, 7)] デカン(別名ヘキサメチレ ンテトラミン)	D	IV	
	200	テトラクロロエチレン	А	I	0
	202	テトラヒドロメチル無水フタル酸	D	I	
	204	テトラメチルチウラムジスルフィド(別名 チウラム又はチラム)	В	IV	
	207	銅水溶性塩(錯塩を除く。)	А	I	0
	211	トリクロロエチレン	А	II	0
	224	1,3,5ートリメチルベンゼン	В	I	\circ
	227	トルエン	А	Ш	\circ
0	230	鉛及びその化合物	А	IV	
	231	ニッケル	А	I	\bigcirc
0		ニッケル化合物	А	I	\bigcirc
	241	二硫化炭素	D	IV	
		ノニルフェノール	С	I	\circ
0	252	砒素及びその無機化合物	С	IV	

特定 第一種	物質 番号	物質名	環境リスク	すそ切り 以下排出 量の寄与	総合
	253	ヒドラジン	А	I	\circ
	254	ヒドロキノン	С	I	\circ
	259	ピリジン	С	IV	
	266	フェノール	А	П	
	270	フタル酸ジーnーブチル	А	I	0
	272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	А	I	\circ
	273	フタル酸nーブチル=ベンジル	D	IV	
	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	С	IV	
	298	ベンズアルデヒド	D	IV	
0	299	ベンゼン	А	IV	
	304	ほう素及びその化合物	А	Ш	0
	307	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル (アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)	А	IV	
	308	ポリ(オキシエチレン) =オクチルフェニ ルエーテル	В	П	0
	309	ポリ(オキシエチレン) = ノニルフェニル エーテル	В	П	0
0	310	ホルムアルデヒド	А	IV	
	311	マンガン及びその化合物	А	IV	
	312	無水フタル酸	D	IV	
	313	無水マレイン酸	В	I	0
	314	メタクリル酸	D	IV	
	320	メタクリル酸メチル	D	IV	
	346	モリブデン及びその化合物	В	I	0
		物質数			33

注1:網がけは排出源別排出量推計方法にて推計している物質である。

注2:物質番号及び物質名は改正前の番号等であり、特定第一種指定化学物質は改正後のものを示す。また、「鉛及びその化合物」については、改正後は「鉛化合物」のみ特定第一種指定化学物質に該当する。

(3) 業種別の情報収集の方法(案)

今後、新たにアンケート調査により事業者の対象化学物質の取扱量等の調査を行う場合には、 業種別に物質を絞り込むことが想定されるため、前記(2)で暫定的に抽出した33物質の業種別 の取扱状況を試行的に整理した。平成20年度排出量推計に利用した取扱量調査(H18、H19年 度実績、NITE)における状況を表5-53に示す。

例えば、業種別・物質別のデータ数が5件以上のものを当該業種における調査対象物質とみなした場合、食料品製造業のように1物質しか対象とならないケースから、化学工業のように32物質が対象となるケースまで業種による差は大きいものと考えられる。

表 5-53 業種別・物質別の取扱状況(取扱量調査におけるデータ数)

		1000	1200	1400	1500	1600	1700	1800	1900	0000	0100	0000	0200	0.400	0500	0000	0700	2800	0000	3000	2100	3200	3300 3	3400 3	3500 36	500 370	0 2000	14400	F120	E1.40	5000	7010	7420 7	700 7	010 000	20 00	20 014	0 001	0
								1800		2000	石	2200 -r	2300 ゴ			2600	2700 He		2900				- 10	_		_		_	3132	214Z	5220 亡	2/10	7430 7	/00 /	810 802	_	30 914	_	_
		食料	飲料	繊	衣服	木材	家具	ル	出版	化学	油	ラ		みか	*	鉄	升	金属製	674	電	輸送用	精密	武	その			鉄	倉	石油	鉄ス	自動	洗	写	自力	機 商		十一高	自好	
			4-1	維	•			プ	лX •	子	製	ノス	ム	l	業	鋼	鉄へ	馬生	般	気	塔	密機	器製	100	気	ス単編	道業	庫	油		動	濯	真業	動		量	E 等	然科	1
		品		工	そ	•	•			Ι.	品		製	革	:	業	金	製	機	機	用	機	製		業	美	[兼	業	卸	ク	車	業	兼	車	修一度	直角	上 教	. 科	
此一厅厅		製	げ	業	の他	木	装備	紙	印	業	•	チ	品		土		属	出	械	械	機	械		の		業	E		売	ラ	卸		- 1	整	理 査業 業	1 明 業	月 育	一学	業
物質	物質名	造	たばこ・		他の	製		•	刷		石	ツ	製	刨	石		属製	製	器	器	械	器		製					業	ツ	売			備	業 業	き 業	育機	. 研	業種
コード	1/2/1	業	•		繊	品	品	紙	•		農	ク	造	同製品	製		造業	品製造業	具	具	器	具		造						プ	業			業			関	- 学研究所	数
			飼		維	製	製	加	同		製	製品	業		品		業	業	製	製	具	製		業						卸								所	~
			料		維製品製	木製品製造業	品製造業	工品製造	関		炭製品製造業	品		毛皮製造	製造				械器具製造	械器具製造業	機械器具製造	械器具製造								売									
			製		他	業	業	飿	連		製	製		剋	浩				業	業	浩	業								業									
			造		造	,,,	,,,,	造	産		造	造業		造	業					/	業	//-								//-									
			業		業			業	業		業	業		業	\wedge						\wedge																		
2	アクリルアミド		2						1	15		1			1			2																			1 56	6 2	9 :
29	ビスフェノールA			1						16	2	5			2		3	2			11	2		2	1											1	1		
	エチルベンゼン		15	7	3	10	17	38	39	51	15	60	25	5	42	41	34	173	189	135	127	43	2	58	11	16	1 57	7	23	4	4	1		79	45	2	1 18		8 30
42	エチレンオキシド	2					2			13		2										19		1		2		-				6		_			4 14	4	9 5
44	エチレングリコールモノエチル			9	9		4		7	27		10	1		1	⊿	2	32	15	28	29	7		9	1	1	1								2			5 1	1 12
	エーテル			J	2		1		•	21		10	1		1	1	-	02	10	20	20	'			1	1												1	1 11
	キシレン	6			11	23	39		146	142	30	102	47	6		52	76		292	303	196	78	2	98	11	25	6 111	. 8	22	2	16	2					21 109		
	銀及びその水溶性化合物	3	2			1		3	6	35	4	10	1		15	1	10	18		199	12	14		14			1						11	2	2	6 6	68 13	3 2	6 16
	クロム及び3価クロム化合物		6		8	4		1	9	53		21	8	2	33	14	17	67	30		39	11		13		5	2								4	1	2 10	_	3 19
	6価クロム化合物	3		U	3	1	4		11	26		5	3	1	10		6	89				13	1	17	1	3	16	5			1			13	1	1	16		
100	コバルト及びその化合物	1	14	16	4	2		5	5	73	9	22	3		37	1	14	29	22	26	21	9		5	1									1		1	1 2	1 2	1 17
101	エチレングリコールモノエチル			1		1	4		5	18		9	4	0	2	1	2	19	10	38	24	6		7			5								3			,	0 1/
101	エーテルアセテート			1		1	4		Э	10		9	4	4	4	1	4	19	18	30	24	О		- 1				1							3		-	1	2 10
135	1,2-ジクロロプロパン			2	4		1	1	19	2	1	1							1	2		1																	1
145	塩化メチレン		2	9	4	3	5	8	101	84	4	36	7	6	10	11	4	39	42	72	33	24		34	1	2	8	3			1			1	2 2	6 13	31 79	9 8	9 21
172	N,N-ジメチルホルムアミド		1	15	2		3	3	2	82		6	8	8	2	1	1	11	9	26	9	4		4]					3			3	2 6	63	1 6	7 13
176	有機スズ化合物			6		1	1	1	1	35		19	2		6	1	3	4	15	15	30	1		8													į	5	3 9
	テトラクロロエチレン			9				2	4	11	1	1	7			7	3	3	5	1	5	2		4								55			3	0	•	7	7 10
	銅水溶性塩(錯塩を除く)		12	9	1			2	5	41		4	1		4	1	3	14	4	31	1	1		1												3	4 20		
	トリクロロエチレン			13	6			1	8	12	16	2	17		41	3	5	26	14	14	18	11		14			5		1			6				1	1 12		
224	1,3,5-トリメチルベンゼン		2	8	2	5		14	125	42	14	23	5		14	25	13	94		73	105	20	1	23		12	47								13				8 27
227	トルエン	3	16	29	14	27	58	73	85	129	19	106	69	19	76			232		358	_	100	1	107	14	11	2 89	9	9	2	16	2	1 1	.82	82 3	5 12			
	ニッケル		_		1				2	18	1	11	1		4	10	19	50			18	7		11	_	1								_				9 1	
232	ニッケル化合物		5	1	1		2		7	41	2	20	17		23	9	13	61	24	54	45	9	_	15		4		-	-	\vdash				_		1	17	7 2	0 16
242	ノニルフェノール		1	2	2	1		0.7	3	19	14	3	3		2	1	1	5	2	10	11	3	_	2	2	2	1	-							0	_	4.	0 1	1
	ヒドラジン		1	12	1	8	1	27	104	53	9	4	4		16	5	9	10	6	21	21	2		0	22	18 4	1	+	-			6	1		2	7		2 1	3 19
	ヒドロキノン			0	0	1.0	1	4	124	33	1 -	5	0	1	1	0	3	(1.5	24	97	3	_	2	0	1	1	-			1		1			7	-	4 2	<u> </u>
	フェノール フタル酸ジ-n-ブチル	—	1	2	Z	10 6		70	27	60	15	12		2	20	8	9	8		34	27	8 16	0	14 12	3	1	1 10		 	\vdash	1			1		1 5	54 66		
	フタル酸ン-n-フナル フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)		1	3	1	2	4 6	73	37	44 26	13	13	23 17		15 7	7	5	25 21	38 38	31 25	39 50	10	4	10	<u>ئ</u>	2	10		-			1		1	3	9	-	-	7 18 7 15
	フタル酸ヒス(2-エテルペキシル) ほう素及びその化合物		7	22	1	ე ე	1	54	10	136	15	21	11		36	7	26	91		123	66	16	9	19	1	4	2 3		\vdash			2	1	-+		9 1			
304			- (44			1	94	10	130	19	41			30	- 1	20	91	47	143	00	10	4	19	1		ا ك	1					1		1	<i>J</i> 1	14 9;	9 3	7 20
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチル フェニルエーテル			12	3			3	5	32	5	4	4		2	3	1	10	10	10	13	6		3								1				3	15	5	5 11
																							_		_			-						_		_			4
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニル		5	45	9	7	3	16	31	65	15	10	8	2	20	11	19	53	40	37	87	14		16	2		6	5				9	10		6	8	1 4	4	3 24
	フェニルエーテル		3	10	3			13	01	.00	10	10	3	-	20	11	13	00	10	0.	0.	11		10	-								10					-	
313	無水マレイン酸									16		4	1		2					2													2				(6	2 :
	モリブデン及びその化合物		3	4	2		1	11	35	62	26	12	3		7	17	16	40		42	51	12		4	2	2 2		_	4		1			2	8	2	4 1	1 1	ŝ 18
1	データが5件以上の物質数	1	9	18	5	8	6	11	22	32	14	23	14	5	19	16	17	26	26	28	27	21		20	5	6	3 12	3	4		2	5	2	5	6 1	1	7 2	5 2	5

注:取扱量調査(H18・H19 実績、NITE)のデータに基づきすそ切り以下事業者のデータに限り抽出した件数。データ数が5件以上の箇所は網掛けを行った。

(4) 新規物質の情報収集の方針(案)

新規物質については「すそ切り以下排出量」の推計データが得られないことから、取扱量調査(H19、H20 実績、NITE)における排出量と有害性を考慮した物質を選定する方法が考えられる。ただし、定量的な情報が得られる既存のデータは非常に数が限定されていることから、当面はノルマルーへキサンのような物質を対象とし、データの蓄積状況を考慮しながら、段階を踏んで対象を広げることが現実的であると考える。

取扱量調査(H19 年実績、NITE)では、全業種の合計データ件数が 10 件以上の物質はノルマルーへキサン等の 14 物質に限られる。

表 5-54 データ数が 10 件以上、排出量が 1t 以上の物質(取扱量調査 H19 実績)

/	/ 数从10 日 处土、沙田里从11 处土		0.454-119.4-11	
(新) 物質 番号	物質名	データ 件数	取扱量 (t/年)	排出量 (t/年)
392	ノルマルー ヘキサン	249	7,246	865
448	メチレンビス(4, 1- フェニレン) = ジ イソシアネート	75	2,915	2
277	トリエチルアミン	54	167	26
207	2, 6- ジ- ターシャリ- ブチル- 4- クレゾール	35	441	2
302	ナフタレン	32	109,988	2,013
213	N, N- ジメチルアセトアミド	31	3,103	10
275	ドデシル硫酸ナトリウム	22	198	39
259	テトラエチルチウラムジスルフィド(別 名ジスルフィラム)	18	101	1
7	アクリル酸ノルマルー ブチル	17	11,271	22
71	塩化第二鉄	14	269	17
452	2- メルカプトベンゾチアゾール	13	69	3
234	臭素	12	523	11
296	1, 2, 4- トリメチルベンゼン	12	138	10
461	りん酸トリフェニル	11	8,016	2
	その他の 110 物質	391	33,605	2,117
	合 計	986	178,051	5,139

注1:取扱量調査(H19 実績、NITE)による。

注2:物質番号は、改正後の番号を示す。

5-4 新たな推計方法の検討

平成 21 年度は、前述、5-3に示した今後のデータ取得の方針の検討が並行して行われた ため、新たな推計方法の詳細にまで踏み込むことが困難であった。

「すそ切り以下事業者排出量推計手法検討会」における審議の結果、5-4-1の「用途に着目した推計方法」に加え、5-4-2に示す「届出排出量に基づく推計方法」についても今後継続して採用の可能性を検討していくことされている。

以下に、それらの推計方法について示すこととする。

5-4-1 用途に着目した推計方法

(1) 新たな推計方法の位置づけ

平成20年度より検討をしている「用途に着目した推計方法」は、その適用可能範囲の見極めが必要であるものの、一定の有効性が確認された場合は、従来の「平均取扱量等に基づく排出量推計方法」に取って代わる推計方法と位置づけられる(推計方法の概要は図 5-2 参照)。その場合、従来の「排出源別排出量推計方法」と併用して2種類の方法ですそ切り以下排出量を推計することとなるが、両者の棲み分けは表 5-55 に示すとおりになると考えられる。

この新たな推計方法は、対象化学物質の用途等に基づき排出源を特定して推計するという意味においては、従来の「排出源別排出量推計方法」と同じである。

なお、表 5-55 では、5-4-2に示す「届出排出量に基づく推計方法」の棲み分けが考慮されていないため、今後の検討課題である。

表 5-55 「新たな推計方法」を採用した場合の2種類の推計方法の棲み分け(案)

			主なア	勺容
項	目	(,, _, , , , , , , , , , , , , , , , , ,	別排出量推計方法 式の推計方法)	用途に着目した推計方法 (ボトムアップ式の推計方法)
	見	全国出荷量等が把 排出であること ※排出源としての網羅	握できる排出源からの性は必要条件としない	以下の両方の条件を満たすこと ① 左記の条件に該当しないこと ② 取扱量調査の報告データが十分な数だけあり、平均取扱量等が信頼できる値として用途ごとに設定できること
推計	排出源	 塗料 接着剤等 印刷インキ 工業用洗浄剤等 燃料(蒸発ガス) ゴム溶剤等 	⑦ 化学品原料等 ⑧ 剥離剤(リムーバー) ⑨ 滅菌・殺菌・消毒剤 ⑩ 表面処理剤 ⑪ 試薬	左記の 11 種類に以下のような排出源を 追加したもの ② 洗浄用シンナー ③ プラスチック添加剤 ④ メッキ薬剤・電極 ⑤・・・
対象範囲	対象化学物質	トルエン、塩化メチレ (排出源別排出量で		 ▶「①塗料」~「⑪試薬」の排出源については、左記の17物質以外(アセトニトリル、クロロホルム等) ▶ 上記以外の「⑫洗浄用シンナー」等の排出源については、左記の17物質を含むすべての対象化学物質
	業種	下水道業、一般廃棄	乗物処理業等を除く業	上記の排出源、対象化学物質に対応す るすべての業種

注1:「推計対象範囲」は当該推計方法が結果的に採用された範囲を示す(採用条件とは異なる)。

注2:推計対象範囲は推計された年度によって異なるが、本表では平成18年度分の推計における状況を示す。

(2) 対象とする排出源

用途に着目した推計方法(ボトムアップ式の推計方法)で対象とする排出源は、別途トップ ダウン式に排出量推計をしている排出源を含め、表 5-56 に示すような排出源とすることが考 えられる。この対象とする排出源は、データ取得の方針とも関係するため、今後の情報収集 や検討の結果を踏まえて継続的な見直しを進めることが考えられる。

表 5-56 「用途に着目した推計方法(ボトムアップ式)」で対象とする排出源(案)

	排出源	ţ	備考		
化学物質自体	本の製造				
化学製品の	化学反応を伴う	50	合成原料等		
製造	調合・小分け等		添加剤等		
		塗料	溶剤、顔料等を含む		
		接着剤			
		粘着剤	「接着剤等」から独立		
		印刷インキ			
		工業用洗浄剤			
		クリーニング溶剤	「工業用洗浄剤等」から独立		
	 既存の排出源	燃料(蒸発ガス)			
	外行がが出版	ゴム溶剤	従来の「ゴム溶剤等」から変更		
		剥離剤(リムーバー)			
化学製品の					
位子表品の 使用	表面処理剤				
灰/		クリーニング溶剤 「工業用洗浄剤等」から独立 燃料(蒸発ガス) 従来の「ゴム溶剤等」から変更 剥離剤(リムーバー) 医療業が使う医薬品等を含む			
		コンバーティング溶剤			
		プラスチック発泡剤			
		洗浄用シンナー			
		プラスチック添加剤			
		メッキ薬剤・電極			
	新規の排出源	反応溶剤・抽出溶剤	従来の「化学品原料等」から独立		
		その他の溶剤			
		排ガス・排水処理剤			
W - Fort do - III		その他の使用資材			

注 1:「既存の排出源」は、全国出荷量等に基づいてトップダウン式に排出量を推計することが困難な対象化学物質 だけが推計対象となる。

(3) 推計に必要なパラメータ類

用途に着目した推計方法(ボトムアップ式)に必要なパラメータ類を次に整理した。表 5-57 の(c)以降のパラメータを算出するには全てアンケート調査等による事業者からのデータ取得が必要となる。

注2: 政令改正によって医療業が PRTR の届出対象業種に追加されるため、従来「医薬品」として別途推計されてきたものの一部を「滅菌・殺菌・消毒剤」等として推計し、すそ切り以下排出量の一部に加算することが考えられる。

表 5-57 用途に着目した推計方法(ボトムアップ式)の方法で使用している パラメータの定義と設定区分

			訍	定区经	分
	パラメータ	定義	排出源	業種	物質
(a)	全国の事業所数	全国に存在するすべての事業所数		0	
(b)	推計対象比率(%)	「工場」等に該当する(=対象化学物質の排出の可能性がある)事業所の形態の割合 ※事務所だけの事業所(本社等)などを除くためのパラメータのこと		0	
(c)	化学物質取扱比率(%)	「工場」等に該当する事業所のうち、推計対象とする排出源で何らかの対象化学物質の取扱がある事業所の割合 ※「何らかの取扱がある事業所」には届出事業所とすそ切り以下事業所の両方が含まれる。	0	0	
(d)	化学物質取扱比 率の補正係数(%)			0	
(e)	平均取扱量 (kg/年)	資材(例:塗料)としての平均取扱量	0	(()	
(f)	平均排出率(%)	取扱量に対する環境中(大気・公共用水域等)への排 出率の加重平均値。全物質の平均値として設定。	0		
(g)	物質別の排出量 構成比(%)	報告された取扱量、排出率ランクから算出した排出量の物質別の構成比	0		0
(h)	事業者規模 21 人未満の排出量 の割合(%)	排出量ベースで、届出も含めた全排出量に対する 21 人未満の割合。		0	
(i)	年間取扱量1t未 満の排出量の割 合(%)	排出量ベースで、届出も含めた全排出量に対する取 扱量 1t 未満の割合。		0	0

注1:網掛けの箇所は、統計等の公表データにて推計可能なパラメータ。

注2:平均取扱量は、データ数が十分な業種のみ業種別の数値を算出するため「(○)」と表記した。

使用するパラメータと参考資料2に示すアンケート調査票の設問の対応関係は表 5-58 のとおりである。「排出抑制対策の有無」、「排出抑制対策の方法」及び「平均的な含有率」は直接的に使用する項目ではないが、調査票の回答をチェックするために必要と考えられるため、設定している。

表 5-58 パラメータとアンケート調査票の設問の対応

アンケート調査の設問		(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)
		化学物質取扱比率	化学物質取扱比率の 補正係数	平均取扱量	平均排出率	物質別の排出量 構成比	事業者規模 21 人未満の 排出量の割合	年間取扱量 1t 未満の 排出量の割合
企	常用雇用者数						0	
業	工場作業所数等	0						
未	その他(営業所等)	0						
	業種名	0	0	0				0
	常用雇用者数		0					
	資材の種類	0		0	0	0		
事	資材の年間取扱量			0				
業	排出抑制対策の有無							
新	排出抑制対策の方法							
121	対象化学物質名		0		0	0	0	0
	平均的な含有率							
	対象化学物質の年間取扱量		0		0	0	0	0
	対象化学物質の平均排出率				0	0	0	0

注:化学工業の調査票では、資材の代わりに取扱区分として設定している。

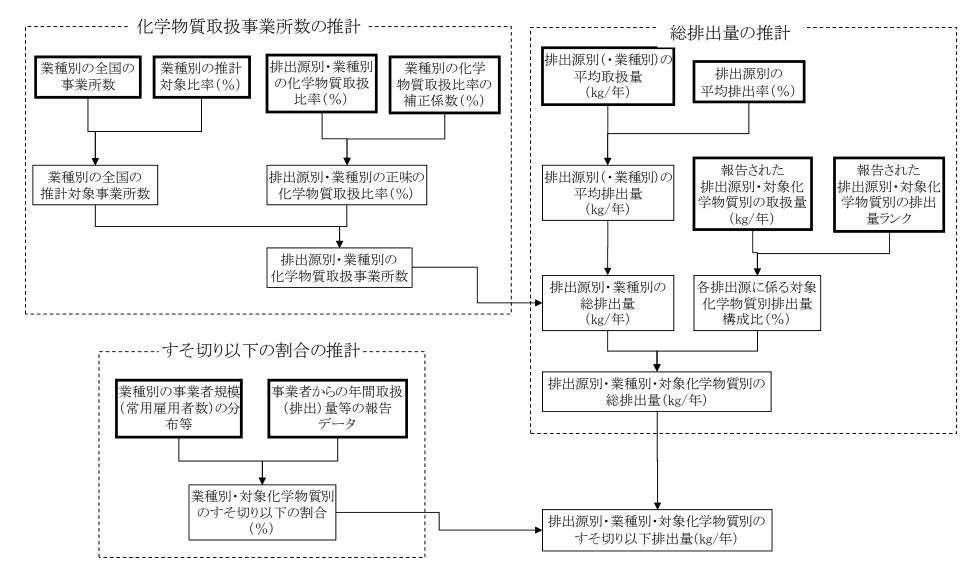


図 5-2 用途に着目した推計方法の推計フロー(提案する新たな推計方法)

5-4-2 届出排出量に基づく推計方法

(1) 届出排出量に基づく推計方法の概要

総排出量がマクロ的に(製品ごとの全国出荷量等に基づき)把握できない排出源に対応するため、PRTR の届出排出量を併用したすそ切り以下排出量の推計も考えられる。具体的には、事業者からの届出排出量(="B")が把握できれば、すそ切り以下事業者に係る排出量は以下の"E1"と"E2"の合計として推計される(図 5-3)。

E1=B×p/(1-p) E2=B×q/{(1-p) × (1-q)}

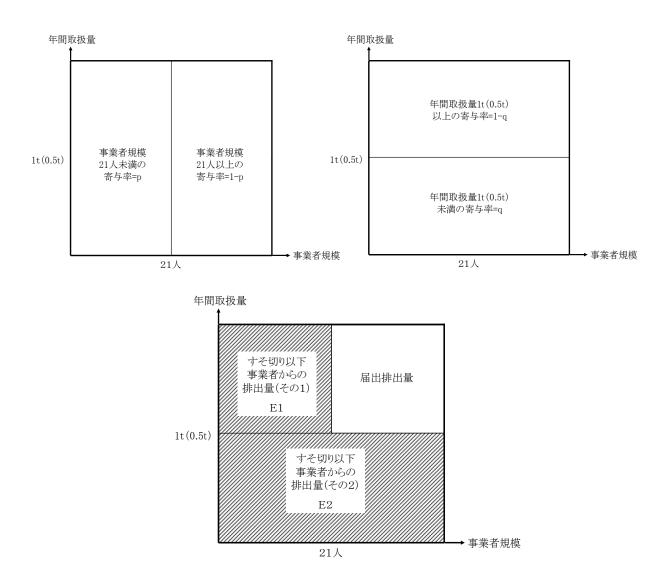


図 5-3 パラメータ"p"と"g"に基づくすそ切り以下の排出量推計の概念図

ここで、排出量推計に使うパラメータの設定方法などは以下のとおり(表 5-59)。このうち、「1t 未満の割合」というパラメータは、業種による差が大きい可能性が高いものの、すべての業種を区別して設定するのは、利用可能なデータ数が少ないことに起因したばらつきが大きくなると考えられることから、業種グループごとに設定することが適当と考えられる(表 5-60)。

表 5-59 届出データを併用した推計方法で必要なパラメータ

	パラメータ	設定区分	設定方法			
В	届出排出量	業種別(46 区分)	推計対象年度と同じ年度の届出排出量			
D	(kg/年)	対象化学物質別(462区分)	(kg/年)の全国合計			
	21 人未満		事業者規模(人)ごとの常用雇用者数等			
p	21 八木個の割合(%)	業種別(46 区分)	(主として統計データ)を集計して算出			
	▽ノ青デロ*(%)		※排出源別排出量推計方法で採用する値			
			事業者に対する化学物質の使用実態調査			
	1t 未満	業種グループ別(4区分)	(→参考資料3)によって得られたデータを			
q	の割合(%)	対象化学物質別(462区分)	取扱量規模(kg/年)ごとに集計して算出			
			※排出源別排出量推計方法で採用する値			

注1:特定第一種指定化学物質の場合は、年間取扱量0.5t未満がすそ切り以下に該当するが、パラメータの名称は「1t未満」として統一的に表現する。

注3:設定区分の中の括弧内は、政令改正後の業種と物質を前提にした最大の数を示す。

表 5-60 業種グループの設定方法

業種グループ		対応す	対応する業種					
化学工業	化学工業							
金属·機械系 製造業	鉄鋼業 非鉄金属製造業 金属製品製造業 一般機械器具製造業		電気機械器 輸送用機械 精密機械器	成器具製造業				
他の製造業	食料品製造業飲料・たばこ・飼料製造業繊維工業衣服・その他の繊維製品製造業木材・木製品製造業家具・装備品製造業パルプ・紙・紙加工品製造業出版・印刷・同関連産業		石油製品・石炭製品製造業 プラスチック製品製造業 ゴム製品製造業 なめし革・同製品・毛皮製造業 窯業・土石製品製造業 武器製造業 その他の製造業					
非製造業	電気業 ガス業 鉄道業 倉庫業 石油卸売業 自動車卸売業	燃料小売業 洗濯業 写動車整備 機械修在業 商品検査業	業	計量証明業 産業廃棄物処分業 高等教育機関 自然科学研究所 医療業				

注2:設定区分の欄に複数の項目が示されている場合は、それらの組み合わせとしてパラメータの値を設定すること を音味する

(2) パラメータの値

① 21 人未満の割合(p)

パラメータ p(21 人未満の割合)は、「排出源別排出量推計方法」にて設定されており、平成 20 年度分の値は図 5-4 に示すとおり推計された。

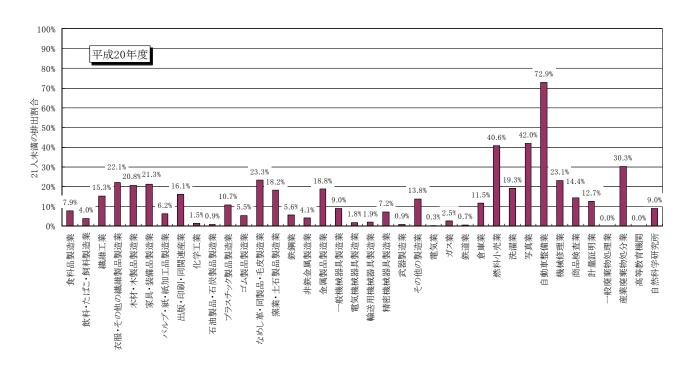


図 5-4 業種ごとの「21 人未満の割合」(p)の推計結果(平成 20 年度)

この 21 人未満の割合 (p) の値は、「排出源別排出量推計方法」において、平成 15 年度分のすそ切り以下排出量の推計から継続して設定されている。実際の推計においては、年度によって推計対象となる業種にも差があるが、その不足分の補填などを含めると、業種ごとの 21 人未満の割合 (p) の値の推移は表 5-61 に示すとおりとなる。

表 5-61 推計された「21 人未満の割合」の値の推移

₩ 1 ±		21 人未満の割合(p)							
業種	業種名	平成 16	平成 17	平成 18	平成 19	平成 20			
コード		年度	年度	年度	年度	年度			
1200	食料品製造業	8.6%	8.7%	8.7%	8.7%	7.9%			
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	3.0%	3.8%	4.0%	4.2%	4.0%			
1400	繊維工業	20.0%	19.9%	18.9%	17.8%	15.3%			
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	24.1%	24.1%	23.9%	23.7%	22.1%			
1600	木材•木製品製造業	26.5%	26.1%	24.9%	23.8%	20.8%			
1700	家具•装備品製造業	26.1%	25.3%	24.4%	23.6%	21.3%			
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	8.3%	7.8%	7.5%	7.1%	6.2%			
1900	出版•印刷•同関連産業	19.3%	19.4%	18.5%	17.5%	16.1%			
2000	化学工業	1.4%	1.3%	1.4%	1.4%	1.5%			
2100	石油製品•石炭製品製造業	1.0%	1.0%	0.9%	0.7%	0.9%			
2200	プラスチック製品製造業	13.0%	13.1%	12.4%	11.6%	10.7%			
2300	ゴム製品製造業	7.2%	7.3%	6.6%	6.0%	5.5%			
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	32.6%	32.2%	29.0%	25.8%	23.3%			
2500	窯業・土石製品製造業	22.3%	21.8%	21.0%	20.2%	18.2%			
2600	鉄鋼業	5.9%	6.0%	6.0%	5.9%	5.6%			
2700	非鉄金属製造業	5.1%	5.0%	4.5%	4.1%	4.1%			
2800	金属製品製造業	21.6%	22.3%	21.6%	20.8%	18.8%			
2900	一般機械器具製造業	11.9%	11.7%	10.9%	10.0%	9.0%			
3000	電気機械器具製造業	2.5%	2.4%	2.2%	1.9%	1.8%			
3100	輸送用機械器具製造業	1.9%	2.0%	2.0%	2.0%	1.9%			
3200	精密機械器具製造業	8.1%	8.0%	7.8%	7.7%	7.2%			
3300	武器製造業	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	0.9%			
3400	その他の製造業	14.3%	15.8%	15.5%	15.3%	13.8%			
3500	電気業	0.3%	0.3%	0.3%	0.4%	0.3%			
3600	ガス業	2.8%	2.8%	2.8%	2.9%	2.5%			
3900	鉄道業	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%			
4400	倉庫業	15.0%	15.0%	14.7%	14.4%	11.5%			
5130	石油卸売業	17.8%	17.8%	17.8%	17.8%	17.8%			
5220	自動車卸売業	15.4%	15.4%	15.4%	15.4%	15.4%			
5930	燃料小売業	43.5%	43.5%	43.9%	44.4%	40.6%			
7210	洗濯業	24.6%	24.6%	23.2%	21.7%	19.3%			
7430	写真業	44.1%	44.1%	44.9%	45.8%	42.0%			
7700	自動車整備業	77.0%	77.0%	76.3%	75.5%	72.9%			
7810	機械修理業	23.1%	23.1%	23.1%	23.1%	23.1%			
8620	商品検査業	20.1%	20.1%	18.3%	16.4%	14.4%			
8630	計量証明業	15.9%	15.9%	15.2%	14.5%	12.7%			
8716	一般廃棄物処理業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
8722	産業廃棄物処分業	38.6%	38.6%	36.0%	33.4%	30.3%			
9140	高等教育機関	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
9210	自然科学研究所	9.8%	9.8%	10.0%	10.1%	9.0%			

注1:平成18年度は公表資料で正確な数値が把握できず、かつ、他の年度との乖離の原因も不明であるため、原則としてその前後の年度の平均値で代用した。

注 2:平成 18 年度以外でも、21 人未満の割合が設定されていない部分(表 5-62 の"-"で示す部分)は、その前後の年度の値と同じなどと仮定して設定した。

注3:ここでは過去5年間(H16~H20)の排出量を試算するため、平成15年度の値は省略した。

表 5-62 公表された「21人未満の割合」の値の推移(参考)

業種		21 人未満の割合(p)							
未性コード	業種名	平成	平成	平成	平成	平成	平成		
_		15 年度	16 年度	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度		
1200	食料品製造業	7.1%	8.6%	8.7%		8.7%	7.9%		
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	2.3%	3.0%	3.8%		4.2%	4.0%		
1400	繊維工業	16.8%	20.0%	19.9%		17.8%	15.3%		
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	20.3%	24.1%	24.1%		23.7%	22.1%		
1600	木材•木製品製造業	23.9%	26.5%	26.1%	25.2%	23.8%	20.8%		
1700	家具•装備品製造業	21.8%	26.1%	25.3%	22.1%	23.6%	21.3%		
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	5.8%	8.3%	7.8%	7.1%	7.1%	6.2%		
1900	出版·印刷·同関連産業	14.1%	19.3%	19.4%	31.1%	17.5%	16.1%		
2000	化学工業	1.3%	1.4%	1.3%	5.1%	1.4%	1.5%		
2100	石油製品•石炭製品製造業	0.9%	_	1.0%		0.7%	0.9%		
2200	プラスチック製品製造業	10.1%	13.0%	13.1%	11.9%	11.6%	10.7%		
2300	ゴム製品製造業	6.1%	7.2%	7.3%	7.4%	6.0%	5.5%		
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	26.3%	32.6%	32.2%		25.8%	23.3%		
2500	窯業・土石製品製造業	12.4%	22.3%	21.8%		20.2%	18.2%		
2600	鉄鋼業	4.7%	5.9%	6.0%	12.6%	5.9%	5.6%		
2700	非鉄金属製造業	4.0%	5.1%	5.0%		4.1%	4.1%		
2800	金属製品製造業	17.7%	21.6%	22.3%	21.5%	20.8%	18.8%		
2900	一般機械器具製造業	9.8%	11.9%	11.7%	11.3%	10.0%	9.0%		
3000	電気機械器具製造業	2.5%	2.5%	2.4%	3.4%	1.9%	1.8%		
3100	輸送用機械器具製造業	2.5%	1.9%	2.0%	3.2%	2.0%	1.9%		
3200	精密機械器具製造業	6.0%	8.1%	8.0%		7.7%	7.2%		
3300	武器製造業	_	_	_		1.1%	0.9%		
3400	その他の製造業	11.1%	14.3%	15.8%		15.3%	13.8%		
3500	電気業	_	0.3%	0.3%		0.4%	0.3%		
3600	ガス業	_	_	2.8%		2.9%	2.5%		
3900	鉄道業	_	_	_	_	_	0.7%		
4400	倉庫業	11.5%	15.0%	15.0%	_	14.4%	11.5%		
5130	石油卸売業	17.8%	_	-	-	-	_		
5220	自動車卸売業	15.4%	_	-	_	-	-		
5930	燃料小売業	39.8%	43.5%	43.5%	43.2%	44.4%	40.6%		
7210	洗濯業	21.8%	24.6%	24.6%	21.9%	21.7%	19.3%		
7430	写真業	39.7%	44.1%	44.1%		45.8%	42.0%		
7700	自動車整備業	73.6%	77.0%	77.0%	72.5%	75.5%	72.9%		
7810	機械修理業	_	-	-	-	-	23.1%		
8620	商品検査業	_	20.1%	20.1%		16.4%	14.4%		
8630	計量証明業	_	15.9%	15.9%		14.5%	12.7%		
8716	一般廃棄物処理業	_	_	_	_	0.0%	0.0%		
8722	産業廃棄物処分業	_	38.6%	38.6%		33.4%	30.3%		
9140	高等教育機関	_	-	_		0.0%	0.0%		
9210	自然科学研究所	_	9.8%	9.8%		10.1%	9.0%		

注1:平成18年度はデータが公表されていないため、排出量の推計結果からの逆算で把握できる業種に限って示す。

注2:金属鉱業等の5業種は平成15年度以降に一度も推計対象となっていないため、本表では省略した。

② 1t 未満の割合(q)

パラメータq(1t 未満の割合)は、「排出源別排出量推計方法」にて業種グループ別・対象化学物質別に年度ごとに設定されてきたが、その値は年度によって不規則に増減する場合がある。これは、現実の増減を反映しておらず、各推計区分における利用可能データ数の不足に起因した誤差であると考えられることから(一参考資料4参照)、ここでは年度による増減は考慮せず、過去5年間(平成16~20年度)の推計に使った1t未満の割合(q)の単純平均値として設定することとした。

その設定値を表 5-63 に示す。業種で比較すると、1t 未満の割合(q)は化学工業で小さく 非製造業で高くなる傾向が見られる。対象化学物質で比較すると、1t 未満の割合(q)はトル エンなど主に溶剤として使われる物質で小さく、LAS など主に洗浄剤中の界面活性剤として 使われる物質は大きな値となる傾向が見られる。

表 5-63 推計された「1t未満の割合」の値

物質		1t 未満の割合(q)						
番号	対象化学物質名	化学工業	金属·機械 系製造業	他の 製造業	非製造業			
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び その塩(アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混合物に限る)	0.28%	30.0%	31.8%	45.4%			
40	エチルベンゼン	0.45%	1.4%	3.9%	13.1%			
42	エチレンオキシド	1.0%	3.0%	2.8%	44.7%			
63	キシレン	0.19%	0.82%	1.7%	6.6%			
145	塩化メチレン	0.34%	0.70%	1.0%	4.9%			
166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N- オキシド	0.24%	15.7%	9.4%	74.5%			
177	スチレン	0.0022%	1.3%	0.1%	28.7%			
200	テトラクロロエチレン	0.11%	0.98%	0.84%	4.9%			
211	トリクロロエチレン	4.6%	0.38%	3.9%	23.5%			
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	1.8%	4.1%	9.7%	38.6%			
227	トルエン	0.12%	1.1%	0.23%	9.0%			
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニ ウム=クロリド	0.24%	15.7%	9.4%	74.5%			
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	4.5%	1.1%	6.5%	27.5%			
299	ベンゼン	0.10%	9.1%	12.5%	9.1%			
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る)	0.24%	15.7%	9.4%	74.5%			
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェ ニルエーテル	5.8%	33.9%	55.2%	97.8%			
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニ ルエーテル	4.0%	41.3%	20.1%	55.9%			

注1:本表に示す「1t 未満の割合(q)」の値は、H16~H20の推計に使った値の単純平均とした。

注2:推計された1t未満の割合(q)が10%以上の部分を網掛けで示す。

表 5-64 公表された「1t 未満の割合」の値の推移(その1)(参考)

			1t 未満の割合(q)							
	物質	対象化学物質名	平成 15	亚成 16	平成 17		平成 19	平成 20		
	番号	//	年度	年度	年度	年度	年度	年度		
		直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び	十戊	十段	十尺	十段	十尺	十戊		
	9.4	直頭/ルギルペンセンスルホン酸及い その塩(アルキル基の炭素数が 10 から	10.7%	0.190/	0.140/	0.05%	0.240/	O 550/		
	24		19.7%	0.12%	0.14%	0.25%	0.34%	0.55%		
	40	14 までのもの及びその混合物に限る)	0.000	0.100/	0.100/	0.410/	0.400/	0.050		
		エチルベンゼン	0.29%	0.19%	0.19%	0.41%	0.49%	0.95%		
		エチレンオキシド		1.6%	0.87%	0.77%	0.10%	1.67%		
		キシレン	0.13%	0.14%	0.11%	0.02%	0.20%	0.46%		
		塩化メチレン	0.36%	0.46%	0.40%	0.19%	0.24%	0.42%		
		スチレン	0.0023%	0.0010%	0.0005%	0%	0.0007%	0.0090%		
化		テトラクロロエチレン	0%	0%	0.20%	0.17%	0.16%	0.011%		
学		トリクロロエチレン	0.018%	0.0039%	0.00009%	1.7%	3.1%	18.3%		
1		1,3,5-トリメチルベンゼン	0.51%	4.3%	0.39%	0.51%	2.4%	1.6%		
学工業		トルエン	0.21%	0.13%	0.046%	0.070%	0.10%	0.24%		
-		ふっ化水素及びその水溶性塩	_	21.3%	0.93%	0.23%	0.12%	0.077%		
	299	ベンゼン	0.0038%	0.069%	0.22%	0.020%	0.068%	0.11%		
		ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテ								
	307	ル(アルキル基の炭素数が 12 から 15 ま	0.0015%	0.11%	0.63%	0.060%	0.35%	0.050%		
		でのもの及びその混合物に限る)								
	308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェ	3.3%	6.7%	5.8%	10.8%	3.3%	2.3%		
	300	ニルエーテル	0.070	0.770	J.070	10.070	J.J/0	4.070		
	309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニ	0.30%	0.6%	1.9%	15.9%	0.53%	1.3%		
	000	ルエーテル	0.50%	0.070	1.370	10.5%	0.00%	1.0%		
		直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び								
	24	その塩(アルキル基の炭素数が 10 から	99.9%	99.7%	11.6%	10.3%	21.6%	6.7%		
		14 までのもの及びその混合物に限る)								
		エチルベンゼン	2.2%	1.3%	1.1%	1.7%	1.6%	1.7%		
		エチレンオキシド	_	0.16%	0.17%	0.54%	0.96%	13.3%		
		キシレン	0.63%	0.49%	0.59%	0.86%	0.92%	1.3%		
金		塩化メチレン	0.35%	0.30%	0.59%	0.86%	0.81%	0.93%		
属		スチレン	1.9%	1.2%	1.4%	1.1%	0.28%	2.5%		
•		テトラクロロエチレン	0.33%	0.31%	1.0%	1.2%	1.0%	1.4%		
機		トリクロロエチレン	0.27%	0.38%	0.40%	0.33%	0.31%	0.49%		
械	224	1,3,5-トリメチルベンゼン	7.6%	5.6%	3.6%	3.6%	3.8%	3.8%		
系制	227	トルエン	0.97%	0.76%	0.78%	1.0%	1.1%	1.9%		
製	283		_	0.86%	1.1%	1.0%	1.3%	0.97%		
造業	299	ベンゼン	41.4%	16.9%	21.6%	2.8%	2.0%	2.2%		
業		ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテ								
	307	ル(アルキル基の炭素数が 12 から 15 ま	70.3%	17.6%	13.7%	18.6%	15.6%	13.0%		
		でのもの及びその混合物に限る)								
	200	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェ	E 70/	4O 10/	100.00/	O 40/	7.60	4 CO/		
	308	ニルエーテル	5.7%	49.1%	100.0%	8.4%	7.6%	4.6%		
	9.00	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニ	F.C. C0/	90 00	40.70	40.00	40.46/	00 AW		
	309	ルエーテル	56.6%	38.9%	42.7%	43.6%	48.4%	33.0%		
				· ±0 /+ ++) -		はままって				

注1:平成18年度は正確な値が不明であるため、公表された報告書に記された数値を読み取って本表に記した (桁落ちが生じる可能性がある)。

- N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド(物質番号:166)
- ・ ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム=クロリド(同:251)

注 2:平成 15 年度のエチレンオキシド(物質番号:42)とふっ化水素及びその水溶性塩(同 283)は、すそ切り以下の推計対象とはなっていない。

注3:以下の2物質は利用可能なデータ数が少なく、信頼性の高い値を独立して設定することは困難と考えられるため、用途が類似しているポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)(物質番号:307)の値と同じと仮定した(したがって本表では省略した)。

表 5-64 公表された「1t 未満の割合」の値の推移(その2)(参考)

	Hon FFF				1t 未満の			
	物質 番号	対象化学物質名	平成 15	平成 16	平成 17	平成 18	平成 19	平成 20
	留り		年度	年度	年度	年度	年度	年度
		直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び						
	24	その塩(アルキル基の炭素数が 10 から	53.8%	14.3%	29.3%	44.7%	50.8%	19.8%
		14 までのもの及びその混合物に限る)						
	40	エチルベンゼン	8.8%	6.5%	4.2%	1.9%	2.8%	4.0%
	42	エチレンオキシド	_	0.0004%	0.062%	0.060%	1.6%	12.2%
	63	キシレン	2.5%	1.7%	2.2%	0.050%	1.6%	2.9%
	145	塩化メチレン	1.7%	1.0%	0.82%	1.2%	0.92%	1.3%
	177	スチレン	0.041%	0.089%	0.074%	0%	0.10%	0.22%
その	200	テトラクロロエチレン	0.012%	0.19%	0.23%	1.0%	1.1%	1.7%
	211	トリクロロエチレン	5.9%	5.7%	3.6%	2.8%	3.0%	4.6%
製	224	1,3,5-トリメチルベンゼン	29.4%	20.0%	12.5%	3.6%	5.0%	7.2%
他製造業	227	トルエン	0.28%	0.31%	0.35%	0.07%	0.25%	0.18%
業	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	_	5.1%	0.96%	0.19%	1.3%	25.2%
	299	ベンゼン	11.0%	16.3%	46.1%	0%	0.11%	0.12%
		ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテ						
	307	ル(アルキル基の炭素数が12から15ま	11.7%	10.6%	9.0%	10.0%	10.6%	6.5%
		でのもの及びその混合物に限る)						
	308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフ	16.9%	29.1%	26.2%	60.9%	60.9%	98.8%
	300	エニルエーテル	10.370	43.170	20.2/0	00.970	00.3/0	30.070
	309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニ	26.3%	32.9%	21.6%	16.8%	14.8%	14.4%
	303	ルエーテル	20.5%	34.370	21.070	10.0%	14.0%	14.470
		直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及び						
	24	その塩(アルキル基の炭素数が10から	85.8%	66.6%	37.9%	30.7%	31.5%	60.2%
		14 までのもの及びその混合物に限る)						
		エチルベンゼン	41.0%	20.6%	15.6%	15.9%	2.1%	11.3%
		エチレンオキシド	_	39.7%	27.5%	76.6%	27.6%	52.0%
		キシレン	8.2%	6.2%	13.1%	0.75%	1.1%	11.9%
		塩化メチレン	1.1%	1.8%	3.8%	2.9%	6.0%	10.2%
		スチレン	4.7%	31.8%	13.6%	24.8%	ļ	59.0%
非		テトラクロロエチレン	0.18%	1.2%	7.5%	5.8%	6.6%	3.3%
刺り		トリクロロエチレン	1.7%	9.5%	76.5%	3.7%	9.2%	18.9%
製造		1,3,5-トリメチルベンゼン	98.2%	79.5%	85.8%	3.3%	11.8%	12.5%
業		トルエン	16.5%	13.8%	24.1%	0.24%	0.15%	6.7%
		ふっ化水素及びその水溶性塩	_	66.9%	21.8%	42.7%	6.0%	0.11%
	299	ベンゼン	43.4%	22.0%	22.7%	0.15%	0.17%	0.36%
		ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテ		_	_	_	_	_
	307	ル(アルキル基の炭素数が12から15ま	48.4%	23.3%	55.7%	98.3%	98.5%	96.5%
		でのもの及びその混合物に限る)						
	308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフ	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	89.2%
	- 00	エニルエーテル	0 • 0 / 0	= - 0 • 0 /0	= - 0 • 0 /0	= - 0 • 0 /0	0.070	
	309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニ	40.4%	41.6%	99.1%	99.9%	25.2%	13.6%
		ルエーテル 北 19 年度け正確か値が不明でなるため						

注1:平成18年度は正確な値が不明であるため、公表された報告書に記された数値を読み取って本表に記した (桁落ちが生じる可能性がある)。

- N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド(物質番号:166)
- ・ ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム=クロリド(同:251)

注 2:平成 15 年度のエチレンオキシド(物質番号:42)とふっ化水素及びその水溶性塩(同 283)は、すそ切り以下の推計対象とはなっていない。

注3:以下の2物質は利用可能なデータ数が少なく、信頼性の高い値を独立して設定することは困難と考えられる ため、用途が類似しているポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までの もの及びその混合物に限る)(物質番号:307)の値と同じと仮定した(したがって本表では省略した)。

(3) 試算結果

業種別・対象化学物質別の届出排出量に対し、前記の「21 人未満の割合(p)」と「1t 未満の割合」から算出される比率を乗じて、年度ごとの「すそ切り以下排出量」が推計される。届出排出量も年度によって大きく増減する場合があるものの(表 5-65)、ここでは推計対象年度と同じ年度の届出排出量を使って年度ごとのすそ切り以下排出量を試算することとした。

表 5-65 過去5年間の届出排出量(全国合計)の例

業	物質	Han FFF 友	届出排出量(kg/年)						
種	番号	物質名	H16 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度		
	24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が 10から 14 までのもの及びその混合物に限る)	1,000	1,000	2,800	1,400	2,400		
	40	エチルベンゼン	38	0.5	1	0.8	1		
食	42	エチレンオキシド	0	0	0	0	_		
	63	キシレン	11,058	19,006	20,913	18,381	6,184		
	145	塩化メチレン	216	10	10	0	-		
料品	166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N- オキシド	0	0	0	0	0		
製		トリクロロエチレン	0	_	-	_	-		
品製造業		1,3,5-トリメチルベンゼン	_	_	3,700	3,700			
兼		トルエン	169,465	184,628	280,472	286,992	224,668		
	299	ベンゼン	2,021	2,712	1,915	1,613	1,729		
		ポリ(オキシエチレン)=アルキルエ ーテル(アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物 に限る)	0	0	0	140	0		
	309	ポリ(オキシエチレン)=/ニルフェ ニルエーテル	0	0	0	0	0		
	24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が 10から 14 までのもの及びその混合物に限る)	13,011	10,717	11,302	8,782	7,588		
	40	エチルベンゼン	224,330	237,080	253,540	299,757	298,710		
		エチレンオキシド	1,301	2,600		1,701	1,301		
		キシレン	622,491	539,347	,	501,062	483,284		
	145	塩化メチレン	258,100	230,760	241,670	181,460	122,100		
	166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N- オキシド	_	_	_	0	0		
繊		スチレン	1,020	990	647	740	2,260		
維		テトラクロロエチレン	7,430	34,118	32,958	36,000	35,700		
工		トリクロロエチレン	_	-	3,200	_	_		
業		1,3,5-トリメチルベンゼン	38,907			18,643			
		トルエン		2,337,577		2,199,965	1,803,358		
		ふっ化水素及びその水溶性塩	210	13	12	_	_		
	299	ベンゼン	<u> </u>	_	—	<u> </u>	3,900		
	307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエ ーテル(アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物 に限る)	161,498	141,736	145,356	124,191	82,026		
	308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフ ェニルエーテル	911	981	1,080	800	180		
	309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェ ニルエーテル 排出源即排出長雄計古法」で対象)	4,455	3,915	3,065	1,456	921		

注1:「排出源別排出量推計方法」で対象としている17物質のうち、業種ごとに届出のあった物質だけを示す。

注2:届出が1件もなかった年度は、届出排出量を"-"で示す。

前述の前提条件の下、過去5年間について試算した17物質のすそ切り以下排出量の推移を表5-66~表5-68に示す。排出量が小さな物質(例:N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド)を除き、推計されたすそ切り以下排出量は「21人未満(E1)」、「1t未満(E2)」とも極端な増減は見られず、概ね安定的に推移する結果となった。

表 5-66 届出排出量を併用したすそ切り以下排出量の試算結果 (対象化学物質別;21 人未満(E1))

W 55			すそ切り	以下排出量	(kg/年)	
物質 番号	対象化学物質名		21 人未満(E1;1t 未満	は含まない)	
番り		H16 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る)	7,209	6,240	6,083	4,795	2,417
40	エチルベンゼン	1,180,274	1,339,342	1,313,340	1,286,507	1,025,717
42	エチレンオキシド	17,104	13,503	12,632	15,988	13,335
63	キシレン	5,380,236	5,231,402	4,854,857	4,551,357	3,482,011
145	塩化メチレン	3,218,438	3,224,823	2,841,179	2,525,138	1,971,847
166	N,N-ジメチルドデシルアミン =N-オキシド	1	1	1	19	24
177	スチレン	355,968	355,160	254,637	254,243	186,227
200	テトラクロロエチレン	325,772	448,886	380,775	293,031	195,123
211	トリクロロエチレン	874,414	957,548	905,794	805,224	603,345
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	160,176	147,068	101,898	94,456	69,055
227	トルエン	15,672,158	15,431,082	14,191,835	12,870,759	9,776,510
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルア ンモニウム=クロリド	75	42	51	47	60
283	ふっ化水素及びその水溶性 塩	177,644	128,297	123,976	122,621	103,840
299	ベンゼン	180,255	154,406	161,135	163,884	135,119
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキ ルエーテル(アルキル基の炭 素数が 12 から 15 までのもの 及びその混合物に限る)	46,206	40,921	38,753	30,865	18,266
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチ ルフェニルエーテル	565	306	296	204	57
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニル フェニルエーテル	7,814	4,726	3,216	3,667	2,752
	合 計	27,604,310	27,483,753	25,190,458	23,022,804	17,585,705

表 5-67 届出排出量を併用したすそ切り以下排出量の試算結果 (対象化学物質別;1t 未満(E2))

u rr			すそ切り	以下排出量	₫(kg/年)	
物質 番号	対象化学物質名		1t 未満(E	22;21 人未	満を含む)	
留万		H16 年度	H17 年度	H18年度	H19 年度	H20 年度
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る)	17,674	15,798	17,722	14,300	7,960
40	エチルベンゼン	295,985	325,634	343,378	340,875	305,490
42	エチレンオキシド	11,828	11,165	11,881	12,498	11,725
63	キシレン	636,237	606,502	581,586	563,227	481,791
145	塩化メチレン	207,788	206,314	183,271	171,405	144,949
166	N,N-ジメチルドデシルアミン= N-オキシド	3	2	1	3	6
177	スチレン	23,629	25,112	22,527	29,472	24,044
200	テトラクロロエチレン	38,778	41,665	37,656	32,412	25,086
211	トリクロロエチレン	54,655	54,900	61,159	57,231	36,111
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	110,172	111,466	89,916	86,209	70,134
227	トルエン	954,901	909,162	867,454	855,344	726,356
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアン モニウム=クロリド	13	8	9	9	403
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	110,519	94,162	92,505	83,141	89,670
299	ベンゼン	109,162	89,257	86,292	98,605	86,074
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキ ルエーテル(アルキル基の炭素 数が 12 から 15 までのもの及び その混合物に限る)	35,712	36,379	26,245	22,255	17,578
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチ ルフェニルエーテル	4,541	2,134	2,542	1,576	947
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフ ェニルエーテル	55,344	31,356	22,406	35,156	28,358
	合 計	2,666,937	2,561,014	2,446,551	2,403,718	2,056,682

表 5-68 届出排出量を併用したすそ切り以下排出量の試算結果 (対象化学物質別;合計(E1+E2))

₩w EE			すそ切	り以下排出』	量(kg/年)	
物質 番号	対象化学物質名			合計(E1+E	E2)	
留力		H16 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る)	24,883	22,038	23,805	19,095	10,377
40	エチルベンゼン	1,476,259	1,664,976	1,656,718	1,627,381	1,331,208
42	エチレンオキシド	28,931	24,667	24,514	28,486	25,060
63	キシレン	6,016,473	5,837,904	5,436,443	5,114,584	3,963,802
145	塩化メチレン	3,426,226	3,431,136	3,024,450	2,696,543	2,116,796
166	N,N-ジメチルドデシルアミン =N-オキシド	3	3	1	22	30
177	スチレン	379,597	380,272	277,165	283,715	210,271
200	テトラクロロエチレン	364,550	490,551	418,431	325,443	220,209
211	トリクロロエチレン	929,068	1,012,448	966,954	862,456	639,457
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	270,348	258,534	191,814	180,665	139,189
227	トルエン	16,627,059	16,340,244	15,059,289	13,726,103	10,502,866
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルア ンモニウム=クロリド	88	50	60	56	463
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	288,162	222,459	216,481	205,761	193,510
299	ベンゼン	289,417	243,663	247,427	262,489	221,193
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキ ルエーテル(アルキル基の炭 素数が 12 から 15 までのもの 及びその混合物に限る)	81,918	77,300	64,998	53,120	35,844
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチ ルフェニルエーテル	5,106	2,440	2,838	1,779	1,005
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニル フェニルエーテル	63,158	36,082	25,622	38,823	31,110
	合 計	30,271,247	30,044,767	27,637,010	25,426,522	19,642,387

届出排出量を併用して推計されたすそ切り以下排出量(E1及びE2)を業種別に再集計した結果を表 5-69~表 5-71に示す。全体的な傾向は対象化学物質別に集計した結果と同様であり、年度による極端な増減は見られない。

表 5-69 届出排出量を併用したすそ切り以下排出量の試算結果 (業種別;21 人未満(E1))

	(木 圧 // 1,11	. 八个何([])以下排出量	├(kg/年)	
業種	業種名			(E1) (It 未満	_	
コード	禾(里石	H16 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度
1200	食料品製造業	17,307	19,845	29,565		20,321
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	2,767	3,590	4,797	7,287	6,439
1400	繊維工業	903,253	888,252	880,414	732,998	519,063
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	47,408	43,338	34,757	52,013	38,479
1600	木材・木製品製造業	1,020,505	967,108	803,393	763,681	585,225
1700	家具・装備品製造業	481,905	392,546	362,801	389,968	264,936
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	1,077,523	938,300	820,805	756,888	513,618
1900	出版・印刷・同関連産業	3,564,819	3,234,551	3,078,372	3,124,037	2,460,785
2000	化学工業	234,688	205,130	184,204	185,857	160,088
2100	石油製品•石炭製品製造業	11,572	10,705	8,960	7,093	7,789
2200	プラスチック製品製造業	3,464,159	4,074,159	3,784,644	3,397,496	2,628,661
2300	ゴム製品製造業	843,352	779,647	663,741	608,898	465,025
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	167,271	150,918	125,574	90,513	47,997
2500	窯業·土石製品製造業	2,380,986	2,232,034	1,638,761	1,361,501	980,667
2600	鉄鋼業	317,958	294,425	282,687	293,921	244,537
2700	非鉄金属製造業	128,092	147,905	109,924	102,650	76,904
2800	金属製品製造業	4,811,259	5,383,472	5,035,316	4,724,944	3,768,612
2900	一般機械器具製造業	1,459,235	1,527,551	1,498,370	1,419,572	1,066,033
3000	電気機械器具製造業	227,965	200,814	176,990	154,672	121,386
3100	輸送用機械器具製造業	1,013,630	1,028,176		1,006,158	862,296
3200	精密機械器具製造業	118,747	114,127	97,330	90,535	76,451
3300	武器製造業	281	349	272	253	172
3400	その他の製造業	1,639,516	1,445,048	1,375,169	651,890	236,971
3500	電気業	855	729	802	1,221	904
3600	ガス業	233	745	501	461	387
3900	鉄道業	974	900	904	694	760
4400	倉庫業	76,594	65,287	43,467	53,817	36,711
5130	石油卸売業	0	0	0	0	0
5220	自動車卸売業	3,930	3,622	2,996	3,680	7,032
5930	燃料小売業	1,051,536	916,698	990,639	1,019,855	814,552
7210	洗濯業	114,175	104,972	97,582	80,927	52,703
7430	写真業	7,803	8,906	8,162	6,000	7,669
7700	自動車整備業	2,291,163	2,181,957	1,910,698	1,807,861	1,418,460
7810	機械修理業	39,092	40,731	44,164	42,995	38,030
8620	商品検査業	4,635	5,869	3,764	3,221	2,548
8630	計量証明業	2,182	2,417	2,391	2,102	1,157
8716	一般廃棄物処理業	0	0	0	0	0
8722	産業廃棄物処分業	71,376	63,084	61,461	42,492	49,780
9140	高等教育機関	0	0	0	0	0
9210	自然科学研究所	5,565	5,845	4,582	4,945	2,554
	合 計	27,604,310	27,483,753	25,190,458	23,022,804	17,585,705

表 5-70 届出排出量を併用したすそ切り以下排出量の試算結果 (業種別;1t 未満(E2))

	(木)至为1,11	木油(E2))以下排出	島(l/g/年)	
業種コ	光 廷力				黒(kg/平) 卡満を含む)	
ード	業種名	H16年度			下価を召む) H19 年度	H20 年度
1000	本料日制水 类					
1200 1300	食料品製造業	1,471	1,767 275	3,273 362	2,495	2,536
	飲料・たばこ・飼料製造業	375			693	621
1400	繊維工業	71,338	65,737	63,860	58,885	50,529
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	10,937	10,302	9,282	8,705	2,686
1600	木材・木製品製造業	41,100	39,663		34,393	29,526
1700	家具・装備品製造業	31,660	27,486	26,032	31,197	22,943
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	43,815	35,716	33,745	33,291	28,997
1900	出版・印刷・同関連産業	55,031	48,821	49,758	51,554	42,767
2000	化学工業	46,154	53,472	41,347	40,483	35,847
2100	石油製品·石炭製品製造業	43,056	35,913	35,217	42,829	36,899
2200	プラスチック製品製造業	140,078	157,113	160,486	152,823	127,371
2300	ゴム製品製造業	61,266	58,793	58,860	61,359	51,799
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	2,453	2,446	2,662	1,737	1,170
2500	窯業·土石製品製造業	152,576	136,532	92,121	93,366	66,476
2600	鉄鋼業	109,419	80,222	70,642	88,218	76,413
2700	非鉄金属製造業	30,410	34,815	28,897	29,642	22,195
2800	金属製品製造業	199,838	218,645	210,598	206,570	184,711
2900	一般機械器具製造業	125,784	133,533	144,141	144,458	122,688
3000	電気機械器具製造業	95,427	86,303	85,076	83,861	68,285
3100	輸送用機械器具製造業	576,412	571,986	568,779	552,618	495,534
3200	精密機械器具製造業	14,006	12,680	12,100	12,797	11,903
3300	武器製造業	348	539	337	352	231
3400	その他の製造業	80,596	78,042	72,127	35,318	19,685
3500	電気業	28,199	24,025	25,299	37,474	29,195
3600	ガス業	594	2,115	1,336	1,320	1,269
3900	鉄道業	17,071	14,780	14,300	11,444	12,653
4400	倉庫業	47,239	41,510	28,028	35,815	31,143
5130		0	0	0	0	0
5220	自動車卸売業	2,280	2,085	1,735	2,195	3,927
5930	燃料小売業	236,064	205,830	220,370	224,808	196,021
7210	洗濯業	29,189	33,465	28,986	24,476	16,191
7430	写真業	908	1,037	932	672	937
7700	自動車整備業	260,615	245,234	216,147	207,005	168,775
7810	機械修理業	20,719	21,064		24,372	19,086
8620	商品検査業	2,171	2,848	1,902	1,698	1,460
8630	計量証明業	874	973	1,043	948	657
8716	一般廃棄物処理業	9,821	5,632	7,664	7,845	5,677
8722	産業廃棄物処分業	66,146	57,270	60,039	43,841	58,393
9140	高等教育機関	6,803	7,098	7,865	7,185	7,146
9210	自然科学研究所	4,694	5,244	4,004	4,976	2,341
2210	合 計	2,666,937			2,403,718	2,056,682
1	П н	4,000,937	4,501,014	۵,440,551	4,400,110	4,000,004

表 5-71 届出排出量を併用したすそ切り以下排出量の試算結果 (業種別;合計(E1+E2))

業種	光廷力	すそ	切り以下排と	出量(kg/年)	合計(E1+	-E2)
コード	業種名	H16 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度
1200	食料品製造業	18,778	21,612	32,838	32,204	22,857
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	3,142	3,866	5,160	7,980	7,060
1400	繊維工業	974,590	953,989	944,274	791,883	569,592
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	58,345	53,640	44,039	60,718	41,166
1600	木材•木製品製造業	1,061,605	1,006,772	838,103	798,073	614,751
1700	家具•装備品製造業	513,565	420,033	388,833	421,164	287,879
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	1,121,339	974,015	854,550	790,179	542,615
1900	出版·印刷·同関連産業	3,619,849	3,283,372	3,128,131	3,175,590	2,503,551
2000	化学工業	280,842	258,602	225,552	226,340	195,935
2100	石油製品•石炭製品製造業	54,628	46,618	44,177	49,922	44,688
2200	プラスチック製品製造業	3,604,237	4,231,272	3,945,130	3,550,318	2,756,031
2300	ゴム製品製造業	904,618	838,440	722,601	670,258	516,824
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	169,724	153,364	128,236	92,251	49,167
2500	窯業•土石製品製造業	2,533,561	2,368,567	1,730,881	1,454,867	1,047,143
2600	鉄鋼業	427,377	374,647	353,330	382,139	320,950
2700	非鉄金属製造業	158,502	182,720	138,821	132,292	99,100
2800	金属製品製造業	5,011,097	5,602,117	5,245,914	4,931,514	3,953,323
2900	一般機械器具製造業	1,585,019	1,661,084	1,642,512	1,564,030	1,188,722
3000	電気機械器具製造業	323,392	287,117	262,066	238,533	189,671
3100	輸送用機械器具製造業	1,590,042	1,600,162	1,590,277	1,558,776	1,357,829
3200	精密機械器具製造業	132,753	126,807	109,430	103,332	88,354
3300	武器製造業	629	889	608	605	402
3400	その他の製造業	1,720,113	1,523,090	1,447,297	687,208	256,655
3500	電気業	29,054	24,755	26,102	38,695	30,099
3600	ガス業	828	2,860	1,837	1,781	1,656
3900	鉄道業	18,045	15,680	15,203	12,138	13,413
4400	倉庫業	123,832	106,797	71,495	89,632	67,854
5130	石油卸売業	0	0	0	0	0
5220	自動車卸売業	6,210	5,706	4,731	5,874	10,959
5930	燃料小売業	1,287,600	1,122,528	1,211,010	1,244,663	1,010,573
7210	洗濯業	143,364	138,437	126,568	105,403	68,894
7430	写真業	8,711	9,943	9,094	6,672	8,606
7700	自動車整備業	2,551,778	2,427,191	2,126,844	2,014,866	1,587,234
7810	機械修理業	59,812	61,795	66,652	67,367	57,116
8620	商品検査業	6,806	8,717	5,666	4,920	4,009
8630	計量証明業	3,056	3,390	3,434	3,050	1,814
8716	一般廃棄物処理業	9,821	5,632	7,664	7,845	5,677
8722	産業廃棄物処分業	137,522	120,354	121,501	86,332	108,174
9140	高等教育機関	6,803	7,098	7,865	7,185	7,146
9210	自然科学研究所	10,259	11,089	8,586	9,921	4,895
	合 計	30,271,247	30,044,767	27,637,010	25,426,522	19,642,387

また、実際に排出源別排出量推計方法によって推計・公表されてきたすそ切り以下排出量(E1とE2の合計)は表 5-72に示すとおりとなっており、それを今回試算した「届出排出量を併用したすそ切り以下排出量」と比較すると表 5-73に示すとおりとなる。両者の比率は、対象化学物質によって大きく異なるが、全体としては概ね整合の取れた結果となっている。

表 5-72 推計・公表されたすそ切り以下排出量の推移

物質		1世间 五秋〇		一そ切り以下排り		
番号	対象化学物質名	H16 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度
24	直鎖アルキルベンゼンス ルホン酸及びその塩(ア ルキル基の炭素数が 10 から14までのもの及びそ の混合物に限る)	94,163	118,632	249,155	281,268	133,183
40	エチルベンゼン	4,465,223	4,362,042	4,766,460	3,031,261	2,195,853
42	エチレンオキシド	33,037	43,196	85,614	15,385	38,817
63	キシレン	10,413,420	10,583,579	9,233,021	8,879,604	7,656,204
145	塩化メチレン	2,715,320	2,015,428	1,418,464	2,008,098	1,992,399
166	N,N-ジメチルドデシル アミン=N-オキシド	2,815	2,767	3,360	4,059	166
177	スチレン	8,494	6,334	35,782	9,067	6,250
200	テトラクロロエチレン	985,171	1,415,272	829,826	800,012	455,623
211	トリクロロエチレン	1,016,981	1,048,303	1,193,415	682,364	636,313
224	1,3,5-トリメチルベンゼ ン	833,149	816,866	723,997	671,834	470,406
227	トルエン	16,442,702	15,587,962	16,853,269	14,461,284	10,860,807
251	ビス(水素化牛脂)ジメ チルアンモニウム=ク ロリド	7,525	10,505	7,049	8,718	5,946
283	ふっ化水素及びその 水溶性塩	135,420	32,714	50,170	25,265	28,670
299	ベンゼン	183,062	181,341	149,444	133,045	117,009
307	ポリ(オキシエチレン)=ア ルキルエーテル(アルキ ル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混 合物に限る)	288,075	229,287	268,927	315,849	116,419
308	ポリ(オキシエチレン)= オクチルフェニルエーテ ル	18,672	2,804	35,922	39,805	2,350
309	ポリ(オキシエチレン)= ノニルフェニルエーテル	290,592	87,680	116,257	247,355	164,815
	合 計	37,933,822	36,544,713	36,020,133	31,614,272	24,881,231

注:過去5年間に排出源別排出量推計方法によって推計されたすそ切り以下排出量(E1とE2の合計)を示す。

表 5-73 届出排出量を併用した推計値と公表された排出量との比較

此一厅				比率		
物質 番号	対象化学物質名	(=公表	された値/	届出排出量	を併用した	推計値)
笛 ク 		H16年度	H17 年度	H18 年度	H19年度	H20 年度
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸 及びその塩(アルキル基の炭素数が 10から14までのもの及びその混合 物に限る)	378%	538%	1047%	1473%	1283%
40	エチルベンゼン	302%	262%	288%	186%	165%
42	エチレンオキシド	114%	175%	349%	54%	155%
63	キシレン	173%	181%	170%	174%	193%
145	塩化メチレン	79%	59%	47%	74%	94%
166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N -オキシド	81239%	86635%	243368%	18178%	562%
177	スチレン	2%	2%	13%	3%	3%
200	テトラクロロエチレン	270%	289%	198%	246%	207%
211	トリクロロエチレン	109%	104%	123%	79%	100%
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	308%	316%	377%	372%	338%
227	トルエン	99%	95%	112%	105%	103%
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモ ニウム=クロリド	8520%	20980%	11748%	15542%	1284%
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	47%	15%	23%	12%	15%
299	ベンゼン	63%	74%	60%	51%	53%
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエ ーテル(アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物 に限る)	352%	297%	414%	595%	325%
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフ ェニルエーテル	366%	115%	1266%	2237%	234%
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェ ニルエーテル	460%	243%	454%	637%	530%
	合 計	125%	122%	130%	124%	127%

注:本表に示す値は、以下の①に対する②の比率を示す。

①届出排出量を併用して推計されたすそ切り以下排出量(E1 と E2 の合計)

②出源別排出量推計方法によって推計・公表されてきたすそ切り以下排出量(E1 と E2 の合計)

(4) 推計方法として採用する場合の課題

届出排出量を併用し試算したすそ切り以下排出量は、単なる検証用としての活用にとどまらず、実際の推計・公表で採用することも考えられる。その場合、この推計方法の問題点を正しく認識し、適用可能な範囲やその条件などを合理的に判断することが必要である。

現時点で考えられる課題としては、以下のような点が挙げられる。

① 1t 未満の割合(q)の信頼性の検証

このパラメータの値は、限られた数のデータに基づいて設定しているため、必ずしも十分な信頼性が確認されたものではない。今回の試算で示した対象化学物質の中では、N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド(物質番号:166)等の2 物質はデータ数が特に少なかったため、用途の類似した他の物質の値で代用したが、結果的にこれらの2物質は公表されたすそ切り以下排出量との乖離が大きかった(表 5-73)。

また、現時点では経年変化を反映するのに十分な数のデータが得られていないものの、その反映の必要性を含め、さらなるデータの蓄積によって信頼性を向上させることが必要と考えられる。

② 届出排出量自体の不規則な増減への対応

今回の推計の基礎となる業種別・対象化学物質別の届出排出量は、年度によって不規則に増減する場合もある(表 5-65)。これは、一部の届出事業者の排出量が極端に増減するか、又は届出自体の有無が年度によって異なることが主な要因となっている。

このような一部の届出事業者の増減は、本来はすそ切り以下事業者の排出量とは無関係であり、年度ごとの届出排出量の増減に連動する形での推計は、必ずしも合理的な方法ではない。例えば、年度によって届出の必要性(例:年間取扱量 1t 以上か否か)が変わる場合には、届出排出量の減少はすそ切り以下排出量の増加につながる可能性もある。

このような届出排出量の不規則な増減に対処するには、年度ごとの届出排出量を直接使う 代わりに、長期間の平均的な排出量を使うか、又は回帰式等によって近似された「トレンド」を 使って推計することが考えられる。

③ 排出源別排出量推計方法との乖離の要因分析

表 5-73 に示す乖離には、前記の「データ数の少なさ」によるもののほか、排出源別排出 量推計方法で想定していない排出源の影響(例:コークス炉のベンゼン)も考えられる。このような形で乖離の要因を分析することは、この推計方法を本格的に採用するための前提条件の一つになるものと考えられる。

④ 17 物質以外への拡張

この推計方法の本来のターゲットは、これまで「平均取扱量等に基づく排出量推計方法」 にて推計してきた対象化学物質(=17 物質以外)であるため、この方法を他の物質に拡張し、 適用可能な範囲を見極めることが必要である。

第6章 今後の課題

6-1 新たなデータ取得の枠組みの設定

本業務では、取扱量調査に代わるデータ取得について検討をし、「すそ切り以下事業者排出量推計手法検討会」では、新たなデータ取得の必要性については概ね合意された。

新たなデータ取得を前提とする場合には、従来の取扱量調査のように毎年同じ規模のアンケート調査を実施する方法ではなく、簡易調査と詳細調査を組み合わせるなど、効率的なデータ取得を行う必要があると考えられる。届出外排出量の推計は継続的に実施する必要があることから、このようなデータ取得の枠組みについては早急に決定することが必要となり、その枠組みにつった形で具体的な調査票の設計や調査対象事業者の選定等を行う必要がある。

6-2 確実なデータチェックの仕組みの導入

これまで、すそ切り以下排出量の推計の基礎としてきた取扱量調査では、毎年度大量かつ 詳細なデータが蓄積されてきたものの、設問の項目間の不整合や、用途と取扱量や排出率との 不自然な関係などが混在する形となっており、すそ切り以下排出量の推計に少なからず影響を 及ぼしてきた。特に、平均取扱量等に基づく排出量推計方法では、年度によって平均取扱量 や平均排出率が桁違いに増減する場合があり、それに特定の事業所の回答が決定的な影響 を及ぼしている場合が少なくないことが確認されている。これまでのすそ切り以下排出量の推計 では、特定の事業所の影響が強く、それが不自然なものである場合でも、回答が誤りだと確実 に判断できるものでない限り、そのようなデータも含めて平均取扱量等を算出してきた。それは、 「取扱量調査の実施」と「排出量の推計」が独立して行われており、排出量推計の段階では十 分なチェック機能が働かないことが最大の要因と考えられる。

このような状況を改善するには、データ取得と排出量推計を一体として実施するか、または両者を一元管理する仕組みを導入することが有効と考えられる。その際、データの取得だけを目的とすることなく、取得したデータの「異常値チェック」を重要な調査項目の柱と位置づけ、回答事業者への問い合わせを含め、異常値を極力排除する仕組みの導入が必要と考えられる。

排出量推計に必要なデータ取得に関しては、前記の「効率的なデータの取得」と併せ、いわば「量から質」への転換が必要と考えられる。

6-3 新たな推計方法の枠組みの設定

現在は「排出源別排出量推計方法」と「平均取扱量等に基づく推計方法」の両者を併用して おり、前者で推計が困難な物質について後者で補足する仕組みとなっている。しかし、「排出源 別排出量推計方法」では推計できる物質数が限定的であること、「平均取扱量等に基づく推計 方法」では用途を特定せず物質・業種の切り口で推計を実施するため、妥当性の検証が困難 であり、推計値が年度により大きく変動するという問題点がある。

これらを改善する目的で、「平均取扱量等に基づく推計方法」に代わるものとして「用途に着目した推計方法」を提案し、さらに簡易な方法として、「届出排出量に基づく推計方法」の採用の可能性を検討した。

今年度までの検討で、これらの複数の推計方法のメリットやデメリットを評価してきたが、今後は、それらの検討結果も踏まえつつ、実際に取得したデータに基づく評価を継続することにより、これらの方法の採用可能性や推計範囲の棲み分けなどを詳細かつ具体的に決定していく必要がある。

6-4 推計対象物質の重点化

届出外の推計では、信頼できるデータを用いて可能な範囲で推計を実施することが原則となっている。前述の6-1では、データ取得における「効率化」の必要性を示したが、データ取得の効率化の観点から、推計対象物質の重点化を図ることも考えられる。

平成21年度事業においては、これまでに蓄積したデータを解析することにより、既存物質(化管法施行令の改正前から継続している物質)について業種ごとの重点物質を暫定的に抽出したが、曝露性と有害性の両面から抽出方法の改善を図ると共に、全業種での抽出物質の整合性を含め、調査対象とする対象化学物質の絞り込み方法の見直しを行うことが必要と考えられる。

この推計対象物質の重点化は、プレ調査の結果を踏まえた詳細調査の実施段階での絞り込みを想定したものであり、事業者への作業負担の軽減によって回答率の向上にも寄与するものと期待される。しかし、過度の絞り込みを行うことは、PRTR の届出外排出量推計の理念に合致しなくなるおそれもあることから、関係者の合意を得つつ、合理的な形で重点化を検討することが必要と考えられる。

資 料 編

参考資料1 都道府県別排出量の推計結果

参考資料2 新たなデータ取得のためのアンケート調査票(案)

参考資料3 21 人未満の事業者に対する取扱量調査の概要

参考資料4 「1t 未満の割合」とその信頼区間の試算結果

<参考資料1> 都道府県別排出量の推計結果

すそ切り以下事業者における排出量について、前述の方法で都道府県別に細分化した結果を示す。

付表 1 都道府県別・対象化学物質別のすそ切り以下排出量の推計結果(平成 20 年度;kg/年)(その1)

物質	44 67 11 c 22 Han Fift 67	1	2	3	4	5	6	7	8	9
番号	対象化学物質名	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県
1	亜鉛の水溶性化合物	670	327	516	659	554	790	1,021	1,961	1,666
2	アクリルアミド	2	0	0	1	0	0	1	2	1
3	アクリル酸	6	6	12	14	11	20	31	33	22
9	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	32	10	21	55	35	36	107	259	204
12	アセトニトリル	392	64	112	212	68	116	221	621	263
13	2,2'-アゾビスイソブチロニトリル	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	アニリン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	2-アミノエタノール	200	92	178	228	177	279	396	581	539
17	ジエチレントリアミン	0	0	0	0	0	0	1	1	0
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその化合物に限る)	1,073	501	1,048	1,225	1,285	760	1,821	3,368	3,487
25	アンチモン及びその化合物	167	55	95	120	75	140	240	465	341
	ビスフェノールA	14	14	25	27	29	32	51	59	56
	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	521	125	231	342	152	304	679	1,183	660
	2-イミダゾリジンチオン	1	0	1	2	1	2	5	11	9
	エチレングリコール	80,812	38,399	32,194	40,788	33,250	22,570			49,004
	エチルベンゼン	61,959	20,749	20,140	29,265	17,565	23,908	36,239	58,910	48,489
	エチレンオキシド	594	249	320	451	335	424	848	939	1,121
	エチレングリコールモノエチルエーテル	1,186	331	569	804	472	1,017	1,277	2,363	2,132
	エチレングリコールモノメチルエーテル	61	44	87	109	78	145	232	265	171
	エチレンジアミン	2	4	8	8	11	9	17	15	12
	エチレンジアミン四酢酸	45	36	38	41	34	25	85	130	66
54	エピクロロヒドリン	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	1-オクタノール	0	0	0	0	0	0	0	1	0
60	カドミウム及びその化合物	2	0	1	1	1	1	1	3	3
63	キシレン	242,676	83,085	77,360	111,249	67,431	83,119	136,897	218,074	171,810
64	銀及びその水溶性化合物	121	70	113	155	104	197	277	452	328
65	グリオキサール	0	0	0	0	0	0		1	0
66	グルタルアルデヒド	9	2	3	5	2	3	9	15	8
67	クレゾール	1	0	0	0	0	0	1	2	1
68	クロム及び3価クロム化合物	748	225	335	301	284	284	707	1,625	809
	6価クロム化合物	489	160	232	290	258	300	414	799	709
93	クロロベンゼン	138	29	38	85	32	42	63	121	89
	クロロホルム	311	54	76	165	55	75	110	353	159
100	コバルト及びその化合物	99	47	80	81	88	88	140	258	217
101	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	1,144	368	651	902	541	1,170	1,536	2,534	2,184
102	酢酸ビニル 無機シマンル 全物(建物 ガブジマン 悪物を	296	99	82	137	131	160	166	154	201
108	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩 を除く)	232	71	96	143	91	161	217	373	312
113	1,4-ジオキサン	109	26	51	75	36	43	123	239	109
	N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾール	2		2	4	2	3	8	19	
115	スルフェンアミド		1							15
116	1,2-ジクロロエタン	49	8	14	26	8	14	33	77	34
120	1,2-ンクロロエタン 3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメ タン	2	1	1	1	0	0	1	1	1
	ジウロン	2	4	8	8	11	10			12
	1,3-ジクロロ-2-プロパノール	54	29	62	49		378			948
	1,2-ジクロロプロパン	219	49	59	127	56	64			120
139	o-ジクロロベンゼン	15	2	4	8		4	9	25	10
	塩化メチレン	29,287	7,939	11,969	16,371	11,220	17,863	26,629	50,887	45,266
159	ジフェニルアミン	0	0	0	1	0	0	1	3	2
166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド	2	1	2	2	2	2	2	3	3
172	N,N-ジメチルホルムアミド	1,584	372	749	1,187	580	1,332	1,775	3,381	2,398
175	水銀及びその化合物	1	0	1	1	0	1	1	2	1
177	スチレン	100	18	36	56	19	42	117	216	97
176	有機スズ化合物	9	3	5	8	4	9	13	28	28
	チオ尿素	1	0	0	1	0	0			1
	ヘキサメチレンテトラミン	4	2		8		5			29
	テトラクロロエチレン	15,193	3,486	6,113	7,380		5,252			8,369

付表 1 都道府県別・対象化学物質別のすそ切り以下排出量の推計結果(平成20年度;kg/年)(その2)

物質	116 11 11/1/155 6	1	2	3	4	5	6	7	8	9
番号	対象化学物質名	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県
202	テトラヒドロメチル無水フタル酸	2	2	3	4	3	6	9	10	7
204	チウラム	8	3	7	17	15	10	33	73	61
207	銅水溶性塩(錯塩を除く)	37	21	32	34	34	35	61	84	58
211	トリクロロエチレン	7,219	2,203	3,911	4,964	3,229	6,434	9,041	15,134	13,926
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	14,322	4,919	4,609	6,645	3,968	5,180	8,188	13,028	10,614
227	トルエン	270,689	85,732	88,745	136,251	79,647	100,408	167,095	270,181	237,303
230	鉛及びその化合物	414	335	552	861	435	1,188	1,417	2,924	2,044
231	ニッケル	273	143	242	278	274	316	446	750	661
232	ニッケル化合物	580	239	357	311	382	286	652	1,354	809
241	二硫化炭素	11	1	2	6	1	2	2	18	6
242	ノニルフェノール	51	23	33	36	30	38	54	67	56
243	バリウム及びその水溶性化合物	5	3	5	6	5	6	8	14	15
249	ジラム	1	0	0	1	1	1	2	6	5
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム= クロリド	135	67	118	105	132	59	92	97	100
252	砒素及びその無機化合物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
253	ヒドラジン	405	174	273	337	294	381	638	877	799
254	ヒドロキノン	95	50	65	96	95	49	84	90	93
259	ピリジン	2	0	1	1	1	1	1	3	1
266	フェノール	164	53	75	93	67	93	163	290	198
270	フタル酸ジ-n-ブチル	259	82	130	279	148	210	450	938	763
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	563	150	317	659	353	503	1,200	2,855	2,420
273	フタル酸-n-ブチル=ベンジル	3	1	1	2	1	3	3	7	8
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	230	203	385	331	425	349	636	731	548
293	ヘキサメチレン=ジイソシアネート	0	0	0	0	0	0	0	0	0
294	ベリリウム及びその化合物	1	1	1	1	1	2	2	5	3
298	ベンズアルデヒド	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベンゼン	4,605	1,381	1,401	2,184	1,207	1,259	2,117	2,715	1,966
300	1,2,4-ベンゼントリカルボン酸1,2-無水 物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
304	ほう素及びその化合物	1,393	701	1,065	810	1,162	673	1,880	3,782	2,077
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル (アルキル基の炭素数が12から15までのも の及びその混合物に限る)	1,570	772	1,394	1,295	1,536	1,037	1,540	1,887	2,342
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニル エーテル	10	5	13	17	18	12	32	65	66
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエー テル	945	1,130	2,008	1,466	2,670	1,918	3,155	3,587	3,397
310	ホルムアルデヒド	1,069	303	500	653	457	745	1,069	1,818	1,584
311	マンガン及びその化合物	1,147	292	442	433	324	410	1,015	2,390	1,138
312	無水フタル酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無水マレイン酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	メタクリル酸	30	6	13	18	8	13	38	68	31
	メタクリル酸メチル	39	24	46	58	45	81	134	153	157
	m-トリレンジイソシアネート	4	1	2	2	1	2	5	9	4
346	モリブデン及びその化合物	167	95	167	167	201	161	240	364	362
	合 計	747,084	256,274	260,660	371,599	236,762	283,069	469,207	754,102	626,141

付表 1 都道府県別・対象化学物質別のすそ切り以下排出量の推計結果(平成20年度;kg/年)(その3)

		10	11	12	13	14	15	16	17	18
物質	対象化学物質名	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県
-	亜鉛の水溶性化合物	2,828	6,418	1,978	4,242		3,380	1,689	795	618
	アクリルアミド	1	2	2	4		1	0	 	
	アクリル酸	39	72	19	102		23	11	9	7
	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	129	729	274	1,085		56	28		21
	アセトニトリル	239	960	637	1,032	828	195	193	120	175
	.,2'-アゾビスイソブチロニトリル	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	アニリン	0	0	0	0		0	0	0	0
	ーアミノエタノール	1,067	1,694	479	1,556		604	246	246	233
	ジエチレントリアミン	1	1	0	0		1	0		0
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びそ	1								
24 0	り塩(アルキル基の炭素数が10から14ま でのもの及びその化合物に限る)	4,844	7,738	3,910	2,808	3,926	2,636	1,198	1,618	1,575
25 7	アンチモン及びその化合物	376	872	268	936	519	257	160	223	162
29 년	ごスフェノールA	153	137	36	77	138	51	20	17	13
30 년	ごスフェノールA型エポキシ樹脂	858	2,996	1,447	2,431	1,966	571	556	305	421
32 2	-イミダゾリジンチオン	6	32	12	49	7	2	1	2	1
43 🗆	エチレングリコール	56,916	114,404	77,790	74,375	68,943	49,081	23,801	25,841	19,025
40 =	エチルベンゼン	63,851	146,262	60,138	149,956	92,986	59,993	24,425	23,639	13,725
	エチレンオキシド	842	3,281	1,112	4,717	1,915	789	252	458	2,009
	エチレングリコールモノエチルエーテル	3,503	7,491	2,145	9,204	5,447	3,683	1,163	971	562
45 🗆	エチレングリコールモノメチルエーテル	287	569	170	772	567	170	88	73	61
46	エチレンジアミン	30	29	11	12	34	15	6	5	5
47 3	ェチレンジアミン四酢酸	118	271	208	43	197	71	77	32	57
54 🗆	エピクロロヒドリン	0		1	1	1	0	0	0	0
58 1	-オクタノール	0	0	0	1	1	0	0	0	0
60 オ	かドミウム及びその化合物	4	11	4	15	7	8	2	1	1
63 =	キシレン	205,369	494,527	225,575	496,070	301,298	195,773	84,749	84,559	51,710
	限及びその水溶性化合物	441	1,315	345	1,148	756	373	306	151	121
65 ク	ツ オキサール	0	2	1	1	1	0	0	0	0
	ブルタルアルデヒド	9	37	23	28	26	6	8	4	5
67 2	ウレゾール	1	3	2	2	2	1	1	0	1
68 2	フロム及び3価クロム化合物	550	1,054	583	819	580	604	297	534	306
69 6	価クロム化合物	1,192	2,503	916	2,743	1,697	2,073	492	390	269
93 2	フロロベンゼン	97	493	131	1,306	221	96	56	61	65
	プロロホルム	142	403	327	767	531	120	76	76	62
	コバルト及びその化合物	373	558	220	294	390	374	137	136	95
101	エチレングリコールモノエチルエーテルア セテート	3,720	7,661	2,173	9,272		3,390	1,163	980	587
	作酸ビニル	216	557	137	487	196	288	105	152	87
108	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩 上除く)	439	1,229	403	1,764		771	211	185	120
	,4-ジオキサン	150	482	328	254	354	98	114	53	83
115	N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾール スルフェンアミド	9	54	20	84	12	4	2	3	2
11011	,2-ジクロロエタン	34	148	93	142	115	26	30	16	21
	,2-ングロロエダン ,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメ ダン	1	4	3	5		2		0	0
	ブウロン	30	33	10	24		16		5	9.053
	,3-ジクロロ-2-プロパノール	1,924	314	100	155		1,413			3,073
	,2-ジクロロプロパン	150	789	161	2,540	-	142		93	87
	ージクロロベンゼン	10	41	27	41	34	7			
	塩化メチレン	52,145	154,343	49,316	205,482		77,026		†	
	ジフェニルアミン I,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド	6	8 5	3	13		<u>1</u> 5	2		
	, N,N-ジメチルホルムアミド	3,185	5,820	2,654	7,908		2,905	1,235	3,519	2,756
	k銀及びその化合物	2	3	1	5		1	0	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	スチレン	112	540	302	365		77	110	.	
	有機スズ化合物	45	78	18	75		16		···	
	チオ尿素	2	4	3	1	32	10	1	···	
18115		4								
	トキサメチレンテトラミン	23	93	40	96	21	9	4	5	3

付表 1 都道府県別・対象化学物質別のすそ切り以下排出量の推計結果(平成20年度;kg/年)(その4)

物質	41. 45. /1. 225. H. FFF 17	10	11	12	13	14	15	16	17	18
番号	対象化学物質名	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県
202	テトラヒドロメチル無水フタル酸	11	21	5	31	22	7	3	3	2
204	チウラム	47	195	83	208	44	19	9	11	7
207	銅水溶性塩(錯塩を除く)	109	190	94	123	154	115	43	27	28
211	トリクロロエチレン	17,135	52,363	16,674	69,645	32,542	24,329	7,469	6,173	10,407
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	13,666	30,119	13,236	28,814	19,097	11,914	5,117	5,550	3,407
227	トルエン	253,756	705,240	275,682	1,100,200	359,178	227,526	109,132	169,735	131,562
230	鉛及びその化合物	2,321	10,359	2,320	6,075	4,339	1,641	2,868	694	672
	ニッケル	1,219	2,275	805	1,492	1,497	1,401	545	337	238
	ニッケル化合物	923	1,444	733	911	944	1,268	388	493	303
241	二硫化炭素	3	11	11	21	18	4	3	3	2
	ノニルフェノール	75	159	79	150	133	56	28	20	18
	バリウム及びその水溶性化合物	44	35	9	15	32	10	4	3	2
	ジラム	3	17	6	26	4	1	1	1	0
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム= クロリド	171	190	201	72	241	192	60	99	77
252	砒素及びその無機化合物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヒドラジン	1,443	1,998	729	1,633	1,426	1,236	422	930	820
	ヒドロキノン	190	427	121	341	213	144	59	68	72
	ピリジン	2	4	3	2	4	1	1	1	1
	フェノール	245	495	185	489	322	146	87	112	77
	フタル酸ジ-n-ブチル	651	2,882	950	4,316	946	467	223	244	216
	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	2,062	8,010	2,723	11,170	2,673	1,049	584	556	430
	フタル酸-n-ブチル=ベンジル	17	21	4	14	16	3	2	1	1
	ふっ化水素及びその水溶性塩	1,186	1,558	892	647	1,304	893	325	342	269
	ヘキサメチレン=ジイソシアネート	0	1	1	1	1	0	0	0	0
	ベリリウム及びその化合物	4	17	4	10	7	3	5	1	1
	ベンズアルデヒド	0	0	0	0	0	0	0	0	0
299	ベンゼン	1,918	5,017	4,254	11,302	5,693	2,429	1,240	1,182	927
300	1,2,4-ベンゼントリカルボン酸1,2-無水物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
304	ほう素及びその化合物	1,973	2,477	1,603	789	1,525	1,925	823	1,369	901
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル (アルキル基の炭素数が12から15までのも の及びその混合物に限る)	4,081	4,005	2,879	1,683	3,396	3,394	1,080	3,483	2,958
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニル エーテル	88	154	70	56	63	39	19	21	22
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエー テル	7,125	8,424	4,463	3,675	6,305	4,719	1,517	2,810	2,285
310	ホルムアルデヒド	2,220	3,530	1,584	3,712	2,803	1,779	802	2,174	1,725
311	マンガン及びその化合物	710	1,771	967	1,406	968	761	463	715	421
312	無水フタル酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
313	無水マレイン酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
314	メタクリル酸	40	166	98	100	106	26	36	15	24
320	メタクリル酸メチル	167	518	127	733	360	137	47	58	209
338	m-トリレンジイソシアネート	5	24	13	16	15	3	5	2	3
346	モリブデン及びその化合物	804	1,076	468	460	805	837	228	199	150
	合 計	730,296	1,837,299	782,565	2,274,033	1,060,931	708,614	307,355	372,298	281,015

付表 1 都道府県別・対象化学物質別のすそ切り以下排出量の推計結果(平成 20 年度;kg/年)(その 5)

物質	The state of the s	19	20	21	22	23	24	25	26	27
番号	対象化学物質名	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府
-	亜鉛の水溶性化合物	1,190	1,688	2,167	4,650	7,596	1,631	850	1,268	10,920
	世知の小俗は10日初 アクリルアミド	0	1,000	2,107	4,030	2	1,031	0		10,920
	アクリル酸	20	59	18	46	58	23	14	22	82
	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	48	68	307	436	745	190	35		1,112
	プンピン酸にス(2-エナルハキシル) アセトニトリル									
		133	249	267	618	762	275	225	367	1,373
	2,2'-アゾビスイソブチロニトリル	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	アニリン	0	0	0	0	0	0	0	0	0 510
	2-アミノエタノール	355	775	621	1,805	2,701	572	265	393	2,512
	ジエチレントリアミン	1	1	0	1	1	1	0	0	2
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその化合物に限る)	2,655	1,578	3,637	8,825	14,531	3,217	1,582	2,069	16,672
25	アンチモン及びその化合物	184	338	705	582	1,371	272	208	359	1,164
29 1	ビスフェノールA	56	80	51	231	275	79	25	31	170
30 1	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	325	675	862	1,577	2,561	834	565	780	4,546
32 2	2-イミダゾリジンチオン	2	3	14	19	32	8	2	1	49
43	エチレングリコール	41,248	36,776	40,360	93,922	142,779	47,408	16,795	34,102	126,024
	エチルベンゼン	23,730	48,822	58,926	114,572		41,276			186,819
	エチレンオキシド	729	1,992	566	1,252	2,461	412	418	1,242	3,003
	エチレングリコールモノエチルエーテル	897	2,600	2,919	5,717	10,461	1,841	969	1,524	11,996
	エチレングリコールモノメチルエーテル	150	427	140	356		181	112	175	675
	エチレンジアミン	19	23	8	33	34	18	8		47
	エチレンジアミン四酢酸	53	37	71	219	278	150	77	75	631
	エピクロロヒドリン	0	0	0	1	1	0			2
	1-オクタノール	0	0	0	0	0	0			0
	カドミウム及びその化合物	1	2	4	5	12	2		2	21
	キシレン	88,430	162,468	200,463	369,007			62,941		605,197
	銀及びその水溶性化合物	244	498	439	720	1,159	289	182	261	1,637
	グリオキサール	0	0	1	1 1	2	1	0		1,037
	グルタルアルデヒド	4	5	9	18	28	11	7	11	62
	クレゾール	0	0	1	2	3	1	1	1	5
	クロム及び3価クロム化合物	318	463	3,432	734	3,542	969	666	608	1,276
	6価クロム化合物	358	647	1,114	1,728	3,495	667	358	538	5,417
	<u>プロロベンゼン</u>	47	116	154	255	403	61	53	167	805
	クロロホルム	87	165	124	286	407	105	98	203	498
	フロロボルム コバルト及びその化合物	165	184	364	617	1,074	251	132	169	1,152
	エチレングリコールモノエチルエーテルア									
	セテート	1,030	3,066	2,856	6,034	10,445	2,027	1,040	1,650	11,517
	昨酸ビニル	94	250	387	558	806	137	88	179	555
108	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く)	167	370	441	654		246	157	262	2,181
	1,4-ジオキサン	67	72	123	298	410	186	118	145	902
1 1151	N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾール スルフェンアミド	3	5	23	32	55	14	3	2	82
1101	1.0.254==== 4)	15	26	38	72	110	40	31	49	227
120	1,2-シクロロエタン 3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメ タン	1	1	1	2	5	2	1	1	9
	ジウロン	19	28	9	33	36	18	8	10	47
	1,3-ジクロロ-2-プロパノール	1,857	90	1,422	2,425	8,107	436	1,103	5,092	2,872
	1,2-ジクロロプロパン	63	194	203	292	584	82	56	256	1,317
139	o-ジクロロベンゼン	5	8	11	21	31	11	9	15	62
	塩化メチレン	17,815	46,313	64,591	84,622	176,785	31,634	20,562	32,463	256,155
159	ジフェニルアミン	1	1	3	5	8	2	0	0	12
166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド	4	2	4	10	18	3	2	7	13
172	N,N-ジメチルホルムアミド	1,869	2,776	2,988	4,740	10,654	1,740	1,971	6,940	9,957
		1	2	1	2	3	1	1	1	3
175	水銀及びその化合物	1								
	水銀及びその化合物スチレン	39	70	129	229	362	148	108	147	869
177			70 26	129 32	229 77	362 130	148 21	108	147	869 95
177 2 176 2	スチレン	39						11	13	
177 2 176 2 181 3	スチレン 有機スズ化合物	39 12	26	32	77	130	21	11 1	13 1	95

付表 1 都道府県別・対象化学物質別のすそ切り以下排出量の推計結果(平成20年度;kg/年)(その6)

物質	対象化学物質名	19	20	21	22	23	24	25	26	27
番号	对象化子物具石	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府
202	テトラヒドロメチル無水フタル酸	6	18	5	14	17	7	4	6	24
204	チウラム	19	18	85	152	235	68	11	6	343
207	銅水溶性塩(錯塩を除く)	57	74	64	212	222	92	42	56	373
211	トリクロロエチレン	5,932	20,590	16,368	26,506	56,351	9,830	6,074	11,091	82,616
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	5,497	10,140	12,328	24,498	41,756	9,035	3,923	8,044	36,053
227	トルエン	124,482	200,023	316,834	478,529	919,401	175,086	108,590	300,441	1,015,006
230	鉛及びその化合物	1,366	2,832	2,598	4,661	6,982	1,613	1,064	1,547	11,020
231	ニッケル	529	708	793	1,849	3,081	693	346	443	4,380
232	ニッケル化合物	432	481	2,576	1,238	3,816	1,068	604	526	2,798
241	二硫化炭素	3	5	5	10	12	3	4	8	12
242	ノニルフェノール	30	88	46	125	189	50	33	41	180
243	バリウム及びその水溶性化合物	10	14	16	76	93	21	5	6	39
249	ジラム	1		7	10	17	4	1	1	25
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム= クロリド	107	90	109	286	462	102	75	130	370
252	砒素及びその無機化合物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
253	ヒドラジン	769	724	1,374	2,582	4,408	845	592	1,535	4,050
254	ヒドロキノン	104	125	119	311	475	102	49	140	989
259	ピリジン	1	1	1	3	4	2	1	2	7
266	フェノール	99	193	461	453	854	212	120	147	563
270	フタル酸ジ-n-ブチル	270	474	1,223	1,864	3,028	664	246	361	4,406
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	771	1,278	3,225	4,879	8,861	1,862	677	648	11,818
273	フタル酸-n-ブチル=ベンジル	2	6	10	33	48	8	2	3	17
	ふっ化水素及びその水溶性塩	724	739	571	1,537	2,425	885	374	422	3,286
293	ヘキサメチレン=ジイソシアネート	0	0	0	0	1	0	0	0	2
294	ベリリウム及びその化合物	2	5	4	8	11	3	2	2	18
298	ベンズアルデヒド	0	0	0	0	0	0	0	0	0
299	ベンゼン	985	2,241	2,179	3,744	6,137	1,896	1,176	2,608	8,092
300	1,2,4-ベンゼントリカルボン酸1,2-無水 物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ほう素及びその化合物	1,242	1,002	7,494	2,675	9,904	3,222	1,789	1,351	4,062
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル (アルキル基の炭素数が12から15までのも の及びその混合物に限る)	2,754	1,440	2,768	6,447	12,961	2,148	1,751	4,804	9,760
308	の及いての低音物に限る) ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニル エーテル	45	27	68	164	269	63	25	25	336
	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエー テル	3,936	3,689	3,136	9,418	16,837	4,310	2,060	3,835	19,788
310	ホルムアルデヒド	1,125	1,286	2,471	3,685	7,892	1,401	1,194	3,941	6,278
311	マンガン及びその化合物	372	678	4,907	1,012	4,807	1,293	952	905	2,117
	無水フタル酸	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	無水マレイン酸	0	0	0	0	0	0	0	0	1
314	メタクリル酸	15	22	40	79	120	52	35	45	284
	メタクリル酸メチル	96	357	102	229	429	83	65	136	572
338	m-トリレンジイソシアネート	2	3	6	10	16	6	5	6	38
	モリブデン及びその化合物	287	350	417	1,215	1,987	447	190	244	2,574
	合 計	340,620	574,564	784,229	1,303,787	2,385,873	505,481	267,215	595,136	2,538,975

付表 1 都道府県別・対象化学物質別のすそ切り以下排出量の推計結果(平成 20 年度;kg/年)(その 7)

物質		28	29	30	31	32	33	34	35	36
番号	対象化学物質名	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県
	亜鉛の水溶性化合物	3,063	668	559	135		1,317	2,033		348
	アクリルアミド	2	000	0	0		1,511	2,033	1	0
	アクリル酸	36	4	2	8	3	10		 	
	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	1,152	188	36	22	21	148		†	
	アセトニトリル	670	155	153	43	66	266		205	
	2,2'-アゾビスイソブチロニトリル	010	0	0	0	00	0		 	
	アニリン	0	0	0	0	0	0	 		-
	フープン 2-アミノエタノール	911	152	147	86	94	420		 	
	ジエチレントリアミン	1	132	0	0	0	0		 	
	シエテレントリアミン 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びそ	1	0	U	0	0	0	0	0	0
	回顕/ルイル・ションヘルルン酸及いでの塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその化合物に限る)	7,658	4,129	2,378	494	494	3,154	2,968	1,192	1,439
25	アンチモン及びその化合物	533	140	83	42	57	209	222	84	47
29	ビスフェノールA	77	12	13	13	10	52	76	26	14
30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	1,889	483	389	60	79	703	715	506	245
32	2-イミダゾリジンチオン	51	8	1	1	1	6	6	2	2
43	エチレングリコール	63,308	28,469	48,052	11,036	11,402	40,697	37,904	21,988	38,083
40	エチルベンゼン	80,241	17,103	21,073	7,533	9,498	31,849	50,318	16,982	16,608
	エチレンオキシド	1,088	316	319	83	104	381	585	255	156
44	エチレングリコールモノエチルエーテル	4,158	543	426	253	307	1,283	2,581	625	304
45	エチレングリコールモノメチルエーテル	297	39	25	56	26	88	118	45	27
46	エチレンジアミン	15	4	3	5	2	9	10	4	4
47	エチレンジアミン四酢酸	196	109	145	5	10	152	102	125	100
54	エピクロロヒドリン	1	0	0	0	0	0	0	0	0
58	1-オクタノール	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60	カドミウム及びその化合物	6	1	1	0	0	1	3	1	0
	キシレン	283,045	70,901	82,083	28,950	34,570	111,997	160,820	59,552	64,002
	銀及びその水溶性化合物	568	110	62	44	40	202	282	66	41
65	グリオキサール	2	0	0	0	0	1	0	0	0
	グルタルアルデヒド	25	8	7	1	1	10	10	9	5
67	クレゾール	2	1	1	0	0	1	1	1	1
68	クロム及び3価クロム化合物	1,003	255	255	129	314	780	484	415	258
69	6価クロム化合物	1,398	264	312	86	123	511	949	252	222
93	クロロベンゼン	172	48	36	19	26	73	99	33	30
95	クロロホルム	287	50	64	41	46	111	182	100	55
100	コバルト及びその化合物	324	112	116	28	48	207	249	94	84
	エチレングリコールモノエチルエーテルア セテート	4,304	512	420	314	325	1,360	· ·		320
	酢酸ビニル 無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩	223	71	176	37	60	115	228	83	174
108	無機ンノン化合物(銅塩及のシノン酸塩 を除く) 1,4-ジオキサン	660 341	101	93 150	43 11	44 18	168 186	353 147	79 151	54 104
	N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾール						100	111	131	101
115	スルフェンアミド	86	13	2	2	2	11	11	3	3
116	1.0.254	103	26	22	4	6	38	40	31	15
	1,2-シクロロエタン 3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメ タン	1	0		0		0	1	0	0
	ジウロン	17	3	2	5	2	8			
	1,3-ジクロロ-2-プロパノール	1,333	751	2,378	28		1,127	357	43	
	1,2-ジクロロプロパン	234	59	55	18	ļ	108	ļ	41	43
	o-ジクロロベンゼン	29	7	6	1	2		12	···	5
	塩化メチレン	88,278	21,111	12,205	4,700	6,229	22,457			
159	ジフェニルアミン	13	2	0	0	0	2	2	0	0
	N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド	6	3	5	1	1	4	4		
	N,N-ジメチルホルムアミド	4,619	884	1,255	421	361	1,647	1,762	707	496
	水銀及びその化合物	2	0	0	0		0			
	スチレン	369	99	79	5		133		 	
	有機スズ化合物	36	11	4	2	3	16			
	チオ尿素	3	2	2	0	0				
	ヘキサメチレンテトラミン	150	35	9	4	3			,	
200	テトラクロロエチレン	20,109	4,557	3,784	2,920	2,803	5,849	11,706	4,437	2,391

付表 1 都道府県別・対象化学物質別のすそ切り以下排出量の推計結果(平成20年度;kg/年)(その8)

物質	41. 42. 11. 24. 44. FF 17	28	29	30	31	32	33	34	35	36
番号	対象化学物質名	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県
202	テトラヒドロメチル無水フタル酸	10	1	1	2	1	3	4	1	1
204	チウラム	314	71	18	7	7	57	50	14	22
207	銅水溶性塩(錯塩を除く)	120	38	42	14	14	64	71	40	35
211	トリクロロエチレン	27,271	3,654	2,842	1,372	1,822	6,884	13,870	3,297	1,867
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	16,910	3,955	4,949	1,709	2,085	7,052	10,414	3,722	3,762
227	トルエン	445,672	135,913	112,825	35,931	44,094	152,757	192,697	70,597	73,514
230	鉛及びその化合物	3,783	709	203	84	125	1,275	1,702	264	104
231	ニッケル	1,152	298	285	81	98	535	838	220	186
232	ニッケル化合物	1,103	327	396	130	290	881	726	469	380
241	二硫化炭素	9	1	2	1	2	4	6	3	2
242	ノニルフェノール	104	16	17	12	19	46	60	35	11
243	バリウム及びその水溶性化合物	21	3	4	2	3	17	26	9	4
	ジラム	26	4	1	0	0	3	3	1	1
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム= クロリド	187	102	153	50	49	127	187	102	96
252	砒素及びその無機化合物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
253	ヒドラジン	1,327	439	616	162	174	755	812	335	290
254	ヒドロキノン	141	67	99	21	30	129	133	51	87
259	ピリジン	3	1	2	0	0	2	2	2	1
266	フェノール	328	95	73	27	53	160	200	90	52
	フタル酸ジ-n-ブチル	3,226	587	162	108	108	524	620	162	150
	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	9,462	1,826	426	220	217	1,445	1,676	417	353
273	フタル酸-n-ブチル=ベンジル	12	1	1	0	1	6	12	3	1
	ふっ化水素及びその水溶性塩	965	334	460	146	139	620	720	345	277
	ヘキサメチレン=ジイソシアネート	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベリリウム及びその化合物	6	1	0	0	0	2	3	0	0
	ベンズアルデヒド	0	0	0	0	0	0	0	0	0
299	ベンゼン	5,181	1,292	1,407	684	816	1,900	2,960	1,666	996
300	1,2,4-ベンゼントリカルボン酸1,2-無水物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ほう素及びその化合物	2,282	963	1,213	384	936	2,796	1,529	1,525	1,271
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル (アルキル基の炭素数が12から15までのも の及びその混合物に限る)	4,309	2,239	3,362	579	620	2,627	2,715	1,270	1,342
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニル エーテル	162	81	35	6	6	58	49	17	23
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエー テル	7,671	2,562	2,818	735	710	3,413	3,836	1,450	1,371
310	ホルムアルデヒド	2,912	941	1,095	202	276	1,291	1,413	627	471
311	マンガン及びその化合物	1,614	366	307	169	410	1,018	670	566	291
312	無水フタル酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
313	無水マレイン酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
314	メタクリル酸	115	36	33	2	3	48	39	39	21
320	メタクリル酸メチル	187	23	20	20	17	52	95	24	17
338	m-トリレンジイソシアネート	16	4	3	0	0	6	5	5	2
346	モリブデン及びその化合物	599	182	235	55	83	379	563	194	168
	合 計	1,110,295	309,782	311,502	100,606	120,683	414,846	559,253	207,565	221,878

付表 1 都道府県別・対象化学物質別のすそ切り以下排出量の推計結果(平成20年度;kg/年)(その9)

物質		37	38	39	40	41	42	43	44	45
番号	対象化学物質名	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	能本県	大分県	宮崎県
	亜鉛の水溶性化合物		麦%ボ 479			1-24-11		7111		H 42714
	型町の小谷性110百物 アクリルアミド	557		221	1,161	283	347	355	 	183
		0	0	0	2					0
	アクリル酸	4	5	2	16				 	3
	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	15	23	3	100		8			27
	アセトニトリル	104	115	67	354		82	140	 	111
	2,2'-アゾビスイソブチロニトリル	0	0	0	0					0
	アニリン	0	0	0	0				 	0
	2-アミノエタノール	160	231	79	357	98	142		 	68
	ジエチレントリアミン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその化合物に限る)	956	1,185	386	2,133	770	653	820	1,214	546
25	アンチモン及びその化合物	124	114	41	222	131	134	93	80	57
29	ビスフェノールA	15	22	5	28	10	20	19	24	6
30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	246	327	128	739	224	157	244	214	185
32	2-イミダゾリジンチオン	1	1	0	4	1	0	1	1	1
	エチレングリコール	21,817	33,451	20,912	83,742					33,474
	エチルベンゼン	17,051	21,542	13,530	66,092		20,595		1	21,661
	エチレンオキシド	202	224	120	739		209			222
	エチレングリコールモノエチルエーテル	594	625	331	1,622	344	536	553	437	289
	エチレングリコールモノメチルエーテル	33	44	15	129	36	22	56	 	27
	エチレンジアミン	3	4	10	8	3	2	4	 	2
	エチレンジアミン四酢酸	43	65	21	91	38	24	36	 	28
	エピクロロヒドリン	0	0.5	0	0					0
	1-オクタノール	0	0	0	0		0		 	0
	カドミウム及びその化合物	1	1	1	3				 	0
										i
	キシレン	61,347	80,622	52,562						87,432
	銀及びその水溶性化合物	94	80	30	230	-	61	79	 	43
	グリオキサール	0	0	0	1	0			 	0
	グルタルアルデヒド	3	5	2	12	3				3
	クレゾール	0	0	0		0			ļ	0
	クロム及び3価クロム化合物	707	581	209	720	875	985	370	†	243
	6価クロム化合物	312	274	168	681	175	244	197	200	116
	クロロベンゼン	48	75	31	141	24	27	40	33	32
	クロロホルム	62	58	40	255		73	93		65
100	コバルト及びその化合物	108	105	42	165	88	101	67	82	41
	エチレングリコールモノエチルエーテルア セテート 酢酸ビニル	583 108	658 87	318 47	1,647 492	370 67	548 52	602 91	480 95	306 120
	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩	100	01	41	432	01	32	91	30	120
	を除く)	107	89	66	317	60	74	89	69	54
	1,4-ジオキサン	59	80	30	151	52	33	52	60	39
	N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾール									
115	スルフェンアミド	1	2	0	7	2	1	2	2	2
116	1,2-ジクロロエタン	14	18	8	51	14	10	17	13	13
	1,2-ンクロロエタン 3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメ タン	1	0	0						0
	ジウロン	3	4	1	8	3				2
	1,3-ジクロロ-2-プロパノール	104	461	34	222			85		49
135	1,2-ジクロロプロパン	66	75	32	229	-		ļ	(55
	0-ジクロロベンゼン	4	5	3					 	4
	塩化メチレン	13,032	12,133	7,772	37,755				†	8,494
159	ジフェニルアミン	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド	2	2	1	3		2			1
172	N,N-ジメチルホルムアミド	559	721	305	1,793	446	390	704	500	409
	水銀及びその化合物	0	0	0	1	0	0		¢	0
177	スチレン	42	61	23	137	41	20	42	36	36
176	有機スズ化合物	6	7	2	13	3	6	6	5	3
	チオ尿素	1	1	0	1	1	0	0	1	0
		3	4	1	14	5	1	4	7	4
198	ヘキサメチレンテトラミン	21	11	1	,		1 1,	1 1	,	-1

付表 1 都道府県別・対象化学物質別のすそ切り以下排出量の推計結果(平成20年度;kg/年)(その10)

物質	44.45 / 1.25 Hu FF 47	37	38	39	40	41	42	43	44	45
番号	対象化学物質名	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県
202	テトラヒドロメチル無水フタル酸	1	1	0	5	1	1	2	2	1
204	チウラム	5	8	1	29	11	3	8	13	8
207	銅水溶性塩(錯塩を除く)	23	30	15	59	20	17	27	29	20
211	トリクロロエチレン	3,543	3,398	2,038	10,551	1,980	2,478	2,807	2,233	1,859
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	3,674	4,892	3,098	14,697	3,308	4,773	6,385	4,605	5,134
227	トルエン	78,366	107,863	59,529	289,795	64,427	79,037	114,368	88,085	93,997
	鉛及びその化合物	442	306	46	1,071	271	138	303	358	163
231	ニッケル	248	225	107	518	129	151	161	194	80
	ニッケル化合物	707	592	220	708	756	904	337	439	199
	二硫化炭素	2	1	1	6	2	2	3	2	2
	ノニルフェノール	16	18	7	51	14	15	30	19	14
	バリウム及びその水溶性化合物	4	7	2	6	2	8	5	7	2
	ジラム	0	0	0	2	1	0	1	1	1
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム= クロリド	71	85	47	191	61	102	78	113	57
252	砒素及びその無機化合物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヒドラジン	348	629	187	559	251	296	230	268	119
	ヒドロキノン	69	81	27	150	29	43	50	72	34
	ピリジン	1	1	0	2	1	1	1	1	1
	フェノール	97	97	44	181	99	117	87	81	56
	フタル酸ジ-n-ブチル	152	271	90	495	145	84	139	144	110
	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	299	341	98	1,216	344	166	370	369	296
	フタル酸-n-ブチル=ベンジル	2	2	1	3	1	3	2	2	1
	ふっ化水素及びその水溶性塩	272	296	111	550	194	203	213	273	94
	ヘキサメチレン=ジイソシアネート	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベリリウム及びその化合物	1	0	0	2	0	0	0	1	0
	ベンズアルデヒド	0	0	0	0	0	0	0	0	0
299	ベンゼン	1,112	1,562	974	4,597	943	1,536	1,725	1,331	1,272
300	1,2,4-ベンゼントリカルボン酸1,2-無水物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ほう素及びその化合物	2,311	2,025	623	1,756	2,602	3,104	990	1,475	565
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル (アルキル基の炭素数が12から15までのも の及びその混合物に限る)	1,028	1,440	559	2,365	742	1,168	953	1,297	652
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニル エーテル	15	16	4	29	11	5	11	16	7
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエー テル	1,768	1,486	492	2,487	752	793	998	1,232	497
310	ホルムアルデヒド	477	665	277	1,251	403	452	521	499	360
	マンガン及びその化合物	901	752	284	1,059	1,152	1,247	516	474	358
	無水フタル酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
313	無水マレイン酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
314	メタクリル酸	15	22	8	44	14	7	14	14	11
320	メタクリル酸メチル	25	29	12	82	17	14	24	22	19
338	m-トリレンジイソシアネート	2	3	1	6	2	1	2	2	2
346	モリブデン及びその化合物	171	190	78	319	84	121	111	142	53
	合 計	219,128	285,947	169,389	801,279	189,104	246,208	329,714	256,943	264,971

付表 1 都道府県別・対象化学物質別のすそ切り以下排出量の推計結果(平成20年度;kg/年)(その11)

物質		46	47		(参考)
番号	対象化学物質名	鹿児島県	沖縄県	合計(H20年度)	合計(H19年度)
	亜鉛の水溶性化合物	213	281	79,064	41,932
	アクリルアミド	1	0	43	779
	アクリル酸	5	1	992	1
	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	9	5	8,309	21,992
	アセトニトリル	222	144	14,217	19,498
	2,2'-アゾビスイソブチロニトリル	0	0	0	10,100
	アニリン	0	0	0	4
	2-アミノエタノール	89	42	24,538	81,575
	ジエチレントリアミン	0	0	19	01,010
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びそ	Ť			
24	の塩(アルキル基の炭素数が10から14ま	445	581	133,183	281,268
	でのもの及びその化合物に限る)				
	アンチモン及びその化合物	91	66	13,222	4,709
	ビスフェノールA	9	3	2,399	1,712
	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	214	221	36,442	24,773
	2-イミダゾリジンチオン	0	0	364	198
	エチレングリコール	38,609	42,183	2,211,664	1,424,287
	エチルベンゼン	25,905	22,640	2,195,853	3,031,261
	エチレンオキシド	287	184	38,817	15,385
	エチレングリコールモノエチルエーテル	406	334	99,792	
	エチレングリコールモノメチルエーテル	46	12	7,807	4,030
	エチレンジアミン	2	1	525	238
	エチレンジアミン四酢酸	30	42	4,581	602
	エピクロロヒドリン	0	0	17	
	1-オクタノール	0	0	9	3
60	カドミウム及びその化合物	1	1	137	
	キシレン	104,212	92,004	7,656,204	8,879,604
	銀及びその水溶性化合物	59	37	14,481	6,387
	グリオキサール	0	0	26	0
	グルタルアルデヒド	3	4	478	240
	クレゾール	0	0	43	96
	クロム及び3価クロム化合物	421	405	32,451	24,089
	6価クロム化合物	166	231	37,128	24,230
	クロロベンゼン	43	43	6,297	206
	クロロホルム	107	78	7,731	10,361
100	コバルト及びその化合物 エチレングリコールモノエチルエーテルア	79	59	9,986	31,660
101	セテート	441	304	102,632	178,506
102	酢酸ビニル	118	70	9,219	
108	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く)	89	90	16,111	834
113	1,4-ジオキサン	44	60	6,945	3,081
115	N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾール	1	0	615	
	グルノエンノミト				2,234
116	1,2-ジクロロエタン	18	17	1,974	518
120	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン	0	1	73	
129	ジウロン	3	0	553	111
	1,3-ジクロロ-2-プロパノール	312	350	44,555	
	1,2-ジクロロプロパン	67	78	9,809	31,503
139	o-ジクロロベンゼン	5	5	570	23
145	塩化メチレン	9,966	8,884	1,992,399	2,008,098
	ジフェニルアミン	0	0	93	
166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド	1	2	166	4,059
179	N,N-ジメチルホルムアミド	938	719	112,081	39,128
	水銀及びその化合物	0	0	45	35,128
	スチレン	38	46	6,250	9,067
	有機スズ化合物	3	1	994	1,259
	子才尿素	0	1	64	10
	ヘキサメチレンテトラミン	1	1	1,171	9
	テトラクロロエチレン	5,225	4,986	455,623	
200		0,220	1,500	100,020	000,012

付表 1 都道府県別・対象化学物質別のすそ切り以下排出量の推計結果(平成20年度;kg/年)(その12)

物質	44.存. 八、产4.44.15元 亿	46	47	入計 (1100 左座)	(参考)
番号	対象化学物質名 	鹿児島県	沖縄県	合計(H20年度)	合計(H19年度)
202	テトラヒドロメチル無水フタル酸	2	0	292	406
	チウラム	3	2	2,436	
	銅水溶性塩(錯塩を除く)	51	25	3,227	1,250
	トリクロロエチレン	2,298	2,091	636,313	
	1,3,5-トリメチルベンゼン	6,194	5,423	470,406	
	トルエン	116,150	98,740	10,860,807	14,461,284
	鉛及びその化合物	92	50	86,630	12,173
	ニッケル	99	116	31,737	
	ニッケル化合物	315	391	36,185	
	二硫化炭素	4	3	243	
	ノニルフェノール	21	14	2,426	
	バリウム及びその水溶性化合物	2	1	633	25,219
249	ジラム	0	0	189	
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム= クロリド	59	89	5,946	8,718
252	砒素及びその無機化合物	0	0	2	181
253	ヒドラジン	230	200	39,918	39,583
	ヒドロキノン	37	63	6,179	26,353
259	ピリジン	1	1	74	150
266	フェノール	84	57	8,535	61,731
270	フタル酸ジ-n-ブチル	92	60	34,119	19,764
	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	169	108	92,113	24,941
273	フタル酸-n-ブチル=ベンジル	1	0	291	553
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	128	114	28,670	25,265
293	ヘキサメチレン=ジイソシアネート	0	0	13	
294	ベリリウム及びその化合物	0	0	139	
298	ベンズアルデヒド	0	0	1	
	ベンゼン	1,821	1,379	117,009	133,045
300	1,2,4-ベンゼントリカルボン酸1,2-無水物	0	0	0	
304	ほう素及びその化合物	880	1,152	90,052	168,079
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル (アルキル基の炭素数が12から15までのも の及びその混合物に限る)	875	1,110	116,419	315,849
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニル エーテル	4	4	2,350	39,805
309	ポリ(オキシエチレン)=/ニルフェニルエー テル	701	433	164,815	247,355
310	ホルムアルデヒド	647	449	73,027	169,416
311	マンガン及びその化合物	617	553	46,140	50,669
312	無水フタル酸	0	0	4	
	無水マレイン酸	0	0	5	
314	メタクリル酸	12	15	2,041	
320	メタクリル酸メチル	22	5	5,889	1,368
	m-トリレンジイソシアネート	2	2	273	
346	モリブデン及びその化合物	61	83	18,533	27,477
	H20年度推計対象外の物質				5,970
	合 計	320,622	287,951	28,382,848	34,637,083

<参考資料2>新たなデータ取得のためのアンケート調査票(案)

本紙

PRTR の対象化学物質の取扱状況に係るアンケート調査票

会社名				
常用雇用者数	ア	21人未満	イ	21~100人
市川准川有剱 	ウ	101~500人	Н	501人以上
事業活動を行う	工場•	作業所等		力所
事業所の数	その他	1(営業所等)		カ所

○主たる事業所を1つ選び、その概要を下記の回答欄に御記入ください。

事業所名				
業種名				
主な事業内容				
常用雇用者数	ア	21人未満	イ	21~100人
市用)框用有	ウ	101~500人	Н	501人以上
PRTRの届出		あり		なし
特別要件施設		あり		なし

○本アンケート調査への御回答者の連絡先等を下記の回答欄に御記入ください。

部署名		
氏名		
\古·纳 什	電話:	ファックス:
連絡先	電子メール:	

[※]必要に応じて本社等に御確認の上、記入してください。

[※]PRTRの届出は、平成20年度実績として1物質以上を届出した場合に「あり」に〇を御記入ください。 ※特別要件施設は廃棄物の焼却施設等を設置している場合に「ある」に〇を御記入ください。

[※]御回答頂いた内容に不明な点がある場合には、内容について照会させて頂く場合がございます。

- ○PRTR対象化学物質を含む主な資材について別紙1に記入してください。
- ○平成21年度実績として御回答ください。

<主として化学工業以外向け>

該当する	資材等の種類			手間取扱量 の単位で記入)	排出抑制対策の有無
記号に〇			トン/年	kg/年	(実施している 場合に○)
ア	塗料				
イ	接着剤・粘着剤				
ウ	印刷インキ				
工	希釈用シンナー				
オ	洗浄用シンナー				
カ	工業用洗浄剤(洗浄槽で使用)				
キ	その他の溶剤(ゴム溶剤等)				
ク	メッキ薬剤・電極				
ケ	電池・電子材料				
コ	詳 薬				
サ	滅菌•殺菌•消毒剤				
シ	表面処理剤(酸洗浄・光沢加工)				
ス	プラスチック添加剤(可塑剤等)				
セ	その他① (具体的に:)			
ソ	その他② (具体的に:)			

※年間取扱量は有効数字1桁程度の概算(例:約800kg)で結構です。

○排出抑制対策の有無に一つ以上の○を付けた場合、その具体的な方法を御回答ください。

該当する 記号に○	抑制対策の方法	具体的な方法
ア	排ガス処理	(例:燒却処理)
イ	排水処理	(例:中和処理)
ウ	その他	

○別紙1で回答した資材等の種類ごとに別紙2に記入してください。

記号(ア〜セ)	資材等の種類

物質番号	主な含有成分 対象化学物質名	平均的な 含有率		概算での年間取扱量 (別紙1の取扱量×含有率)		
		約	%	約	kg	
		約	%	約	kg	
		約	%	約	kg	
		約	%	約	kg	
		約	%	約	kg	

	主な含有成分			匀排出	率(該当	する欄に	(0)	
物質番号	対象化学物質名 (省略可)	ĘŪ	0.1%未満 (ゼロ以外)	0.1~1%	1~10%	10~30%	30~90%	上7%06

[※]物質リストに示すものに限って御記入ください。

[※]欄が不足する場合は別紙をコピーしてお使いください。

- ○PRTR対象化学物質の取扱区分について別紙1-2 に記入してください。
- ○平成21年度実績として御回答ください。

<主として化学工業向け>

該当する 記号に〇	取扱区分	年間取扱量(トン/年)	排出抑制 対策の有無 (実施している 場合に〇)
ア	PRTR 対象化学物質自体の製造 (別の化学物質を原料として反応させて PRTR 対象化学物質を製造)		
7	化学品の合成原料 (合成・重合等により PRTR 対象化学物質が 別の化学物質へ転化)		
ウ	反応溶剤・抽出溶剤等 (別の化学物質の合成等のために PRTR 対 象化学物質を溶剤として使用)		
工	化学品の配合原料 (PRTR 対象化学物質を塗料等の化学品の 成分として配合) (具体的な品名:)		
才	PRTR 対象化学物質を含む化学品の小分け		
カ	その他① (具体的に:)		
丰	その他② (具体的に:)		

※年間取扱量は有効数字1桁程度の概算(例:約800トン)で結構です。

○排出抑制対策の有無に一つ以上の○を付けた場合、その具体的な方法を御回答ください。

該当する 記号に〇	抑制対策の方法	具体的な方法
ア	排ガス処理	(例:焼却処理)
イ	排水処理	(例:中和処理)
ウ	その他	

○別紙1-2 で回答した<u>取扱区分又は配合原料の場合には塗料等の化学品の種類ごと</u>に別 紙2-2 に記入してください。

記号(ア〜キ)	取扱区分	該当する対象 化学物質数

物質番号	取扱区分に該当する対象化学物質 対象化学物質名	概算での年間取扱量		
		約	kg	

主な含有成分			平均	匀排出	率(該当	する欄に	.(O)	
物質番号	対象化学物質名 (省略可)	Ł̈́D	0.1%未満 (ゼロ以外)	0.1~1%	1~10%	10~30%	30~90%	土汉%06

※物質リストに示すものに限って御記入ください。

[※]欄が不足する場合は別紙をコピーしてお使いください。

付表 2 物質リストの例 (輸送用機械器具製造業の調査対象)

物質	対象化学物質名
番号 29	ビスフェノール A
40	エチルベンゼン
44	エチレングリコールモノエチルエーテル
63	キシレン
64	銀及びその水溶性化合物
68	クロム及び3価クロム化合物
69	6 価クロム化合物
100	コバルト及びその化合物
101	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート
145	塩化メチレン
172	N, N-ジメチルホルムアミド
176	有機スズ化合物
200	テトラクロロエチレン
211	トリクロロエチレン
224	1,3,5-トリメチルベンゼン
227	トルエン
231	ニッケル
232	ニッケル化合物
242	ノニルフェノール
253	ヒドラジン
266	フェノール
270	フタル酸ジ-n-ブチル
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)
304	ほう素及びその化合物
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル
346	モリブデン及びその化合物

注1:ここでは暫定的なリストを示す(物質番号は旧政令の号番号)。

注2:「表 5-53 業種別・物質別の取扱状況(取扱量調査におけるデータ数)」においてデータ数が 5 件以上の物質を抽出。

<参考資料3>「21人未満の事業者に対する取扱量調査」の概要

NITE が実施した平成 19 年度取扱量調査(平成 18 年度実績)では、例年と同様の調査内容のもの(21 人以上の事業者)とは別に、21 人未満の事業者を対象とした調査を実施した。この 21 人未満を対象とした調査は、用途に応じた調査票を使用しており、通常の化学物質別の調査票とは異なる。

今後のデータ取得の方法として 21 人未満の調査票と同じ考え方(塗料等の用途をベースとした 調査票)のアンケート調査票を検討したため、既存の調査結果について概要を把握し、当該データ 自体の活用可能性や、今後のデータ取得への反映の必要性を検討した。

付表 3 「21 人未満の事業者に対する取扱量調査」の概要

項目	事業者数	備考
発送数(a)	24,415	
回答数(b)	7,227	回答率 約30% =(b)/(a)
うち、取扱なし	5,109	対角ル労励所な会な用冷
取扱あり(c)	1,755	対象化学物質を含む用途の取扱
無回答	363	VノAX1X
物質名等の回答あり(d)	1,329	回答率 約 76% =(d)/(c)

注1:平成19年度取扱量調査(H20、NITE)に基づく。 注2:回答数には電話回答のみの事業者も含まれる。

付表 4 業種別の回答状況(その1)

	業種		回答数 (b)	回答率 =(b)/(a)
0500	金属鉱業	3	1	33%
0700	原油・天然ガス鉱業	2	2	100%
1200	食料品製造業	492	103	21%
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	479	163	34%
1400	繊維工業	727	431	59%
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	847	231	27%
1600	木材•木製品製造業	891	227	25%
1700	家具•装備品製造業	777	293	38%
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	749	164	22%
1900	出版•印刷•同関連産業	1,461	293	20%
2000	化学工業	703	361	51%
2100	石油製品•石炭製品製造業	217	121	56%
2200	プラスチック製品製造業	1,034	415	40%
2300	ゴム製品製造業	491	209	43%
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	499	99	20%
2500	窯業・土石製品製造業	1,051	380	36%
2600	鉄鋼業	645	179	28%

付表4 業種別の回答状況(その2)

	業種	発送数	回答数	回答率
	未但	(a)	(b)	=(b)/(a)
2700	非鉄金属製造業	489	123	25%
2800	金属製品製造業	1,752	348	20%
2900	一般機械器具製造業	1,989	435	22%
3000	電気機械器具製造業	1,186	403	34%
3100	輸送用機械器具製造業	774	247	32%
3200	精密機械器具製造業	672	258	38%
3300	武器製造業	2	1	50%
3400	その他の製造業	940	315	34%
3500	電気業	24	12	50%
3600	ガス業	69	52	75%
3700	熱供給業	42	34	81%
3900	鉄道業	57	25	44%
4400	倉庫業	655	186	28%
5132	石油卸売業	489	119	24%
5142	鉄スクラップ卸売業	489	120	25%
5220	自動車卸売業	232	43	19%
5930	燃料小売業	485	120	25%
7210	洗濯業	636	128	20%
7430	写真業	489	107	22%
7700	自動車整備業	482	59	12%
7810	機械修理業	840	173	21%
8620	商品検査業	287	69	24%
8630	計量証明業	168	73	43%
9140	高等教育機関	3	2	67%
9210	自然科学研究所	96	38	40%
	不明等		65	
	合計	24,415	7,227	30%

注:平成19年度取扱量調査(H20、NITE)に基づく。

付表 5 主な設問の回答状況(用途ベースの調査票)

		.,	•,
	回答の区分	延べ 回答数	備考
用途の回答		2,485	_
	用途別の延べ対象化学物質数(a)	4,649	平均 1.9 物質/用途
各用途に対応 する物質別の	(a)のうち、対象化学物質別の年間取 扱量の回答	3,241	(a)に対する回答率 70%
回答	(a)のうち、資材の取扱量及び対象化 学物質別の平均含有率の回答	2,983	(a)に対する回答率 64%

注1:平成19年度取扱量調査;21人未満の事業者(NITE)に基づく。

注2: 取扱量はゼロよりも大きい数値を報告しているデータを、平均含有率は何らかの数値の回答があるデータをカウントした。

注3:平成19年度の調査では平均排出率の設問は設定されていない。

<回答結果の簡易な解析結果>

- ➤ 本調査では、資材の取扱量と資材に対する対象化学物質の平均含有率の設問が設定されている。また、これらの情報とは別に対象化学物質別の取扱量も別途聞かれているため、資材の取扱量等から算出した対象化学物質別の取扱量と、事業者の回答そのものの比較を行った。付表 6 は、両者の比率の分布を示したものである。
- ▶ その結果、全体の約1/4は両者に桁違いの差が見られ、整合の取れない回答となっている。

付表 6 資材の取扱量等に基づく対象化学物質別取扱量との比率の分布

	比率の範囲	件数	構成比
1	10%未満	447	18%
2	10%~50%	335	13%
3	50%~80%	231	9%
4	80%~100%	273	11%
5	100%	167	7%
6	100% ~ 120%	369	15%
7	120%~200%	215	9%
8	200%~1000%	299	12%
9	1000%以上	169	7%
	合計	2,505	100%

注1:比率の範囲とは、「含有率の範囲等に基づく対象化学物質別の取扱量」/「対象化学物質別取扱量(事業者回答)」の比率の範囲を示す。

注2:網がけの箇所は両者の比率が50%~200%の範囲であることを示す。

<今後のデータ取得等の可能性>

- ▶ 取扱量の精度を向上させるためには、「含有率の範囲」と「物質別の取扱量」の両方の回答を求めることが考えられる。これらの設問は、21 人未満の事業者でも7割近い回答が得られているため、数量の把握に技術的な支障は少ないものと考えられる。
- ▶ 本調査では排出率の設問は設定されておらず、「排出抑制対策の有無」の設問のみ設定されている。しかし、これらの情報のみで排出率を設定することは困難であると考えられるため、通常の取扱量調査と同様に平均排出率の設問を加え、その妥当性を確認するためのチェック項目として「排出抑制対策の有無」を設けることが考えられる。

<参考資料4>「 1t 未満の割合」とその信頼区間 の試算結果

付表 7 対象化学物質ごとに算出された「lt 未満の割合」とその信頼区間 (化学工業;その1)

	(化字工業;その1)									
#C ==		利用	可能デー	ータ数	1t=	卡満の割合(q)			
物質番号	対象化学物質名	1t	1t	∧ ∌1.	31	95%信東	頁区間			
田力		未満	以上	合計	計算値	下限値	上限値			
1	亜鉛の水溶性化合物	58	74	132	0.08%	0.0%	0.55%			
2	アクリルアミド	13	40	53	1.1%	0.0%	3.9%			
3	アクリル酸	20	86	106	0.0015%	0.0%	0.08%			
4	アクリル酸エチル	7	49	56	0.0014%	0.0%	0.10%			
6	アクリル酸メチル	8	31	39	0.0067%	0.0%	0.26%			
7	アクリロニトリル	8	46	54	0.0026%	0.0%	0.14%			
9	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシ ル)	10	16	26	0.61%	0.0%	3.6%			
11	アセトアルデヒド	3	17	20	0.0036%	0.0%	0.26%			
12	アセトニトリル	154	90	244	3.7%	1.3%	6.1%			
13	2,2'-アゾビスイソブチロニトリル	21	36	57	0.22%	0.0%	1.5%			
15	アニリン	9	26	35	1.1%	0.0%	4.5%			
16	2-アミノエタノール	64	96	160	3.7%	0.76%	6.6%			
17	ジエチレントリアミン	10	20	30	0.020%	0.0%	0.52%			
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン 酸及びその塩(アルキル基の炭 素数が10から14までのもの及び その混合物に限る)	43	82	125	0.55%	0.0%	1.8%			
25	アンチモン及びその化合物	45	46	91	0.11%	0.0%	0.78%			
27	3-イソシアナトメチル-3,5,5-トリメ チルシクロヘキシル=イソシアネ ート	6	23	29	20.2%	5.6%	34.8%			
29	ビスフェノール A	16	51	67	0.0028%	0.0%	0.13%			
30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	23	103	126	0.0019%	0.0%	0.079%			
40	エチルベンゼン	41	159	200	0.95%	0.0%	2.3%			
42	エチレンオキシド	12	32	44	1.7%	0.0%	5.4%			
43	エチレングリコール	82	238	320	0.12%	0.0%	0.50%			
44	エチレングリコールモノエチルエ ーテル	22	54	76	0.76%	0.0%	2.7%			
45	エチレングリコールモノメチルエ ーテル	29	36	65	1.4%	0.0%	4.2%			
46	エチレンジアミン	17	40	57	2.4%	0.0%	6.4%			
47	エチレンジアミン四酢酸	24	21	45	30.1%	16.7%	43.4%			
54	エピクロロヒドリン	15	37	52	0.019%	0.0%	0.39%			
56	酸化プロピレン	8	19	27	0.014%	0.0%	0.47%			
58	1-オクタノール	10	14	24	0.020%	0.0%	0.59%			
59	p-オクチルフェノール	3	12	15	0.00034%	0.0%	0.09%			
61	ε -カプロラクタム	8	24	32	0.015%	0.0%	0.4%			

付表 7 対象化学物質ごとに算出された「1t 未満の割合」とその信頼区間 (化学工業:その2)

		(化学工業;その2)					
11 55		利用	可能デー	ータ数	1t <i>∋</i>	⊧満の割合((p
物質番号	対象化学物質名	lt 未満	1t 以上	合計	計算値	95%信頼	
						下限値	上限値
	キシレン	112	354	466	0.46%	0.0%	1.1%
•	銀及びその水溶性化合物	33	21	54	0.016%	0.0%	0.36%
	グリオキサール	15	22	37	2.3%	0.0%	7.2%
	グルタルアルデヒド	14	13	27	2.5%	0.0%	8.5%
	クレゾール	20	52	72	0.016%	0.0%	0.30%
	クロム及び3価クロム化合物	47	18	65	0.75%	0.0%	2.8%
	6 価クロム化合物	24	42	66	0.25%	0.0%	1.5%
	クロロ酢酸	6	15	21	0.097%	0.0%	1.4%
	塩化アリル	2	13	15	0.00022%	0.0%	0.075%
	クロロベンゼン	12	30	42	0.063%	0.0%	0.82%
	クロロホルム	138	51	189	0.24%	0.0%	0.94%
96	塩化メチル	3	16	19	0.00011%	0.0%	0.046%
100	1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	65	34	99	26.5%	17.8%	35.2%
101	エチレングリコールモノエチルエ ーテルアセテート	14	40	54	18.9%	8.4%	29.3%
102	酢酸ビニル	6	51	57	0.014%	0.0%	0.32%
108	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く)	7	19	26	0.0023%	0.0%	0.19%
113	1,4-ジオキサン	46	27	73	8.6%	2.2%	15.0%
	シクロヘキシルアミン	8	12	20	2.5%	0.0%	9.3%
	1,2-ジクロロエタン	29	33	62	0.16%	0.0%	1.2%
	ジウロン	11	20	31	0.20%	0.0%	1.8%
	o-ジクロロベンゼン	13	32	45	0.015%	0.0%	0.37%
145	塩化メチレン	66	131	197	0.42%	0.0%	1.3%
166	N,N-ジメチルドデシルアミン= N-オキシド	19	13	32	8.6%	0.0%	18.3%
172	N,N-ジメチルホルムアミド	74	143	217	0.52%	0.0%	1.5%
176	有機スズ化合物	29	31	60	0.072%	0.0%	0.75%
177	スチレン	15	105	120	0.0090%	0.0%	0.18%
181	チオ尿素	15	22	37	0.32%	0.0%	2.1%
198	ヘキサメチレンテトラミン	7	16	23	0.0062%	0.0%	0.33%
200	テトラクロロエチレン	7	15	22	0.011%	0.0%	0.44%
	テレフタル酸	2	19	21	0.000010%	0.0%	0.013%
206	テレフタル酸ジメチル	1	15	16	0.0%	0.0%	0.0%
207	銅水溶性塩(錯塩を除く)	34	40	74	6.0%	0.56%	11.3%
	トリクロロエチレン	8	11	19	18.3%	0.91%	35.7%
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	38	104	142	1.6%	0.0%	3.6%
	トルエン	102	463	565	0.24%	0.0%	0.64%
	鉛及びその化合物	26	75	101	0.071%	0.0%	0.59%
	ニッケル	17	21	38	0.012%	0.0%	0.37%
	ニッケル化合物	38	45	83	9.7%	3.3%	16.1%

付表 7 対象化学物質ごとに算出された「1t 未満の割合」とその信頼区間 (化学工業;その3)

			乗,ての 可能デー		1t=		(p
物質番号	対象化学物質名	1t	1t	۸ - ۱		95%信頼	頁区間
留万		未満	以上	合計	計算値	下限値	上限値
241	二硫化炭素	7	12	19	0.030%	0.0%	0.81%
242	ノニルフェノール	18	31	49	0.25%	0.0%	1.6%
243	バリウム及びその水溶性化合物	19	32	51	0.0012%	0.0%	0.10%
251	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモ ニウム=クロリド	12	12	24	9.3%	0.0%	20.9%
253	ヒドラジン	46	33	79	30.3%	20.2%	40.4%
254	ヒドロキノン	32	27	59	0.0031%	0.0%	0.15%
258	ピペラジン	3	14	17	0.089%	0.0%	1.5%
259	ピリジン	73	38	111	0.064%	0.0%	0.54%
	フェノール	52	104	156	0.0079%	0.0%	0.15%
269	フタル酸ジ-n-オクチル	7	13	20	0.51%	0.0%	3.6%
270	フタル酸ジ-n-ブチル	39	65	104	0.63%	0.0%	2.2%
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	23	71	94	0.041%	0.0%	0.45%
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	26	52	78	0.077%	0.0%	0.69%
293	ヘキサメチレン=ジイソシアネー ト	15	21	36	1.0%	0.0%	4.3%
297	塩化ベンジル	5	19	24	0.53%	0.0%	3.5%
298	ベンズアルデヒド	12	8	20	4.7%	0.0%	14.0%
299	ベンゼン	25	34	59	0.040%	0.0%	0.55%
300	1,2,4-ベンゼントリカルボン酸 1,2-無水物	12	15	27	0.18%	0.0%	1.8%
304	ほう素及びその化合物	133	105	238	3.0%	0.84%	5.2%
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキル エーテル(アルキル基の炭素数 が 12から 15までのもの及びその 混合物に限る)	59	131	190	0.050%	0.0%	0.37%
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチル フェニルエーテル	32	32	64	2.3%	0.0%	6.0%
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフ ェニルエーテル	58	111	169	1.3%	0.0%	3.0%
310	ホルムアルデヒド	90	122	212	0.73%	0.0%	1.9%
311	マンガン及びその化合物	59	66	125	0.17%	0.0%	0.88%
312	無水フタル酸	12	52	64	0.049%	0.0%	0.59%
313	無水マレイン酸	14	73	87	0.15%	0.0%	0.95%
314	メタクリル酸	20	64	84	0.12%	0.0%	0.85%
315	メタクリル酸 2-エチルヘキシル	8	18	26	0.71%	0.0%	3.9%
316	メタクリル酸 2,3-エポキシプロピ ル	9	30	39	0.038%	0.0%	0.65%

付表 7 対象化学物質ごとに算出された「1t 未満の割合」とその信頼区間 (化学工業:その3)

			// C /	٠,			
业厂产		利用	可能デー	ータ数	1t未満の割合(q)		
物質 番号	対象化学物質名	1t	1t	合計	計算値	95%信束	順区間
H 7		未満以上	ЦП	口升但	下限値	上限値	
318	メタクリル酸 2-(ジメチルアミノ)エ チル	5	22	27	0.92%	0.0%	4.5%
319	メタクリル酸 n-ブチル	9	34	43	0.43%	0.0%	2.4%
320	メタクリル酸メチル	17	73	90	0.054%	0.0%	0.53%
335	α-メチルスチレン	2	15	17	0.00012%	0.0%	0.05%
338	m-トリレンジイソシアネート	9	36	45	0.72%	0.0%	3.2%
346	モリブデン及びその化合物	59	33	92	0.57%	0.0%	2.1%
354	りん酸トリーnーブチル	7	8	15	0.021%	0.0%	0.75%

注2:排出源別排出量推計方法によって推計された17物質を網掛けで示す。

注3:本表に示す 95%信頼区間は、以下の計算式によって1t未満の割合 (q) の標準誤差 (SE) を仮定して算出したものであり、各区分 (1t 未満 / 1t 以上) の中でのデータのばらつきは考慮していない。

付表 8 対象化学物質ごとに算出された「1t 未満の割合」とその信頼区間 (金属・機械系製造業;その1)

11 55	(北八四		可能デー		1t未満の割合(q)			
物質 番号	対象化学物質名	1t	1t	∆ ∌L	司答法	95%信頼区間		
田力		未満	以上	合計	計算値	下限値	上限値	
1	亜鉛の水溶性化合物	157	190	347	1.0%	0.0%	2.1%	
3	アクリル酸	23	3	26	24.7%	8.1%	41.3%	
9	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシ ル)	26	8	34	99.9%	98.7%	100.0%	
12	アセトニトリル	33	1	34	99.9%	99.0%	100.0%	
16	2-アミノエタノール	192	84	276	4.9%	2.4%	7.5%	
17	ジエチレントリアミン	20	0	20	100.0%	100.0%	100.0%	
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る)	70	12	82	6.7%	1.3%	12.1%	
25	アンチモン及びその化合物	138	147	285	0.87%	0.0%	1.9%	
29	ビスフェノール A	50	19	69	6.0%	0.38%	11.6%	
30	ビスフェノール A 型エポキシ樹 脂	278	140	418	0.40%	0.0%	1.0%	
40	エチルベンゼン	667	442	1,109	1.7%	0.91%	2.4%	
42	エチレンオキシド	15	15	30	1.7%	0.0%	6.4%	
43	エチレングリコール	180	97	277	2.5%	0.66%	4.3%	
44	エチレングリコールモノエチルエ ーテル	99	25	124	9.7%	4.5%	14.9%	

付表 8 対象化学物質ごとに算出された「1t 未満の割合」とその信頼区間 (金属・機械系製造業;その2)

	(고도 /) 작	利用可能データ数 1t未満の割合(a)
物質	対象化学物質名	1t 未	1t 以		10/	95%信束	
番号	713716 T 1027 T	満	上	合計	計算値	下限値	上限値
45	エチレングリコールモノメチルエ ーテル	33	10	43	17.0%	5.7%	28.2%
46	エチレンジアミン	32	8	40	25.9%	12.3%	39.5%
47	エチレンジアミン四酢酸	14	5	19	11.6%	0.0%	25.9%
60	カドミウム及びその化合物	38	22	60	2.9%	0.0%	7.2%
63	キシレン	1,106	947	2,053	1.3%	0.78%	1.7%
64	銀及びその水溶性化合物	259	85	344	24.4%	19.8%	28.9%
	クレゾール	14	12	26	0.72%	0.0%	4.0%
68	クロム及び3価クロム化合物	201	254	455	0.17%	0.0%	0.56%
69	7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 -	199	109	308	8.4%	5.3%	11.5%
	クロロホルム	34	3	37	0.48%	0.0%	2.7%
100	コバルト及びその化合物	110	102	212	3.0%	0.71%	5.3%
101	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	98	30	128	5.8%	1.8%	9.9%
102	酢酸ビニル	18	0	18	100.0%	100.0%	100.0%
108	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く)	60	69	129	4.9%	1.2%	8.7%
113	1,4-ジオキサン	14	4	18	5.4%	0.0%	15.9%
129	ジウロン	20	3	23	100.0%	99.1%	100.0%
145	塩化メチレン	194	280	474	0.93%	0.066%	1.8%
172	N,N-ジメチルホルムアミド	55	12	67	6.6%	0.66%	12.6%
175	水銀及びその化合物	15	2	17	100.0%	100.0%	100.0%
176	有機スズ化合物	57	20	77	19.5%	10.6%	28.3%
177	スチレン	117	58	175	2.5%	0.18%	4.8%
181	チオ尿素	18	5	23	94.1%	84.6%	100.0%
198	ヘキサメチレンテトラミン	19	35	54	5.1%	0.0%	11.0%
200	テトラクロロエチレン	22	33	55	1.4%	0.0%	4.5%
202	テトラヒドロメチル無水フタル酸	14	26	40	0.51%	0.0%	2.7%
207	銅水溶性塩(錯塩を除く)	49	81	130	0.37%	0.0%	1.4%
211	トリクロロエチレン	71	172	243	0.49%	0.0%	1.4%
218	1,3,5-トリス(2,3-エポキシプロピル)-1,3,5-トリアジン-2,4,6-(1H,3H,5H)-トリオン	8	9	17	0.00081%	0.0%	0.14%
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	410	119	529	3.8%	2.2%	5.5%
	トルエン	1,174	942	2,116	1.9%	1.3%	2.5%
	鉛及びその化合物	637	297	934	0.30%	0.0%	0.65%
231		173	292	465	0.085%	0.0%	0.35%
	ニッケル化合物	195	283	478	3.4%	1.8%	5.0%
	ノニルフェノール	32	4	36	0.88%	0.0%	3.9%
	バリウム及びその水溶性化合物	35	20	55	15.9%	6.2%	25.6%

付表 8 対象化学物質ごとに算出された「1t 未満の割合」とその信頼区間 (金属・機械系製造業;その3)

		利用	可能デー	ータ数	1t <i>ラ</i>	 未満の割合(q)
物質 番号	対象化学物質名	lt 未	1t 以	合計	計算値	95%信束	
		満	上	,,,,		下限値	上限値
252	砒素及びその無機化合物	27	26	53	0.019%	0.0%	0.39%
253	ヒドラジン	69	21	90	40.0%	29.9%	50.1%
254	ヒドロキノン	34	2	36	100.0%	99.3%	100.0%
260	カテコール	14	13	27	79.1%	63.7%	94.4%
	フェノール	89	67	156	5.8%	2.2%	9.5%
	フタル酸ジ-n-オクチル	15	1	16	100.0%	98.9%	100.0%
270	フタル酸ジ-n-ブチル	101	19	120	4.3%	0.65%	7.9%
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシ ル)	121	88	209	0.56%	0.0%	1.6%
273	フタル酸-n-ブチル=ベンジル	22	3	25	84.5%	70.3%	98.7%
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	215	191	406	0.97%	0.0%	1.9%
299	ベンゼン	201	39	240	1.6%	0.0%	3.3%
304	ほう素及びその化合物	347	125	472	2.4%	1.0%	3.8%
	ポリ(オキシエチレン)=アルキル						
307	エーテル(アルキル基の炭素数	160	31	191	13.0%	8.2%	17.8%
301	が12から15までのもの及びその	100	31	191	13.070	0.4/0	17.070
	混合物に限る)						
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチル	46	11	57	4.6%	0.0%	10.1%
	フェニルエーテル	10	11	01	1.070	0.070	10.170
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフ	238	23	261	33.0%	27.3%	38.7%
	エニルエーテル						
	ホルムアルデヒド	100	54	154	13.5%	8.1%	18.9%
	マンガン及びその化合物	219	318	537	0.022%	0.0%	0.15%
	メタクリル酸	24	1	25	100.0%	99.4%	100.0%
***************************************	メタクリル酸メチル	51	10	61	13.6%	5.0%	22.2%
	モリブデン及びその化合物	224	129	353	4.7%	2.5%	6.9%
354	りん酸トリーnーブチル	15	0	15	100.0%	100.0%	100.0%

注2:排出源別排出量推計方法によって推計された17物質を網掛けで示す。

注3:本表に示す 95%信頼区間は、以下の計算式によって1t未満の割合 (q) の標準誤差 (SE) を仮定して算出したものであり、各区分 $(1t + \pi / 1t)$ の中でのデータのばらつきは考慮していない。

付表 9 対象化学物質ごとに算出された「1t 未満の割合」とその信頼区間 (その他製造業;その1)

			<u> </u>		 1t未満の割合(q)		
物質	対象化学物質名			7 95	10/		
番号	对家化子物 質名	1t 未満	1t 以上	合計	計算値	95%信賴 下限値	<u>上限値</u> 上限値
1	亜鉛の水溶性化合物	73	47	120	12.7%	6.7%	18.6%
9	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシ ル)	21	44	65	2.5%	0.0%	6.3%
12	アセトニトリル	24	1	25	100.0%	100.0%	100.0%
15	アニリン	14	2	16	0.00066%	0.0%	0.13%
16	2-アミノエタノール	67	47	114	8.7%	3.5%	13.9%
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混合物に限る)	70	15	85	19.8%	11.3%	28.2%
25	アンチモン及びその化合物	99	117	216	0.65%	0.0%	1.7%
29	ビスフェノール A	13	17	30	10.6%	0.0%	21.7%
30	ビスフェノール A 型エポキシ樹 脂	70	89	159	0.59%	0.0%	1.8%
32	2-イミダゾリジンチオン	32	8	40	1.4%	0.0%	5.0%
40	エチルベンゼン	283	139	422	4.0%	2.1%	5.9%
42	エチレンオキシド	6	9	15	0.77%	0.0%	5.2%
43	エチレングリコール	291	106	397	2.0%	0.64%	3.4%
44	エチレングリコールモノエチルエ ーテル	41	15	56	10.4%	2.4%	18.4%
45	エチレングリコールモノメチルエ ーテル	20	16	36	7.9%	0.0%	16.8%
61	ε -カプロラクタム	21	8	29	0.48%	0.0%	3.0%
63	キシレン	669	422	1,091	2.9%	1.9%	3.9%
64	銀及びその水溶性化合物	53	8	61	99.2%	97.0%	100.0%
65	グリオキサール	14	5	19	86.8%	71.6%	100.0%
68	クロム及び3価クロム化合物	132	67	199	6.7%	3.2%	10.1%
69	6 価クロム化合物	65	46	111	57.6%	48.5%	66.8%
93	クロロベンゼン	29	4	33	11.6%	0.68%	22.5%
95	クロロホルム	26	8	34	0.36%	0.0%	2.4%
99	五酸化バナジウム	9	8	17	3.0%	0.0%	11.1%
100		110	30	140	37.3%	29.3%	45.3%
101	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	31	11	42	15.0%	4.2%	25.8%
102	酢酸ビニル	34	24	58	0.33%	0.0%	1.8%
108	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く)	15	2	17	99.8%	97.7%	100.0%
114	シクロヘキシルアミン	10	10	20	17.1%	0.60%	33.6%
115	N-シクロヘキシル-2-ベンゾチ アゾールスルフェンアミド	30	43	73	0.53%	0.0%	2.2%

付表 9 対象化学物質ごとに算出された「1t 未満の割合」とその信頼区間 (その他製造業;その2)

			坦莱;て 可能デ-		1t. 2		n)
物質	対象化学物質名			7 30	10/		-
番号	对家化子物具名	1t 未満	1t 以上	合計	計算值	95%信剩	
116	1.9 2 ³ /2007 20 /		2	1.6	1.6%		
116	1,2-ジクロロエタン 2 2' 3'2777 4 4' 3'73 13'77	14	۷.	16	1.0%	0.0%	7.8%
120	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフ エニルメタン	6	13	19	0.83%	0.0%	4.9%
	1,3-ジクロロ-2-プロパノール	23	8	31	13.4%	1.4%	25.4%
	1,2-ジクロロプロパン	24	10	34	3.3%	0.0%	9.4%
145	塩化メチレン	196	141	337	1.3%	0.10%	2.5%
	ジフェニルアミン	13	8	21	1.3%	0.0%	6.2%
172	N,N-ジメチルホルムアミド	40	49	89	0.045%	0.0%	0.48%
176	有機スズ化合物	39	25	64	0.93%	0.0%	3.3%
177	スチレン	34	126	160	0.22%	0.0%	0.95%
197	デカブロモジフェニルエーテル	7	20	27	0.61%	0.0%	3.5%
198	ヘキサメチレンテトラミン	26	29	55	42.7%	29.6%	55.8%
200	テトラクロロエチレン	23	20	43	1.7%	0.0%	5.6%
204	チウラム	41	29	70	0.96%	0.0%	3.2%
207	銅水溶性塩(錯塩を除く)	35	35	70	0.21%	0.0%	1.3%
211	トリクロロエチレン	96	33	129	4.6%	0.98%	8.2%
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	222	56	278	7.2%	4.2%	10.2%
227	トルエン	622	694	1,316	0.18%	0.0%	0.41%
230	鉛及びその化合物	98	74	172	7.0%	3.2%	10.9%
231	ニッケル	31	23	54	20.4%	9.6%	31.1%
232	ニッケル化合物	82	46	128	2.5%	0.0%	5.2%
242	ノニルフェノール	28	11	39	96.0%	89.9%	100.0%
243	バリウム及びその水溶性化合物	14	40	54	0.078%	0.0%	0.82%
249	ジラム	10	6	16	10.4%	0.0%	25.3%
252	砒素及びその無機化合物	5	16	21	0.00091%	0.0%	0.13%
253	ヒドラジン	80	11	91	99.6%	98.4%	100.0%
254	ヒドロキノン	111	4	115	46.4%	37.2%	55.5%
266	フェノール	73	80	153	1.1%	0.0%	2.7%
269	フタル酸ジ-n-オクチル	23	11	34	41.6%	25.0%	58.2%
270	フタル酸ジ-n-ブチル	178	50	228	21.9%	16.5%	27.3%
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシ ル)	51	171	222	0.0094%	0.0%	0.14%
282	N-(tert-ブチル)-2-ベンゾチア ゾールスルフェンアミド	1	14	15	0.0038%	0.0%	0.32%
283		52	23	75	25.2%	15.4%	35.1%
299		66	40	106	0.12%	0.0%	0.77%
	ほう素及びその化合物	178	140	318	3.3%	1.4%	5.3%

付表 9 対象化学物質ごとに算出された「1t 未満の割合」とその信頼区間 (その他製造業;その3)

物質番号	対象化学物質名	利用可能データ数			1t未満の割合(q)		
		1t 未満	1t 以上	合計	計算値	95%信頼区間	
						下限値	上限値
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキル エーテル(アルキル基の炭素数 が12から15までのもの及びその 混合物に限る)	160	115	275	6.5%	3.6%	9.5%
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチル フェニルエーテル	38	10	48	98.8%	95.8%	100.0%
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフ ェニルエーテル	170	67	237	14.4%	9.9%	18.9%
310	ホルムアルデヒド	93	59	152	2.5%	0.0%	5.0%
311	マンガン及びその化合物	65	85	150	8.0%	3.7%	12.3%
312	無水フタル酸	13	9	22	9.1%	0.0%	21.1%
314	メタクリル酸	8	9	17	91.4%	78.2%	100.0%
320	メタクリル酸メチル	24	42	66	0.21%	0.0%	1.3%
338	m-トリレンジイソシアネート	14	21	35	16.1%	3.9%	28.3%
346	モリブデン及びその化合物	98	28	126	7.8%	3.2%	12.5%

注2:排出源別排出量推計方法によって推計された17物質を網掛けで示す。

注3:本表に示す 95%信頼区間は、以下の計算式によって1t未満の割合 (q) の標準誤差 (SE) を仮定して算出したものであり、各区分 $(1t + \pi / 1t)$ の中でのデータのばらつきは考慮していない。

付表 10 対象化学物質ごとに算出された「1t 未満の割合」とその信頼区間 (非製造業;その1)

物質番号	対象化学物質名	利用可能データ数			1t未満の割合(q)		
		1t 未満	1t 以上	合計	計算値	95%信頼区間	
						下限値	上限値
1	亜鉛の水溶性化合物	70	2	72	84.2%	75.8%	92.7%
2	アクリルアミド	79	0	79	100.0%	100.0%	100.0%
3	アクリル酸	18	0	18	100.0%	100.0%	100.0%
11	アセトアルデヒド	17	0	17	100.0%	100.0%	100.0%
12	アセトニトリル	401	26	427	27.2%	23.0%	31.4%
15	アニリン	34	0	34	100.0%	100.0%	100.0%
16	2-アミノエタノール	47	1	48	99.9%	99.1%	100.0%
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混合物に限る)	33	4	37	60.2%	44.4%	76.0%
25	アンチモン及びその化合物	14	1	15	100.0%	100.0%	100.0%
30	ビスフェノール A 型エポキシ樹 脂	22	3	25	0.32%	0.0%	2.5%

付表 10 対象化学物質ごとに算出された「1t 未満の割合」とその信頼区間 (非製造業;その2)

		利用可能データ数			1t未満の割合(q)			
物質		1t 1t		7 30	計算値	95%信頼区間		
番号		未満		下限値		上限値		
40	エチルベンゼン	316	549	865	11.3%	9.2%	13.4%	
	エチレンオキシド	26	9	35	31.0%	15.7%	46.4%	
43	エチレングリコール	1,167	336	1,503	46.3%	43.8%	48.8%	
44	エチレングリコールモノエチルエ ーテル	18	2	20	99.9%	98.8%	100.0%	
45	エチレングリコールモノメチルエーテル	28	0	28	100.0%	100.0%	100.0%	
46	エチレンジアミン	22	0	22	100.0%	100.0%	100.0%	
47	エチレンジアミン四酢酸	57	0	57	100.0%	100.0%	100.0%	
56		16	2	18	0.21%	0.0%	2.4%	
58	1-オクタノール	20	0	20	100.0%	100.0%	100.0%	
60	カドミウム及びその化合物	14	1	15	27.0%	4.5%	49.4%	
63	キシレン	698	737	1,435	11.9%	10.2%	13.5%	
64	銀及びその水溶性化合物	114	0	114	100.0%	100.0%	100.0%	
66	グルタルアルデヒド	34	0	34	100.0%	100.0%	100.0%	
67	クレゾール	27	0	27	100.0%	100.0%	100.0%	
68	クロム及び3価クロム化合物	41	8	49	0.81%	0.0%	3.3%	
69	6 価クロム化合物	59	3	62	99.5%	97.8%	100.0%	
93	クロロベンゼン	37	0	37	100.0%	100.0%	100.0%	
95	クロロホルム	339	37	376	13.3%	9.8%	16.7%	
100	コバルト及びその化合物	42	1	43	100.0%	100.0%	100.0%	
102	酢酸ビニル	19	1	20	0.0075%	0.0%	0.39%	
113	1,4-ジオキサン	68	0	68	100.0%	100.0%	100.0%	
116	1,2-ジクロロエタン	67	0	67	100.0%	100.0%	100.0%	
139	o-ジクロロベンゼン	28	1	29	99.9%	98.9%	100.0%	
145	塩化メチレン	292	42	334	10.2%	6.9%	13.4%	
172	N,N-ジメチルホルムアミド	210	0	210	100.0%	100.0%	100.0%	
175	水銀及びその化合物	38	0	38	100.0%	100.0%	100.0%	
177	スチレン	57	7	64	59.0%	47.0%	71.1%	
200	テトラクロロエチレン	79	52	131	3.3%	0.22%	6.3%	
207	銅水溶性塩(錯塩を除く)	53	2	55	99.9%	99.0%	100.0%	
211	トリクロロエチレン	41	1	42	18.9%	7.0%	30.7%	
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	221	422	643	12.5%	9.9%	15.0%	
227	トルエン	762	647	1,409	6.7%	5.4%	8.0%	
230	鉛及びその化合物	127	2	129	100.0%	100.0%	100.0%	
231	ニッケル	20	4	24	86.3%	72.6%	100.0%	
232	ニッケル化合物	40	8	48	0.71%	0.0%	3.1%	
240	ニトロベンゼン	16	0	16	100.0%	100.0%	100.0%	
241	二硫化炭素	104	0	104	100.0%	100.0%	100.0%	
243	バリウム及びその水溶性化合物	44	0	44	100.0%	100.0%	100.0%	

付表 10 対象化学物質ごとに算出された「1t 未満の割合」とその信頼区間 (非製造業;その3)

(外及坦米, (**))								
北京元	対象化学物質名	利用可能データ数			1t未満の割合(q)			
物質 番号		lt 未満	1t 以上	合計	計算値	95%信頼区間		
						下限値	上限値	
253	ヒドラジン	95	15	110	62.2%	53.2%	71.3%	
254	ヒドロキノン	24	0	24	100.0%	100.0%	100.0%	
259	ピリジン	99	1	100	32.0%	22.8%	41.1%	
266	フェノール	151	3	154	83.0%	77.0%	88.9%	
270	フタル酸ジ-n-ブチル	22	0	22	100.0%	100.0%	100.0%	
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシ ル)	34	7	41	0.13%	0.0%	1.2%	
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	120	2	122	0.11%	0.0%	0.71%	
299	ベンゼン	353	531	884	0.35%	0.0%	0.74%	
304	ほう素及びその化合物	107	2	109	16.2%	9.3%	23.1%	
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキル エーテル(アルキル基の炭素数 が 12 から 15 までのもの及びそ の混合物に限る)	69	3	72	96.5%	92.2%	100.0%	
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチル フェニルエーテル	24	1	25	89.2%	77.1%	100.0%	
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフ ェニルエーテル	45	2	47	13.6%	3.8%	23.4%	
310	ホルムアルデヒド	198	1	199	99.7%	98.9%	100.0%	
311	マンガン及びその化合物	83	9	92	0.9%	0.0%	2.9%	
320	メタクリル酸メチル	23	1	24	0.6%	0.0%	3.7%	
346	モリブデン及びその化合物	85	1	86	84.4%	76.8%	92.1%	

注2:排出源別排出量推計方法によって推計された17物質を網掛けで示す。

注3:本表に示す 95%信頼区間は、以下の計算式によって1t未満の割合(q)の標準誤差(SE)を仮定して算出したものであり、 各区分(1t 未満/1t 以上)の中でのデータのばらつきは考慮していない。